

テキストの使い方と学習方法

はじめに

このテキストは、これからパソコンを始める方、挑戦したけれど難しくて一度挫折した方に、楽しくわかりやすくパソコンをやっていただくように考えて作られたテキストです。

1つ1つの操作に画像が付いているので、パソコン用語が分からなくても、操作できるようになっています。パソコン用語は理解できてから少しずつ覚えていきましょう。

テキストの学習にあたって

まず、このテキストを使っていただくために、必ず下記のことは約束してください。そうでないとせっかく今からテキストを進めていただいても、身に付かず、時間の無駄になってしまいます。

●「実際の操作内容」の部分だけ操作する。マークや説明をしっかり見る

「完成例」は今から取り組む操作の確認です。

これだけを見ながら操作ができるわけではなく、完成例は操作後の状態を確認するものです。

このテキストでは覚えていただきたいことに、的を絞って説明していますので、テキスト中のマークや説明を最低 1 回は読むように心がけましょう。

(テキスト内のマークの説明は次ページを参照してください。)

●操作は必ず順番に！ 1 回は操作しましょう

生徒様の中には、ここはわかるから読み飛ばそうとされる方や、順番に書いてある操作を何個か飛ばして進めようとする方がいらっしゃいますが、途中で操作がうまくいかず、大幅にやり直すことになります。パソコンは 1 つボタンが違ったり、必要な操作を飛ばしたり、1 つ違う操作をするだけで全く違う結果になることがあります。1 つ1 つ丁寧に操作しましょう。

●わからないところをそのままにしない

パソコンを覚えるということは「家づくり」に似ています。1 か所でもいい加減なところがあると欠陥住宅になり、家が倒壊するかもしれません。パソコンでもいい加減なところを作らず、わからないところをそのままにしないで繰り返しやってみたり、説明を読んだり、先生に聞いたりして学習し、各章ごとにある練習問題もしっかり取り組みましょう。

登場人物紹介

このテキストには先生が1人と、中高年の方代表として生徒様が2人登場します。この3人と一緒にテキストを楽しくすすめていきましょう。

「私にも絵が描けるかなあ〜。」



ウメさん
簡単なインターネットや
メールはできるけど、ワ
ードで絵を描くのは初めて。



タケさん
子供にパソコンを買って
もらったのがきっかけ。
パソコンは全くの初心者

「年寄りでも簡単に絵が描けるようで、
テキストを進めるのが楽しみじゃ！」

「大丈夫！このテキスト通り、丁寧に進めば、
楽しく覚えられるし、このテキストをマスター
すれば絵が簡単に描けるようになりますよ。」



くじら先生
「生徒さんに喜んでもらう、
満足してもらう」がモットー
のパソコンの先生

テキスト内で使われているマークについて

1. (1) ①などの見出し部分

……ここでは、これから行う操作がどういう意味を持った操作なのかを説明しています。

実際の操作内容

……実際に行う操作の方法を説明しています。

目標

……各操作で何を覚えてほしいかを説明しています。

新機能

……Word 2013 と旧バージョンとの違いや新機能を説明します。

注意!

……間違いやすかった操作や、操作を行うにあたり特に注意してほしいことを説明しています。

余裕があれば読んでね

……パソコンの操作方法だけ覚えたい方は特に読む必要はありませんが、知っているると後々便利な情報や、役立つ情報を説明しています。

ご参考までに

……パソコンを使っていると、こんな画面も表示される場合がありますよ。とか、こんな操作方法もありますよ。とか、学習に余裕があれば読んでいただければという情報を説明しています。



補足説明タイトル

参照ページ

……テキストの流れには必要ありませんが、より詳しい内容の補足説明や別の操作方法を P209 以降に記載しています。余裕のない方は飛ばしていただいても大丈夫です。
(ただし各章ごとの練習問題で使う内容も若干含まれます。また、テキストをすべて終了されてから最後に読まれると、スキルアップにつながります。)

☆☆ここまでは練習問題〇〇で理解度を試してください。☆☆

……単元ごとの練習問題を用意しています。各単元での復習操作になりますので、単元ごとに理解度を試してください。このテキストでは全部で 5 ヶ所あります。

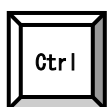
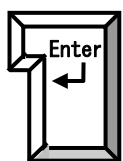
カチッ



……クリックの操作を行う箇所です。



……文字入力の操作を行う箇所です。



など

……該当するキーを入力する箇所です。

【Enter】キーや【Ctrl】キー以外のキー入力もありますので、マークと操作の指示に従ってください。

- 「クイックアクセスツールバー」に「新規作成」、「開く」、「クイック印刷」、「印刷プレビューと印刷」ボタンが追加されていることを前提としています。(クイックアクセスツールバーのボタンの追加と削除は P214 に表記しています)
- タッチパネルでの基本操作については、P221 に記載しています。

このテキスト内で作成する絵の完成例

●テントウムシ

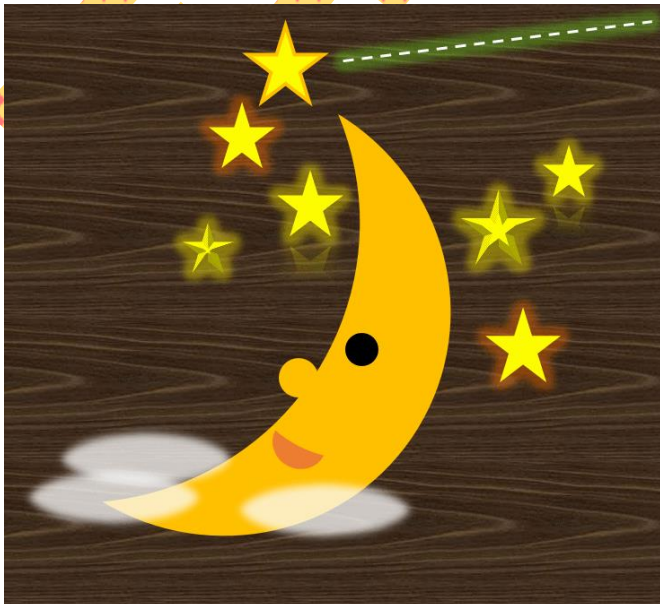


●テントウムシ（アート効果つき）

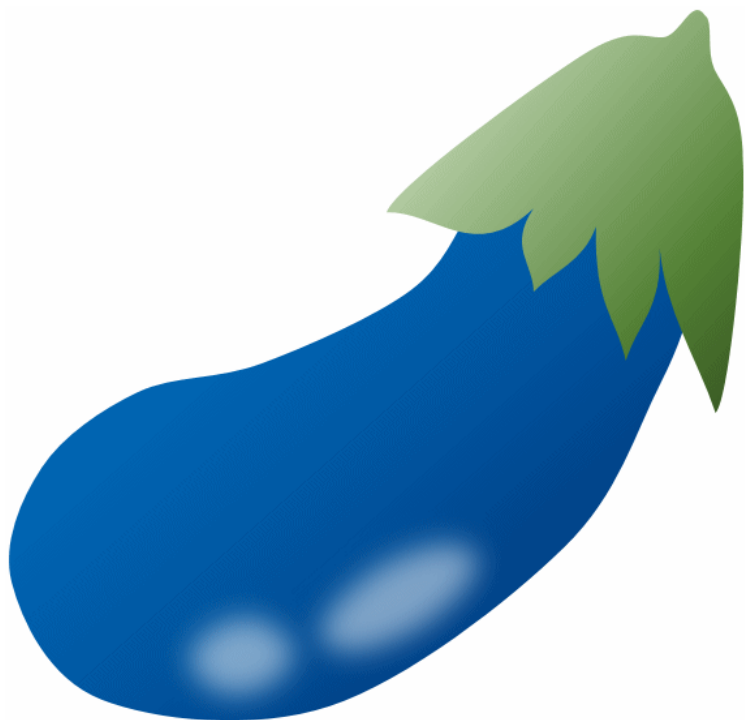
テントウムシ



●お月さまと雲

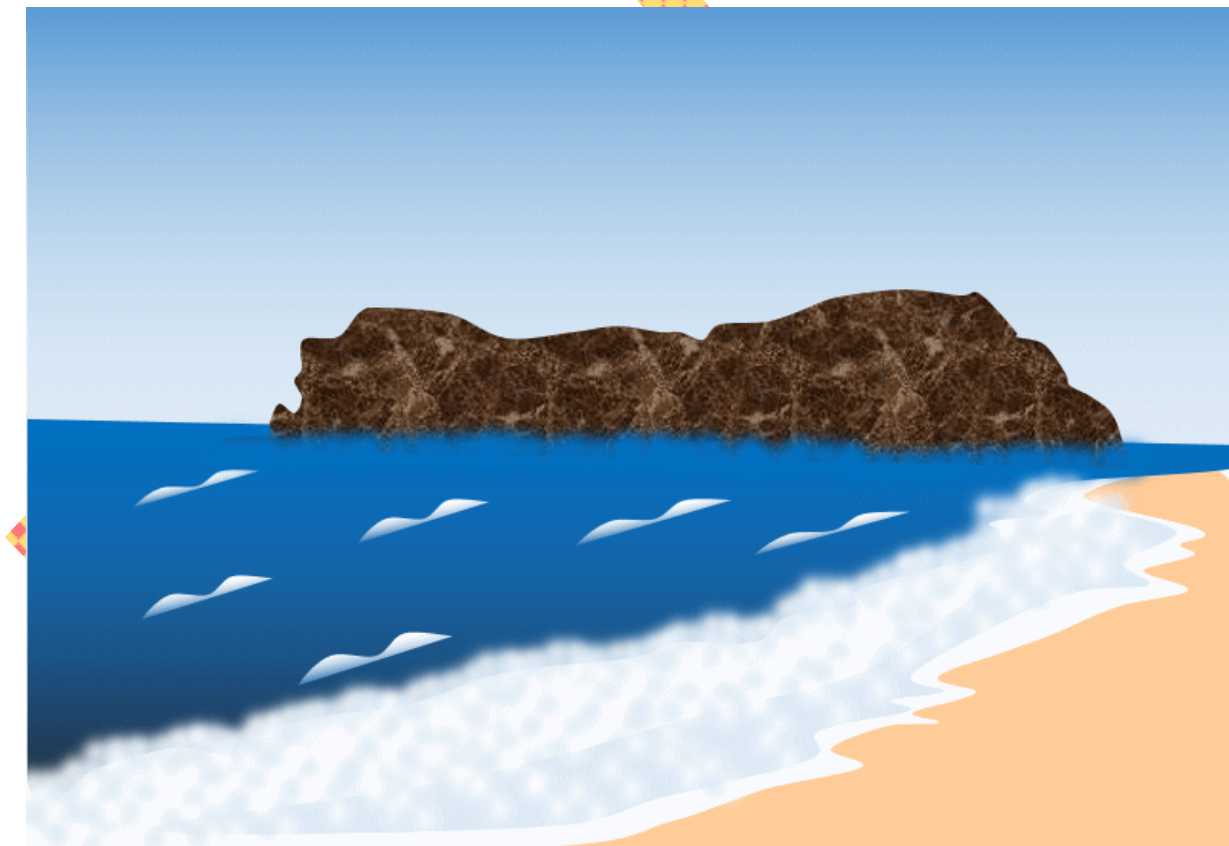


●なすび



見本

●風景



目 次

1. ワードでおえかき	1
(1) ワードの機能を使って描いた絵	2
(2) テキストのあらすじ	3
2. 図形の基本操作	5
(1) テントウムシの顔を描く	6
① 図形の挿入	6
② 図形の移動	9
③ 図形の削除	11
④ 元に戻す	13
⑤ 図形の塗りつぶし	14
⑥ 図形の枠線	16
⑦ 図形のコピー	19
⑧ 図形の回転	21
⑨ 図形のサイズ変更	25
⑩ 図形の変形	28
⑪ 図形の枠線の太さ	32
⑫ 図形のグループ化	34
(2) テントウムシの胴体を描く（図形の順序）	38
(3) テントウムシを保存	42
① ワードの保存	42
② 画像をPNG形式で保存	48
3. アート効果で遊ぼう	57
(1) 画像の挿入	58
(2) 画像にアート効果を設定する	63
(3) ワードアートの挿入	67
(4) ワードアートにアート効果を設定する	73
4. ぼかし絵	78
(1) ぼかし絵を描くための準備	79
① 画面の設定	79
② 背景色の設定	82
(2) お月さまを描く	84
(3) お月さまに雲を描く	91
① ぼかしの設定	91
② 透明度の設定	93
(4) お月さまに星を描く	97
① 図形の効果の設定	97
② 書式のコピー	104
(5) 背景を入れる（テクスチャ）	112

5. 線で描く.....	116
(1) ボタンの登録.....	117
(2) 線を使ってなすびを描く.....	120
① なすびを描く（曲線）.....	120
② なすびの形を変更（頂点を使用）.....	124
③ なすびのへたを描く（フリーフォーム）.....	127
④ なすびのへたをなめらかに描く（頂点を中心にスムージングする）.....	130
⑤ なすびのへたをなめらかに描く（頂点を基準にする）.....	134
⑥ なすびのじくを描く（頂点の追加を使用）.....	139
⑦ なすびに色を塗る（グラデーションの設定）.....	144

6. 風景を描く.....	161
(1) 絵を描くための写真の挿入.....	162
(2) 写真をもとに描きやすくするための準備（図形の既定値の変更）.....	169
(3) 写真に沿って風景をふちどりする.....	173
① 曲線部分を直線に変更する（線分を伸ばす）.....	173
② 始点と終点をつなげる（閉じたパス）.....	182
③ 海辺に色を塗る（その他の色を設定）.....	184
(4) ふちどり以外を描く.....	195
(5) 波を描く（ぼかしの利用）.....	198
(6) 挿入した写真を削除する.....	204

補足説明

●テキスト以外の操作方法、補足説明.....	209
●P20 コピーについての補足説明.....	209
●P40 図形を描きやすくする方法.....	209
●P63 アート効果一覧.....	210
●P142 頂点についての補足説明.....	211
●P166 色調の種類一覧.....	212
●P185 その他の色についての補足説明.....	213
●クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する.....	214
●リボンの表示オプションの変更.....	216
●テキストの手引き.....	217
●タッチパネルの基本操作.....	221
●索引.....	222

1. ワードでおえかき

パソコンで絵を描くソフトもいろいろありますが、それらは、新たにソフトを購入しなければなりません。このテキストで説明する「ワードでおえかき」は、皆さんがこれまで習ってこられたワードで絵を描くことができるので、とても手軽に始められます。



ウメさん

ワードって文書作成のソフトなのよね。絵も描けるの？



タケさん

ワードで絵を描く？ってわしの中で結び付かんなあ。

ワードの中には、「図形」という機能があります。その「図形」を使って、絵を描いていきます。



くじら先生

ウメさん「なんだか難しそうだけど私にできるかしら・・・」

タケさん「そう言えば入門でペイントのソフトを使って絵を描いたなあ。あの時はパソコンを始めたばかりで無我夢中で難しかったが、本当に簡単に絵が描けるのかのお～」

くじら先生「このテキストは、簡単な操作からだんだん高度な事ができるように順序立てて作られているので、心配されなくても大丈夫ですよ。」

(1) ワードの機能を使って描いた絵



(2) テキストのあらすじ

このテキストでは、図形を使って「テントウムシ」、ほかしなどの図形の効果を使った「月と雲」、図形の線を使って「なすび」、最後に総まとめとして「海辺」（風景）を順番に描いていきます。

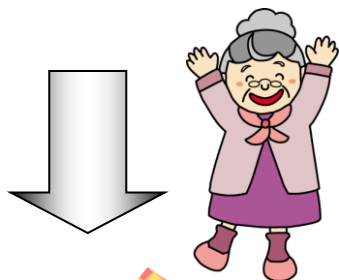
だんだんと難しくなっていきますが、1つ1つの積み重ねでどんどん成果物を作り上げていただきます。難しそうと思われるかもしれませんが、**このテキストは初心者の方、中高年の方のためにわかりやすく、やさしく書いています**から安心して読み進めていきましょう。テキストを読み進めていくうちに、どうしてこんな機能を覚えなければいけないの？と思われたら、目次とともにこのあらすじも読み直してください。

●テキストの流れ

いきなり成果物を作りはじめても、チンプンカンプン…
順序立ててワードで絵を描いていく方法を学びます。
2章以下の各章ごとの流れはこんな感じです。

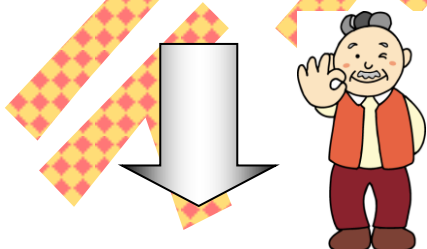


2. 図形で「テントウムシ」を描く



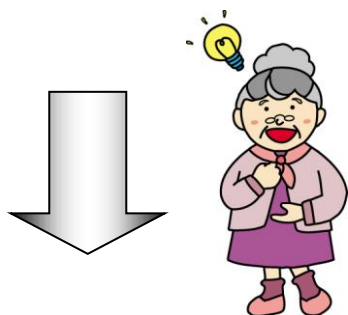
わあ♪
図形だけでこんな絵が描けるんだ。

3. 画像として保存したデータで「アート効果」を使い、画像を変更してみよう



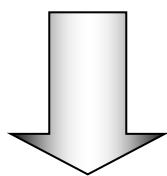
自分が作った絵を画像で保存して、
それを使ってこんな加工ができるんじゃないかなあ～。

3. ぼかしの機能で「月と雲」を描く

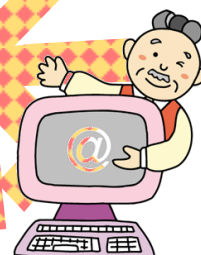


こんなぼかした感じのきれいな絵が描ける
なんて驚き！！

4. 線を使って「なすび」を描く



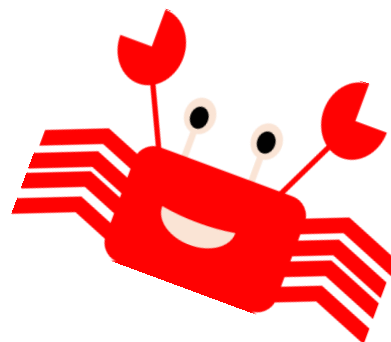
ちょっと難しくなってきたけどコツを
つかめば出来るようになるんじゃないかなあ～。



5. まとめとして「海辺」(風景)を描く



ワードの機能で風景が描けるなんて
思わなかったのお～。



2. 図形の基本操作

【テントウムシ 完成例】



図形で絵が描けるの？

タ ケ さ ん「本当に、図形で絵が描けるんかの？」

く じ ら 先 生「はい、描けますよ。もともと用意されている丸や四角の図形だけでも、結構いろいろな絵を描くことができます。」

ウ メ さ ん「このテントウムシって、図形だけでできているのかしら？」

く じ ら 先 生「そうですよ。簡単な図形を使っただけでも絵が描けるんです。」



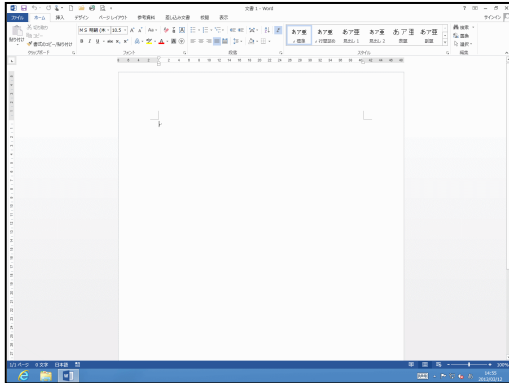
(1) テントウムシの顔を描く

① 図形の挿入

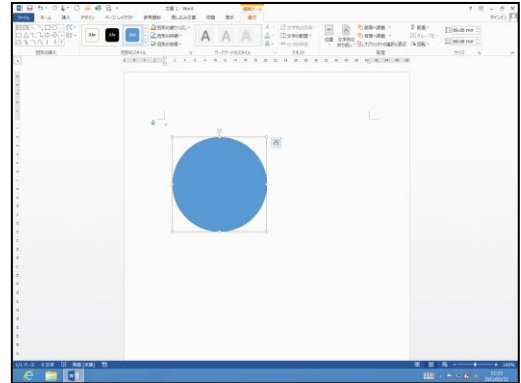
ここではテントウムシの顔の部分にあたる正円を描きます。

◆図形を挿入する方法をマスターしましょう。

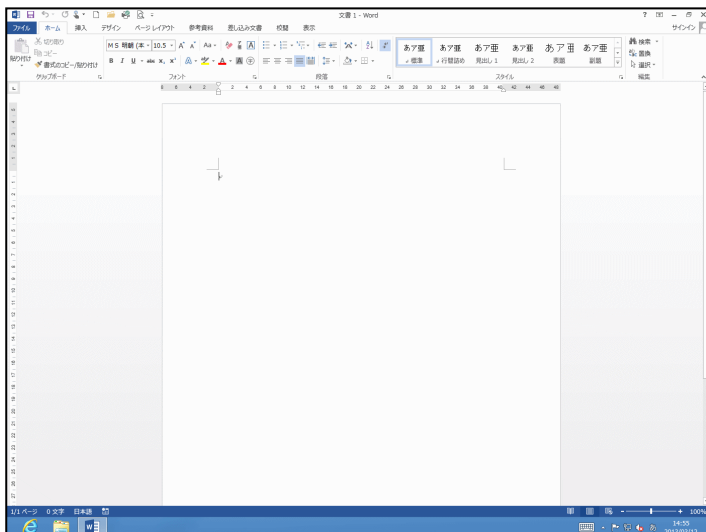
操作前



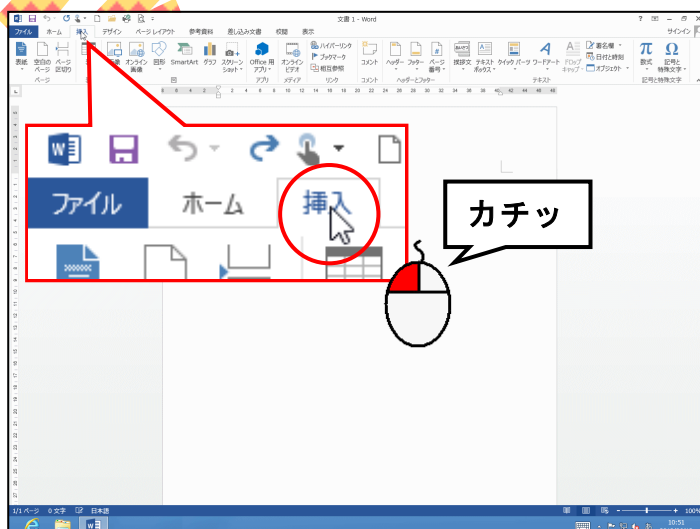
操作後




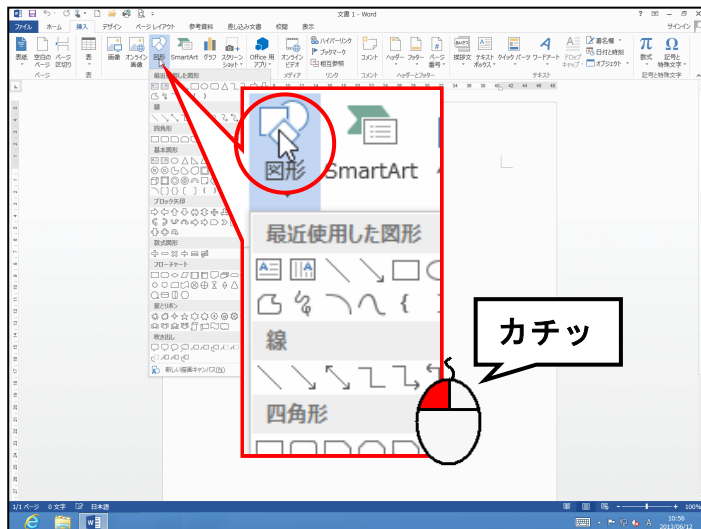
ワードを起動します。



「挿入」タブにポイントし、クリックします。

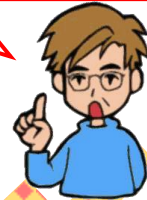



【図】グループにある  【図形】ボタンにポイントし、クリックします。

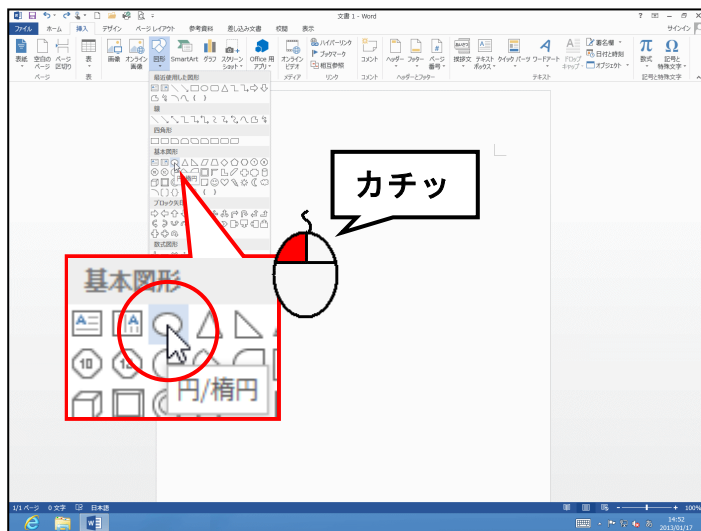



●リボンが表示されていない方は、
P216 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

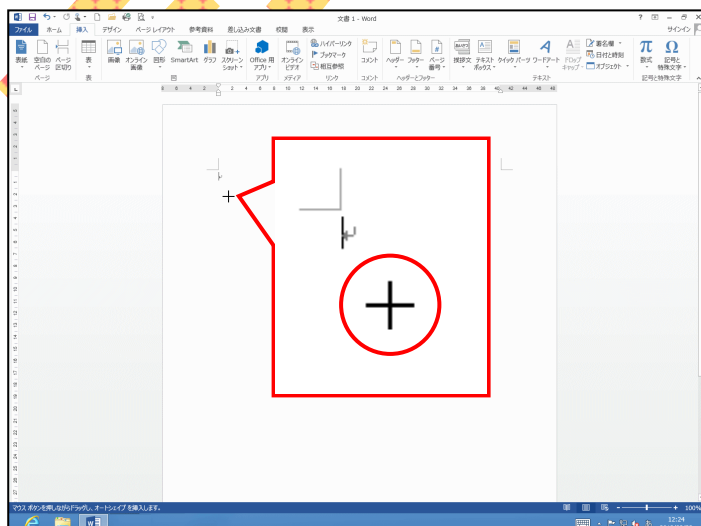
ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示




「基本図形」の  【円/楕円】にポイントし、クリックします。

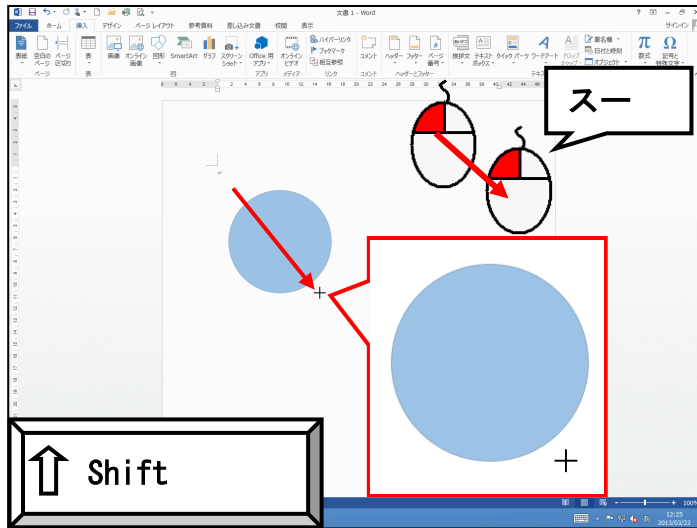


●図形一覧の【最近使用した図形】
に  「円/楕円」があれば、そ
ちらをクリックしていただいても構
いません。

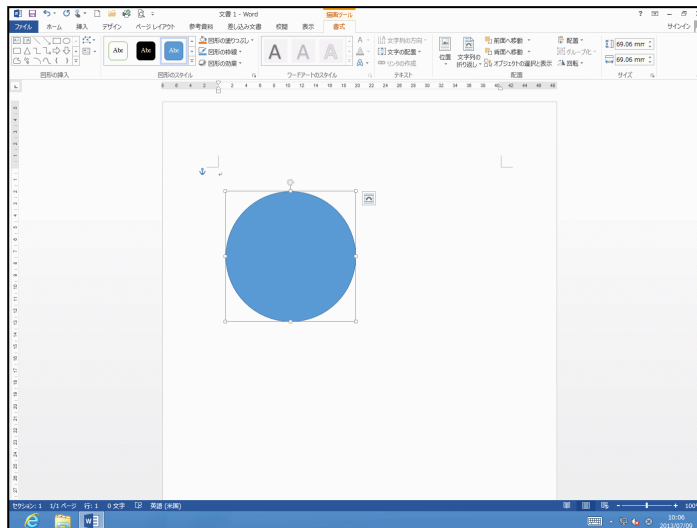
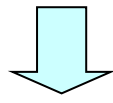


●  【円/楕円】 ボタンをクリック
すると、マウスポインターが + の
状態に変わります。

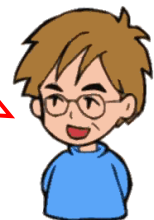
[Shift] キーを押しながら、右下に向かってドラッグします。



● [Shift] キーを押しながらドラッグすると、正円が描けます。



テントウムシの顔を描くために、図形の楕円を使って、円を描きました。
ですが、このままの位置だと、この後テントウムシの体が描きにくくなってしまいます。
次のページからは、描いた図形を移動してみましょう。

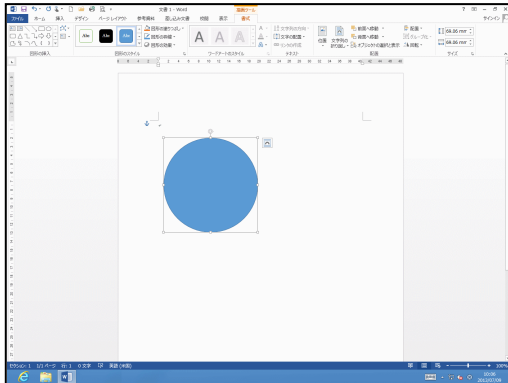


② 図形の移動

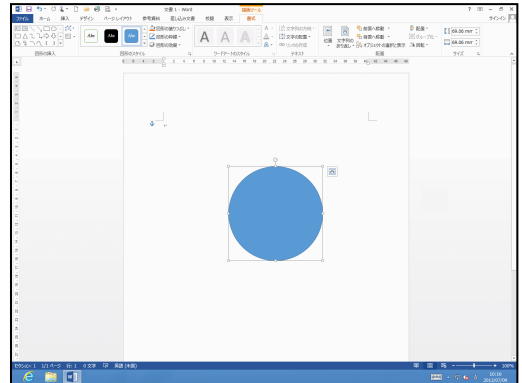
先ほど描いた円を、もう少し右へ移動します。

◆図形を移動する方法をマスターしましょう。

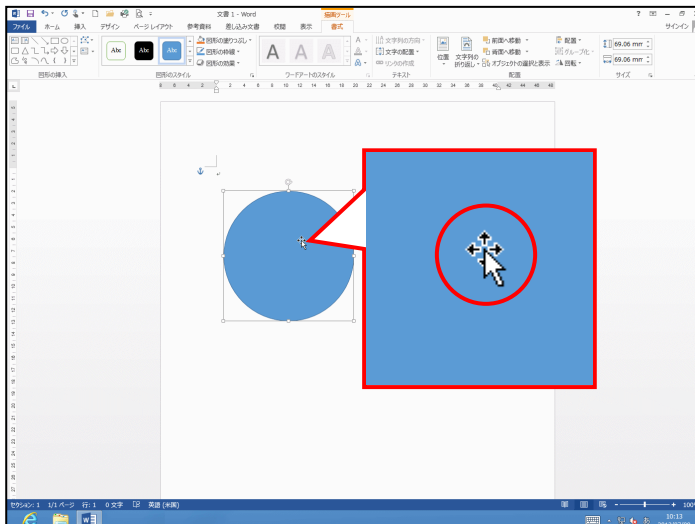
操作前




操作後

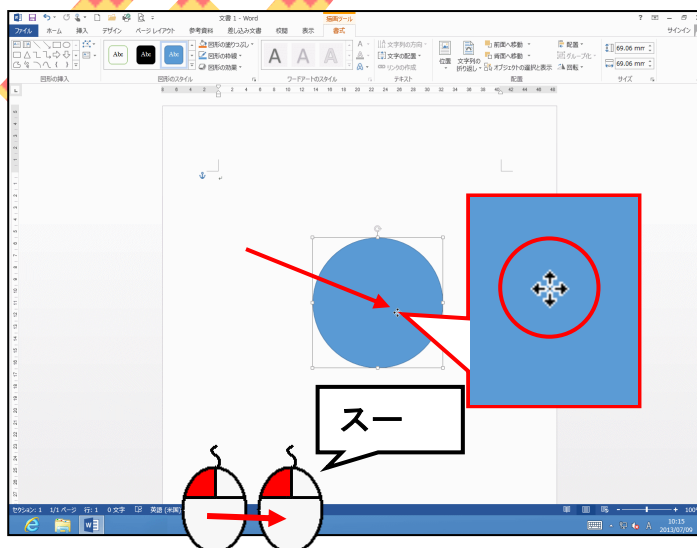




先ほど描いた円にポイントします。

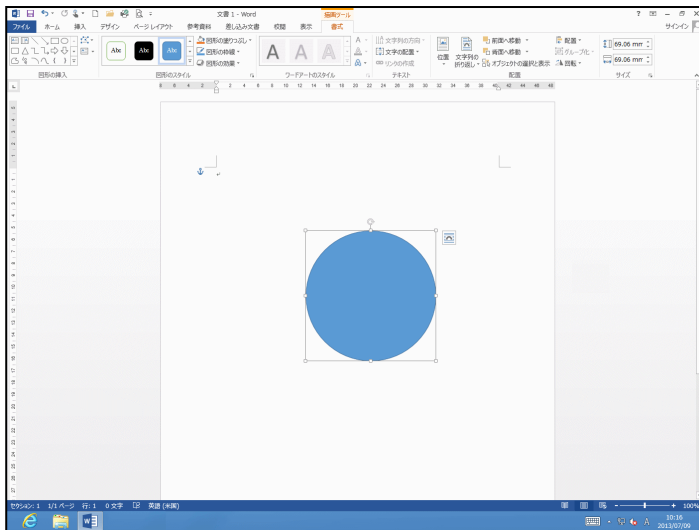
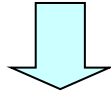


●楕円にポイントすると、マウスポインターが  に変わります。

下の図を参考に、右下方向へドラッグします。



●マウスの左ボタンを押した段階で、マウスポインターは  に変わります。図形上でマウスポインターが  の形になっていることを確認してからドラッグしましょう。



余裕があれば読んでね

- 図形を左右上下に少しずつ動かしたい時は、[→]、[←]、[↑]、[↓] キーを押すと、図形の移動がスムーズにいきます。

テントウムシの顔を移動してみました。うまく移動できましたか？
移動の操作は、これからずっと使いますので、ここでマスターしておきましょう。
次は、描いた図形を削除してみましょう。

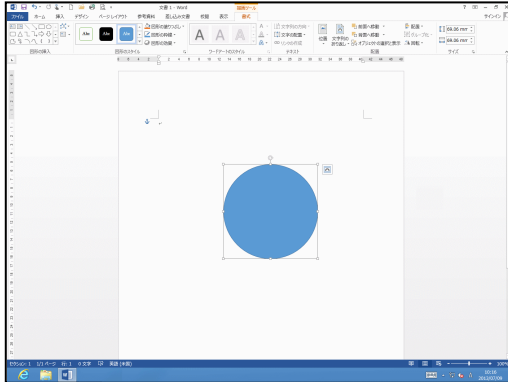


③ 図形の削除

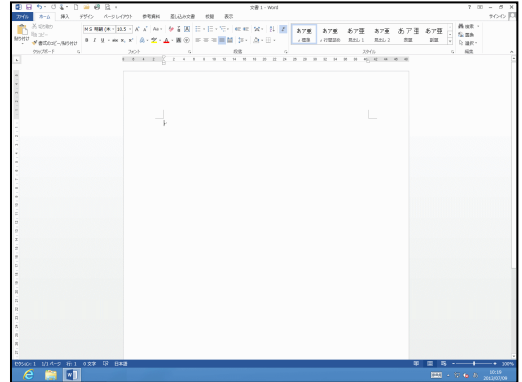
図形を多く描きすぎたり、いらなくなった場合に図形を削除する方法です。今回は、先ほど描いたテントウムシの顔を、削除してみましょう。

◆図形を削除する方法をマスターしましょう。

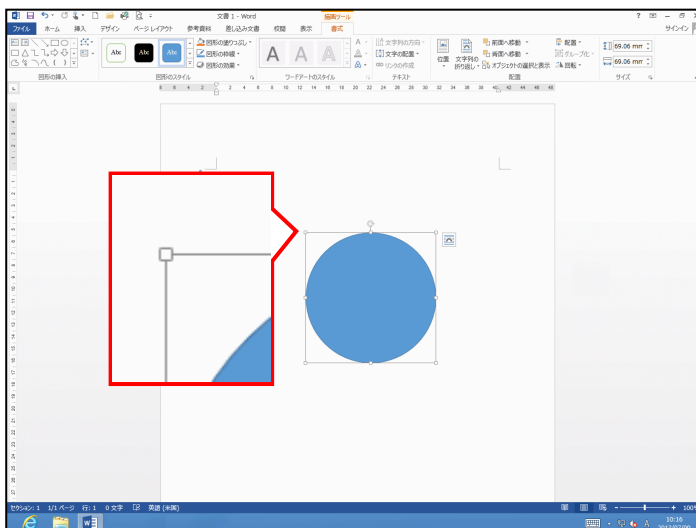
操作前



操作後

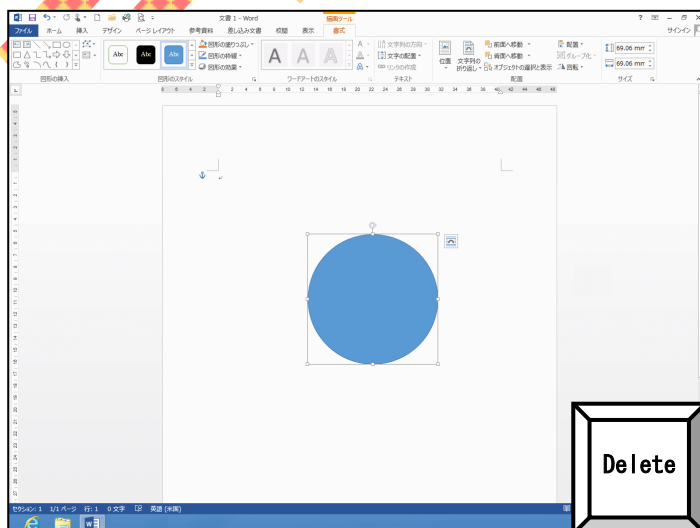


円が選択されていることを確認します。

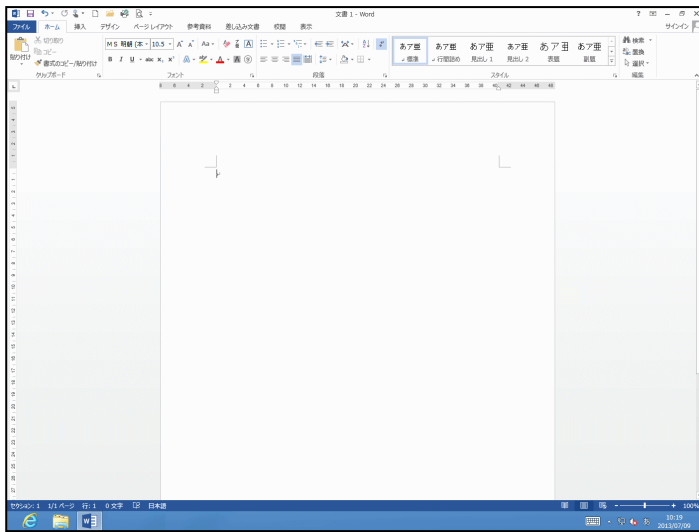
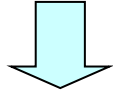


●図形を削除する時は、その図形を選択しておかないと削除できません。

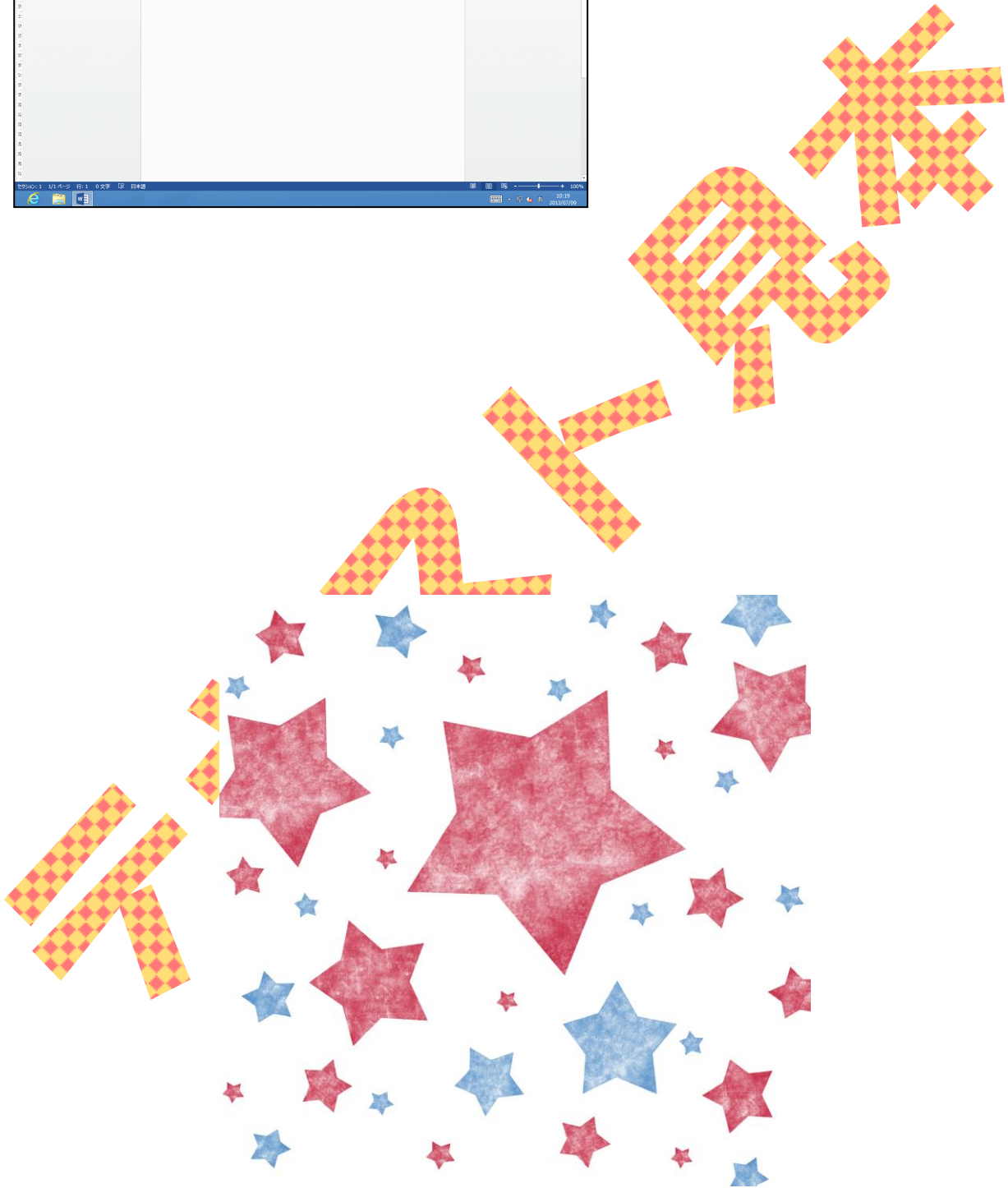
図形が選択された状態で、キーボードの [Delete] キーを押します。



●図形が選択されている状態なら、[Back Space] キーを押しても、同じ結果になります。



●選択した図形が削除されました。

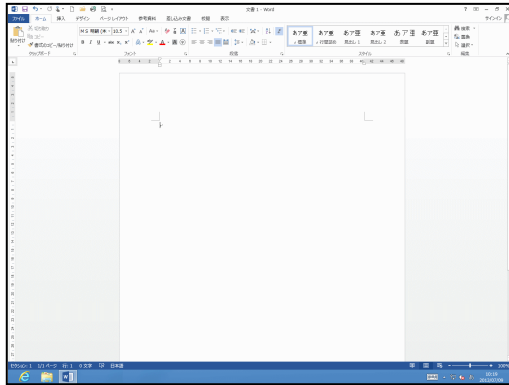


④ 元に戻す

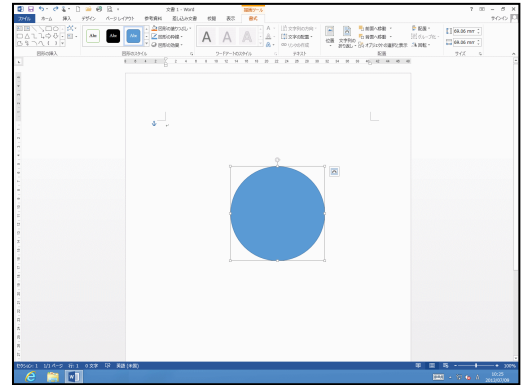
ひとつ前の操作に戻してみましょう。


◆元に戻す方法をマスターしましょう。

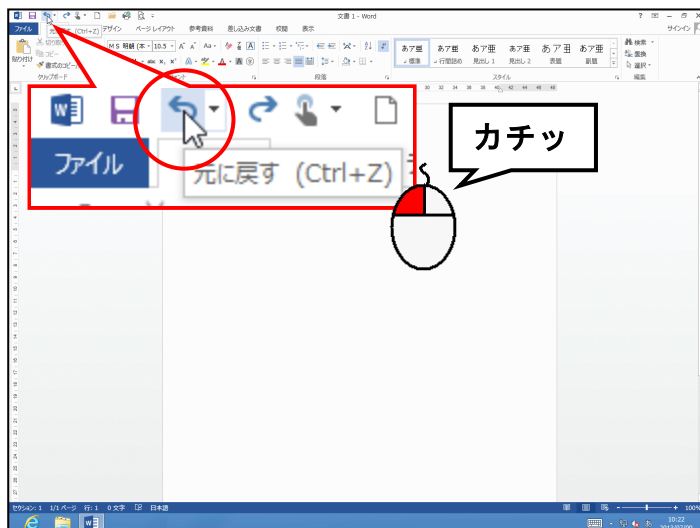
操作前




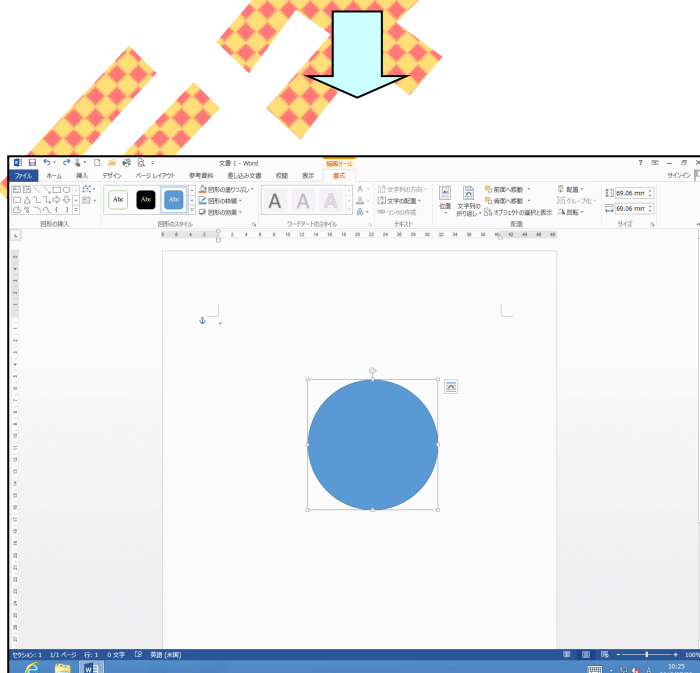
操作後




画面左上にある  【元に戻す】 ボタンにポイントし、クリックします。



●間違えて右横の  【繰り返す】 ボタンを押さないように注意しましょう。



今回は、「図形を削除した」ので、図形を削除する前に戻りました。このボタンを使うと、「図形を移動する」前や、「塗りつぶしの色を変える」前など、色々な操作に戻すことができます。失敗したなと思われた時は、このボタンを使いましょう。ただし、 【元に戻す】 ボタンがグレーになっている状態のときは、それ以上元に戻せませんので注意してください。

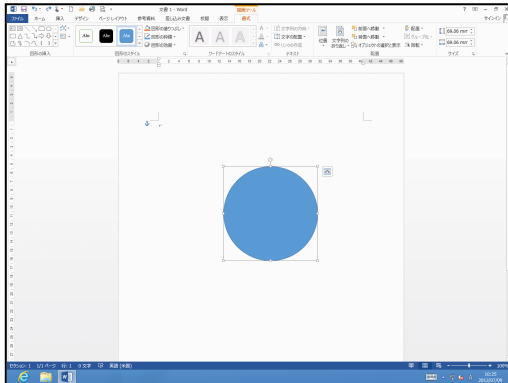


⑤ 図形の塗りつぶし

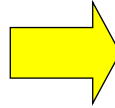
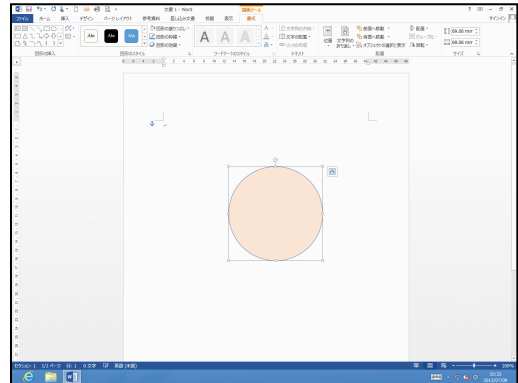
図形には色を設定することができます。ここでテントウムシの顔に色を設定してみましょう。

◆図形を塗りつぶす方法をマスターしましょう。

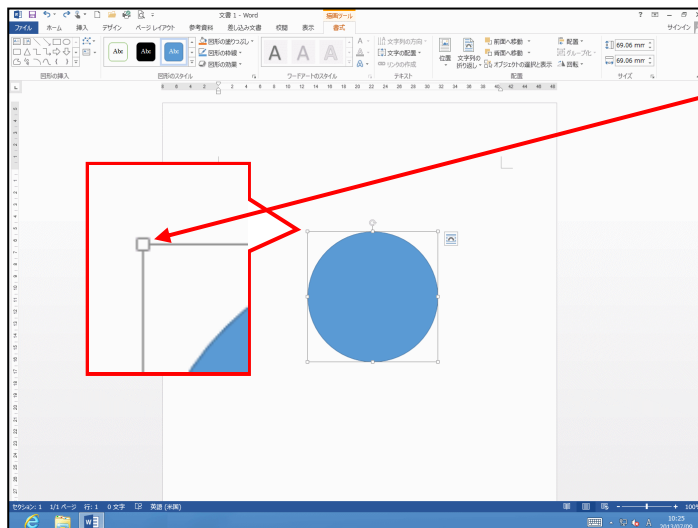
操作前



操作後



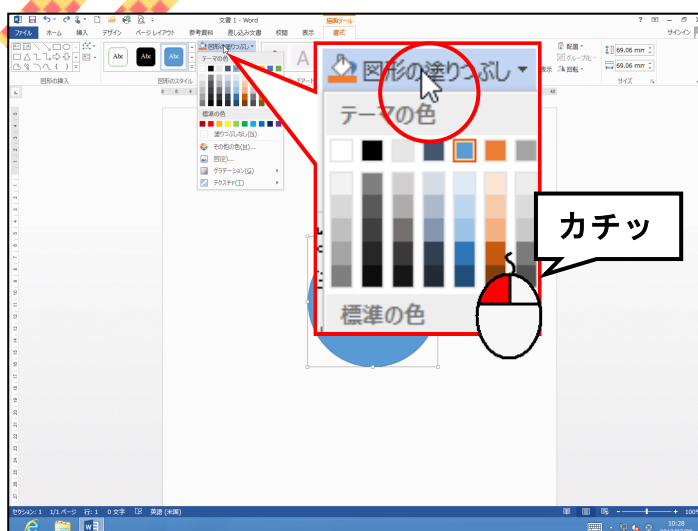
円が選択されていることを確認します。



●円が選択されていると、図形の周りに □（サイズ変更ハンドル）が表示されます。左のようになっていない方は、図形をクリックして、選択しておきましょう。

●円に限らず、テキストボックス以外の図形は、最初に描いた時に、図形の塗りつぶしの色が青色になっています。

「図形のスタイル」グループにある 図形の塗りつぶし・「図形の塗りつぶし」ボタンにポイントし、クリックします。

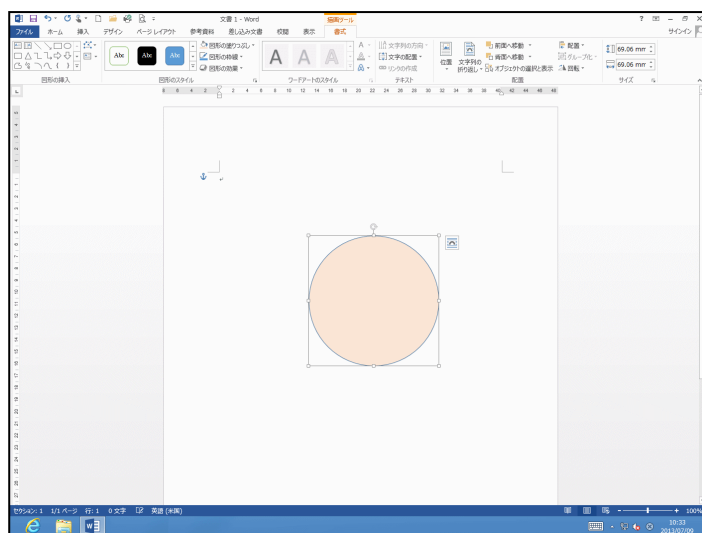
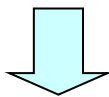
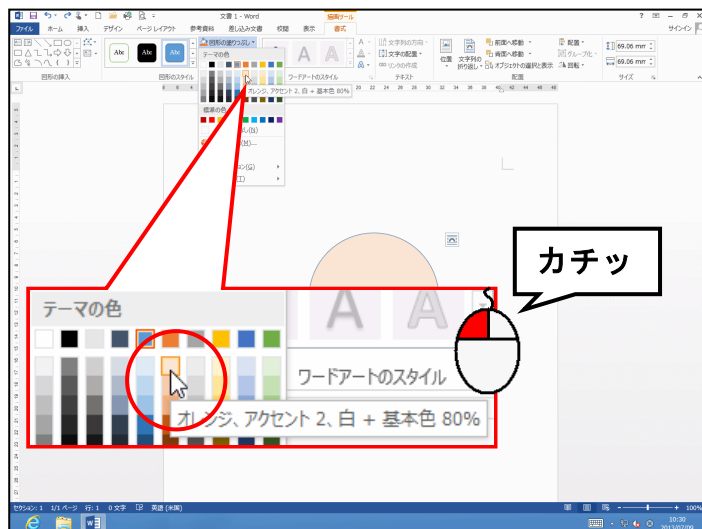


注意!

●【描画】ツールの【書式】タブが選択されていることを確認してから操作してください。選択されていない方は、画面中央上の【書式】タブをクリックしてください。

● をクリックすると、色の選択ができないので、図形の塗りつぶし・ をクリックしましょう。

表示された色の一覧から「オレンジ、アクセント 2、白+基本色 80%」にポイントし、クリックします。



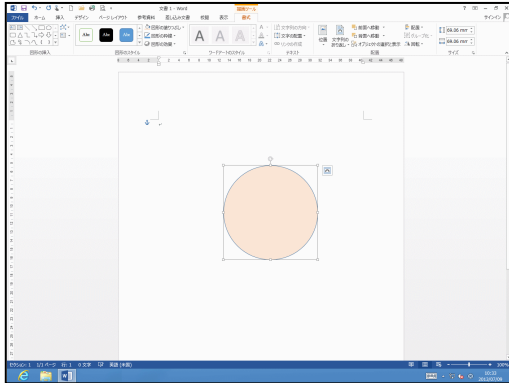
●図形の塗りつぶしの色が変わりました。

⑥ 図形の枠線

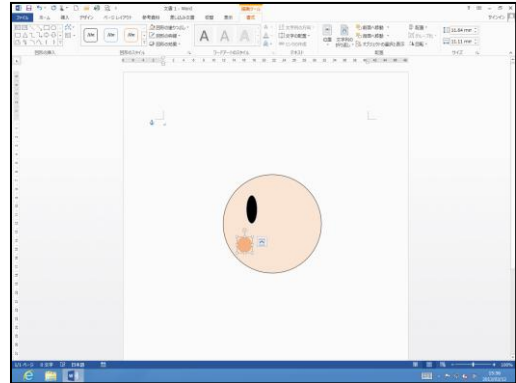
図形の枠線（ふちの色）も色を設定することができます。ここではテントウムシの顔の枠線の色を変更しましょう。

◆図形の枠線の色を設定する方法をマスターしましょう。

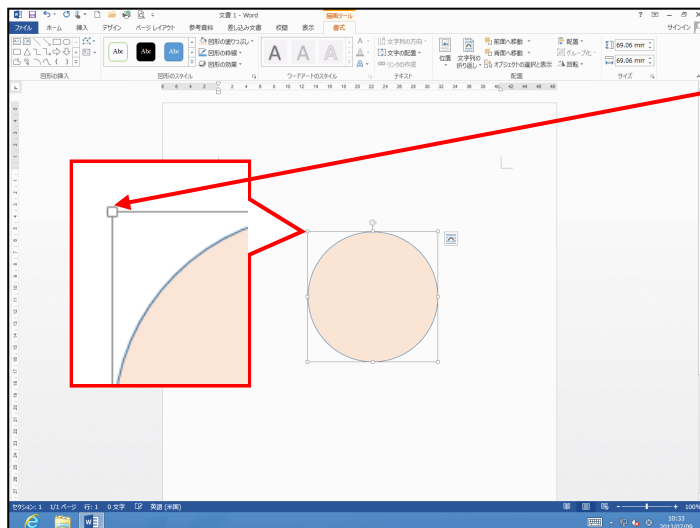
操作前



操作後




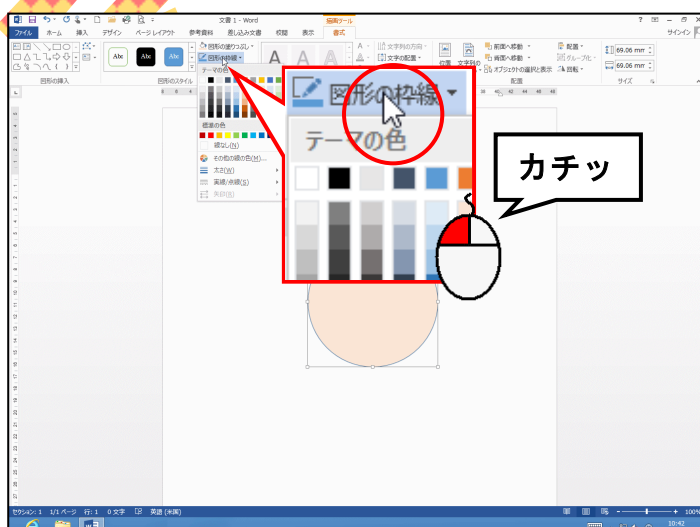
円が選択されていることを確認します。



●円が選択されていると、図形の周りに □（サイズ変更ハンドル）が表示されます。左のようになっていない方は、図形をクリックして、選択しておきましょう。


●円に限らず、テキストボックス以外の図形は、最初に描いた時に、図形の枠線の色が青色になっています。

「図形のスタイル」グループにある  図形の枠線・「図形の枠線」ボタンにポイントし、クリックします。

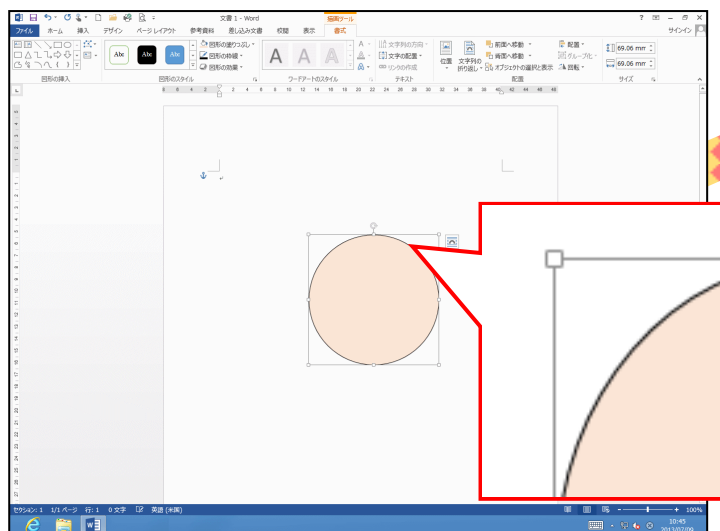
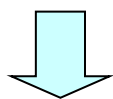
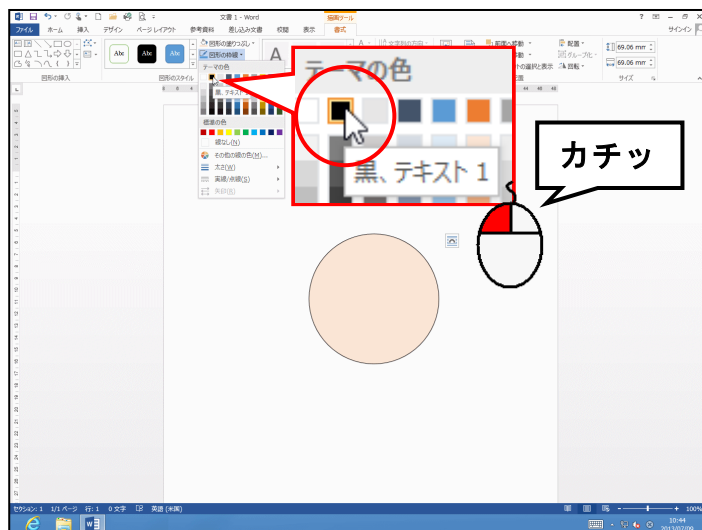


注意!

●「描画」ツールの「書式」タブが選択されていることを確認してから操作してください。選択されていない方は、画面中央上の「書式」タブをクリックしてください。

●  をクリックすると、色の選択ができないので、図形の枠線・をクリックしましょう。

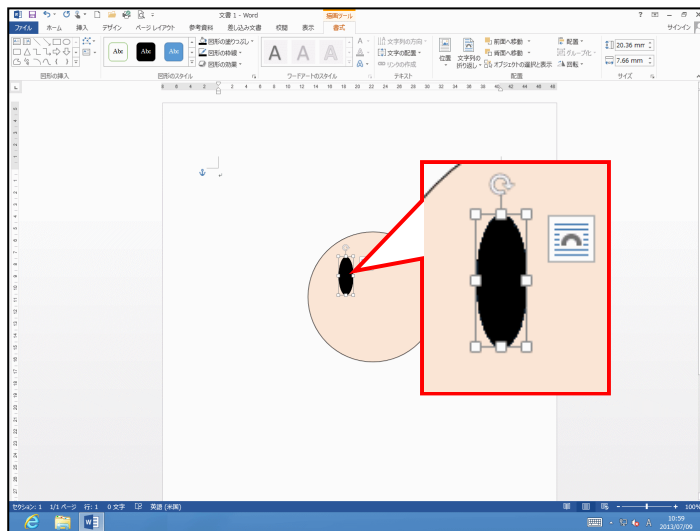
表示された色の一覧から「黒、テキスト1」にポイントし、クリックします。



●図形の枠線の色が変わりました。

◎次の操作の準備として、「テントウムシ」の左目と左頬の図形を描いておきましょう。

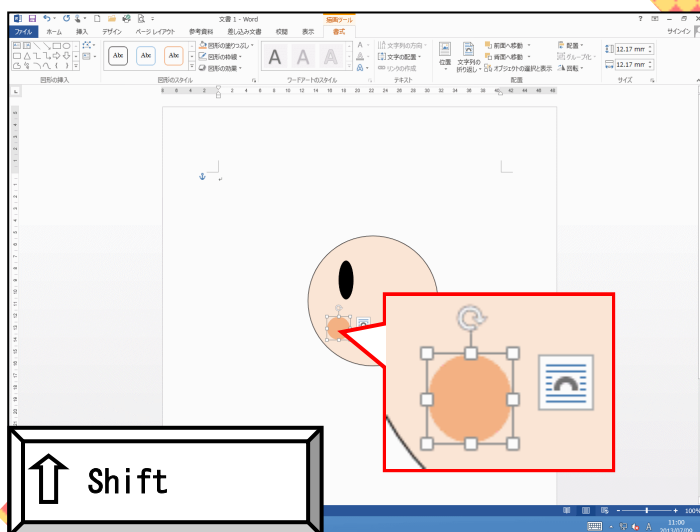
下の画面と同じように、テントウムシの左目を描き、図形の塗りつぶしの色を「黒、テキスト1」に、図形の枠線の色を「黒、テキスト1」に設定しましょう。



●図形の塗りつぶしの設定方法を忘れた方は、P14 ⑤ 図形の塗りつぶしを参照してください。

●図形の枠線の設定方法を忘れた方は、P16 ⑥ 図形の枠線を参照してください。

下の画面と同じように、[Shift] キーを押しながらテントウムシの左頬を描き、図形の塗りつぶしの色を「オレンジ、アクセント 2、白+基本色 40%」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



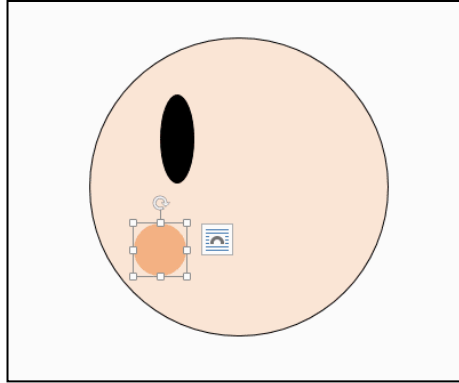
● [Shift] キーを押しながら左頬を描くのは、正円にするためです。

⑦ 図形のコピー

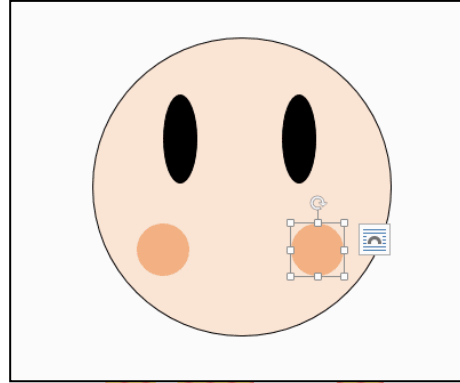
描いた図形と同じものを作成したいという場合は、図形をコピーすると便利です。
ここではテントウムシの目を右側にコピーしてみましょう。

◆図形をコピーする方法をマスターしましょう。

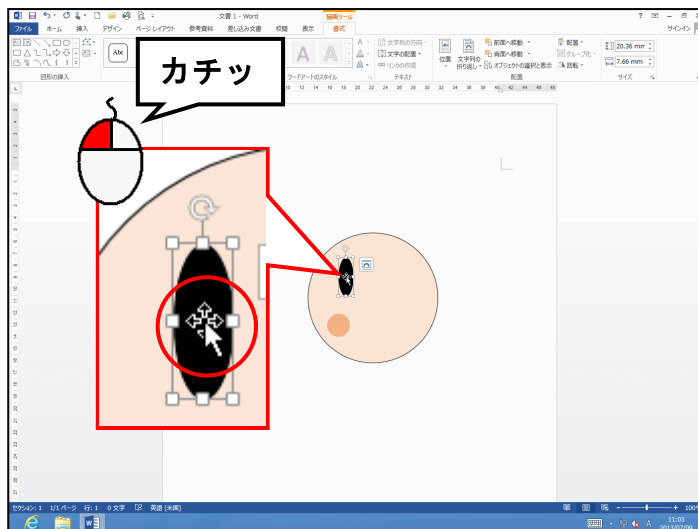
操作前




操作後

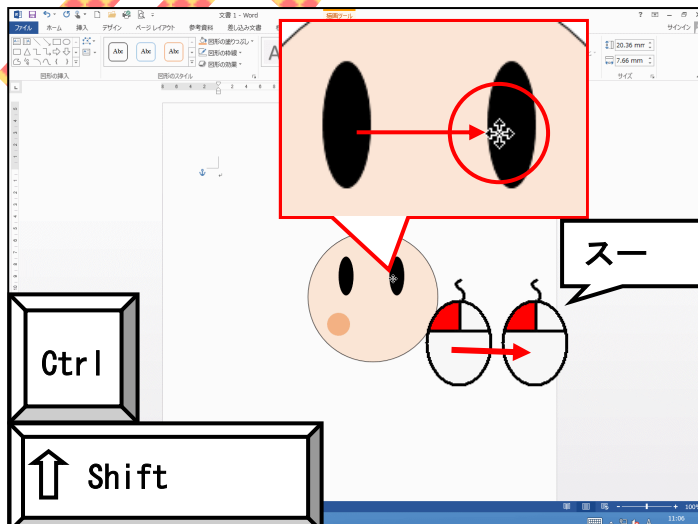


テントウムシの目にポイントし、クリックします。



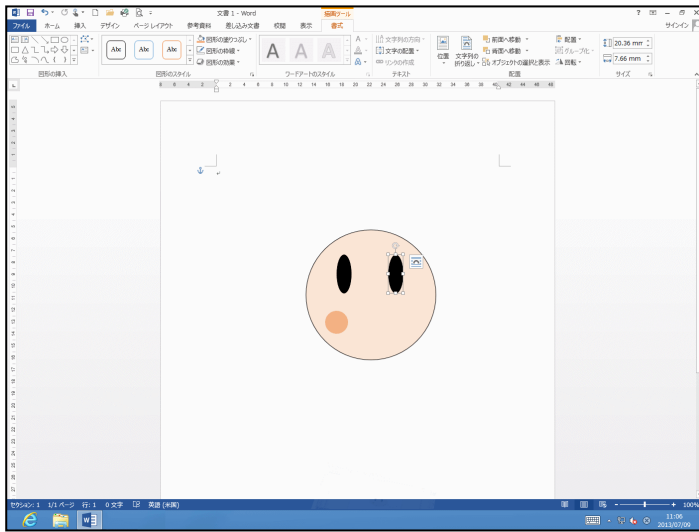
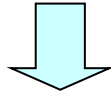
- 目の上にポイントすると、マウスポインターは  の形になります。
- クリックすると、テントウムシの目が選択されます。

【Ctrl】キーを先に押し、続けて【Shift】キーを押しながら、右へドラッグします。

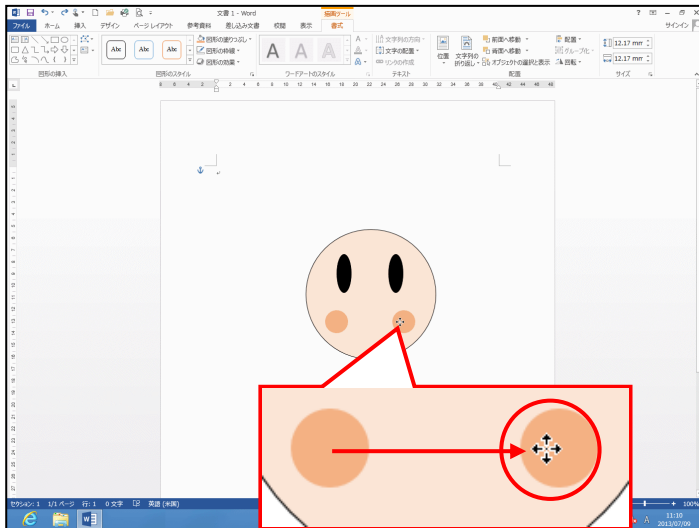


- 単にコピーをするだけなら、【Ctrl】キーを押した状態でドラッグするだけで結構です。
- 【Shift】キーを押すと、水平、垂直に図形が移動します。
- ワード 2013 では、図形をコピーするときは、先に【Ctrl】キーを押すことが条件となりました。





同様に、テントウムシの頬もまっすぐ右へコピーしましょう。

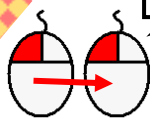


- [Ctrl] キーを押した状態で [Shift] キーを押すと、水平、垂直に図形が移動でき、マウスを離すとコピーできます。

コピーについての補足説明

P209

スー

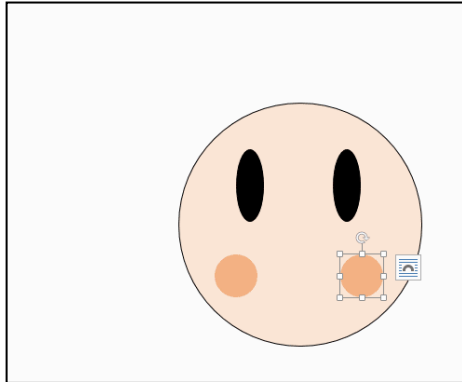


⑧ 図形の回転

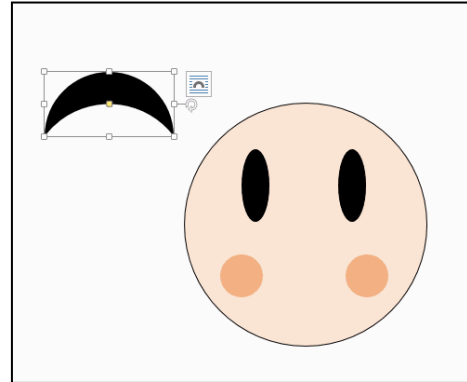
図形は回転することができます。最初に月の図形を挿入すると縦向きになります。ここではテントウムシの頭の上に横向きにのせるために、「月」を回転させてみましょう。

◆図形を回転する方法をマスターしましょう。

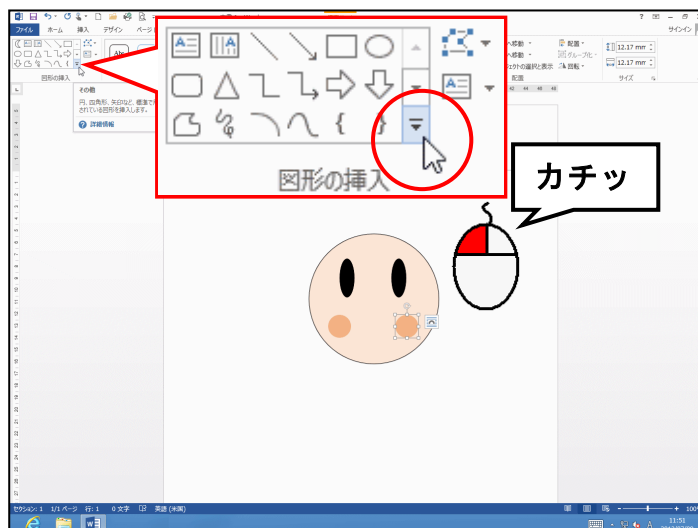
操作前



操作後

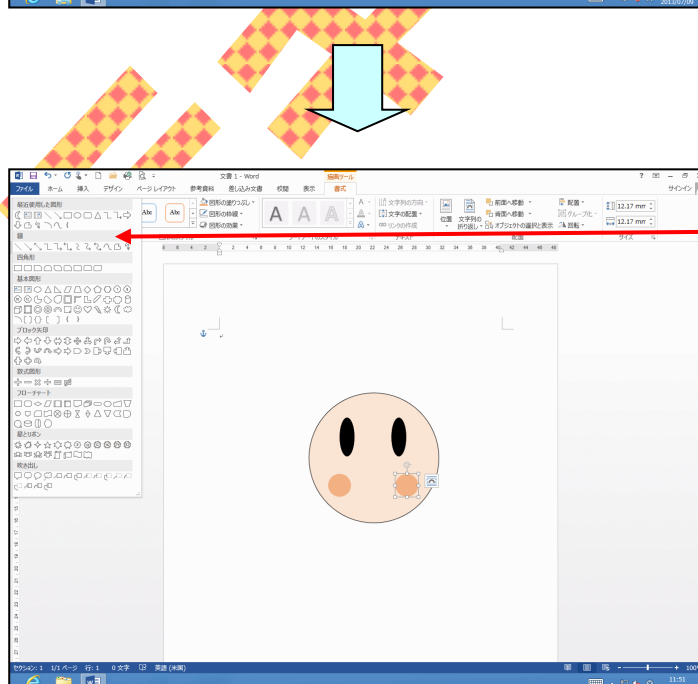


「図形の挿入」グループにある ▾ 「その他」 ボタンにポイントし、クリックします。



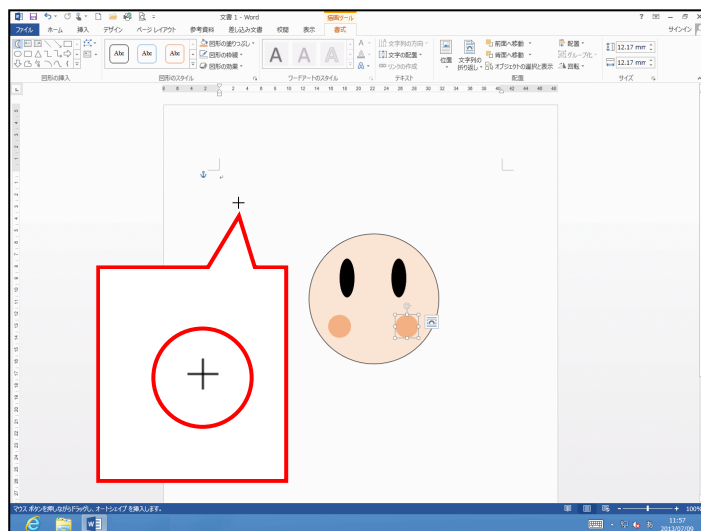
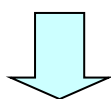
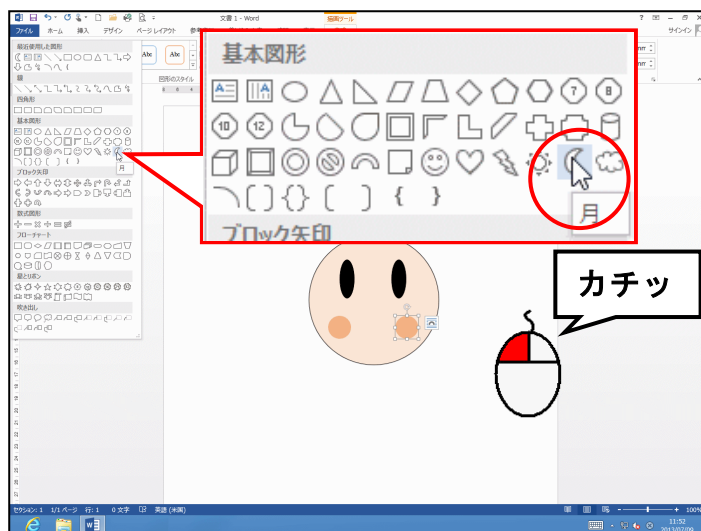
●P6 ① 図形の挿入と同じように、[挿入] タブの [図形] ボタンから目的の図形をクリックしても構いません。

●ここからは、回転するための図形を作成します。



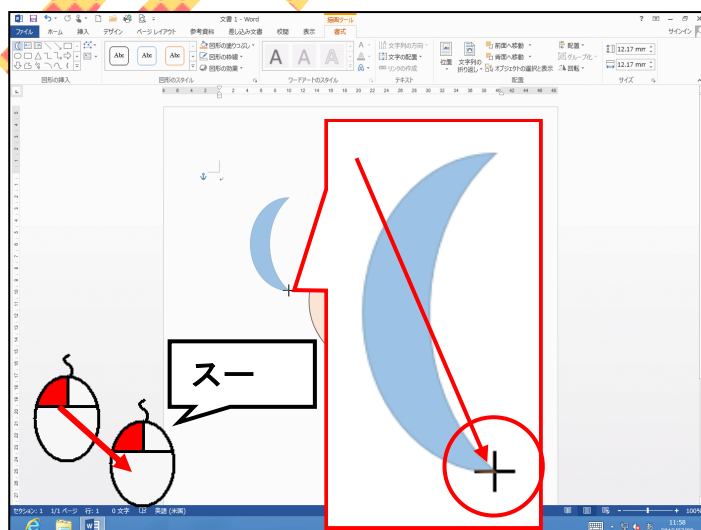
● ▾ 「その他」 ボタンをクリックすると、図形の一覧が表示されます。

「基本図形」の「月」にポイントし、クリックします。

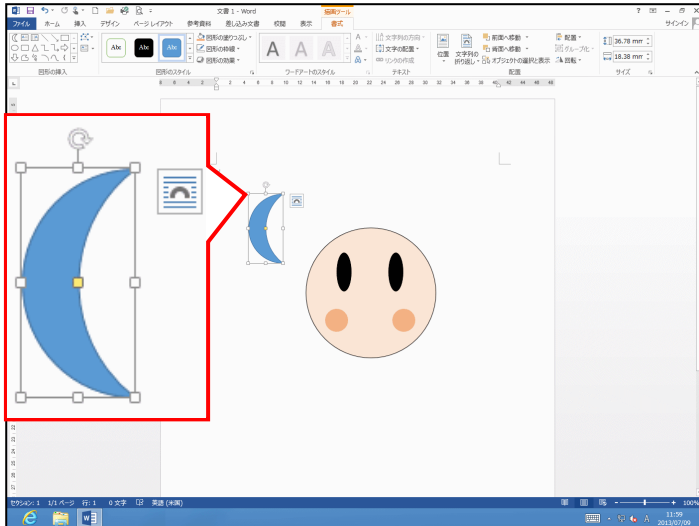
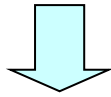


- 「月」をクリックすると、マウスポインターが+の状態になります。


右下に向かってドラッグします。

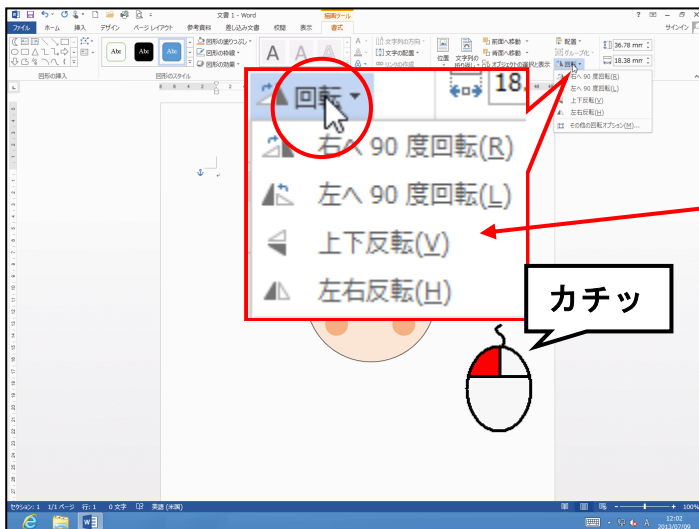


- 注意!**
- クリックしてしまうと、既定の大きさの「月」が描かれてしまうので注意しましょう。




- マウスから指を離れた時点で月が描かれます。

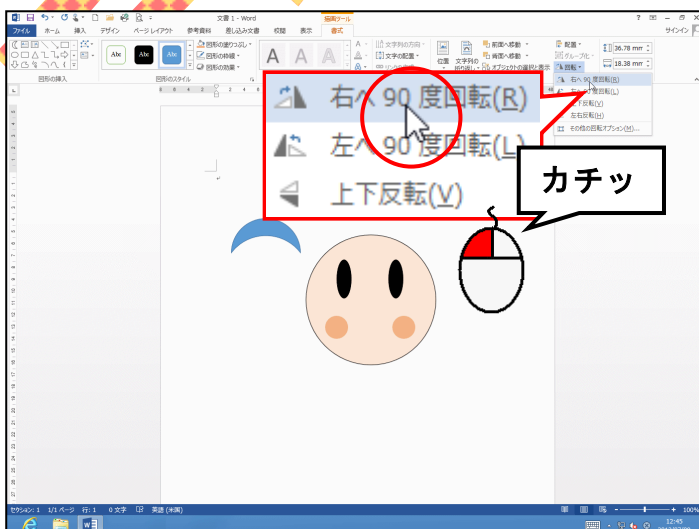
描いた「月」が選択されていること、描画ツールの「書式」タブが選択されていることを確認して、[配置] グループにある  [回転] ボタンにポイントし、クリックします。



- ここから、実際に回転するための操作になります。

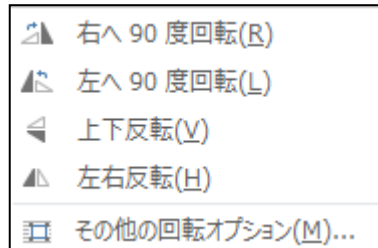
-  [回転] ボタンをクリックすると、左のように一覧が表示されます。

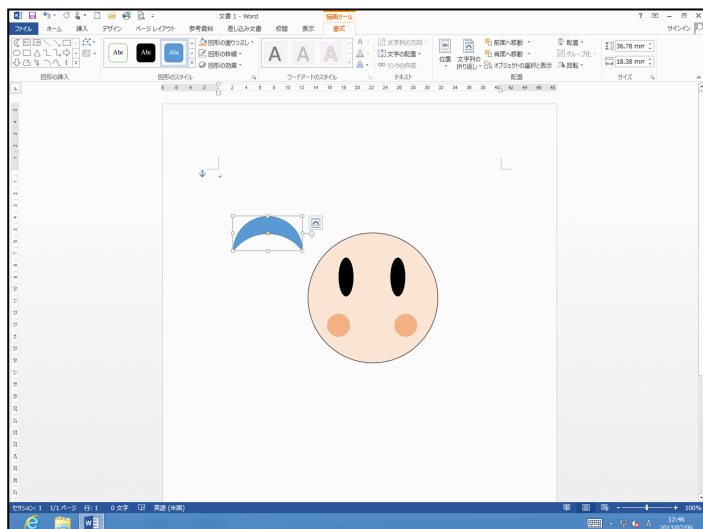
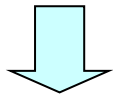
表示された一覧から [右へ 90 度回転(R)] にポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

- 図形の回転には、下図のように4つの種類があります。

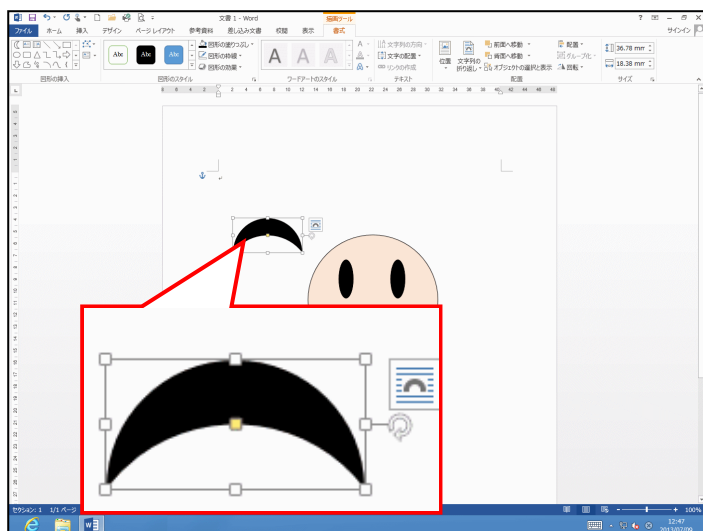




余裕があれば読んでね

- 「月」の中央上にある灰色の🌀を回転ハンドルといいます。🌀をドラッグすると、マウスから指を離れた時点で月が傾きます。

「月」の塗りつぶしの色を「黒、テキスト1」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



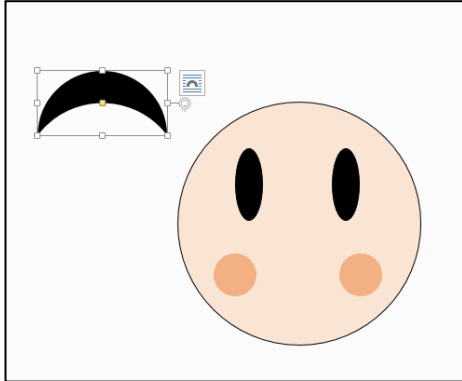
- 図形の塗りつぶしの方法を忘れた方は、P14 ⑤ 図形の塗りつぶしを参照してください。
- 図形の枠線の設定方法を忘れた方は、P16 ⑥ 図形の枠線を参照してください。

⑨ 図形のサイズ変更

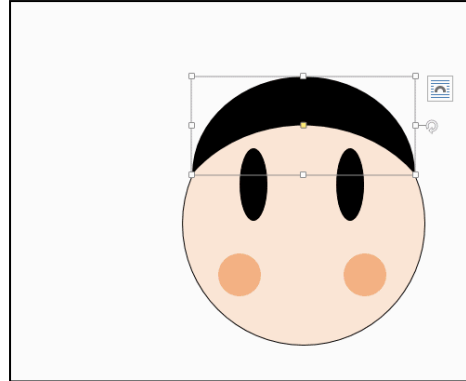
図形はサイズを変更することができます。ここでは、先ほどのテントウムシの頭の部分に当たる「月」の大きさを変更してみましょう。

◆図形をサイズ変更する方法をマスターしましょう。

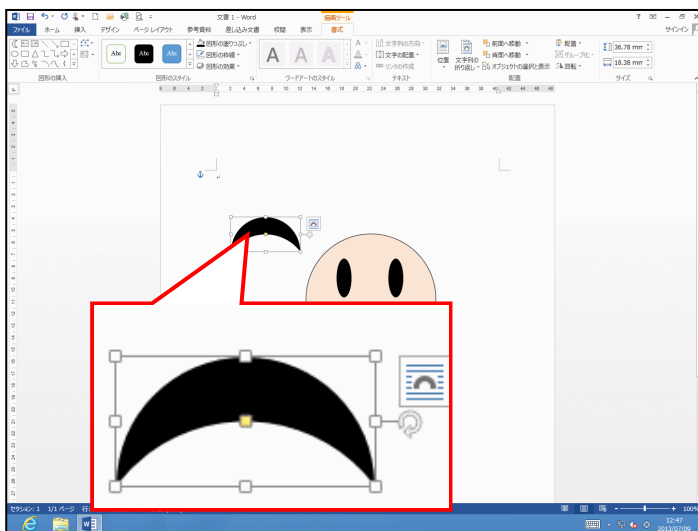
操作前



操作後

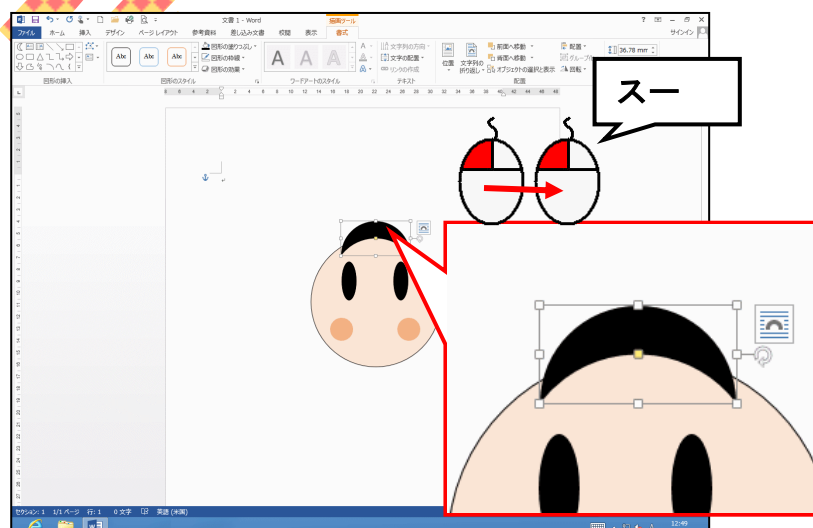


「月」が選択されていることを確認します。

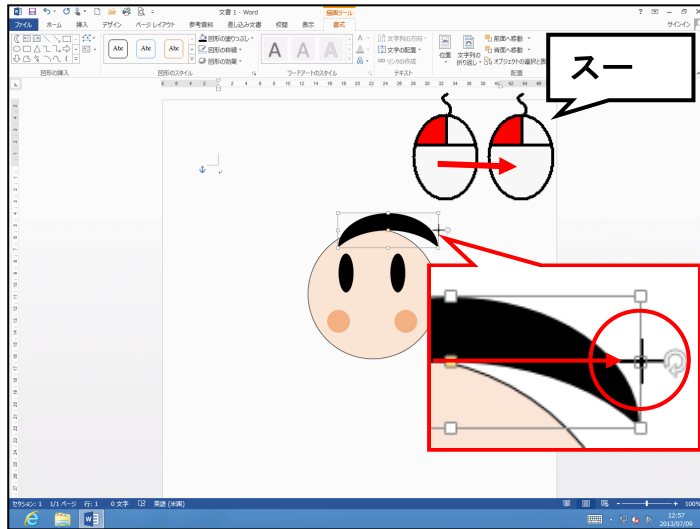


- 「月」を選択すると、図形の周りに□（サイズ変更ハンドル）が表示されます。

そのまま右にドラッグし、顔の上に重ねます。



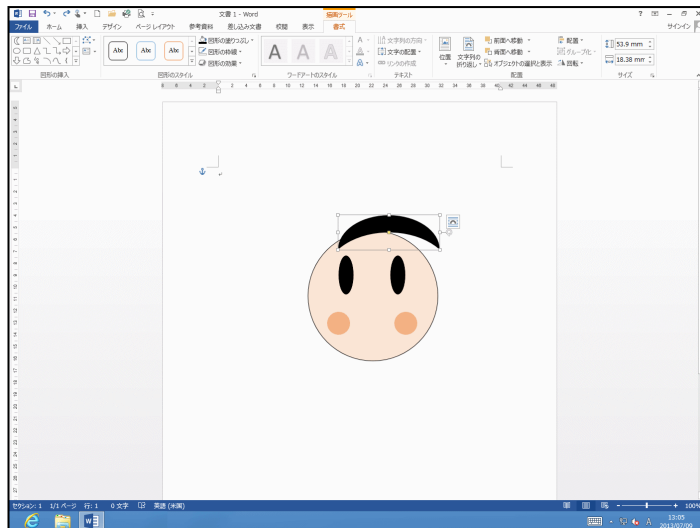
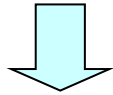
図形の右側中央にある □ にポイントし、マウスポインターが ⇔ の状態になっていることを確認して、顔の幅と同じぐらいになるまで右方向へドラッグします。



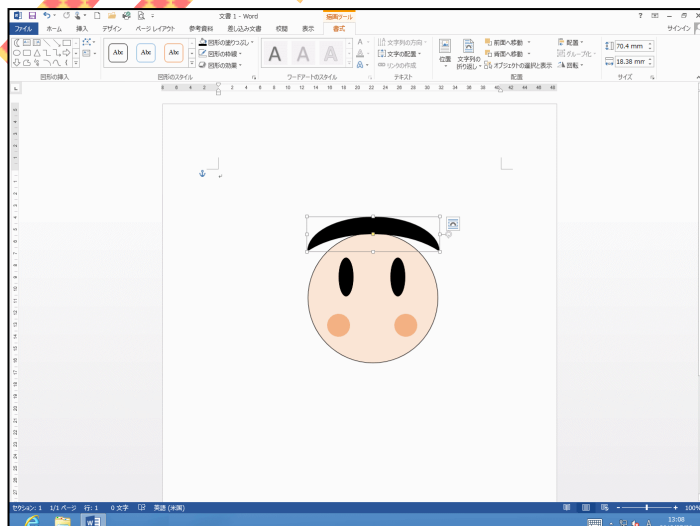
- □ (サイズ変更ハンドル) にポイントすると、マウスポインターは ⇔ の形になります。マウスポインターが ⇔ の状態でドラッグすると、図形を左右にサイズを変えることができます。

- ドラッグ中のマウスポインターの形は+になっています。

- 頭の部分が顔の幅よりも大きい方は、左側にドラッグして頭の部分を小さくしましょう。

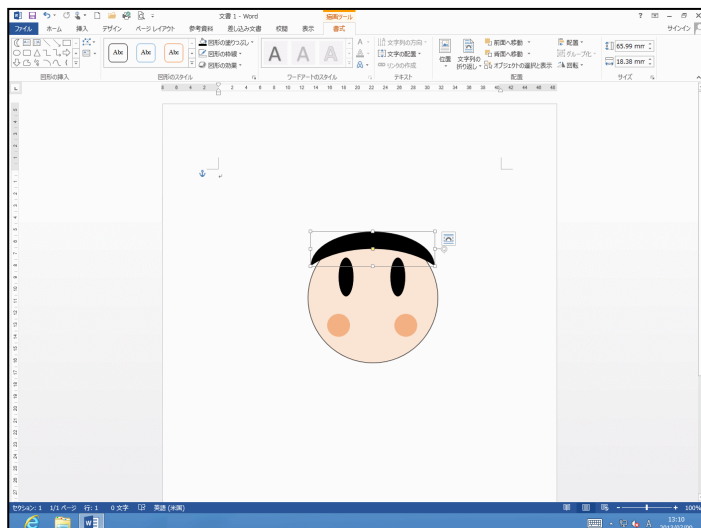


同様に、図形の左側中央にある □ にポイントし、顔の幅と同じぐらいになるまで左方向へドラッグして、図形を拡大しましょう。



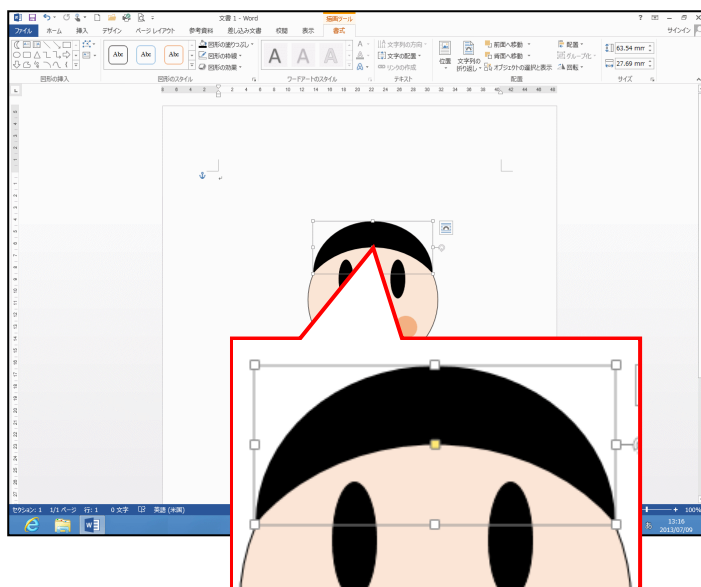
- 頭の部分が顔の幅よりも大きい方は、右側にドラッグして頭の部分を小さくしましょう。

下図のように「月」の図形を移動して、顔に重ねましょう。



- 図形の移動方法を忘れた方は、
P9 ② 図形の移動を参照してください。

頭の両端を合わせ、図形と図形の間にすき間が見えないように、大きさと位置を調整しましょう。



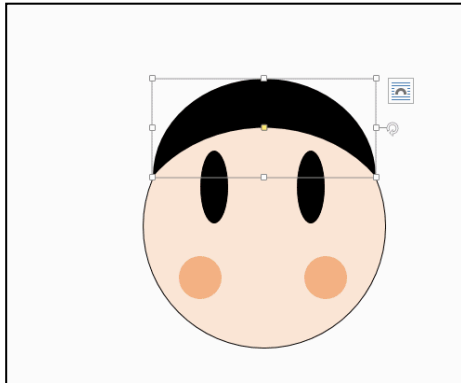
- 頭の部分ができました。
- 丸より少しはみ出たら、「月」を丸に収まる大きさに変更しましょう。
- 図形を左右上下に少しずつ動かしたい時は、図形を選択した状態で、
[→]、[←]、[↑]、[↓] キーを押すと図形の移動がスムーズにいきます。

⑩ 図形の変形

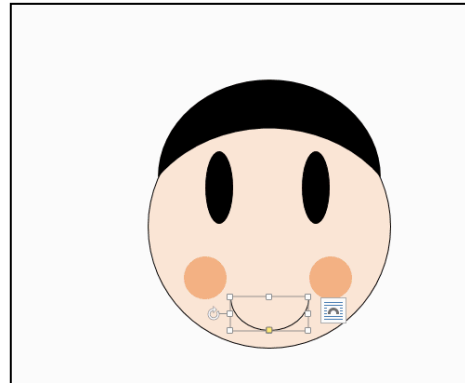
図形によっては変形できるものがあります。ここではテントウムシの口の部分である「月」を変形させてみましょう。

◆図形を変形する方法をマスターしましょう。

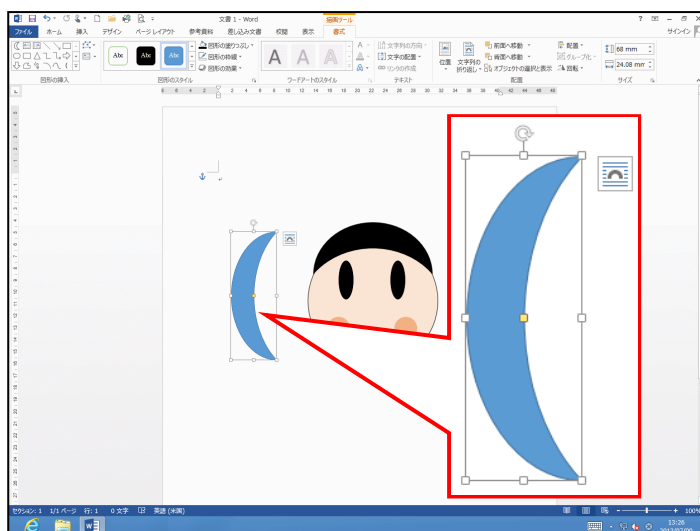
操作前



操作後

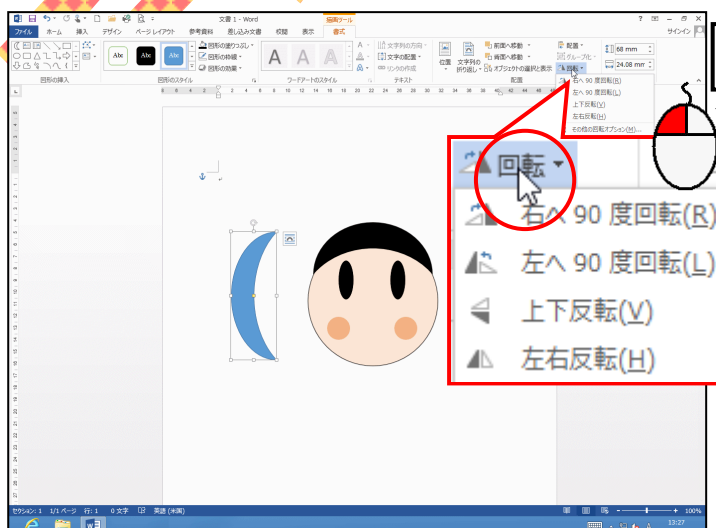


もう一度、図形の「月」を挿入し、大きめに描きます。

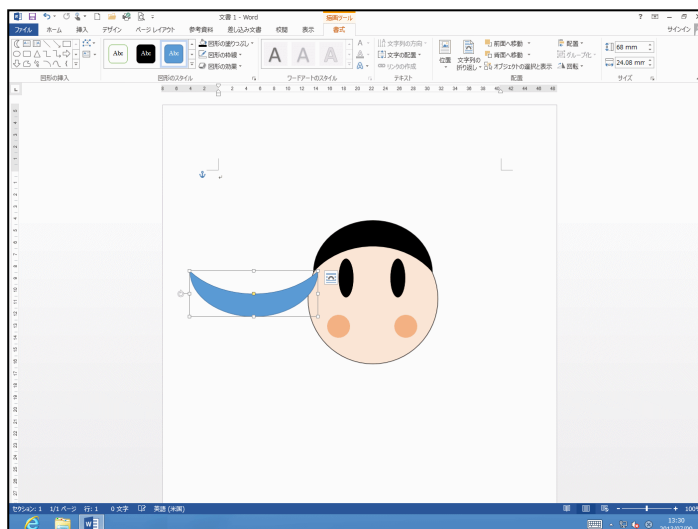
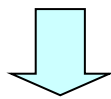
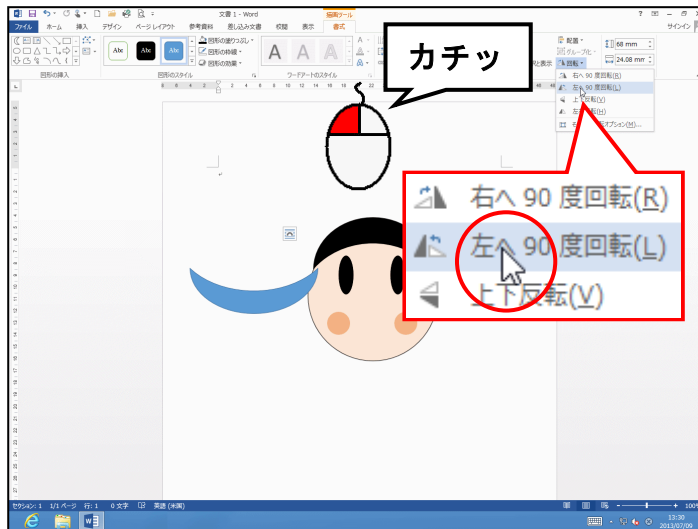


●小さく描いてしまうと、後で説明する □（変形ハンドル）が表示されないので、大きめに描いておきましょう。

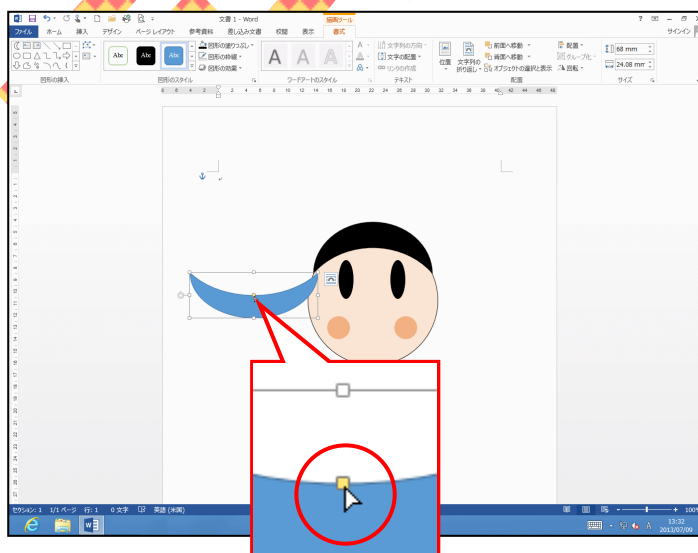
【配置】グループにある [回転] ボタンにポイントし、クリックします。



表示された一覧から「左へ90度回転(L)」にポイントし、クリックします。



■（変形ハンドル）にポイントします。




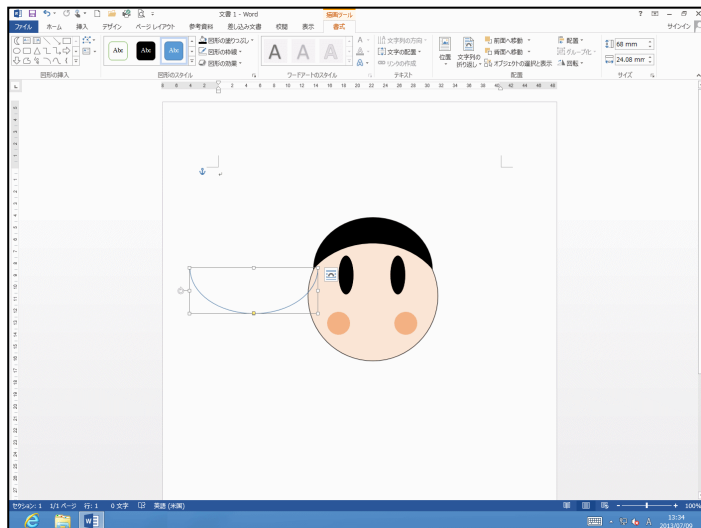
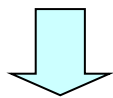
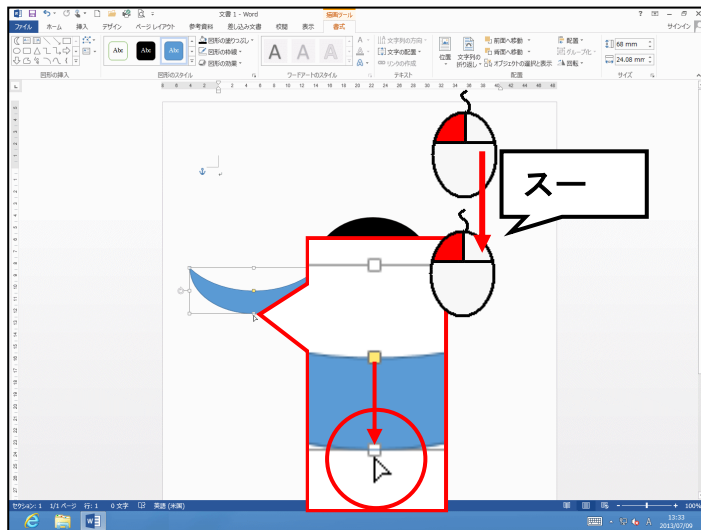
● ■（変形ハンドル）にポイントすると、マウスポインターは ▸ になります。

● ■（変形ハンドル）が表示された図形では、■ をドラッグすると図形を変形することができます。

注意!

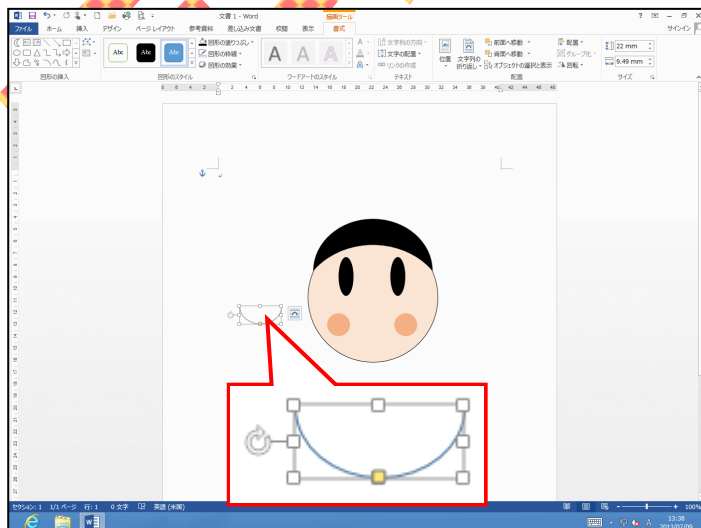
● ■（変形ハンドル）は、図形によって表示されるものとされないものがあります。

マウスポインターが  になっていることを確認して、下へドラッグします。



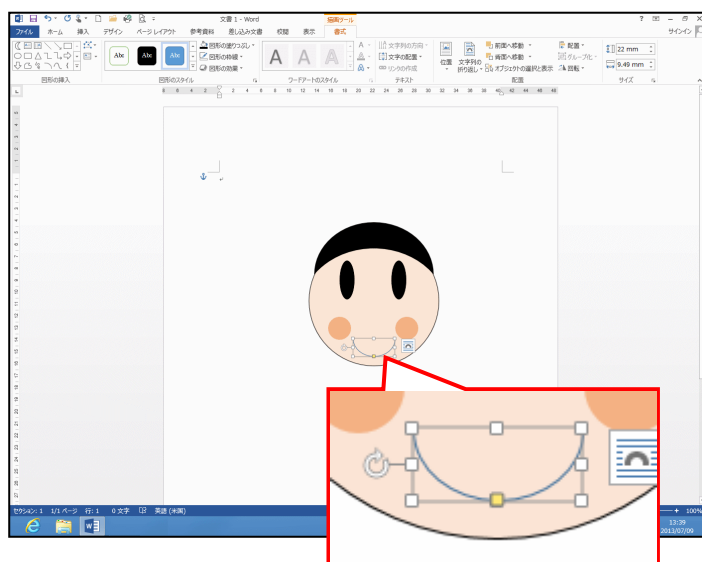
●月の形が変形されました。

「月」を小さくします。



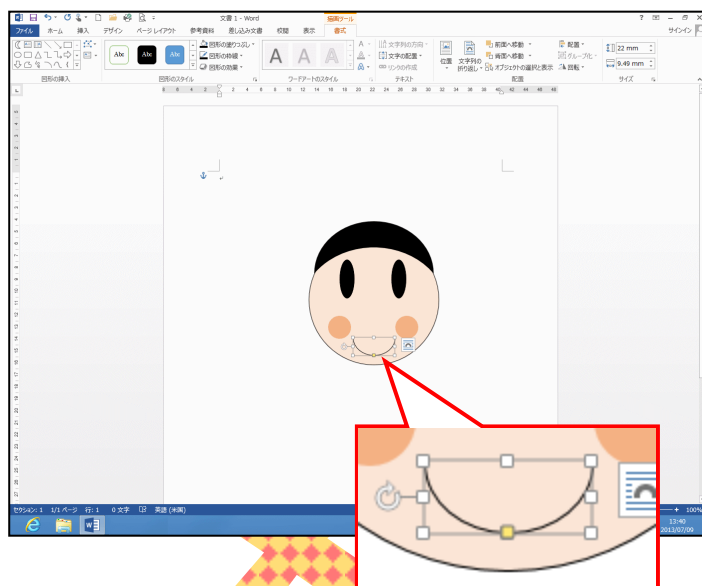
●図形のサイズ変更の方法を忘れた方は、P25 ⑨ 図形のサイズ変更を参照してください。

「月」を口の位置へ移動します。



●図形の移動方法を忘れた方は、
P9 ② 図形の移動を参照してください。

「月」の図形の枠線の色を「黒、テキスト1」に設定しておきましょう。



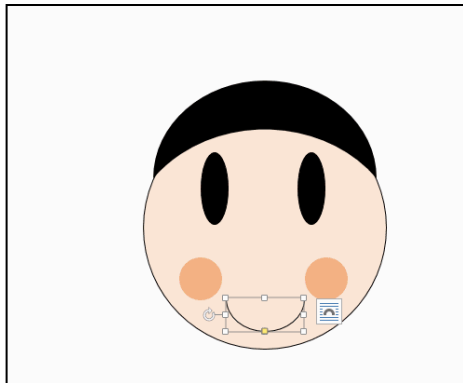
●図形の枠線の設定方法を忘れた方は、
P16 ⑥ 図形の枠線を参照してください。

⑪ 図形の枠線の太さ

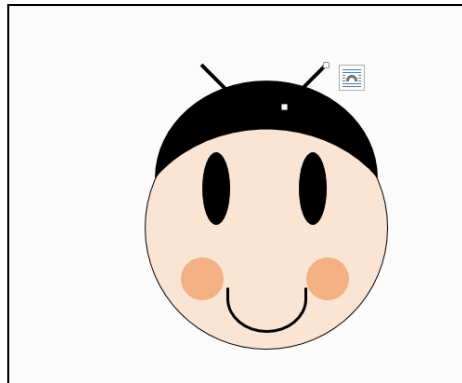
図形の枠線は、太さを変更することができます。ここではテントウムシの口を太くしてみましよう。

◆図形の枠線の太さを変更する方法をマスターしましょう。

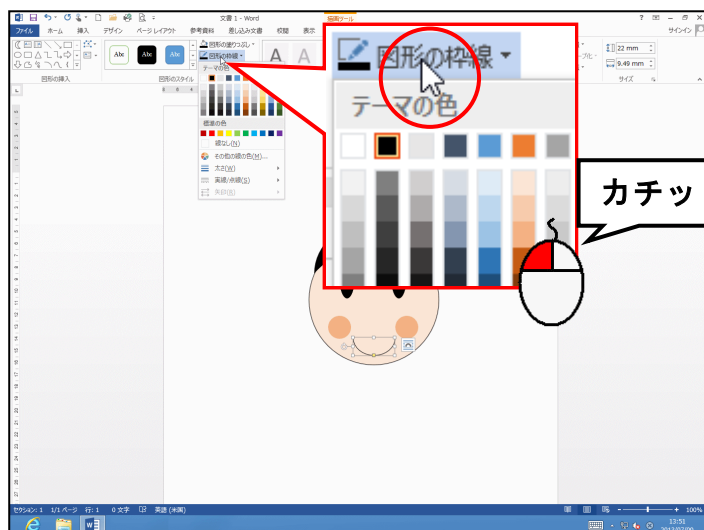
操作前



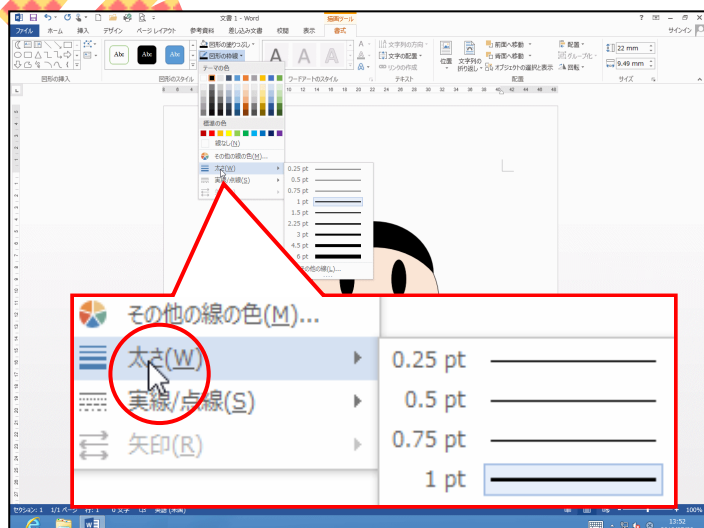
操作後



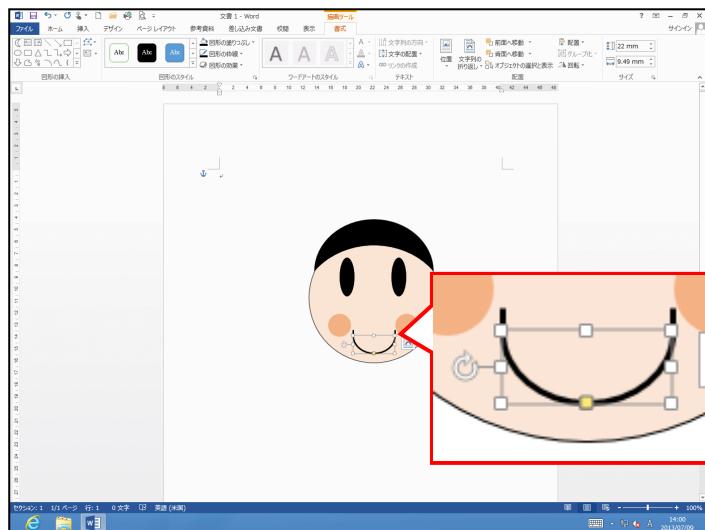
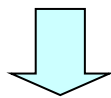
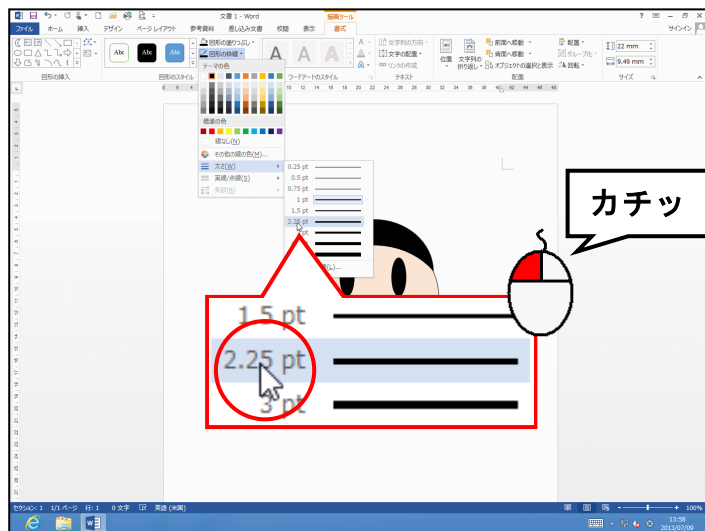
「月」の図形が選択されていることを確認し、[図形のスタイル] グループにある
図形の枠線・[図形の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。



表示された一覧から [太さ(W)] にポイントします。



右側に表示された一覧から「2.25pt」にポイントし、クリックします。

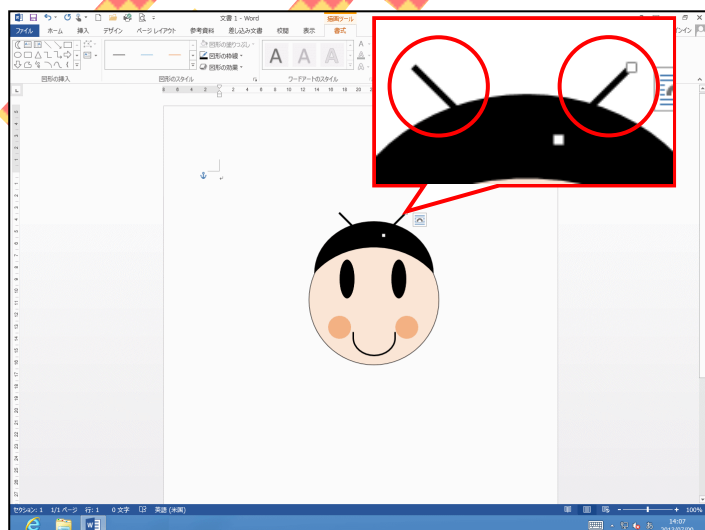


下図のように、頭の部分に「直線」で触角を描き、次のように設定しましょう。

・図形—「直線」

・太さ—「3pt」

・枠線の色—「黒、テキスト 1」



手順

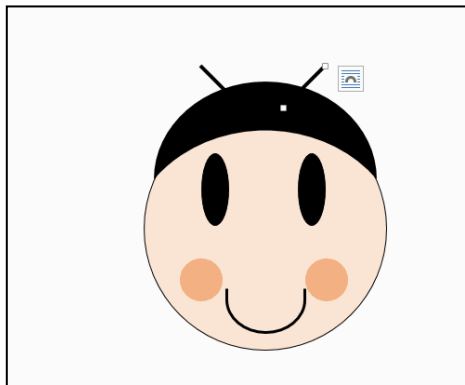
- ① 右図のように図形の「直線」を使って、斜めに線を描きます。
- ② 上記の太さ、枠線の色を設定します。
- ③ 線を右に水平にコピーします。
● 図形のコピーを忘れた方は、P19 ⑦ 図形のコピーを参照してください。
- ④ コピーした右側の線を左右反転します。
● 図形の回転を忘れた方は、P21 ⑧ 図形の回転を参照してください。
- ⑤ 左のように位置を調整します。

⑫ 図形のグループ化

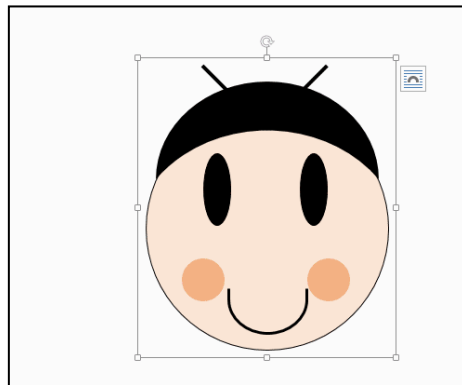
複数の図形を1つにまとめることを「グループ化」といいます。今の状態では、図形はバラバラの状態、図形を移動するときに個々に移動しないといけません。一度に移動させるには1つにまとめる必要があります。テントウムシの顔を1つの図形にグループ化してみましょう。

◆図形をひとまとまりにする（グループ化）方法をマスターしましょう。

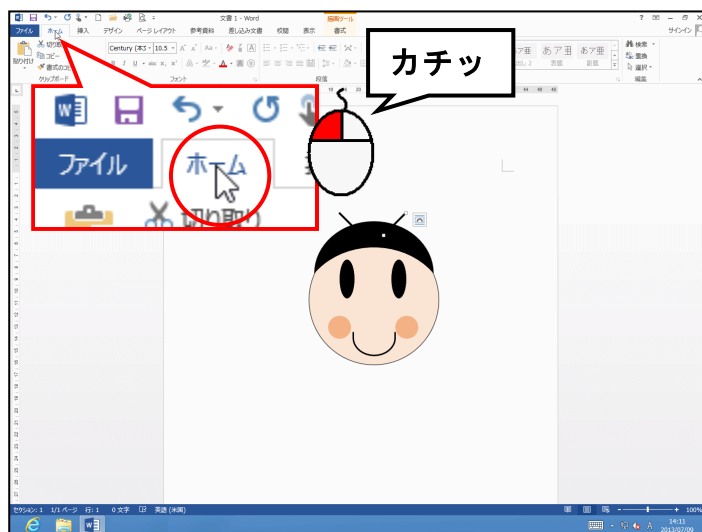
操作前



操作後

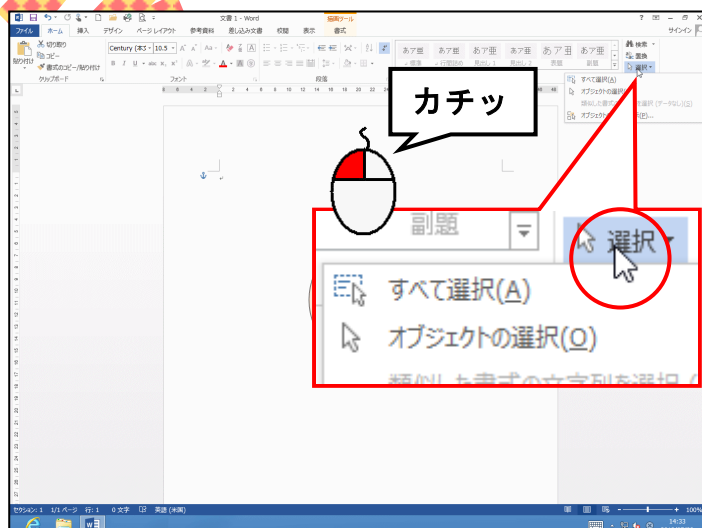


〔ホーム〕タブにポイントし、クリックします。



●〔ホーム〕タブが表示されている方は、この操作は必要ありません。

〔編集〕グループにある 選択・〔選択〕ボタンにポイントし、クリックします。

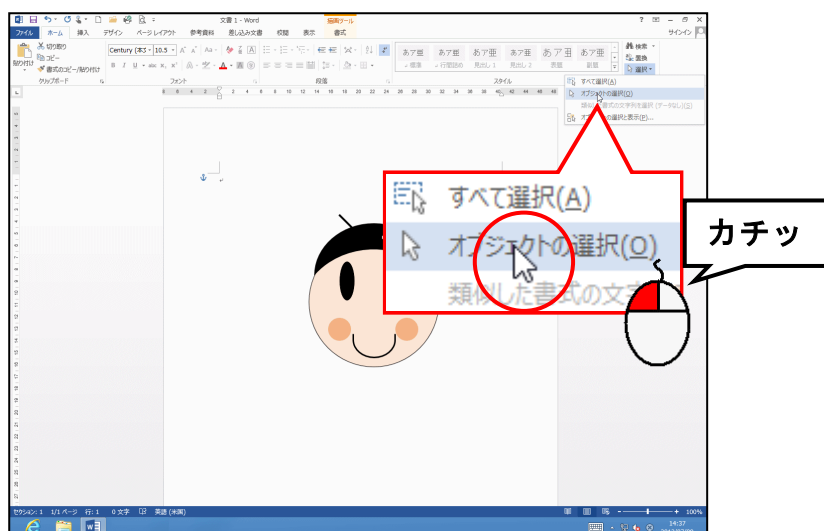


●リボンが表示されていない方は、P216 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
（下記のような状態の方）

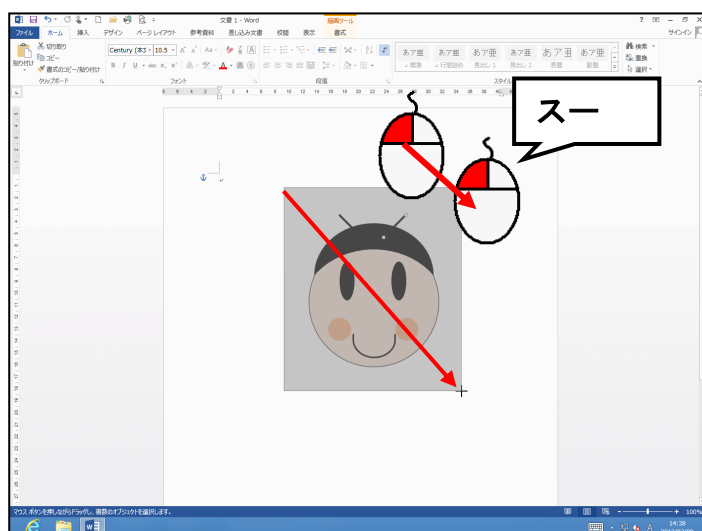
ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考文献 差し込み文書 校閲 表示 書式



表示された一覧から「オブジェクトの選択(0)」にポイントし、クリックします。

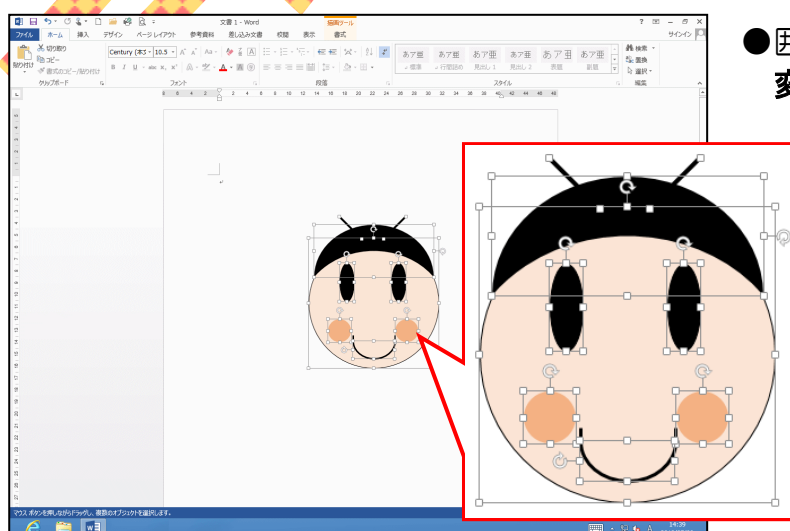


テントウムシ全体を囲むように、左上から右下に向かってドラッグします。



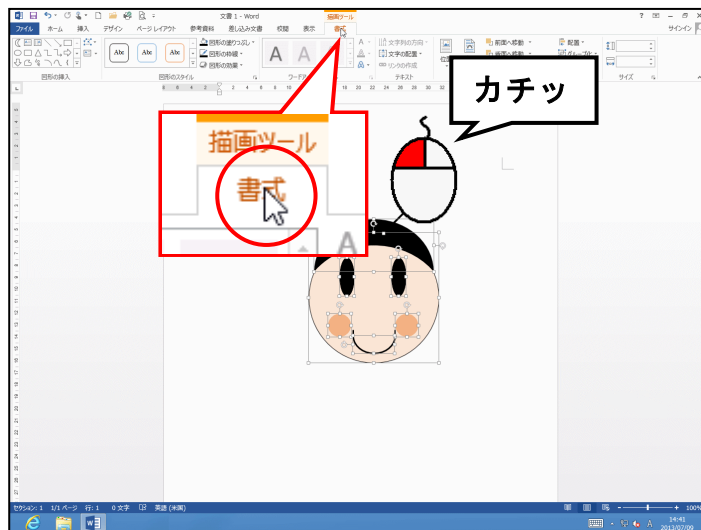
注意!

- ドラッグした時に、左のように灰色の四角形で囲まれた場所から、図形が少しでもはみだしてしまうと、その図形は選択されなくなるので、注意しましょう。

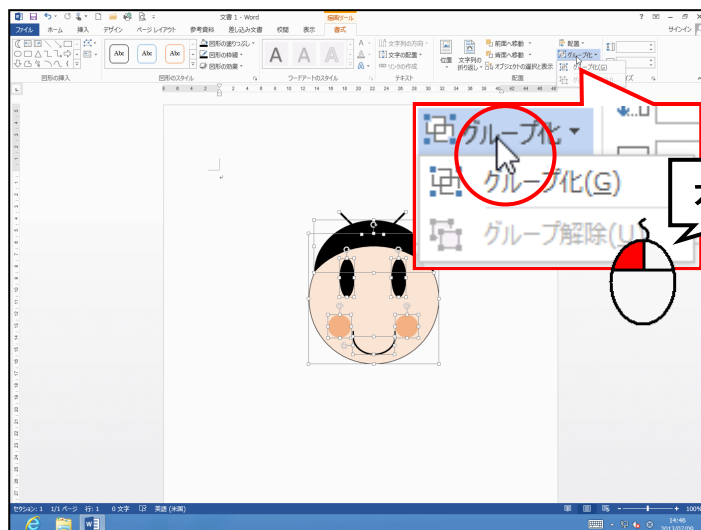


- 囲んだ図形のすべてに □ (サイズ変更ハンドル) が表示されました。

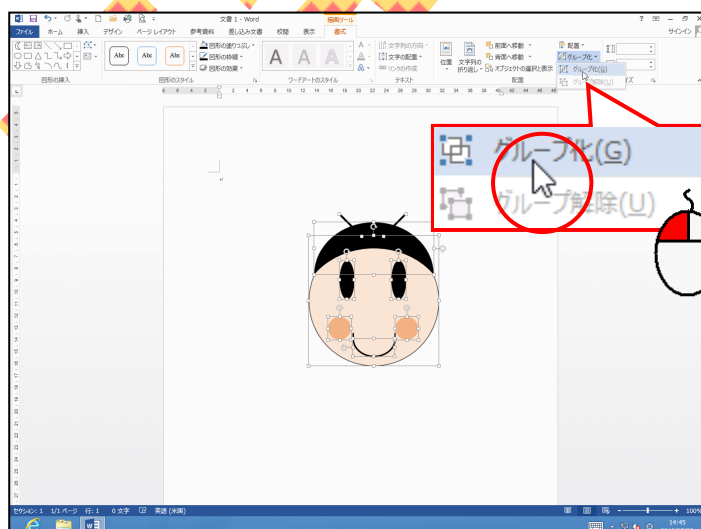
描画ツールの「書式」タブにポイントし、クリックします。

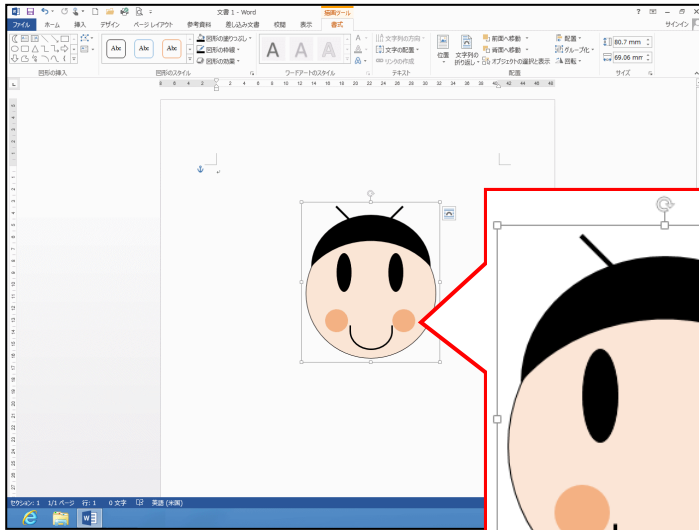
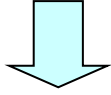


「配置」グループにある「グループ化」ボタンにポイントし、クリックします。

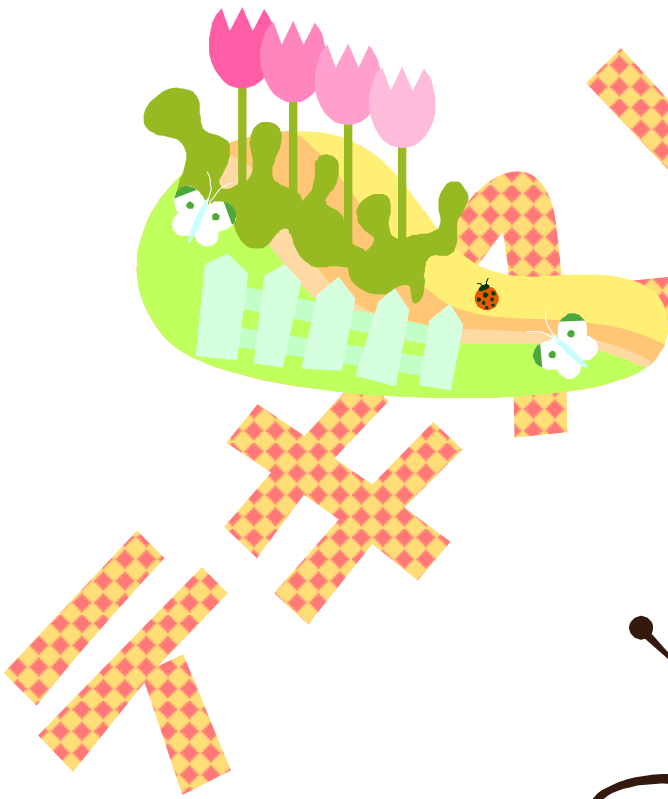


表示された一覧から「グループ化(G)」にポイントし、クリックします。





●[グループ化(G)]をクリックすると、
図形がひとまとまりになりました。

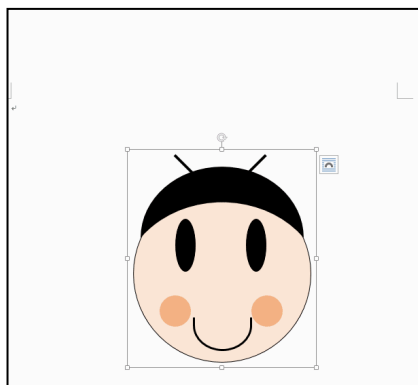


(2) テントウムシの胴体を描く (図形の順序)

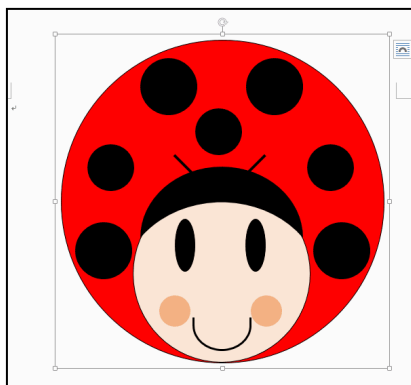
ここではテントウムシの胴体を描きますが、図形は描いた順番に重なっていきますので、テントウムシの顔より前に胴体が表示されます。図形の順序を入れ替えて、テントウムシの胴体の部分を、後へ移動しましょう。

◆図形の順序を変更する方法をマスターしましょう。

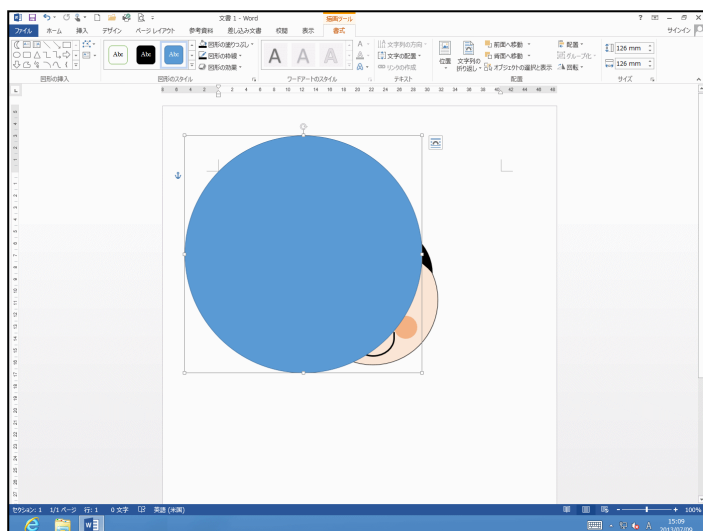
操作前



操作後



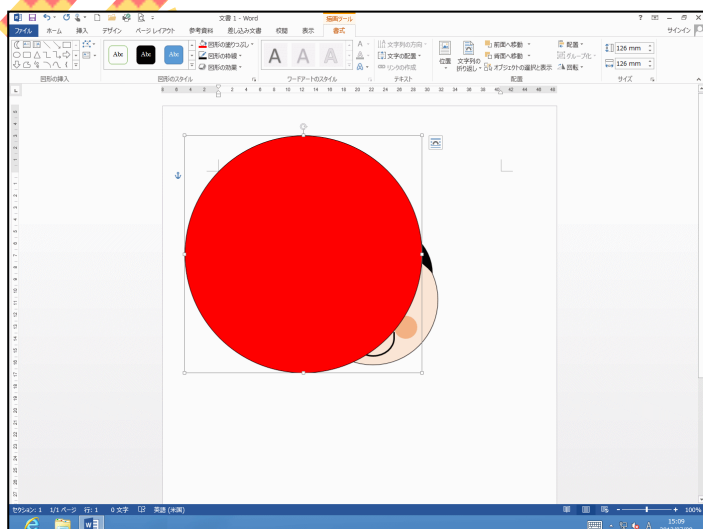
図のように、正円を描きます。



●図形の挿入の方法を忘れた方は、**P6 ① 図形の挿入**を参照してください。

●テントウムシの体を描きます。顔に重なっても、顔の後ろに入れ替えられますので、気にせず描いていきましょう。

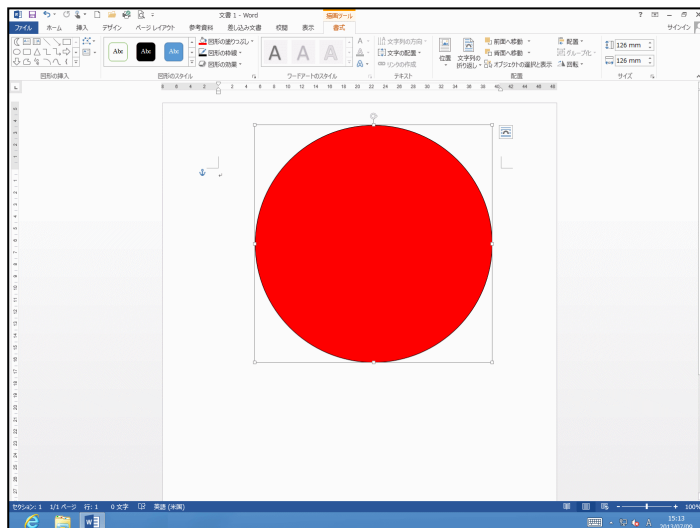
正円の塗りつぶしの色を「赤」に、図形の枠線の色を「黒、テキスト 1」に設定しましょう。



●図形の塗りつぶしの方法を忘れた方は、**P14 ⑤ 図形の塗りつぶし**を参照してください。

●図形の枠線の設定方法を忘れた方は、**P16 ⑥ 図形の枠線**を参照してください。

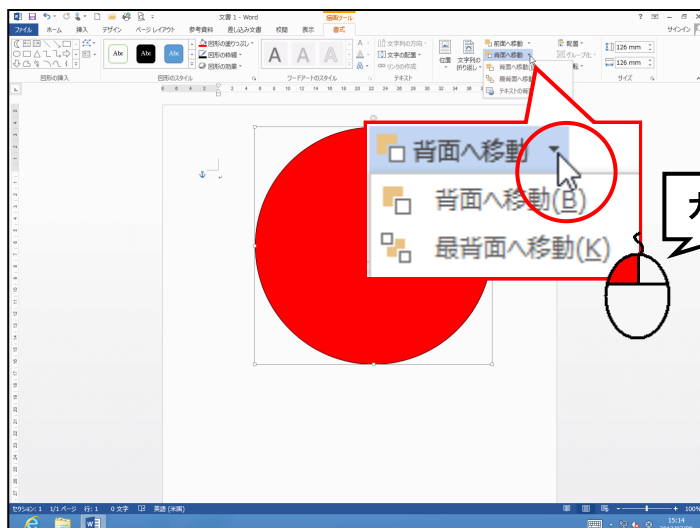
正円を、顔の上に移動します。



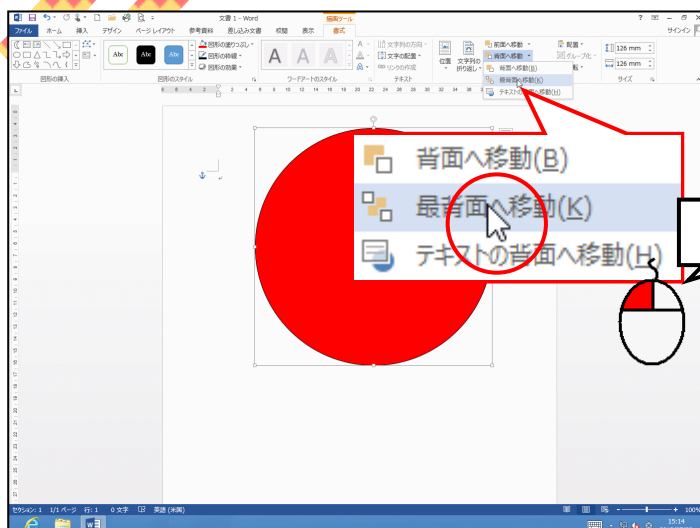
●正円を移動すると、顔が隠れてしまいました。消えてしまったわけではないので、気にせずそのまま進みましょう。

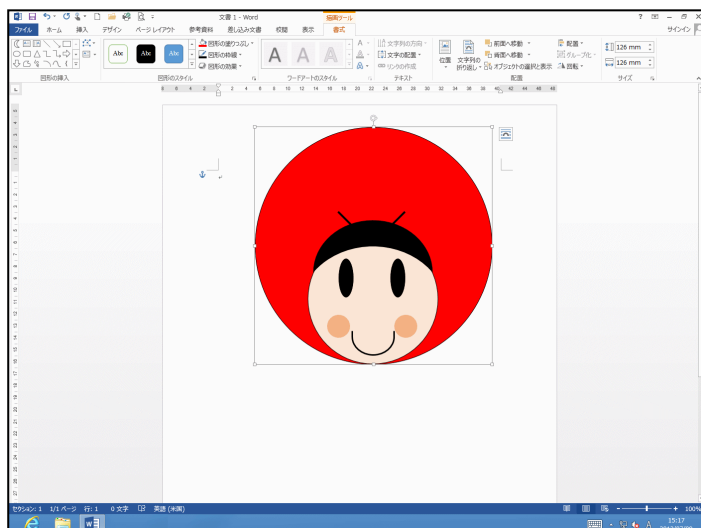
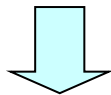


正円が選択されていること、描画ツールの「書式」タブが選択されていることを確認し、「配置」グループにある「背面へ移動」▼「背面へ移動」ボタンの横の▼にポイントし、クリックします。



表示された一覧から「最背面へ移動(K)」にポイントし、クリックします。

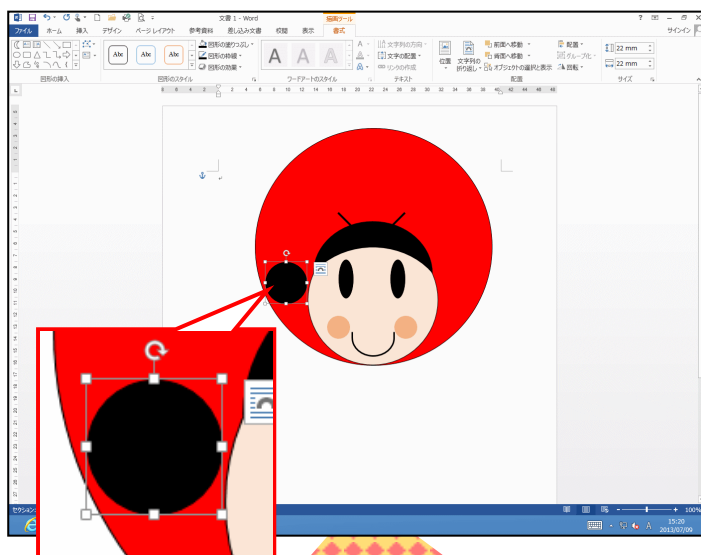




●【最背面へ移動(K)】をクリックすると、テントウムシの顔が赤い円の前面に表示されました。

●左のようになっていない方は、図形の大きさや位置を調整しましょう。

下図のように小さな正円を挿入し、塗りつぶしの色と、枠線の色を「黒、テキスト 1」に設定しましょう。

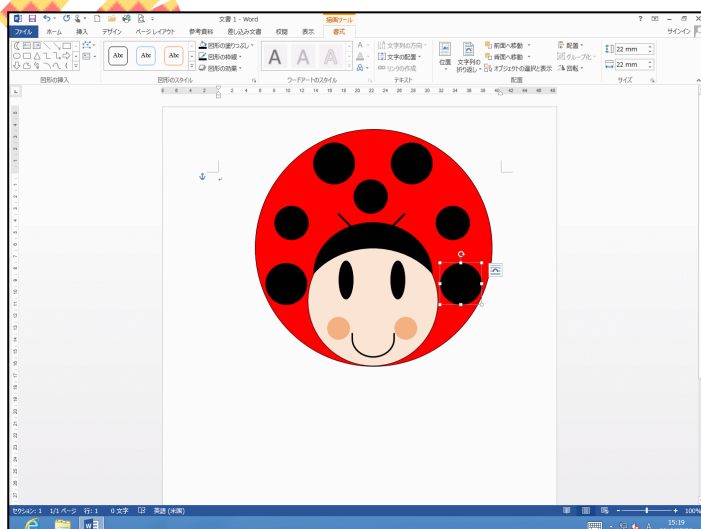


●図形の挿入を忘れた方は、P6 ① 図形の挿入を参照してください。

●図形の塗りつぶしを忘れた方は、P14 ⑤ 図形の塗りつぶしを参照してください。

●図形の枠線の設定方法を忘れた方は、P16 ⑥ 図形の枠線を参照してください。

先ほど作成した図形をコピーして、下図のように増やしましょう。

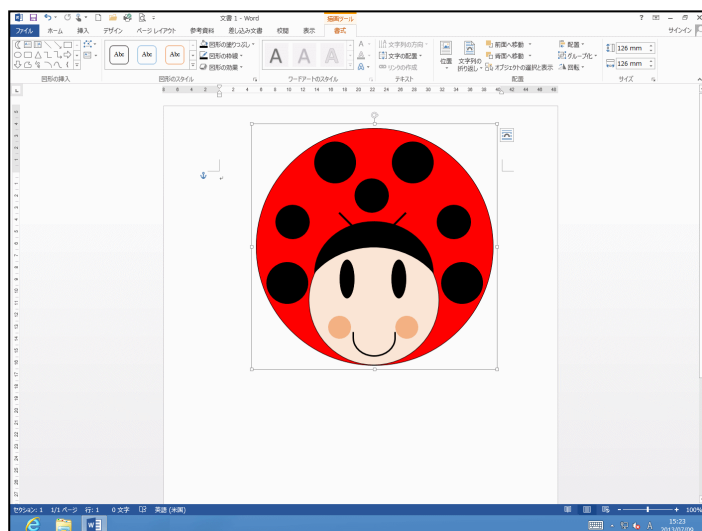


●図形のコピーを忘れた方は、P19 ⑦ 図形のコピーを参照してください。

●7つの正円の大きさは、全て同じでなくても構いません。大きさを少し変えたりして、作ってみましょう。

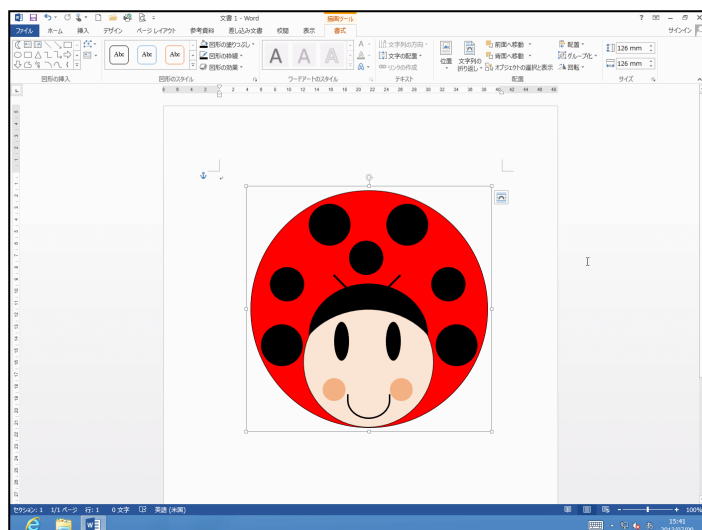
図形を描きやすくする方法 P209

テントウムシをグループ化しておきましょう。



- 最後に体と顔をグループ化をすれば 1 つになり、テントウムシが完成しました。
- 図形のグループ化の方法を忘れた方は、P34 ⑫ 図形のグループ化を参照してください。

下図を参考にテントウムシを移動しておきましょう。



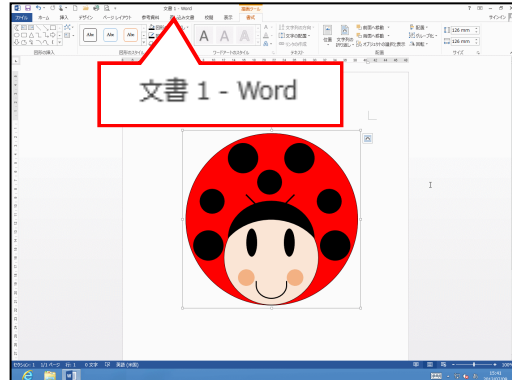
(3) テントウムシを保存

① ワードの保存

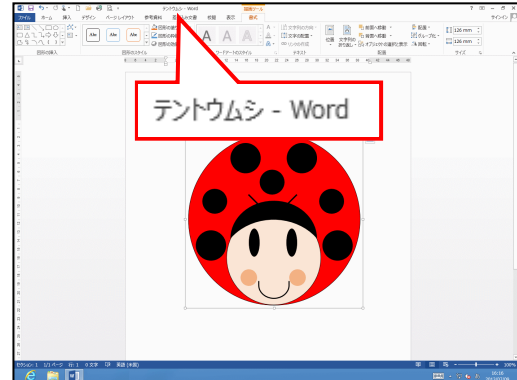
完成したテントウムシを保存しましょう。

◆画像を保存する方法をマスターしましょう。

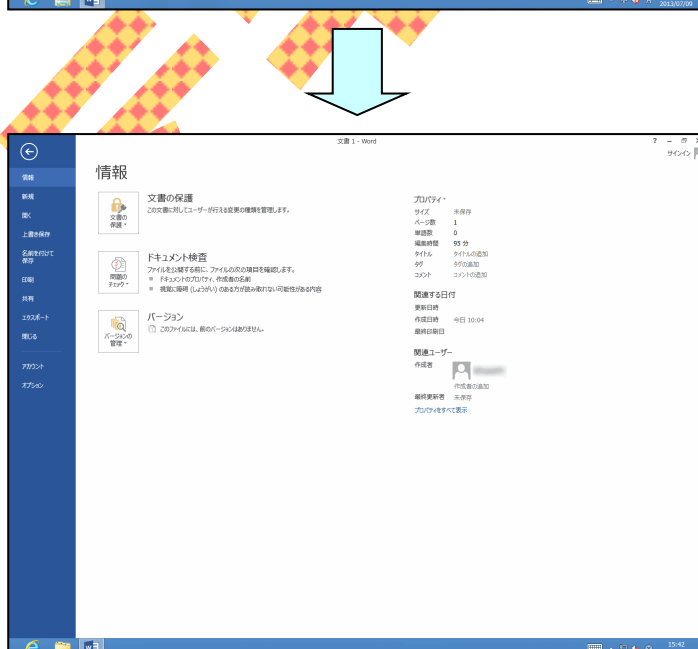
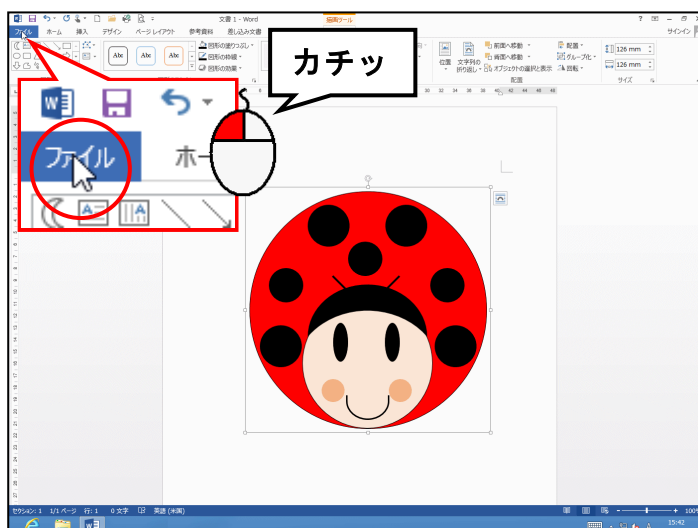
操作前



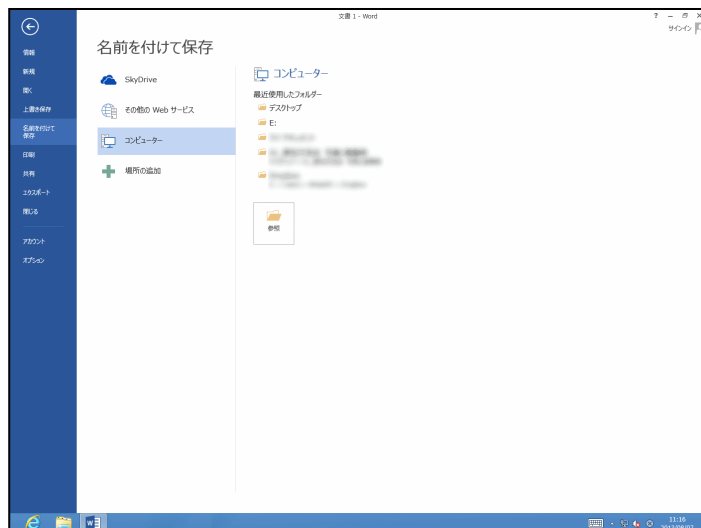
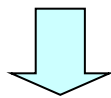
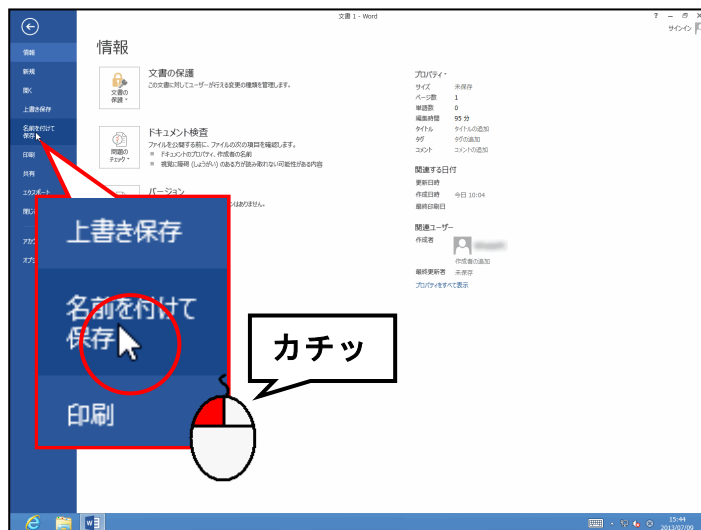
操作後



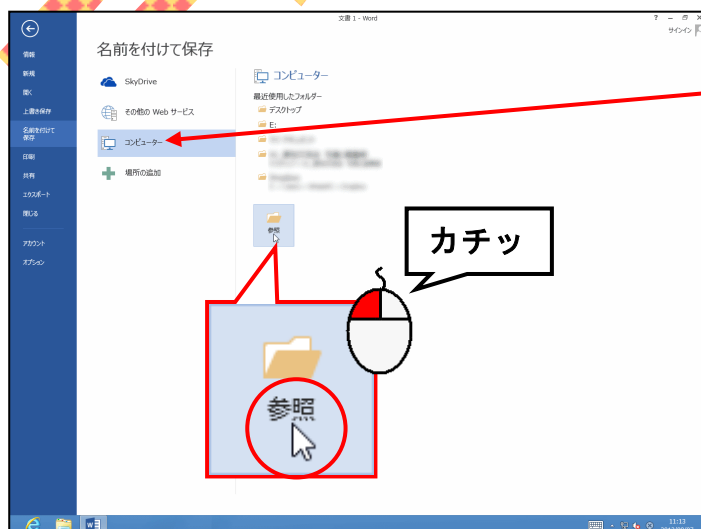
リムーバブルディスクをパソコンに差し込み、[ファイル] タブにポイントし、クリックします。



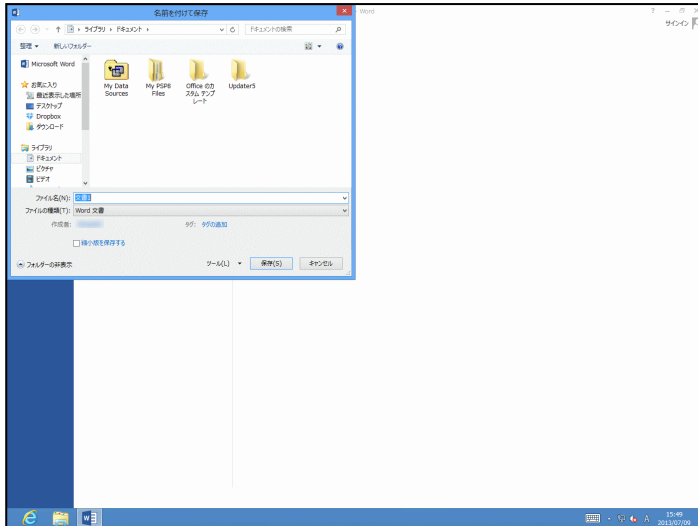
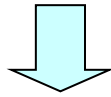
左側の一覧から「名前を付けて保存」にポイントし、クリックします。



「名前を付けて保存」の下が「コンピューター」になっていることを確認して、「参照」にポイントし、クリックします。



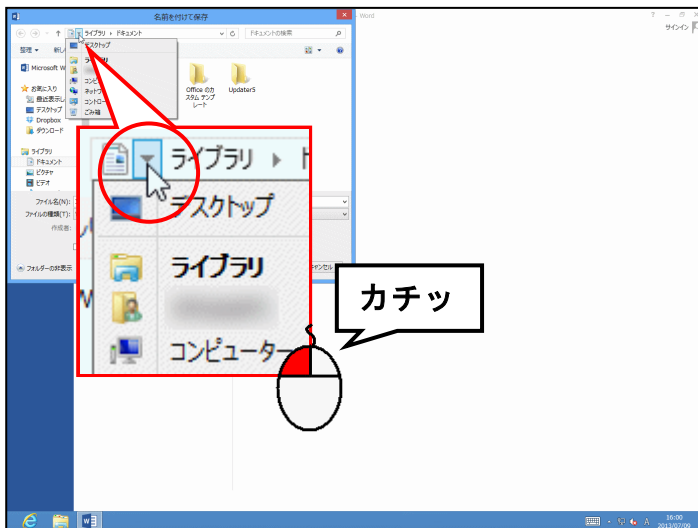
●「コンピューター」になっていない方は、「コンピューター」をクリックしておきましょう。



●「参照」をクリックすると、左のように【名前を付けて保存】ダイアログボックスが表示されます。

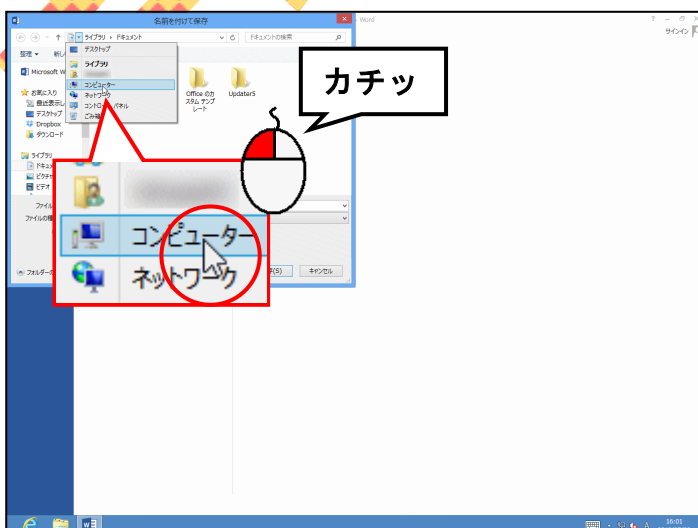
●お使いのパソコンによって、【ファイルを開く】ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

「ライブラリ」の左にある ▶ にポイントし、クリックします。

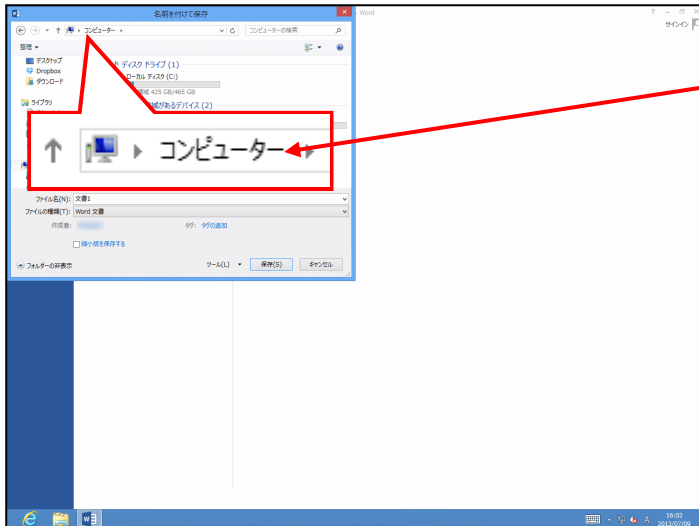
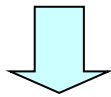


●「ライブラリ」の左にある ▶ は、クリックした時点で、左のように ▼ に変わります。

表示された一覧から「コンピューター」にポイントし、クリックします。

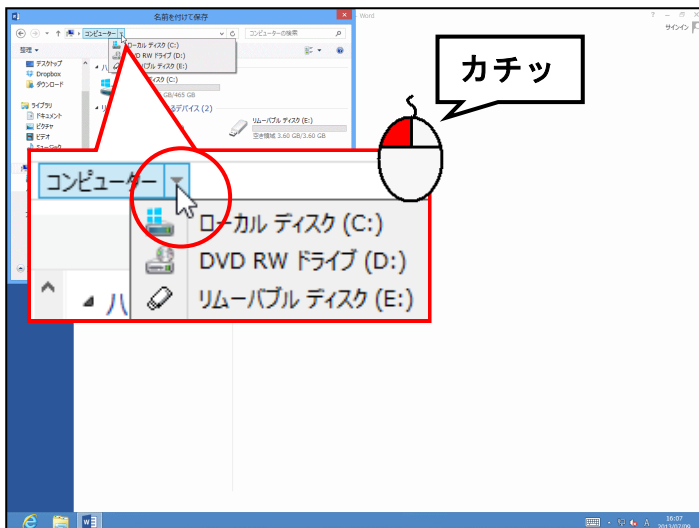


●今回はリムーバブルディスクに保存するため、「コンピューター」をクリックします。



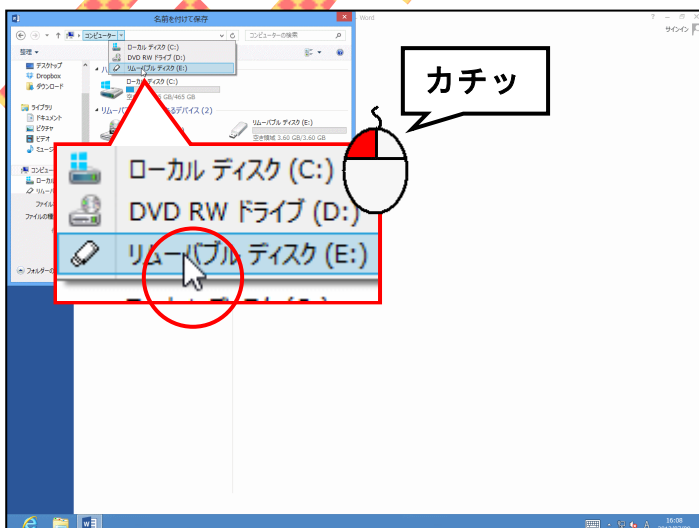
- 「コンピューター」をクリックすると、[保存先] ボックスに「コンピューター」が表示されます。

「コンピューター」の右にある ▶ にポイントし、クリックします。

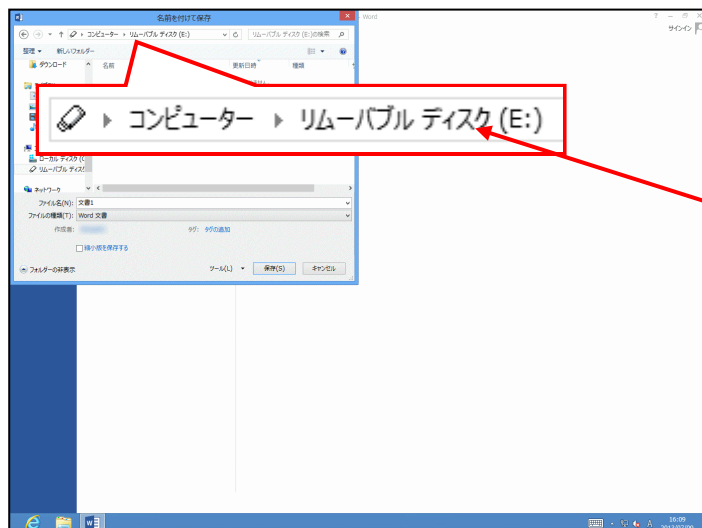
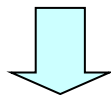


- 「コンピューター」の右にある ▶ は、クリックした時点で、左のように ▼ に変わります。

表示された一覧から [リムーバブルディスク (E:)] にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが [(E:)] とは限りません。
- 「リムーバブルディスク」というのは、取り外して持ち運びできる記憶装置の総称です。
この場合は、「USB メモリー」がそれにあたります。



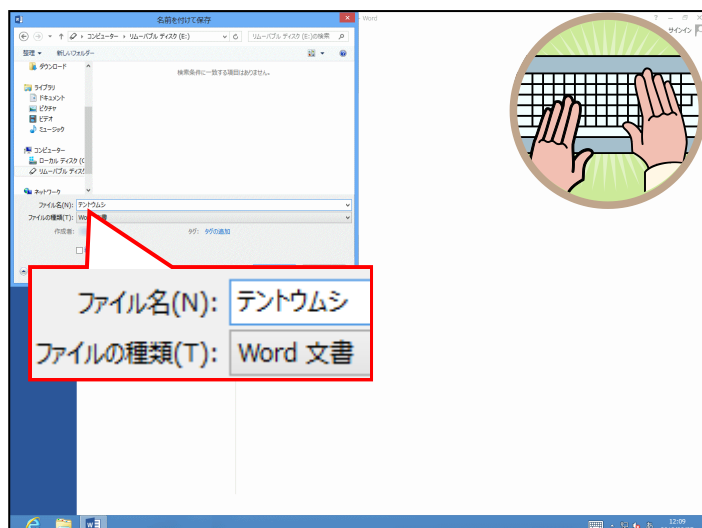
●ここまで行った操作が、保存先の指定方法です。

● [リムーバブルディスク (E:)] をクリックして少し待つと、[保存先] ボックスに [リムーバブルディスク (E:)] が表示されます。

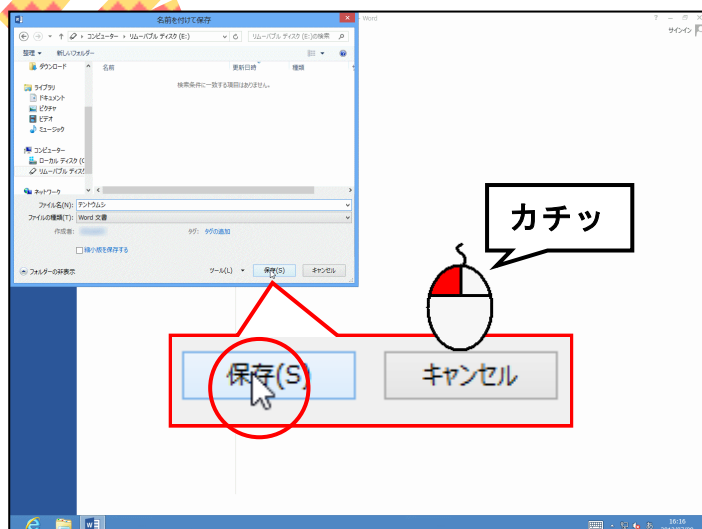
必ず確認を!!

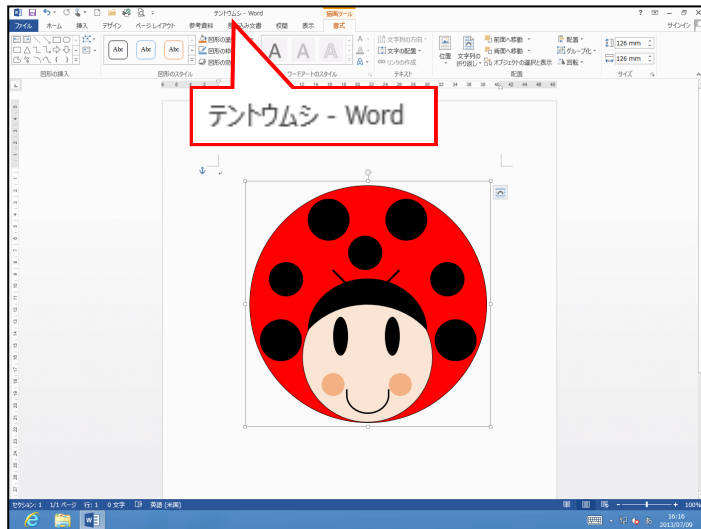
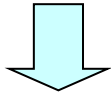


「ファイル名(N):」ボックスに入力されている文字を、「テントウムシ」に変更して文字を確定します。



「名前を付けて保存」ダイアログボックスの右下にある「保存(S)」ボタンにポイントし、クリックします。





次の操作のために、画面はそのままにしておきましょう。

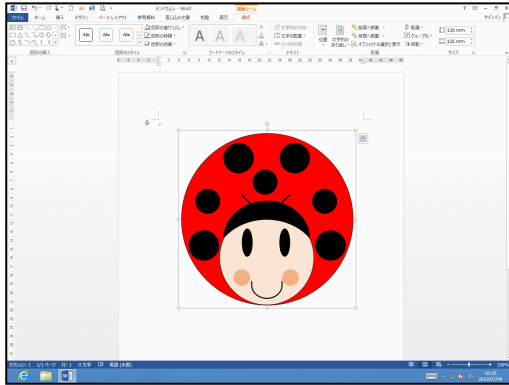


② 画像を PNG 形式で保存

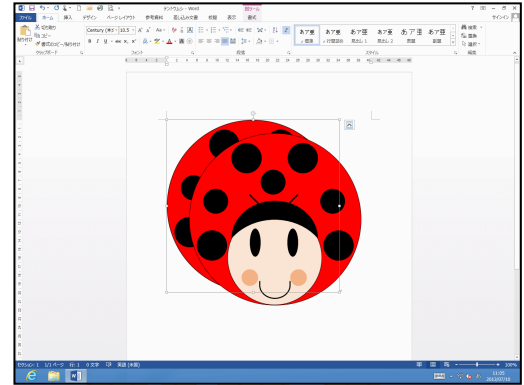
今の状態では、ワードでの保存になります。せっかく作品が完成したので、後にワードの文書でクリップアートのように利用するために、画像形式で保存してみましょう。ここでは一旦「コピー」という操作を行い、コピーした画像を PNG という画像形式で保存する方法を説明します。

◆画像を PNG というファイル形式で保存する方法をマスターしましょう。

操作前



操作後



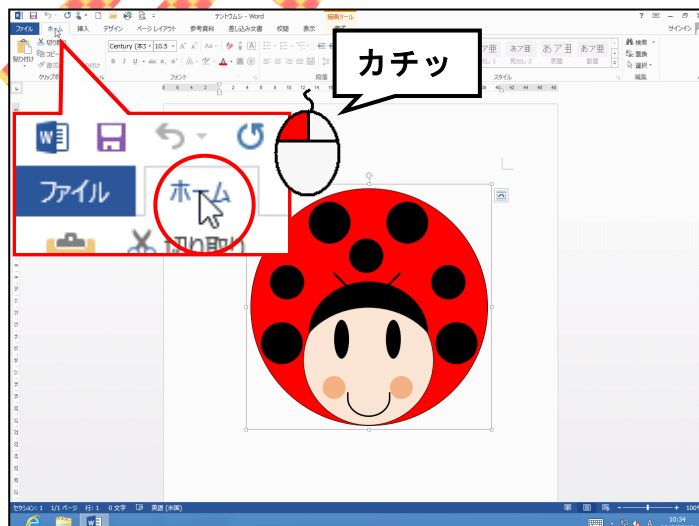
名前を付けて保存してからの操作の流れ

- (1) まずは、図形を選択し、コピーします。
- (2) 次に、図として貼り付けます。
- (3) そして、貼り付けたデータを PNG 形式で保存します。
- (4) 保存後は、ワードを保存せずに閉じます。

※①**画像の保存**で、一度ワードを保存していますね。
ここで上書き保存すると、(3)のデータも一緒に保存されてしまうためです。



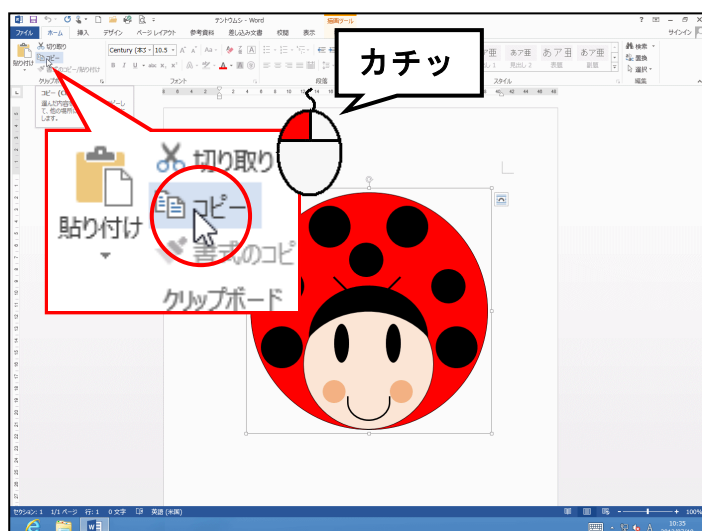
「テントウムシ」が選択されている状態で、[ホーム] タブをクリックします。



●ここからは、図形を選択し、コピーするための操作です。

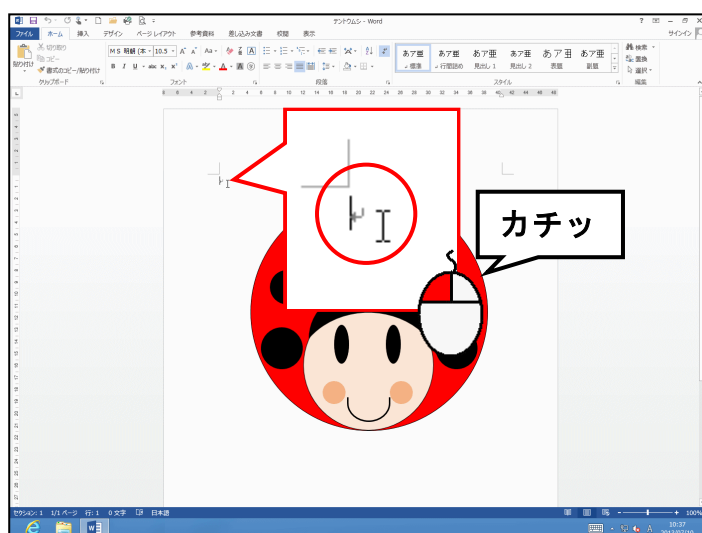
●テントウムシを選択すると、□ がテントウムシの周りに表示されます。

「クリップボード」グループにある [コピー] ボタンにポイントし、クリックします。



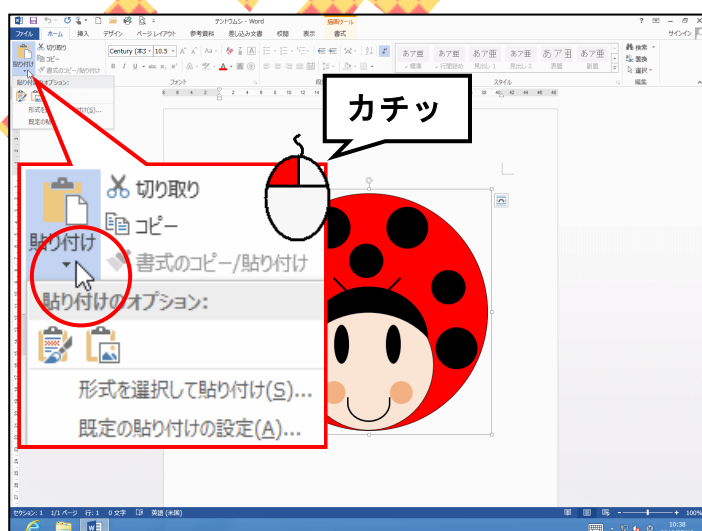
- 先ほど作った図形のテントウムシを、画像として保存していきます。一度ワードを閉じなくても、このままの状態で作成していくことができます。

テントウムシ以外をクリックし、選択を解除しておきましょう。



- ここからは、図として貼り付けるための操作です。

「クリップボード」グループにある [貼り付け] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

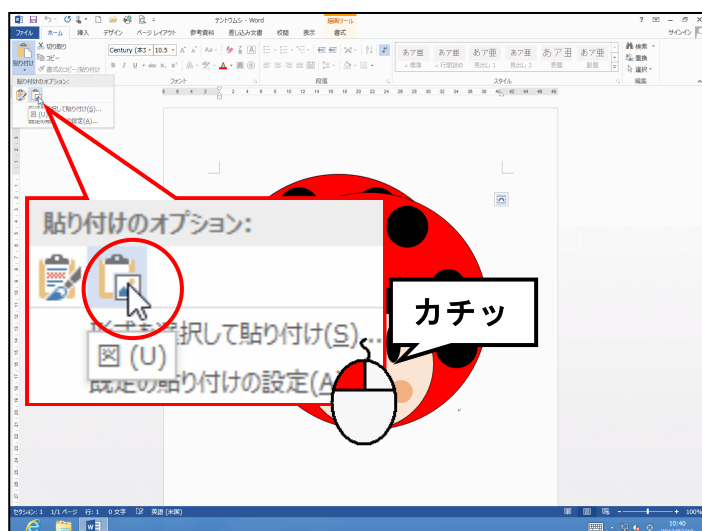
- 「貼り付け」ボタンにポイントすると、下図のようにボタンが2つに分かれます。必ず、**貼り付け** をクリックしてください。📎 をクリックしてしまうと、貼り付けに関するメニューが表示されません。



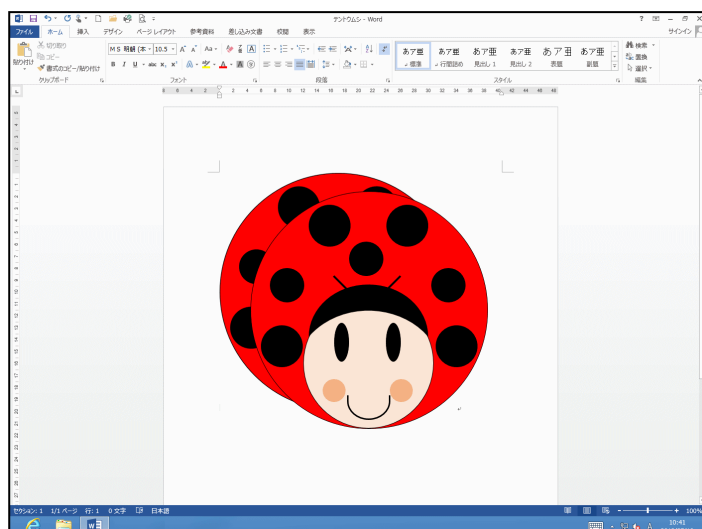
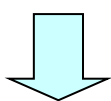
ここをクリックします



表示された一覧から [図(U)] ボタンにポイントし、クリックします。

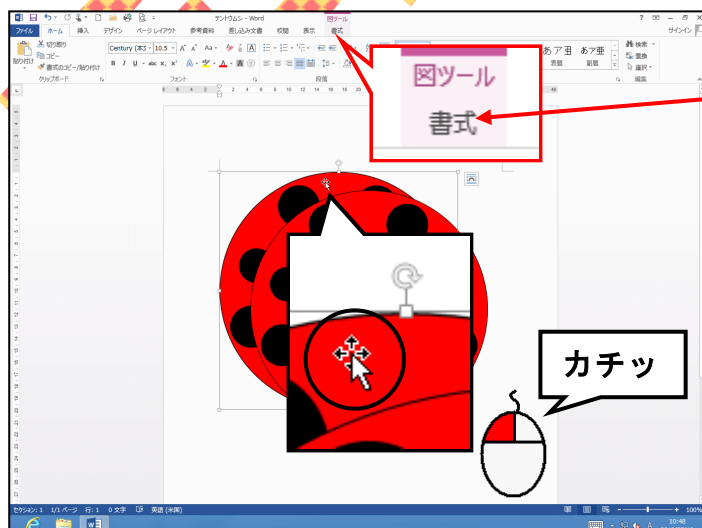


- [元の書式を保持] ボタンと間違えないようにしましょう。



- これで、図形で作成したデータと図として貼り付けたデータと 2 つが画面上に作成されました。
- 次からは、貼り付けたデータを PNG 形式で保存する操作です。

先ほど貼り付けたテントウムシの画像にポイントし、クリックします。



- 見た目には違いが判りません。それぞれのテントウムシをクリックしてみて、[図] ツールの書式タブが表示されていれば大丈夫です。もしも、[描画] ツールの書式タブが表示されている場合は、図形で描いた方のテントウムシが選択されていますので、選択し直しましょう。

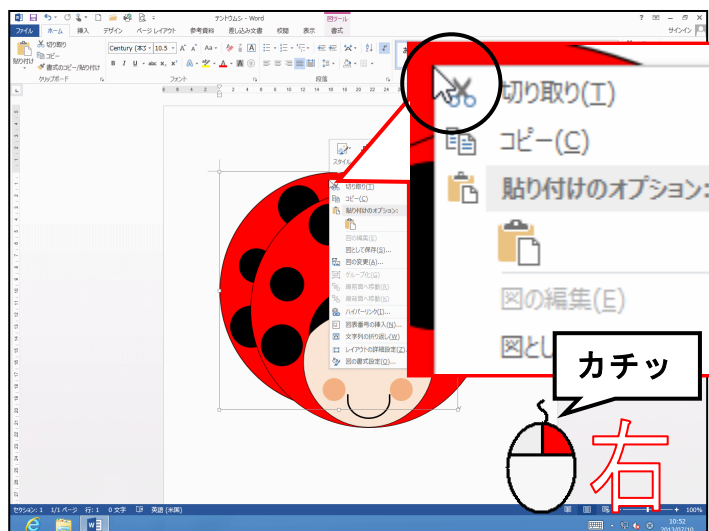
図ツール
書式

[図] ツール . . . 画像

描画ツール
書式

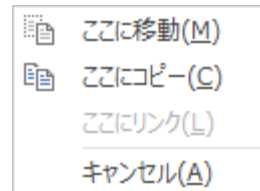
[描画] ツール . . . 図形

テントウムシの画像の上で、右クリックします。

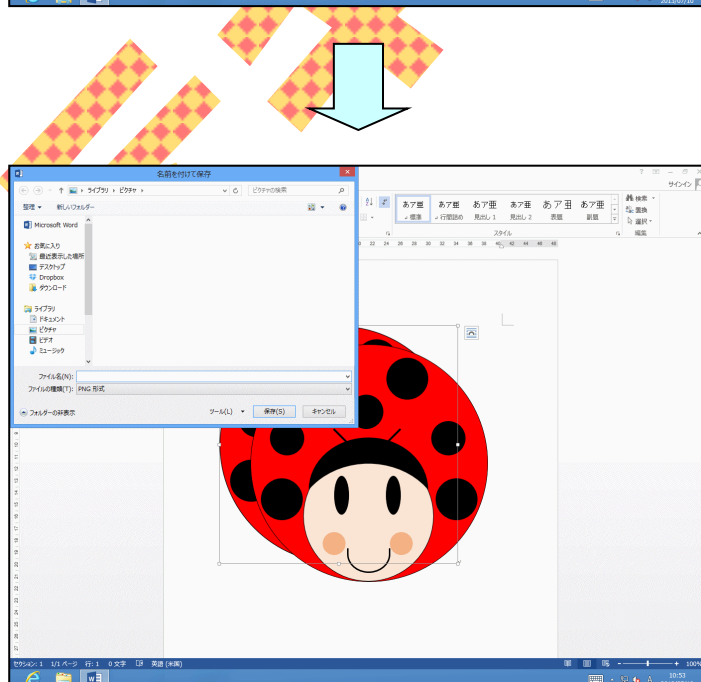
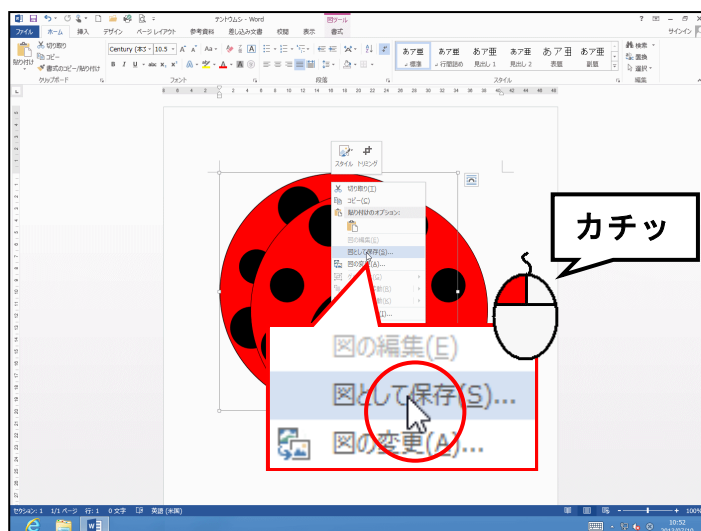


● テントウムシの画像の上で右クリックしましょう。違うところでクリックすると、同じショートカットメニューが表示されません。

● 右クリックするときに長押ししたり、動いてしまったりすると、マウスを離れたときに下のような一覧が出てしまいます。

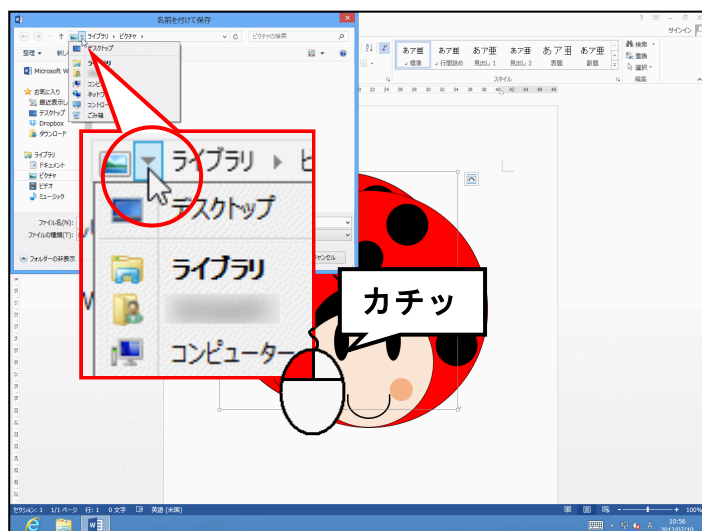


表示されたショートカットメニューから、[図として保存(S)...] にポイントし、クリックします。



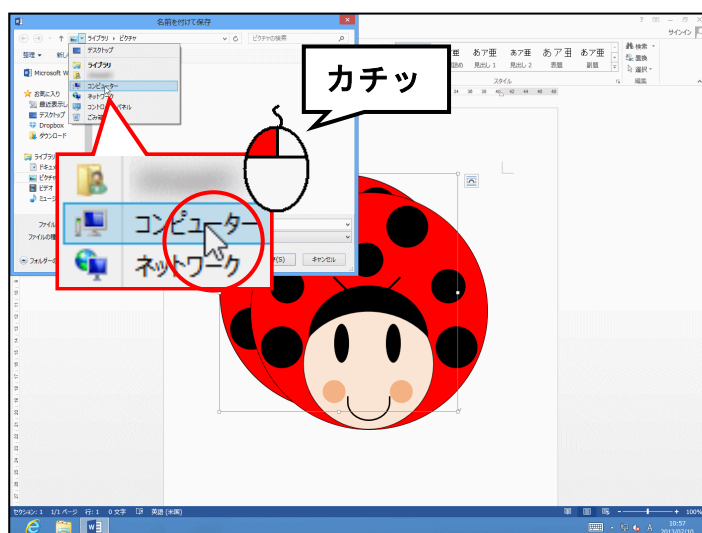
● [図として保存(S)...] をクリックすると、左のように「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

「ライブラリ」の左にある ▴ にポイントし、クリックします。

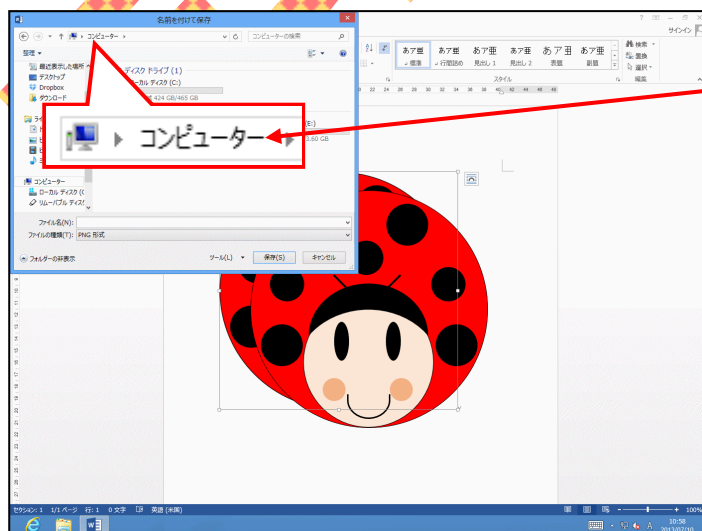


- 「ライブラリ」の左にある ▴ は、クリックした時点で、左のように ▾ に変わります。

表示された一覧から「コンピューター」にポイントし、クリックします。

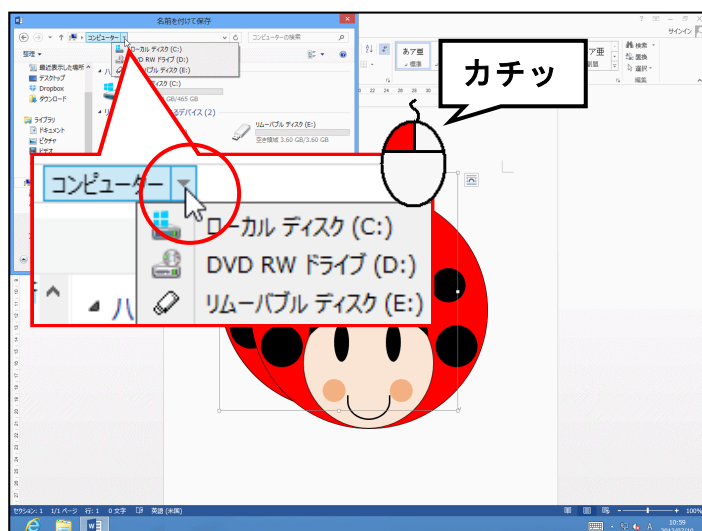


- 今回はリムーバブルディスクに保存するため、「コンピューター」をクリックします。



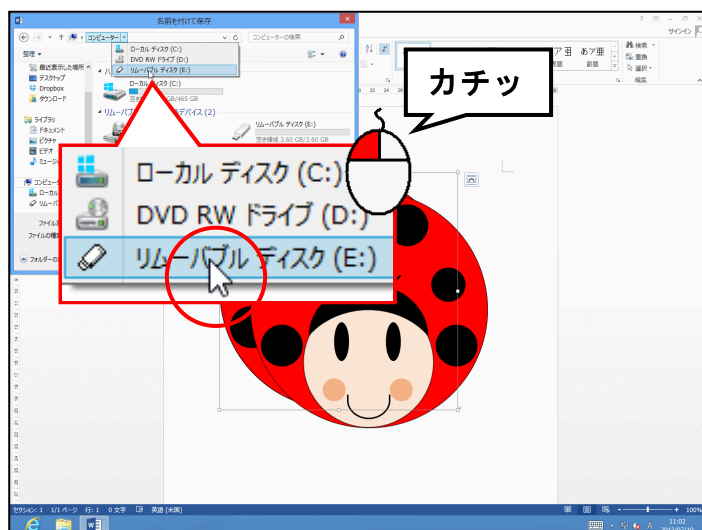
- 「コンピューター」をクリックすると、[保存先] ボックスに「コンピューター」が表示されます。

「コンピューター」の右にある ▶ にポイントし、クリックします。

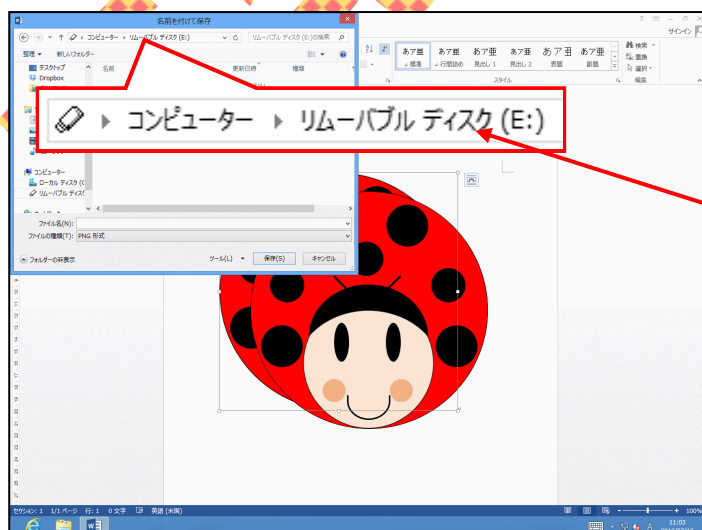


- 「コンピューター」の右にある ▶ は、クリックした時点で、左のように ▼ に変わります。

表示された一覧から [リムーバブルディスク (E:)] にポイントし、クリックします。



- お使いのパソコンによって、リムーバブルディスクの後ろが [(E:)] とは限りません。
- 「リムーバブルディスク」というのは、取り外して持ち運びできる記憶装置の総称です。この場合は、「USB メモリー」がそれにあたります。



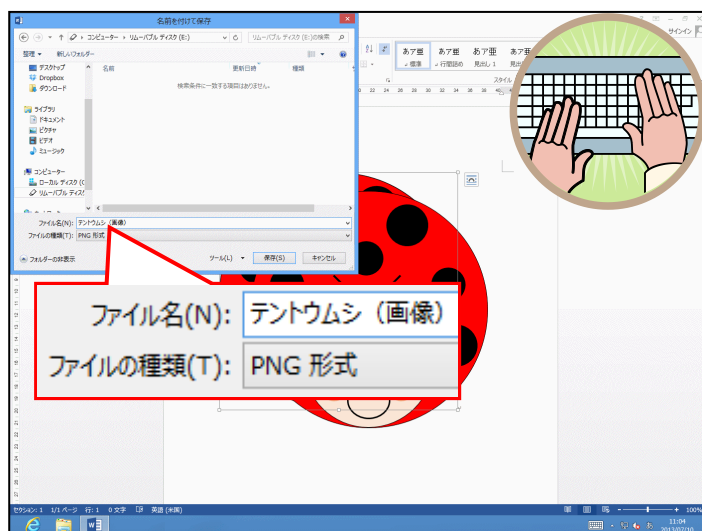
- ここまで行った操作が、保存先の指定方法です。

- [リムーバブルディスク (E:)] をクリックして少し待つと、[保存先] ボックスに [リムーバブルディスク (E:)] が表示されます。

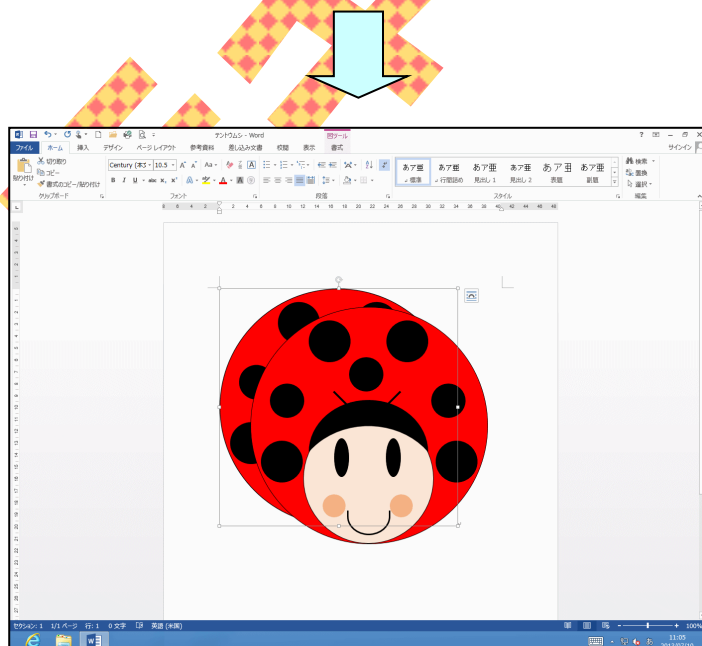
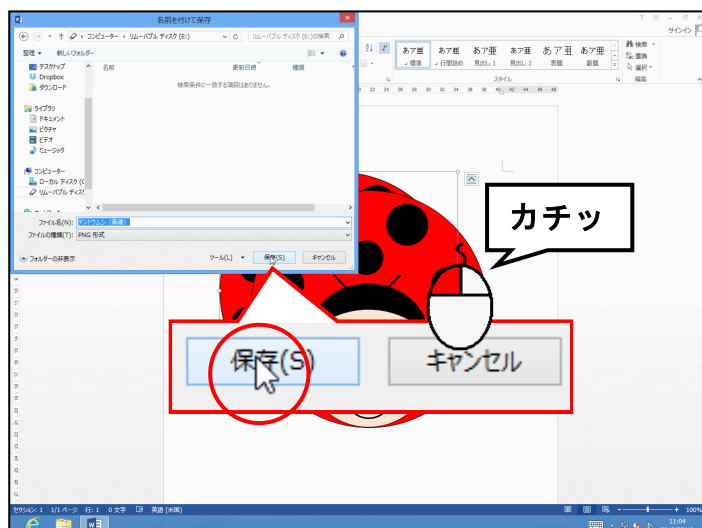
必ず確認を!!



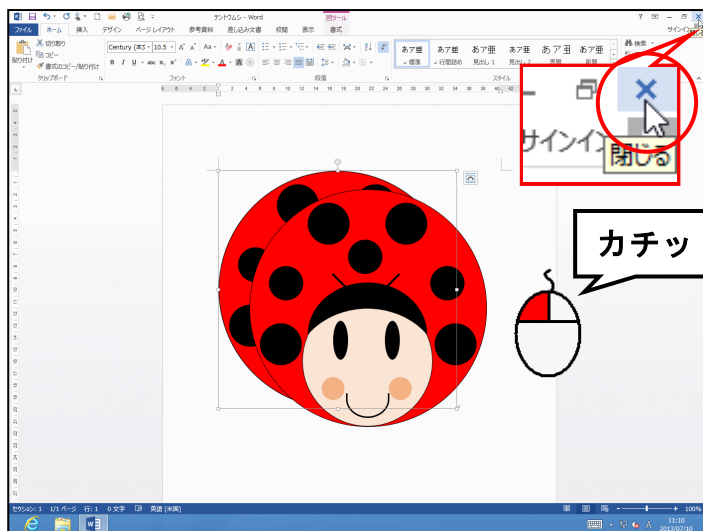
【ファイル名(N):】 ボックスに「テントウムシ (画像)」と入力します。



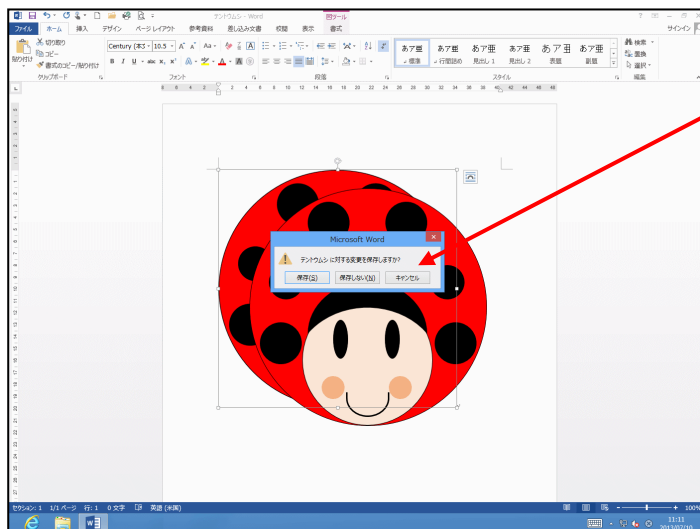
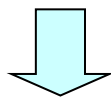
【名前を付けて保存】ダイアログボックスの右下にある【保存(S)】ボタンにポイントし、クリックします。



画面右上にある × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。

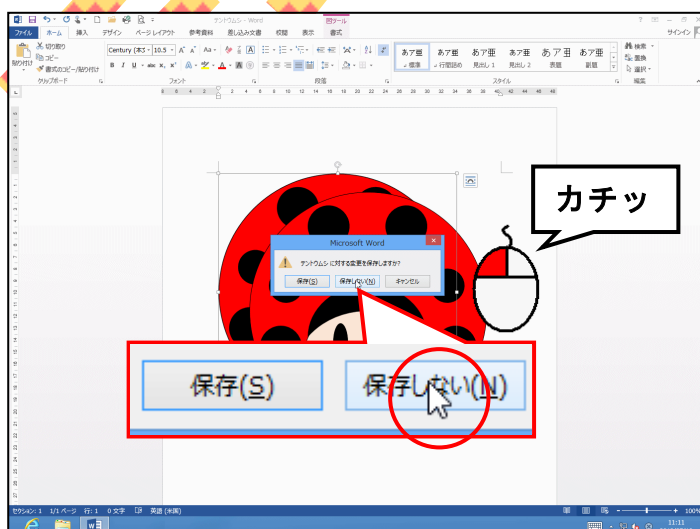


●ここからは、ワードを保存せずに閉じるための操作です。

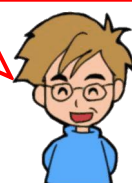


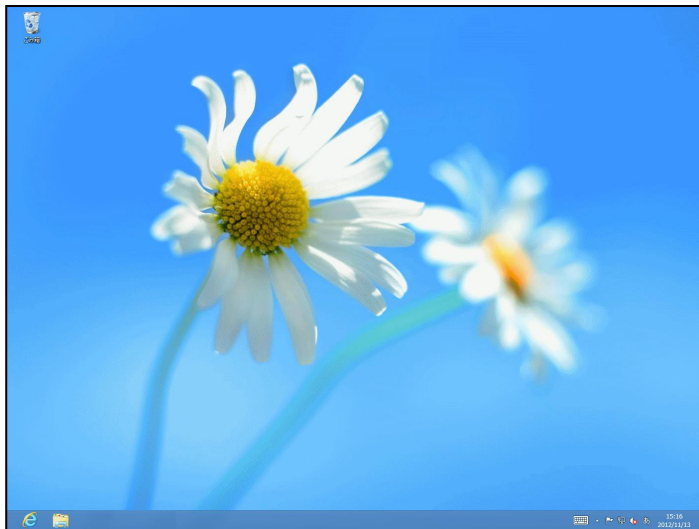
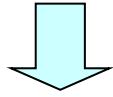
●× [閉じる] ボタンをクリックすると、左のような保存の問い合わせに関するダイアログボックスが表示されます。これは、最後にワードを保存したときから、図として貼り付けるという操作(変更)があったため、『再度保存しておきますか?』と聞いてきている状態です。

[保存しない(N)] ボタンにポイントし、クリックします。



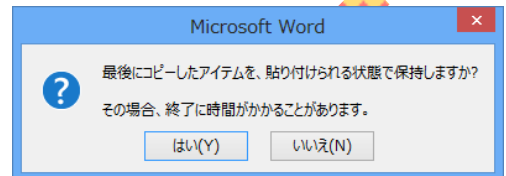
●ここで [保存(S)] ボタンを選んでしまうと、図形のテントウムシと、画像のテントウムシと、2つが重なった状態で保存されてしまいます。ここで [保存しない(N)] ボタンを選択しても、図形で作ったテントウムシの方は、先ほど保存していますので、ちゃんと残っていますから、心配はいりません。





注意!

- **「保存しない(N)」** ボタンをクリックして、下図のようなダイアログボックスが表示された方は、**「いいえ(N)」** ボタンをクリックしておきましょう。



☆☆ここまでくれば練習問題 1 で理解度を試してください。☆☆

3. アート効果で遊ぼう

【テントウムシ（アート効果） 完成例】

テントウムシ



スケッチ画みたいな絵に変わっちゃった！

ウメさん「先生、なんだか雰囲気が変わって、また可愛い感じになってるわ。」

タケさん「このテントウムシは、さっきわしが描いたテントウムシかの？」

くじら先生「はい、そうですよ。さっきお2人が描いてくれたテントウムシに「アート効果」という設定をつけてみたんです。どうですか？
また違ったかわいさでしょう？」



ウメさん「ほんと！ 色鉛筆で塗ったみたい！」

タケさん「ワードで絵を描いた後、またこんな風に変えられるんか…
すごいもんじゃなあ」

くじら先生「そうですね！ それでは、ウメさんもタケさんも一緒にチャレンジ
してみましょう！」

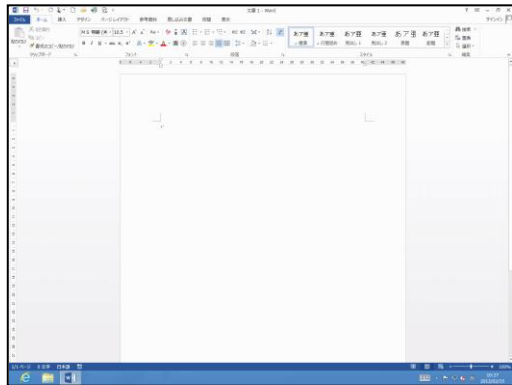


(1) 画像の挿入

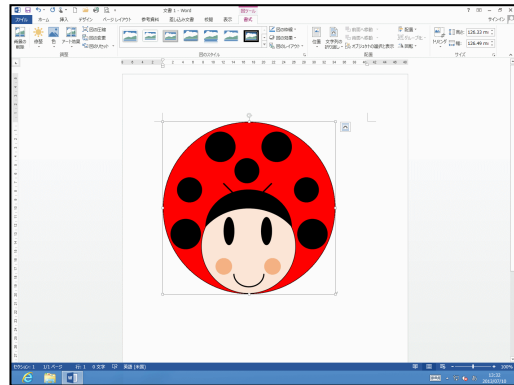
アート効果は、「画像」には設定できますが、「図形」には設定できません。まずは、先ほど画像として保存した「テントウムシ」を、新しいワードに挿入してみましょう。

◆画像を挿入する方法をマスターしましょう。

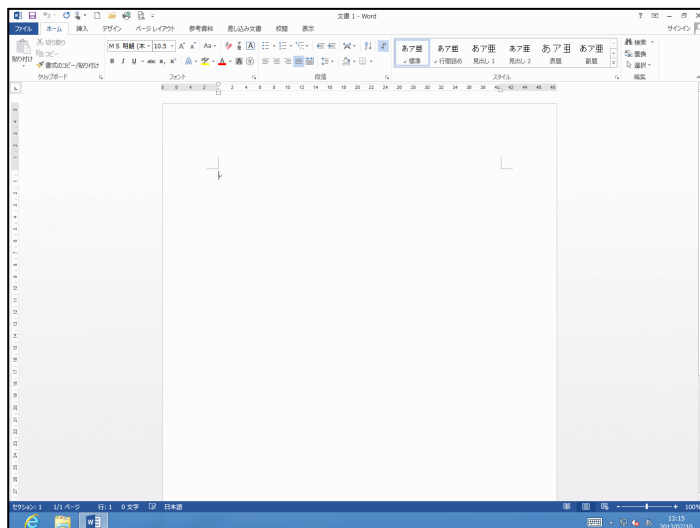
操作前



操作後



ワードを起動します。

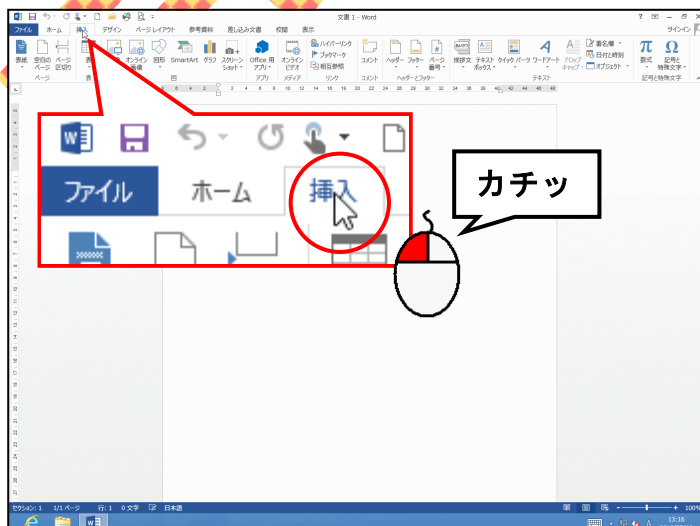


●リボンが表示されていない方は、**P216 リボンの表示オプションの変更**を参照してください。
(下記のような状態の方)


ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示

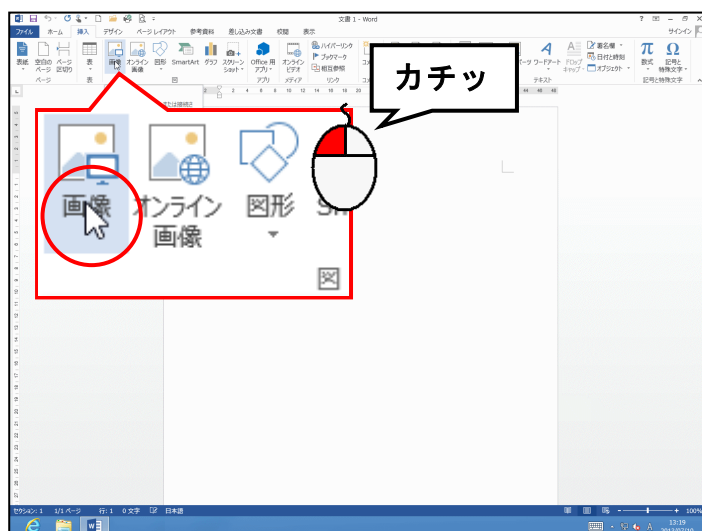


「挿入」タブにポイントし、クリックします。



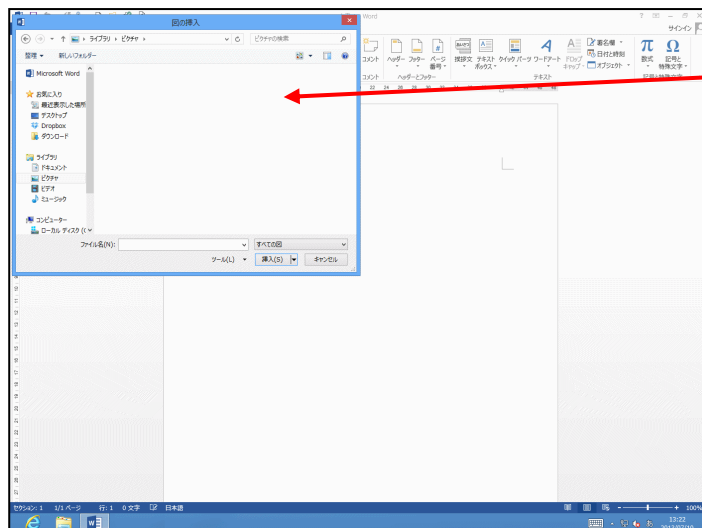
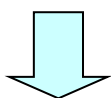
●ここからは、リムーバブルディスクに保存したテントウムシの画像を、ワードに挿入するための操作です。


「図」グループにある  「画像」 ボタンにポイントし、クリックします。




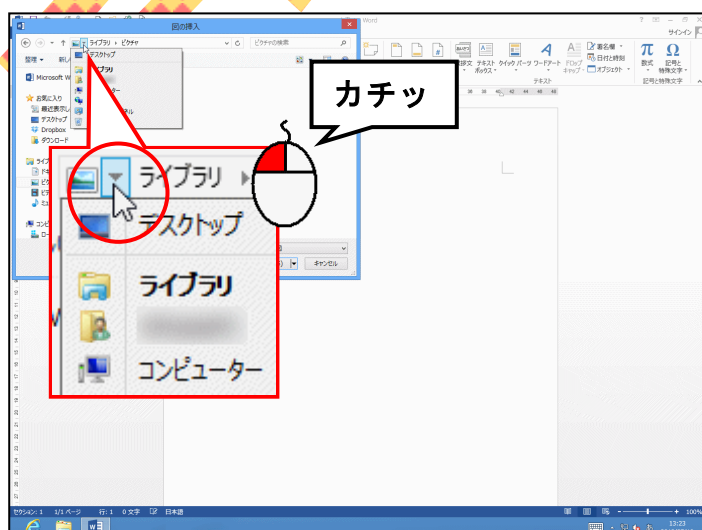
注意!

-  「オンライン画像」 ボタンと間違えないようにしましょう。

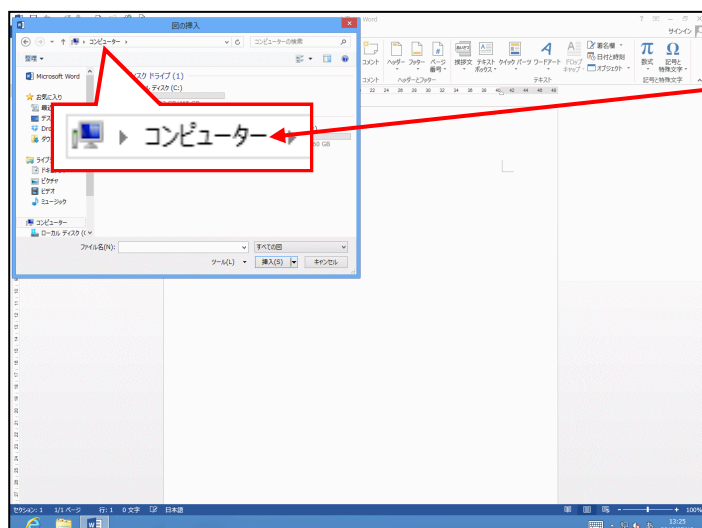
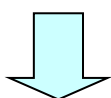
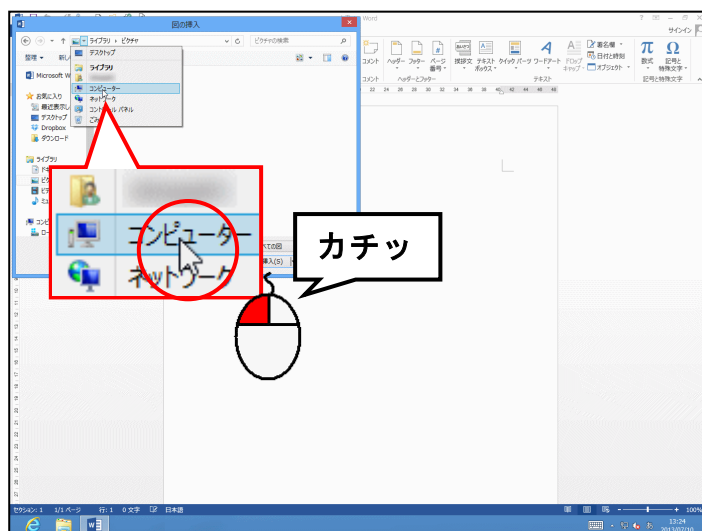


-  「画像」 ボタンをクリックすると、左のように「図の挿入」ダイアログボックスが表示されます。

「ライブラリ」の左にある  にポイントし、クリックします。

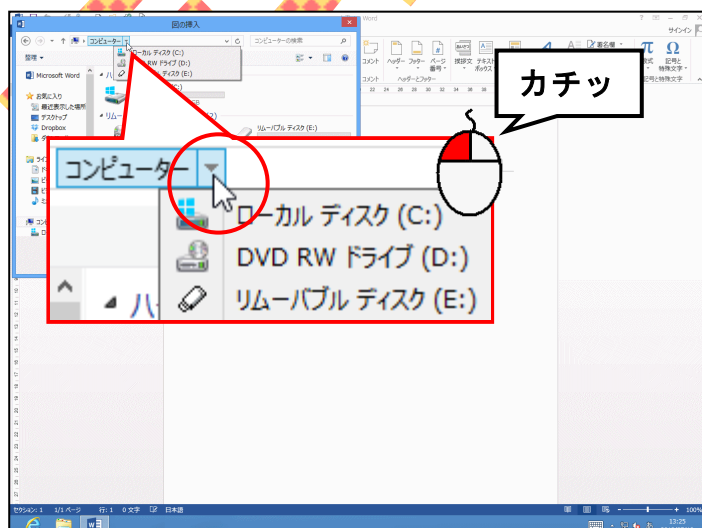


表示された一覧から「コンピューター」にポイントし、クリックします。

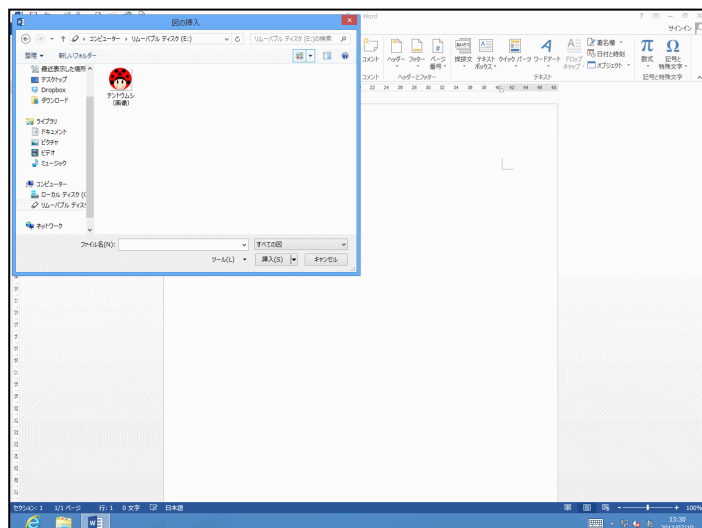
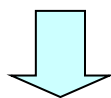
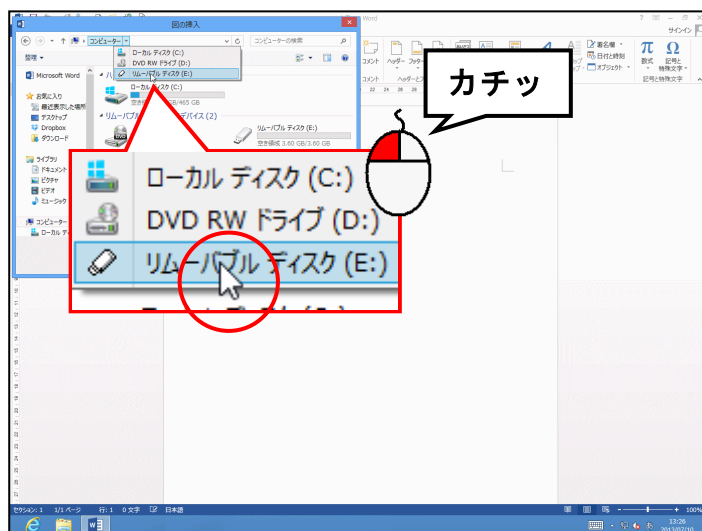


●「コンピューター」をクリックすると、[ファイルの場所] ボックスに「コンピューター」が表示されます。

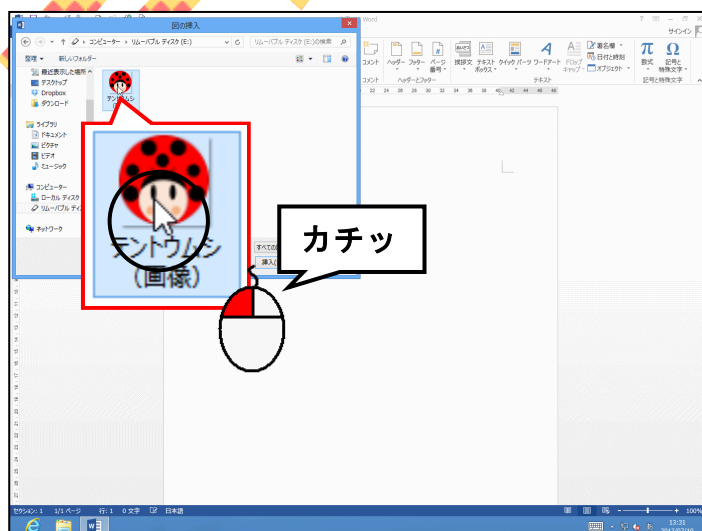
「コンピューター」の右にある ▶ にポイントし、クリックします。



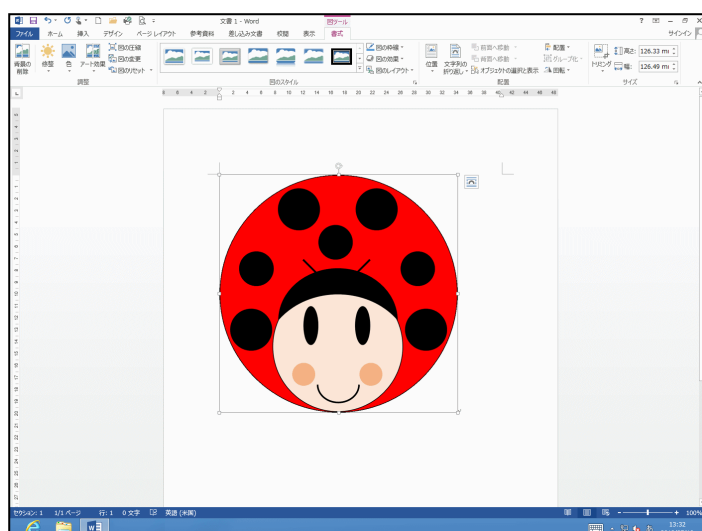
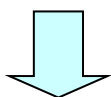
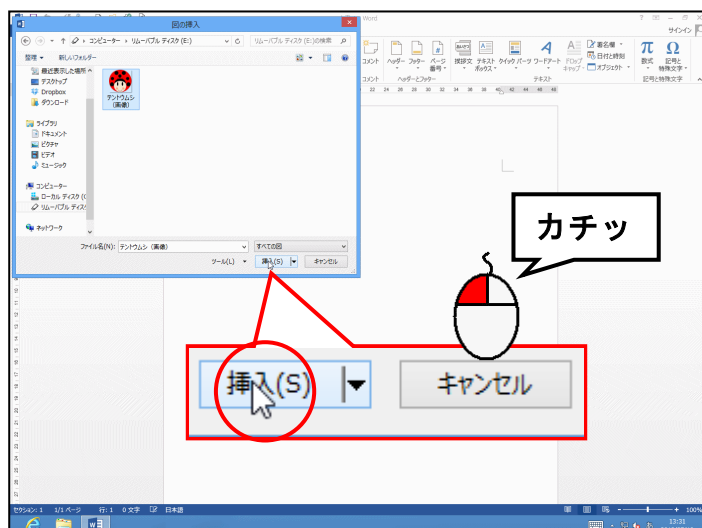
表示された一覧から「リムーバブルディスク (E:)」にポイントし、クリックします。



表示された画面上にある「テントウムシ (画像)」にポイントし、クリックします。



【図の挿入】ダイアログボックスの右下にある【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。



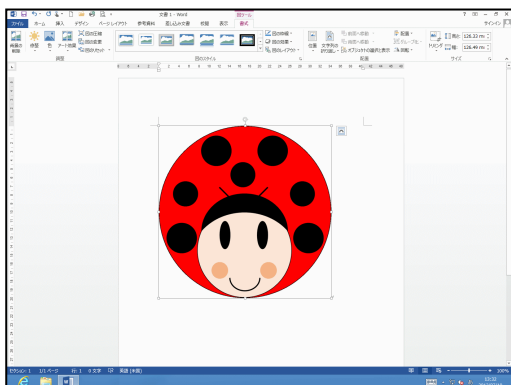
●リムーバブルディスクに保存していた画像を、ワードに挿入することができました。

(2) 画像にアート効果を設定する

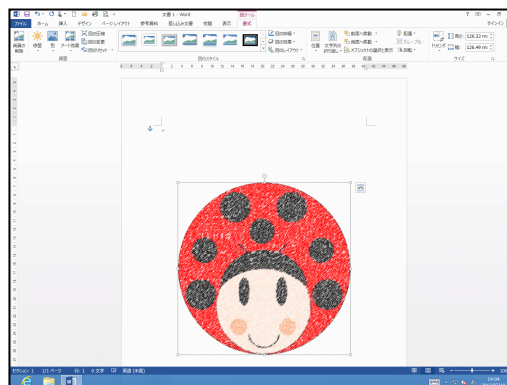
先ほど挿入した画像に、アート効果をつけてみましょう。


◆アート効果を設定する方法をマスターしましょう。

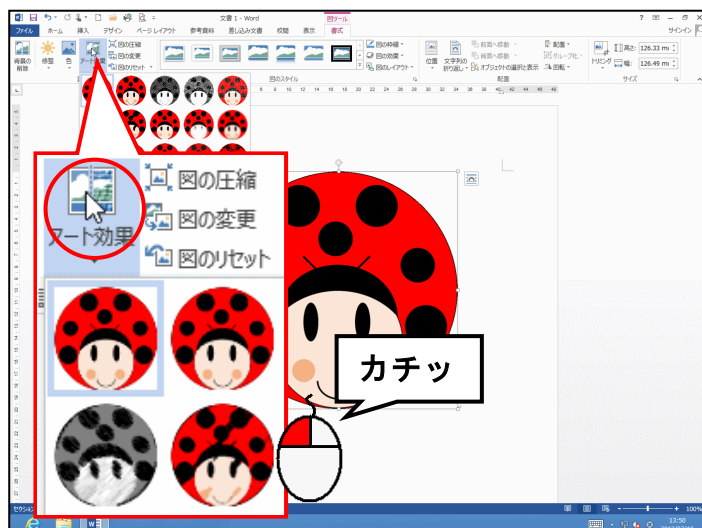
操作前



操作後



〔調整〕グループにある  [アート効果] ボタンにポイントし、クリックします。

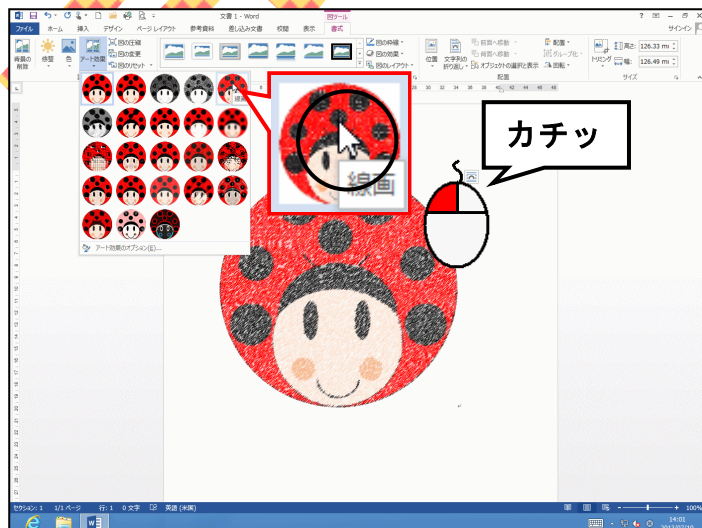


● [書式] タブが選択されていない方は、「テントウムシ」の画像を選択し、[書式] タブをクリックしておきましょう。

アート効果一覧

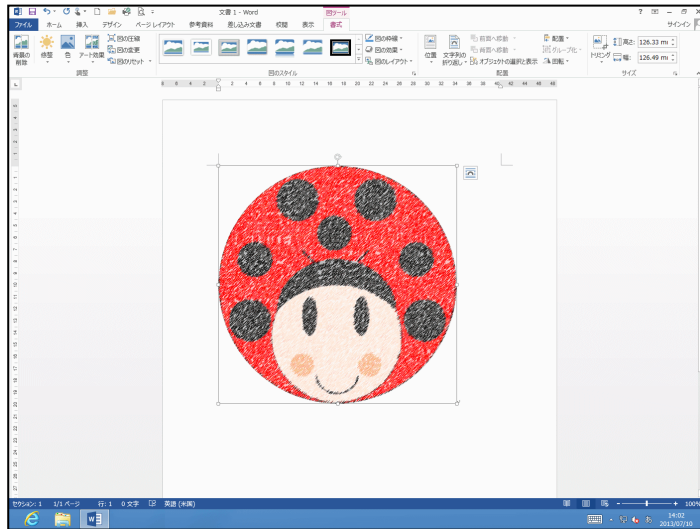
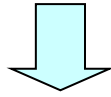
P210

表示された一覧から「線画」にポイントし、クリックします。




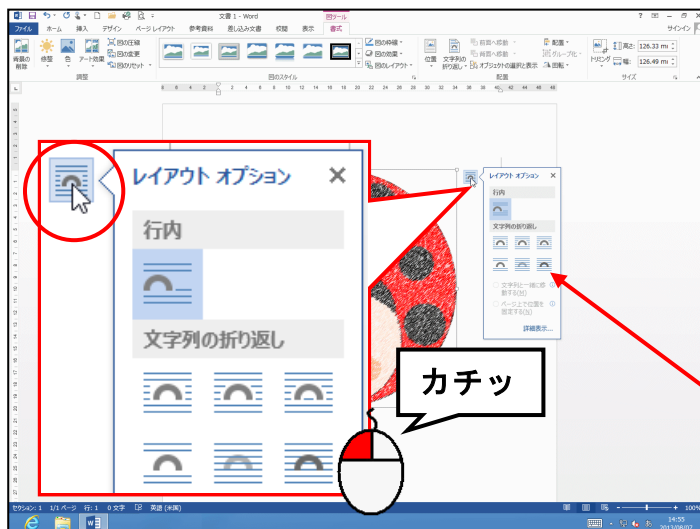
●ポイントすると、選択している画像にそれぞれのアート効果がプレビューで表示されます。

●今回は、「線画」という効果を設定しましょう。





- 選択している画像が、線画の効果に変わりました。

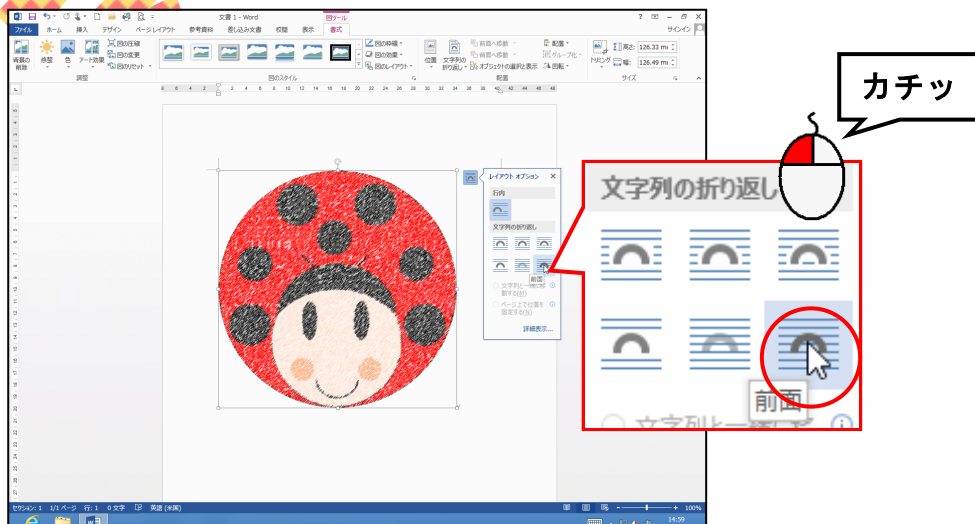
テントウムシの画像の右上にある  [レイアウト オプション] ボタンにポイントし、クリックします。

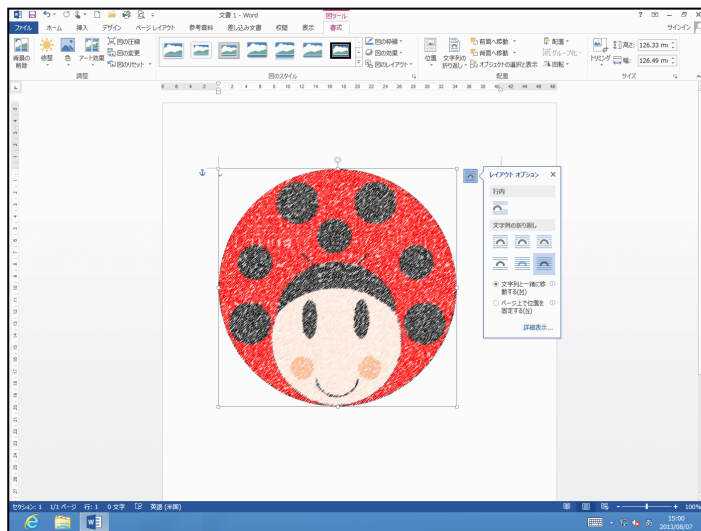
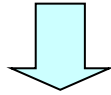


- このままでは、挿入した画像は [文字列の折り返し] の設定が「行内」になっているため、好きな位置に動かせません。ここからは、[文字列の折り返し] を「前面」に設定するための操作になります。

-  [レイアウト オプション] ボタンをクリックすると、左のようにレイアウトの種類が表示されます。

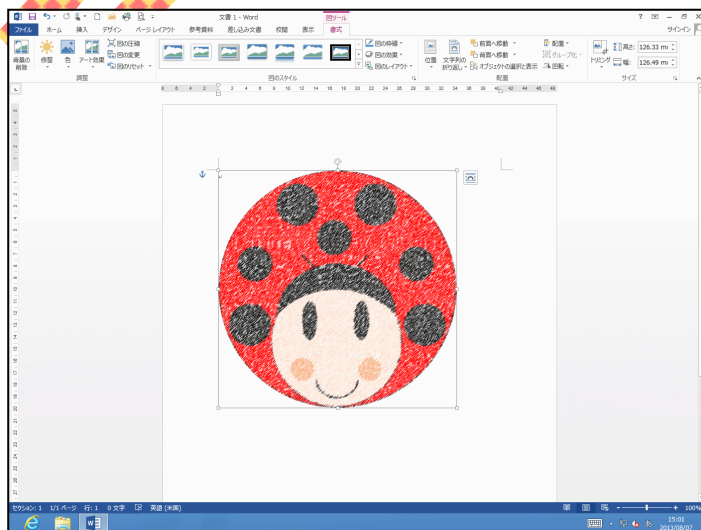
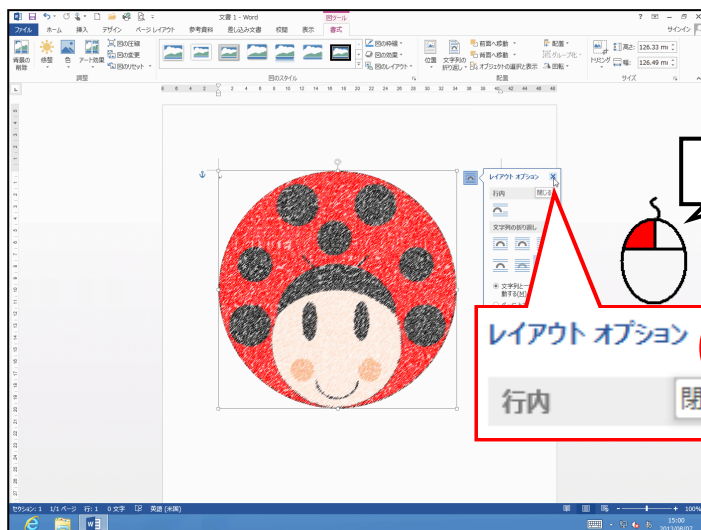
表示された折り返しの中から  「前面」にポイントし、クリックします。



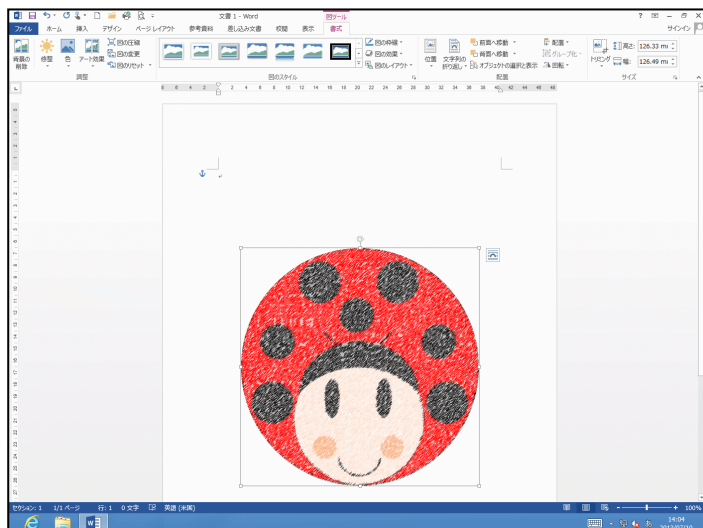


- 「文字列の折り返し」が「前面」に設定されました。見た目には違いがわかりにくいですが、[文字列の折り返し]が「行内」の場合は、「テントウムシ」の画像の右下に ✕（改行マーク）が表示されます。

「レイアウト オプション」の ✕ 「閉じる」 ボタンにポイントし、クリックします。

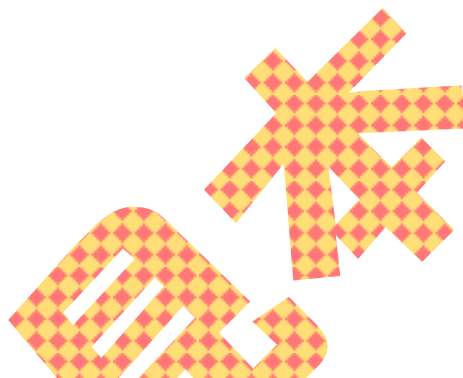


テントウムシの画像を、少し下のほうへ移動しておきましょう。



●図形を移動させるのと同じ要領で、テントウムシの画像を動かしておきましょう。

●このあと、上の方にワードアートを挿入するので、上部を空けておきましょう。

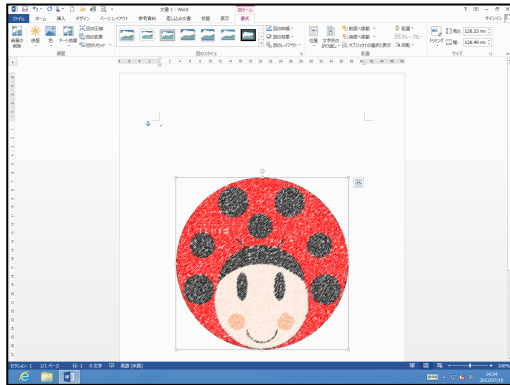


(3) ワードアートの挿入

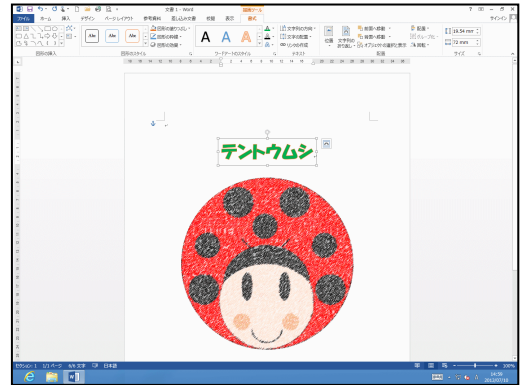
このままではさびしいので、「ワードアート」を挿入して、見栄えよくしてみましょう。

◆ワードアートを挿入する方法をマスターしましょう。

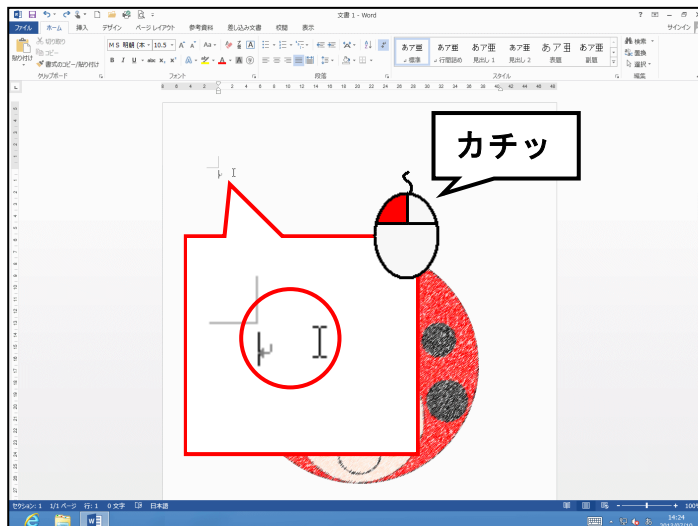
操作前



操作後

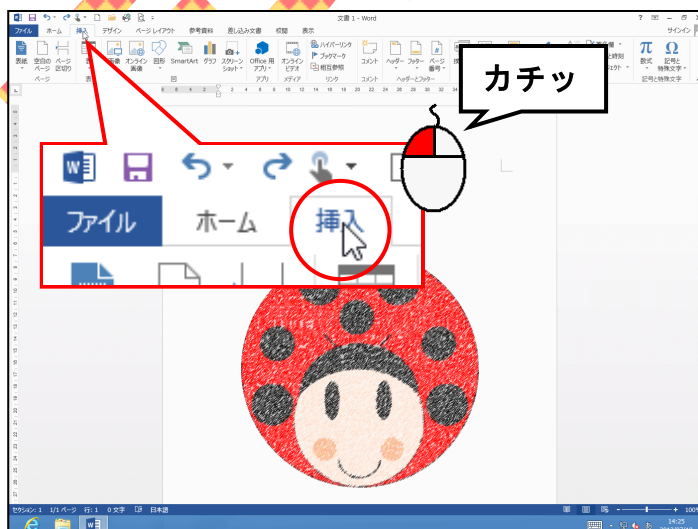


下図の辺りでクリックし、カーソルを表示させます。



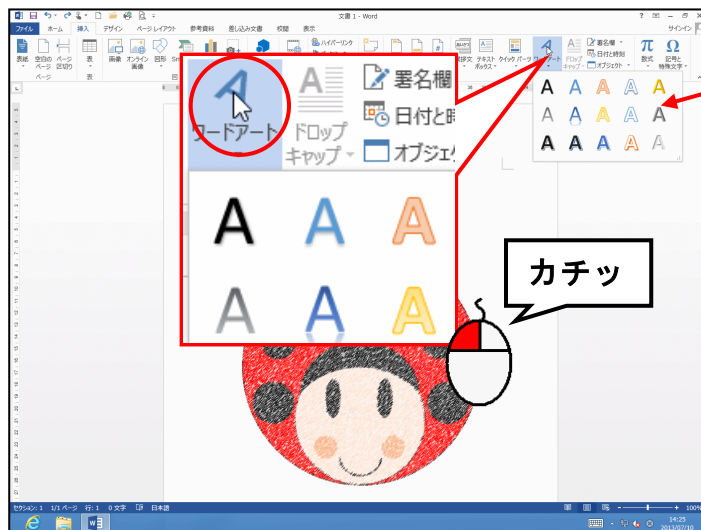
- 「ワードアート」は、カーソルがある位置に挿入されます。

【挿入】タブにポイントし、クリックします。



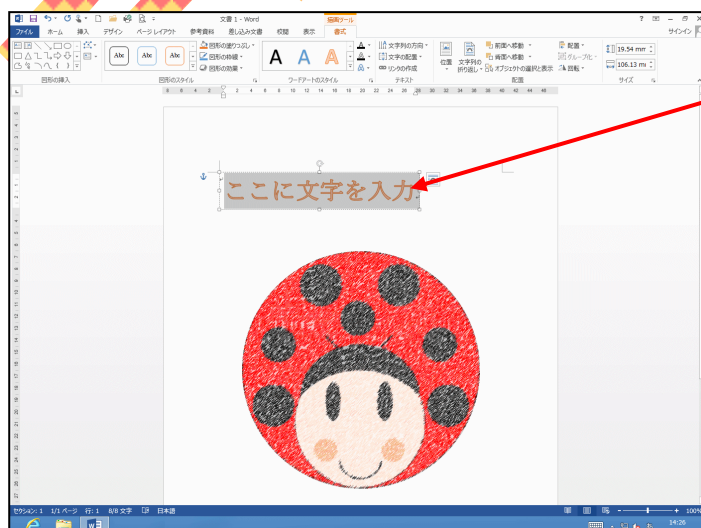
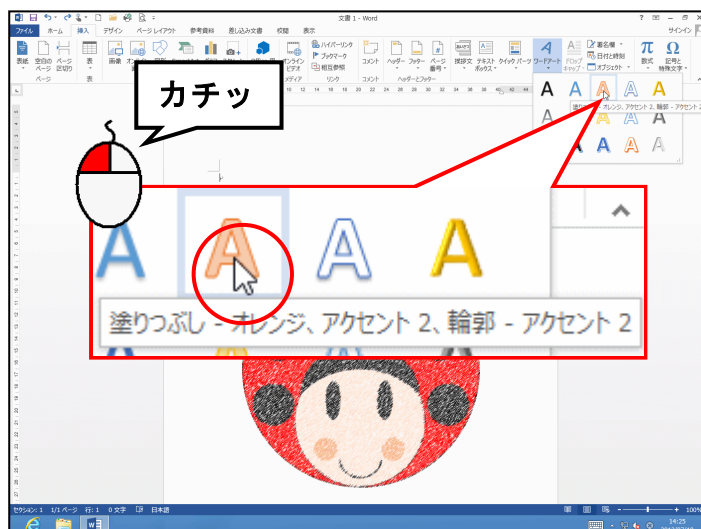
- ここからは、ワードアートを挿入するための操作になります。

「テキスト」グループにある **A** [ワードアート] ボタンにポイントし、クリックします。



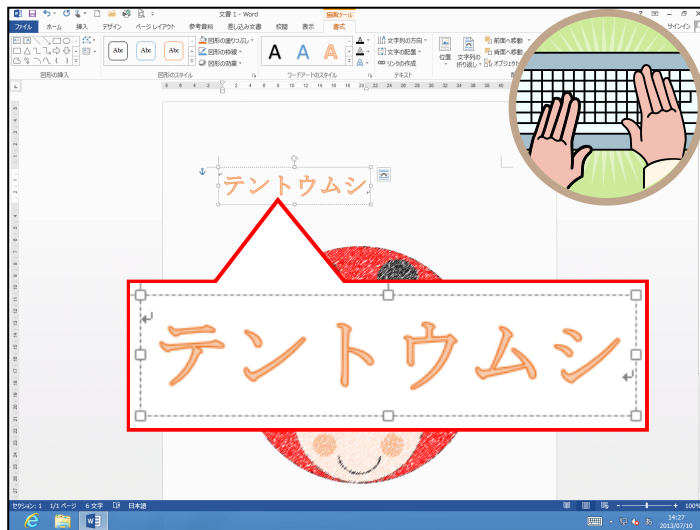
● **A** [ワードアート] ボタンをクリックすると、左のように「ワードアートギャラリー」が表示されます。

表示された一覧から「塗りつぶし-オレンジ、アクセント 2、輪郭-アクセント 2」にポイントし、クリックします。



● ワードアートを選択すると、左のように文字を入力するボックスが表示されます。

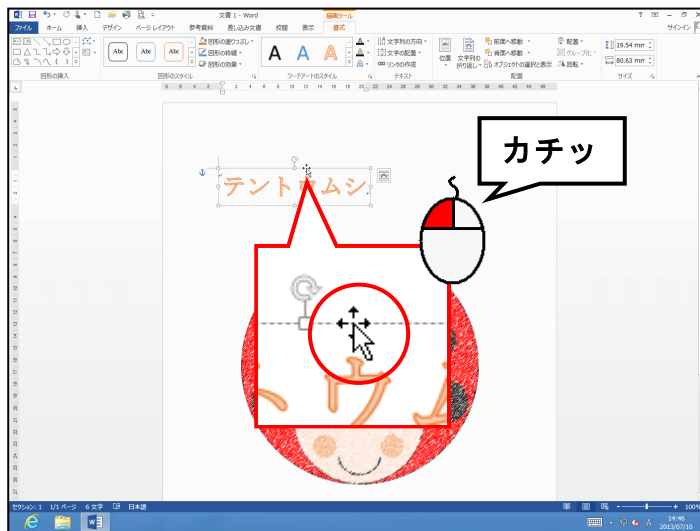
挿入したワードアートが灰色に反転している状態で、「テントウムシ」と入力します。



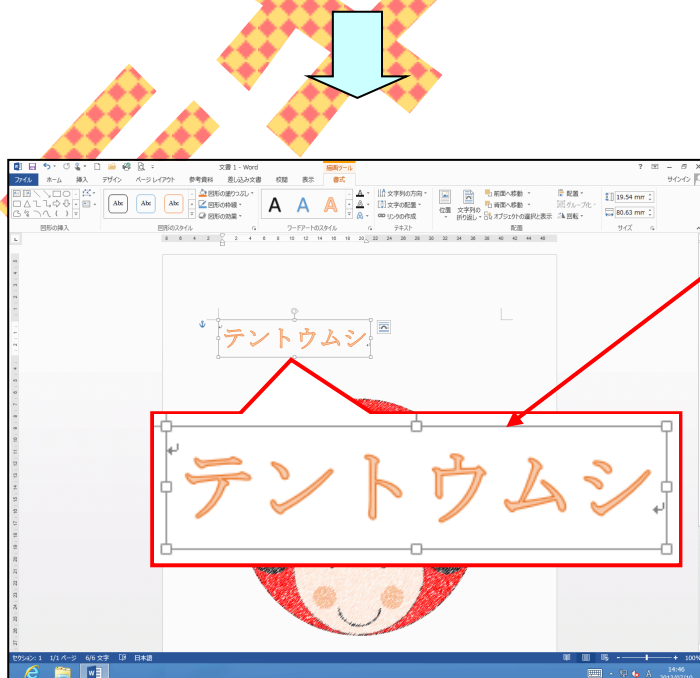
- 「ここに文字を入力」の文字が灰色に反転していれば、そのまま文字入力すると、入力した文字がきちんと入りますが、カーソルが表示された状態で入力すると、下図のようになってしまいます。その場合は、いらない文字を消しておきましょう。



ワードアートの枠線（点線）にポイントし、クリックします。

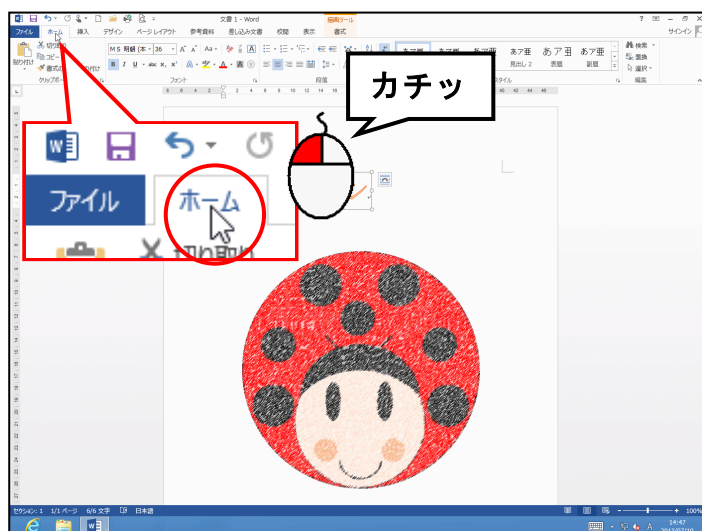


- ここからは、ワードアートの文字のフォントを変更するための操作になります。一度に文字のフォントを変更するためには、ワードアートを選択しておく必要があります。

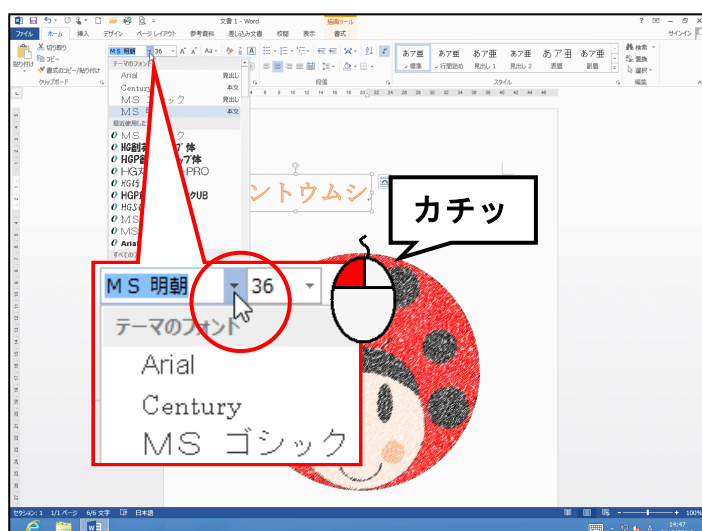


- ワードアートの枠線をクリックすると、枠線が点線から実線に変わります。

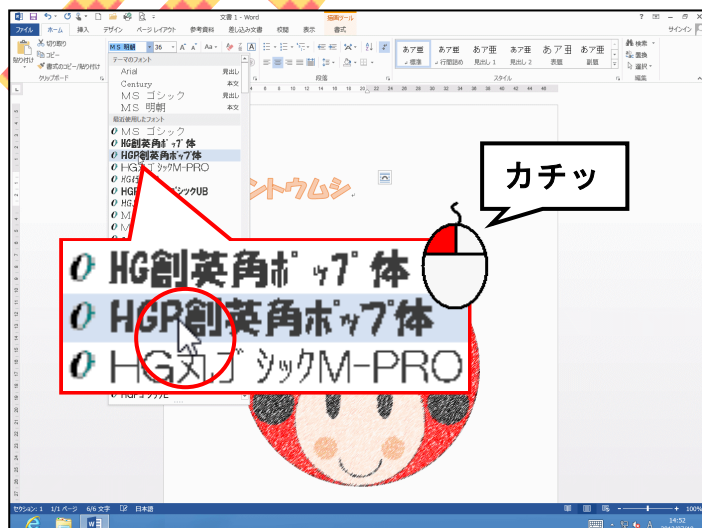
「ホーム」タブにポイントし、クリックします。

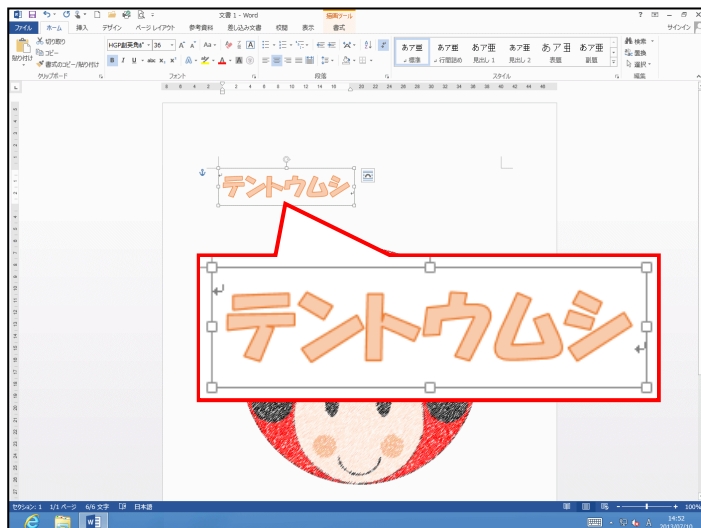
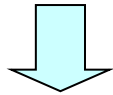


「フォント」グループにある MS 明朝 (本) 「フォント」ボックスの▼にポイントし、クリックします。



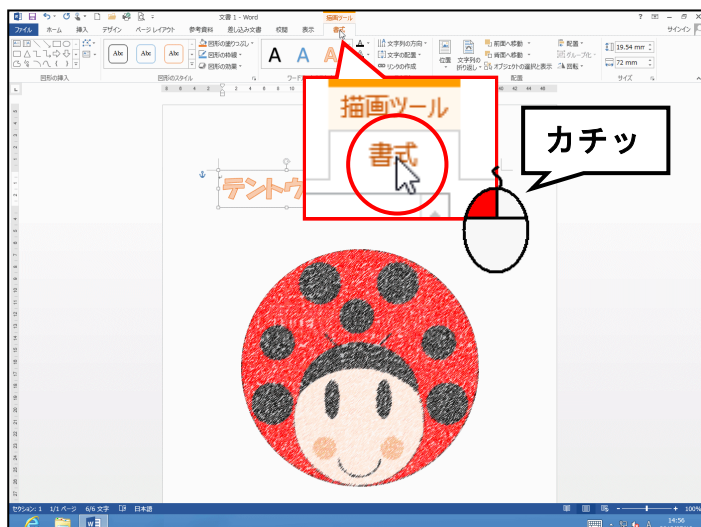
表示された一覧から「HGP 創英角ポップ体」にポイントし、クリックします。





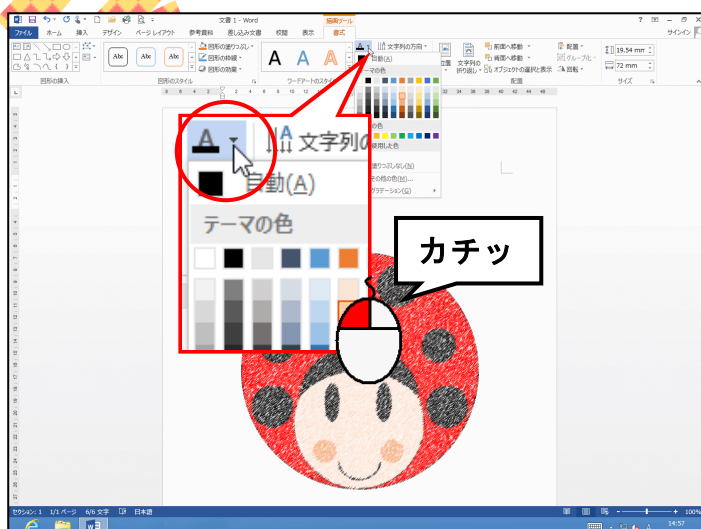
- フォントが「HGP 創英角ポップ体」に変更されました。

【書式】タブにポイントし、クリックします。

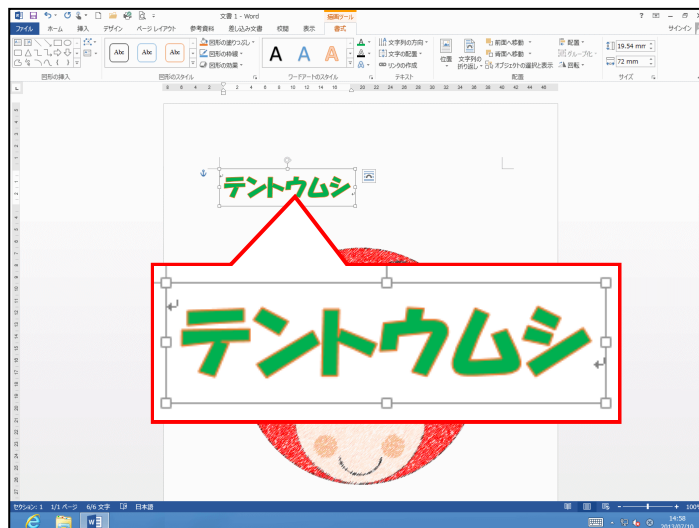
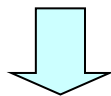
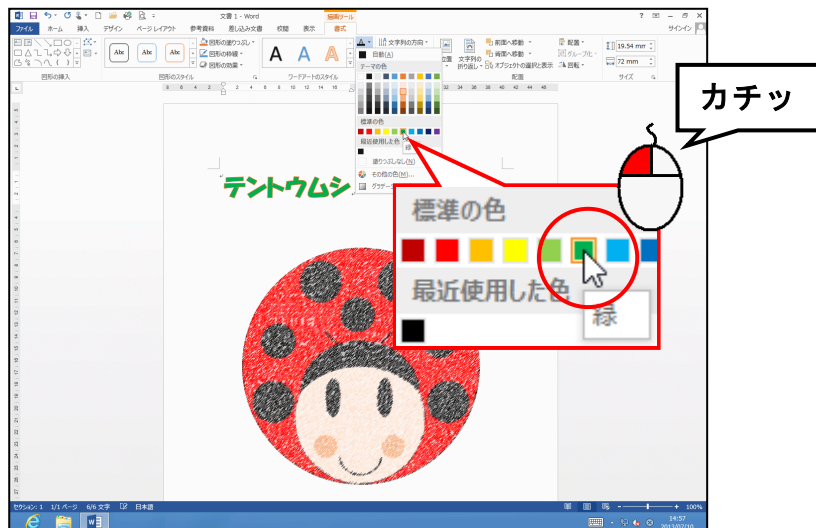


- ここからは、ワードアートの塗りつぶしの色を変更するための操作です。

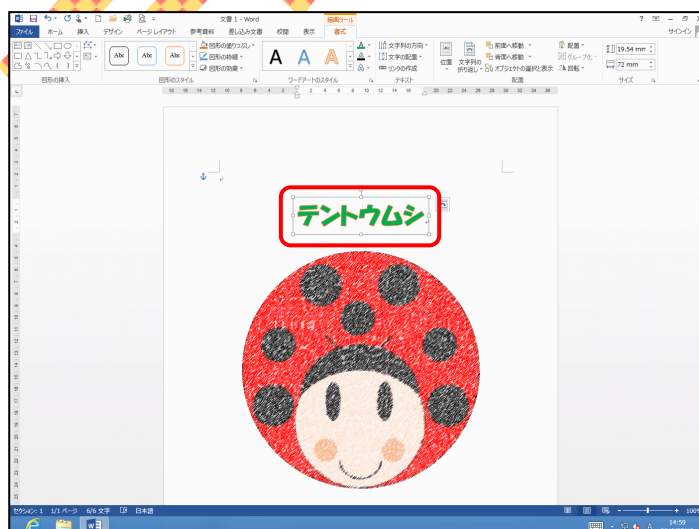
【ワードアートのスタイル】グループにある **A**・【文字の塗りつぶし】ボタンの横にある▼にポイントし、クリックします。



表示された一覧から「緑」にポイントし、クリックします。



ワードアートを、下図の位置に移動しておきましょう。



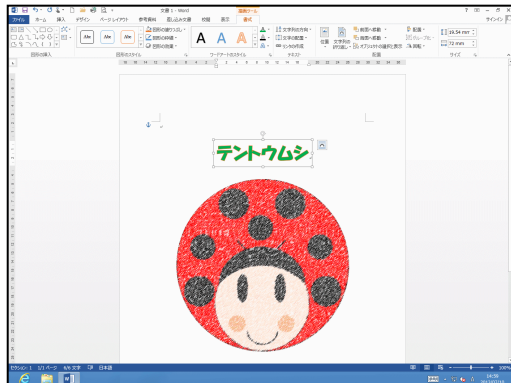
- ワードアートは、挿入直後は自動的に【文字列の折り返し】が「前面」になっていますので、図形を移動させる要領でデントウムシの画像の上へ移動させておきましょう。
- 次の操作でワードアートを画像として設定しますので、画面の左上を空けておきます。

(4) ワードアートにアート効果を設定する

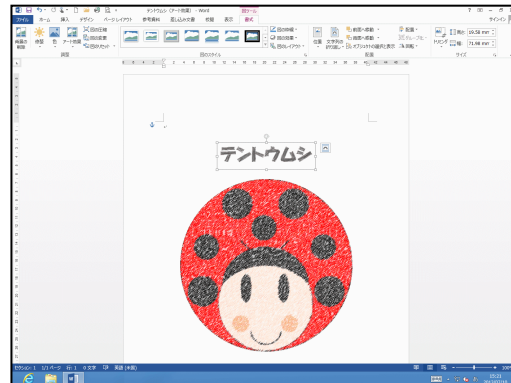
アート効果は、「ワードアート」そのままでは設定できません。先ほど挿入した「ワードアート」を、画像にしてからアート効果を設定してみましょう。

◆ワードアートにアート効果を設定する方法をマスターしましょう。

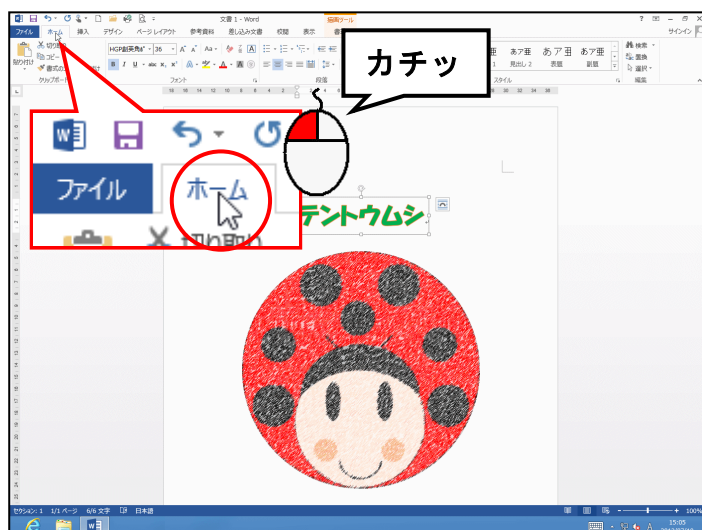
操作前



操作後

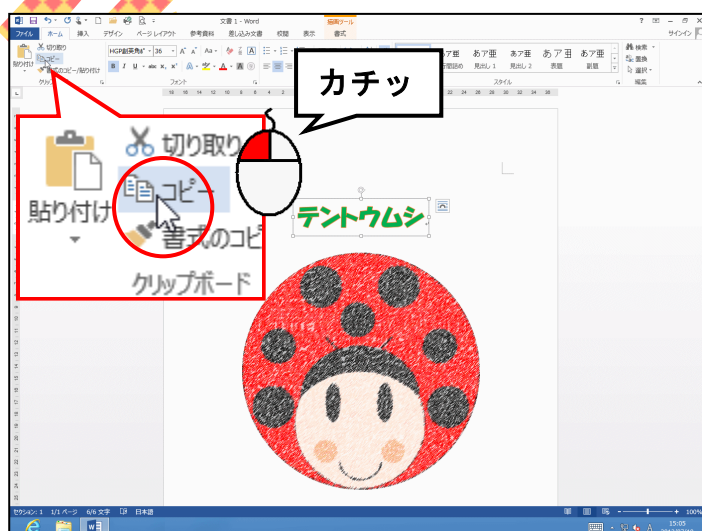


ワードアートが選択されていることを確認し、[ホーム] タブにポイントし、クリックします。

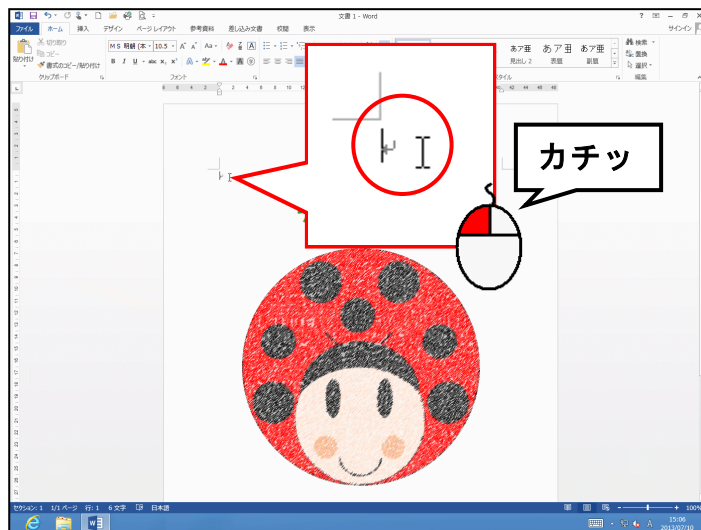


●ここからは、ワードアートを画像として変更するための操作になります。

[クリップボード] グループにある [コピー] ボタンにポイントし、クリックします。

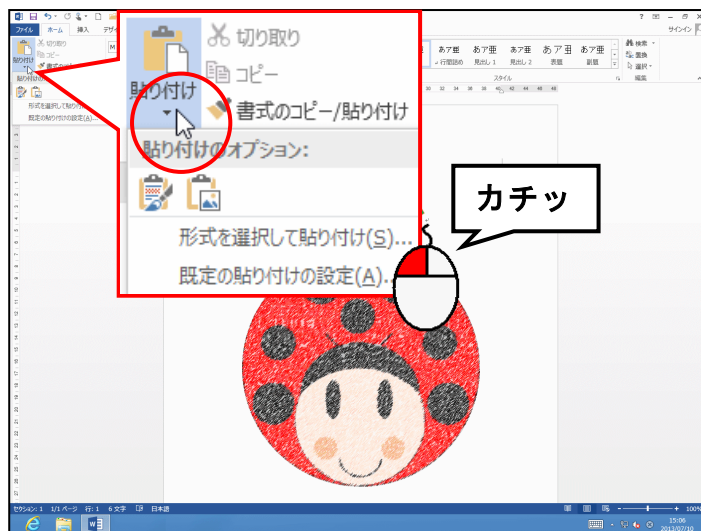


下図の辺りでクリックし、カーソルを表示させます。



- 画像として貼り付ける際は、文字列の折り返しが「行内」という設定になります。そのため、カーソルのある位置に貼り付けられるので、画面上をクリックし、カーソルを表示しておくようにしましょう。

【クリップボード】グループにある **貼り付け** [貼り付け] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

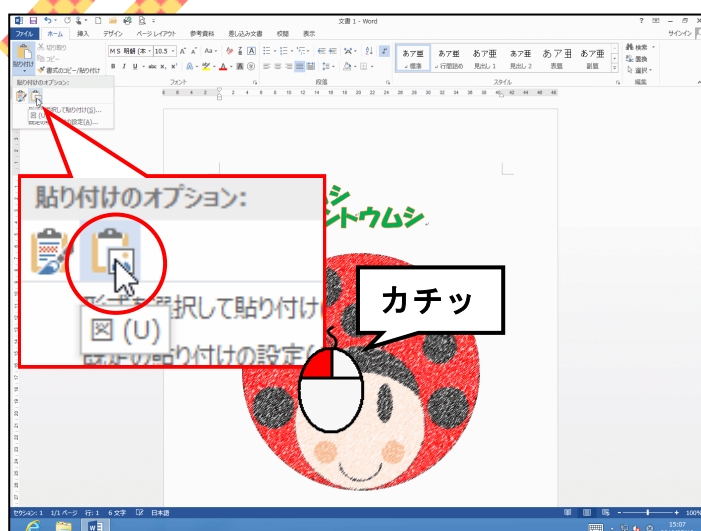
- 【貼り付け】ボタンにポイントすると、下図のようにボタンが2つに分かれます。必ず、**貼り付け** をクリックしてください。📋 をクリックしてしまうと、貼り付けに関するメニューが表示されません。



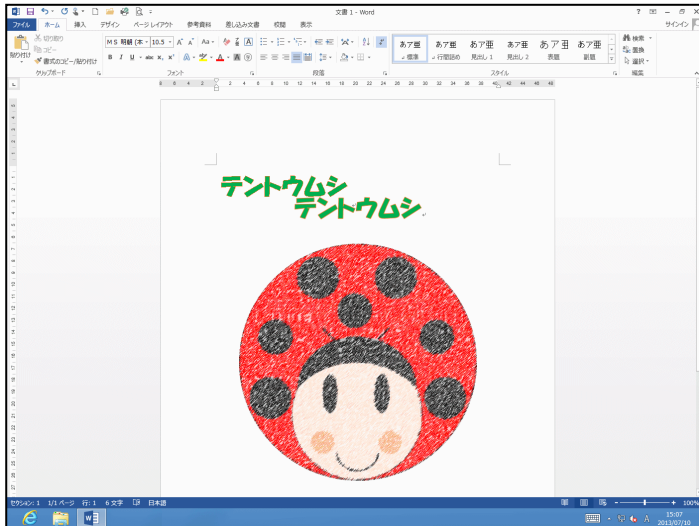
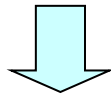
← ここをクリックします



表示された一覧から 📋 [図(U)] ボタンにポイントし、クリックします。

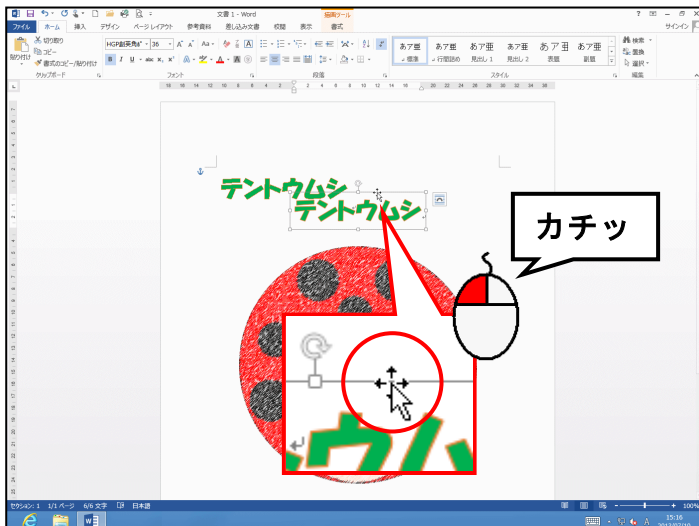


- 📋 [元の書式を保持] ボタンと間違えないようにしましょう。



- ワードアートで作った文字と、画像として貼り付けた文字の 2 つが表示されます。

ワードアートで作った「デントウムシ」にポイントし、クリックします。



注意!

- 見た目には違いが判りません。ワードアートを選択したときに、**【描画】 ツール**の書式タブが表示されていれば大丈夫です。もしも、**【図】 ツール**の書式タブが表示されている場合は、図として貼り付けたワードアートが選択されていますので、再度選択し直しましょう。

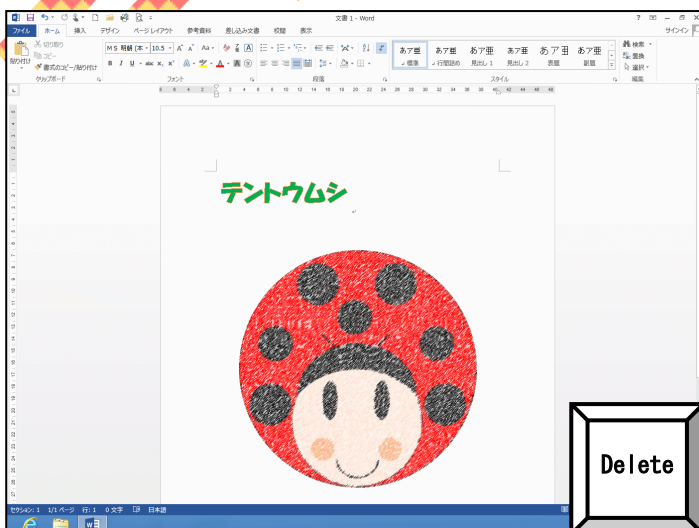
描画ツール
書式

【描画】 ツール ・ ・ 図形


図ツール
書式

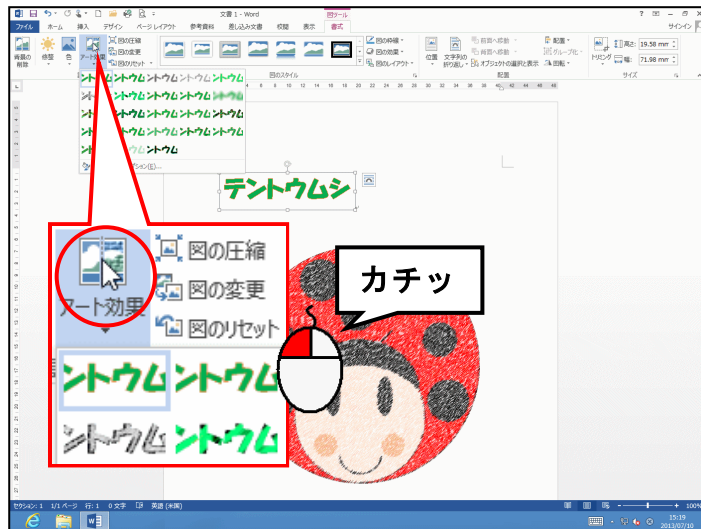
【図】 ツール ・ ・ ・ 画像

ワードアートが選択された状態で **[Delete]** キーを押します。



- ワードアートで作った文字は、今回は必要なくなりましたので削除します。
- ワードアートが選択されている状態なら、**[Back Space]** キーを押しても、同じ結果になります。

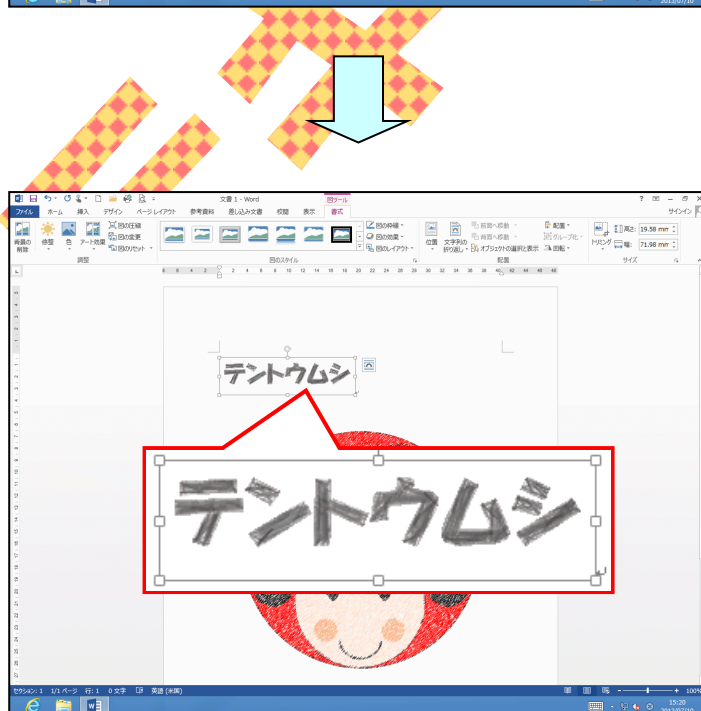
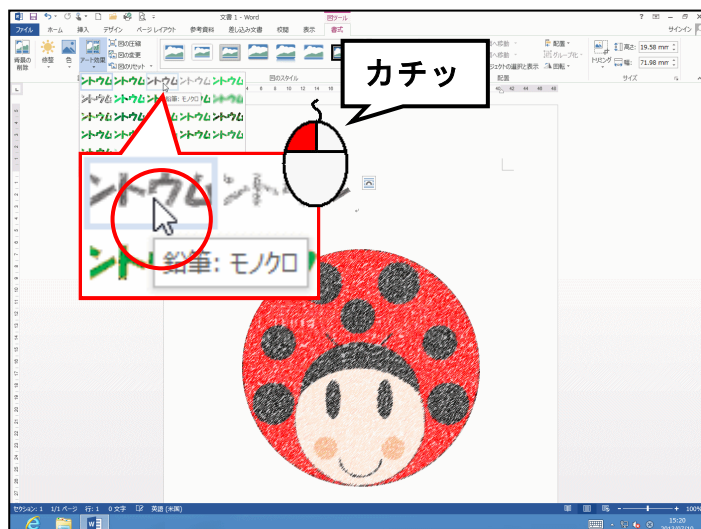
画像を選択し、[書式] タブに切り替え、[調整] グループにある  [アート効果] ボタンをクリックします。



●ここからは、ワードアートの画像にアート効果を設定するための操作になります。

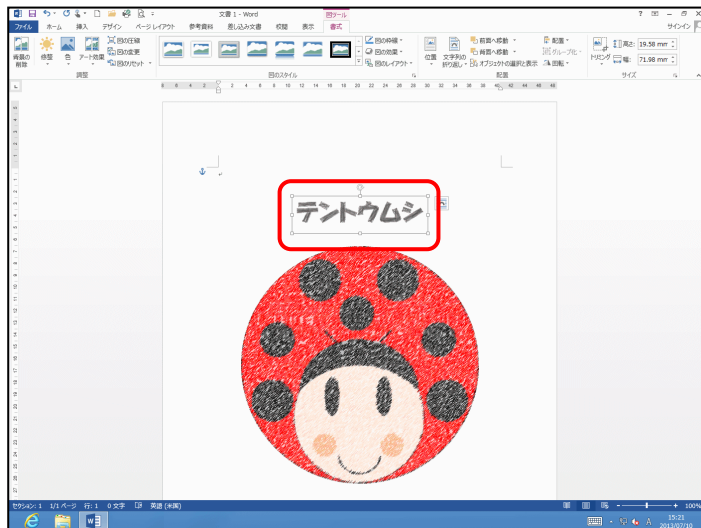
●[書式] タブが表示されていない方は、ワードアートの画像を選択しておきましょう。

表示された一覧から「鉛筆：モノクロ」にポイントし、クリックします。



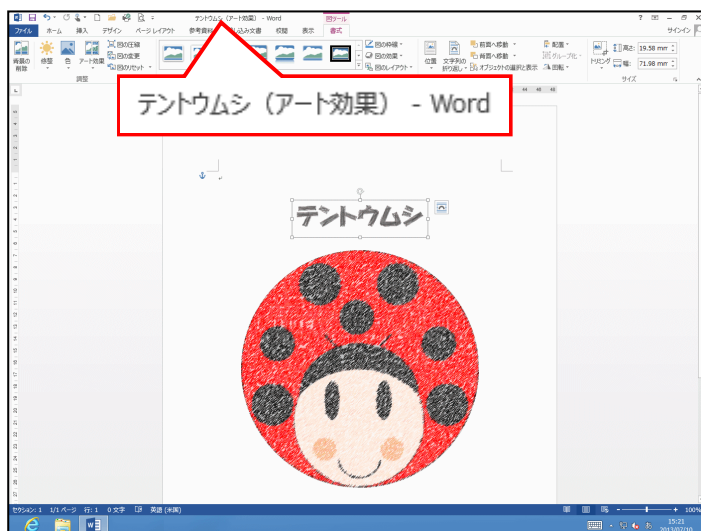
●「鉛筆：モノクロ」のアート効果が設定されました。

文字列の折り返しを「前面」に設定し、下図の位置へ移動しましょう。



●文字列の折り返し方法を忘れた方は、P64 を参照してください。

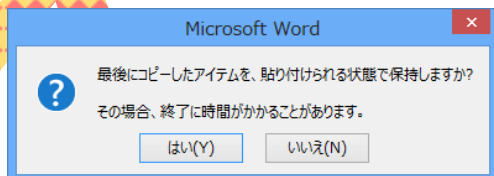
「デントウムシ（アート効果）」と名前を付けて保存しましょう。



ワードを閉じておきましょう。

注意!

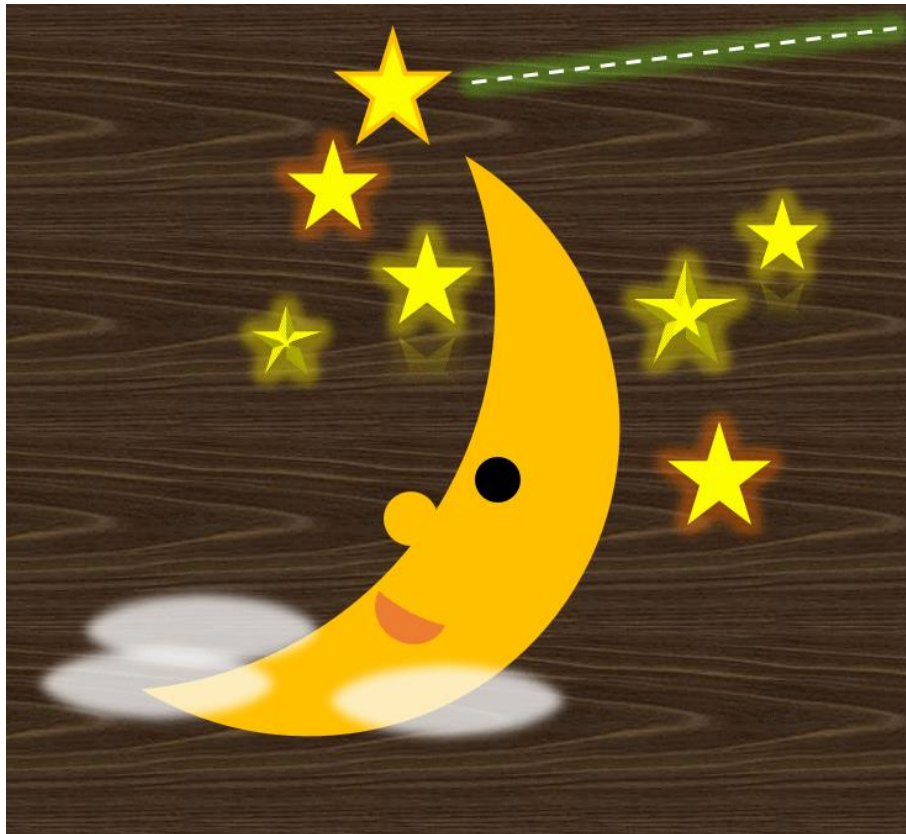
●ワードを閉じる際に、下図のようなダイアログボックスが表示された方は、**【いいえ(N)】** ボタンをクリックしておきましょう。



☆☆ここまでくれば練習問題 2 で理解度を試してください。☆☆

4. ぼかし絵

【月と雲 完成例】



こんなうっすらとした感じで描けるんだ～

ウメさん「ワードでこんなにうっすらとした絵が描けるのね。」

タケさん「まだテキストがはじまって間がないのに、こんなに難しいことができるのか？ 心配じゃ…」

くじら先生「大丈夫。さっきまでは図形の塗りつぶしの色や枠線の色だけを使ってきましたが、ぼかしや透明度などの図形の効果という機能を使うと簡単にできるんですよ。」

ウメさん「すごく楽しみだわ。先生早くはじめましょう！」

くじら先生「はい。では楽しみながら進んでいきましょう！！」



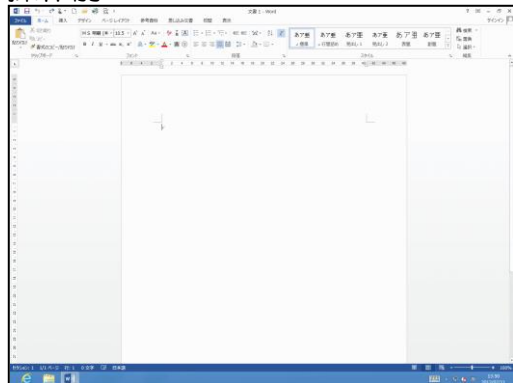
(1) ぼかし絵を描くための準備

① 画面の設定

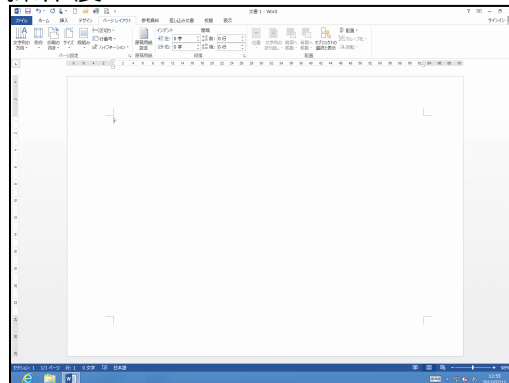
ワードの用紙の向きの初期設定は縦向きです。ここでは A4 の横向きに使用しますが、A4 の横の用紙の設定だと、全体が表示されない場合があります。画面全体が表示されるために倍率を変更してみましょう。

◆画面の倍率を変更する方法をマスターしましょう。

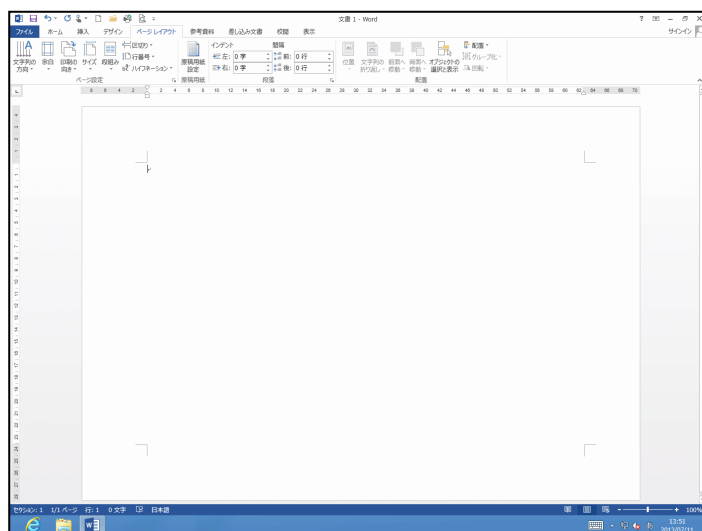
操作前



操作後

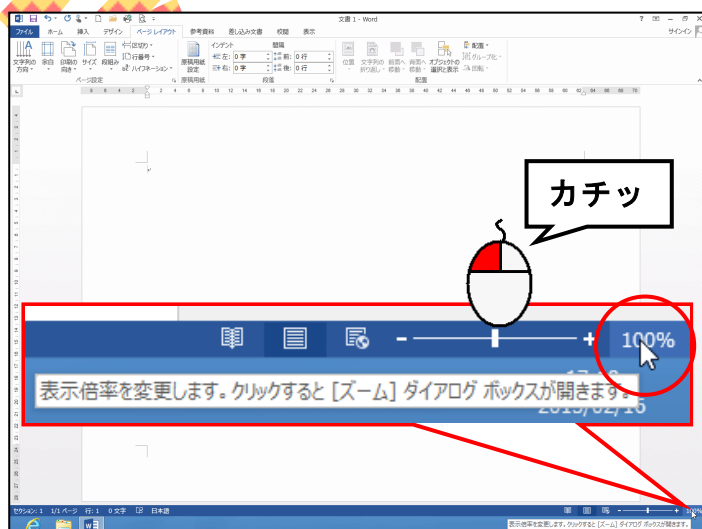


ワードを起動し、用紙の向きを横向きにします。



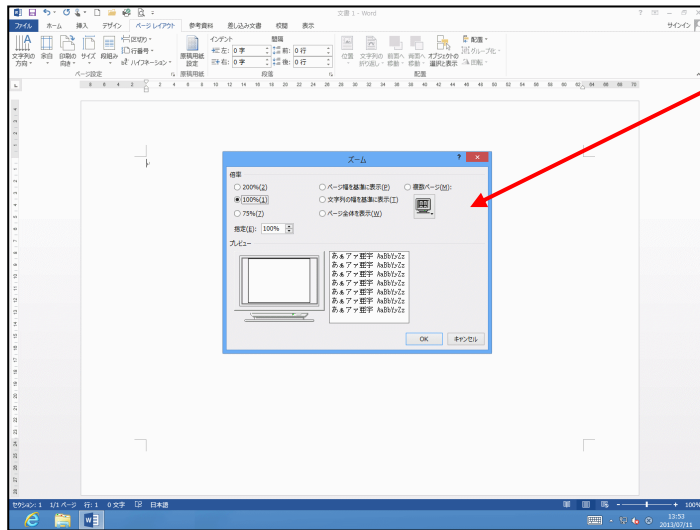
- 用紙を横向きにするには、[ページレイアウト] タブの [ページ設定] グループにある [印刷の向き] ボタンをクリックし、「横」を選択します。


画面右下にある 100% [ズーム] ボタンにポイントし、クリックします。



- 100% [ズーム] ボタンにポイントすると、次のようなメッセージが表示されます。

表示倍率を変更します。クリックすると [ズーム] ダイアログ ボックスが開きます。

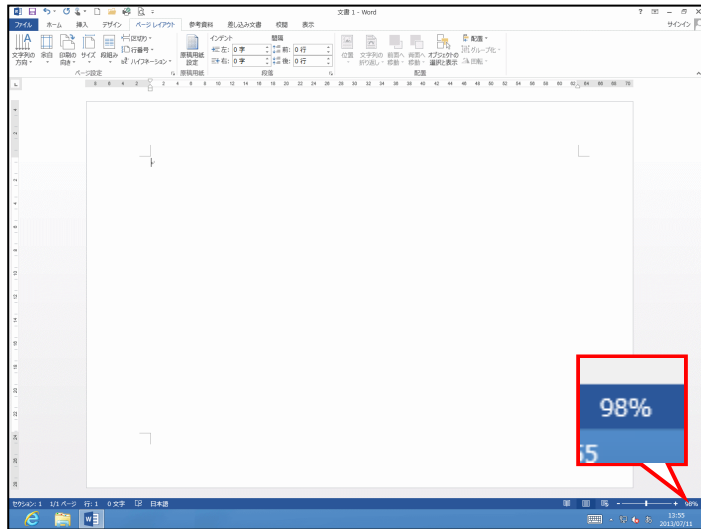
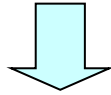


- ポイントし、クリックします。
- [ページ全体を表示(W)] をクリックすると、左に  が表示されます。

- カチツ

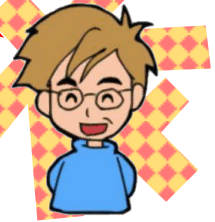
Zoom dialog box showing 'Zoom to: 90%' and a list of zoom levels. The 'OK' button is circled in red, and a speech bubble with the text 'カチッ' (Kachin) points to it. A red arrow points from the speech bubble to the 'OK' button.

- カチッ



● [OK] ボタンをクリックすると、表示倍率が縮小されて、ページ全体が表示されます。

● 左の図では、表示倍率が **98%** になっていますが、お使いのパソコンによって表示倍率は異なります。

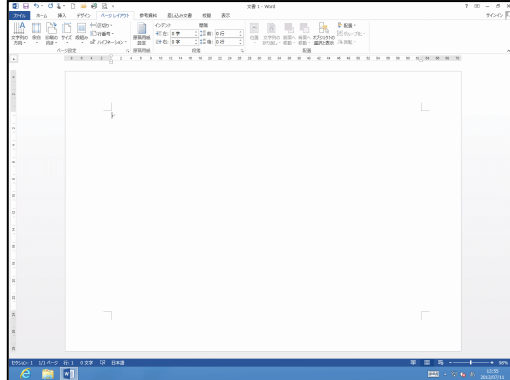


② 背景色の設定

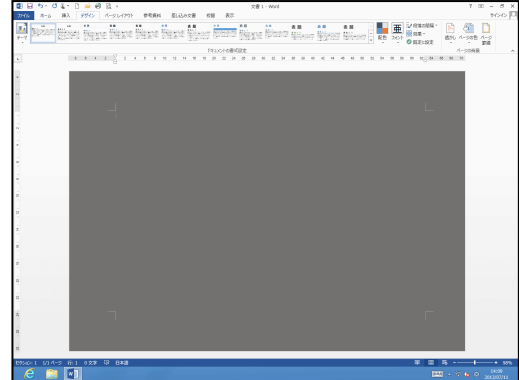
通常、用紙の色は白色になっています。ここではぼかしの絵を描きますので、背景を暗くして絵がはっきりわかるように設定してから描きましょう。

◆背景色を設定する方法をマスターしましょう。

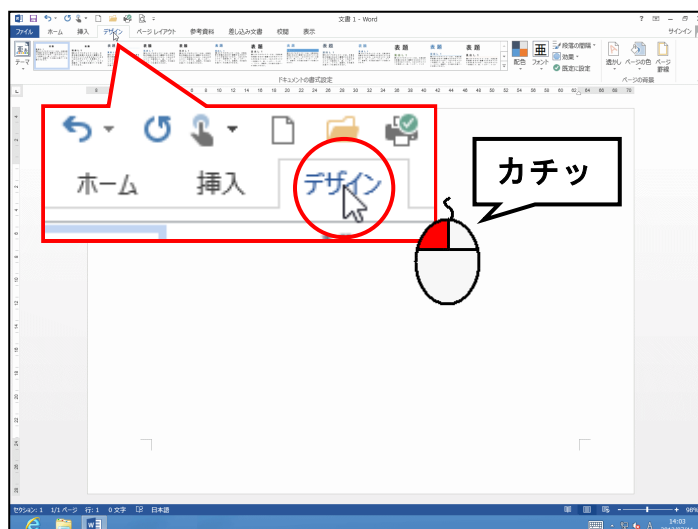
操作前



操作後

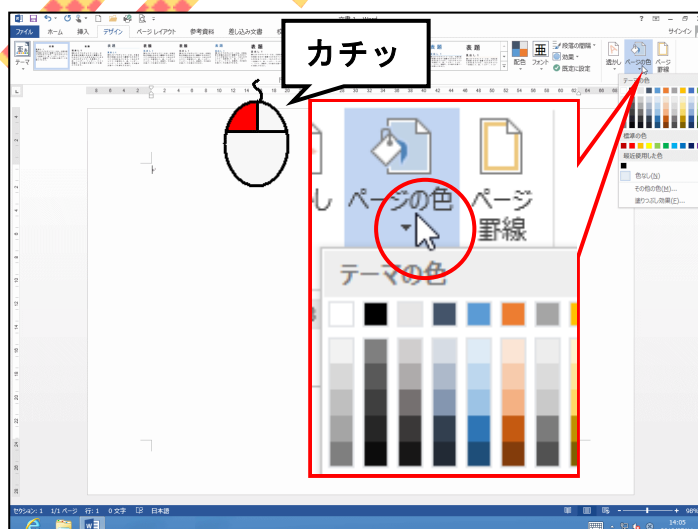


[デザイン] タブにポイントし、クリックします。



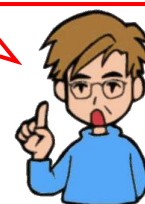
●「背景色」の設定は、[デザイン] タブから行います。

[ページの背景] グループにある [ページの色] ボタンにポイントし、クリックします。

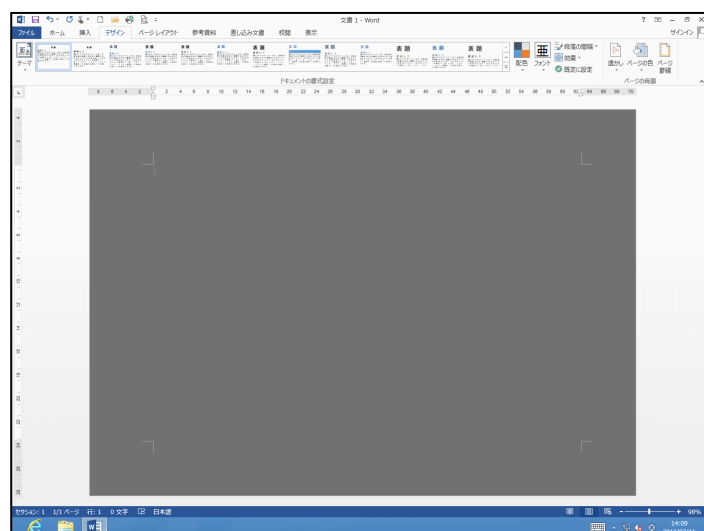
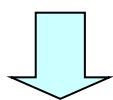
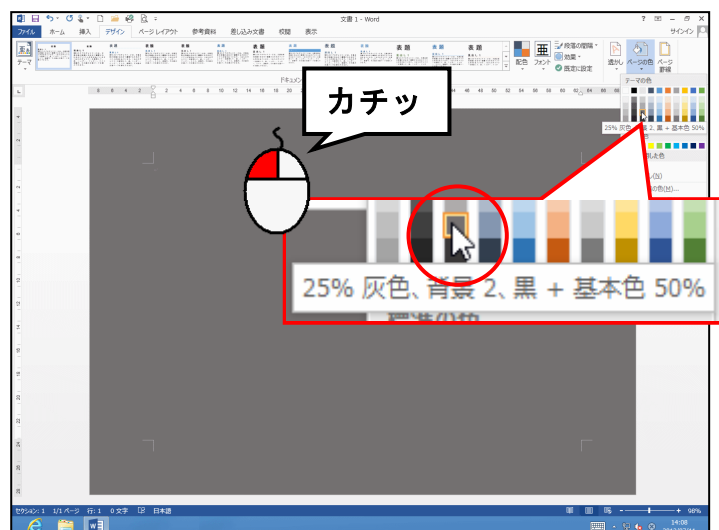


●リボンが表示されていない方は、
P216 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示



表示された色の一覧から「25%灰色、背景 2、黒+基本色 50%」にポイントし、クリックします。

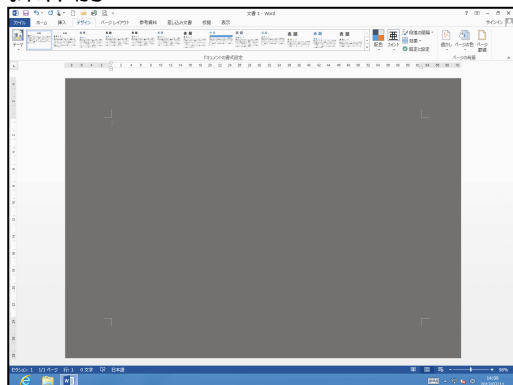


●背景が「25%灰色、背景 2、黒+基本色 50%」に設定されました。

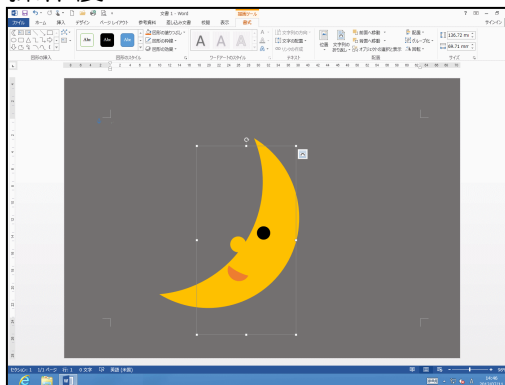
(2) お月さまを描く

◆回転ハンドルを使って図形を回転する方法をマスターしましょう。

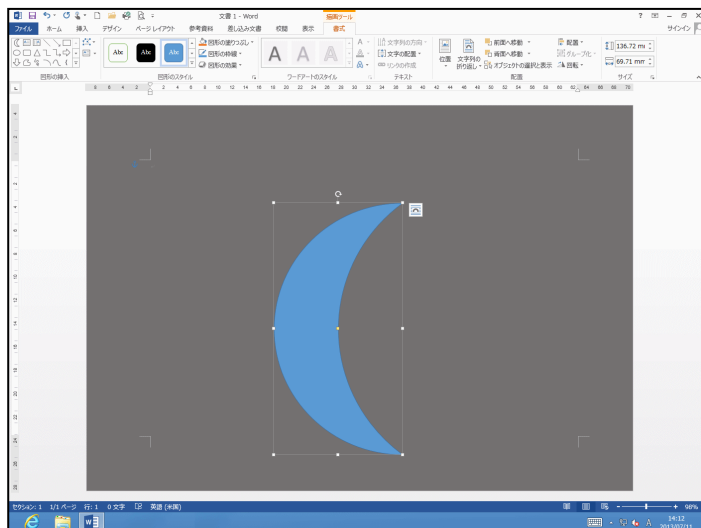
操作前



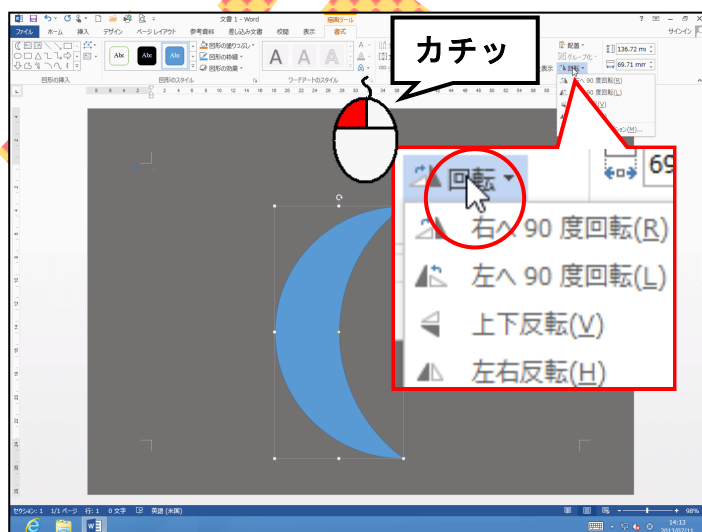
操作後



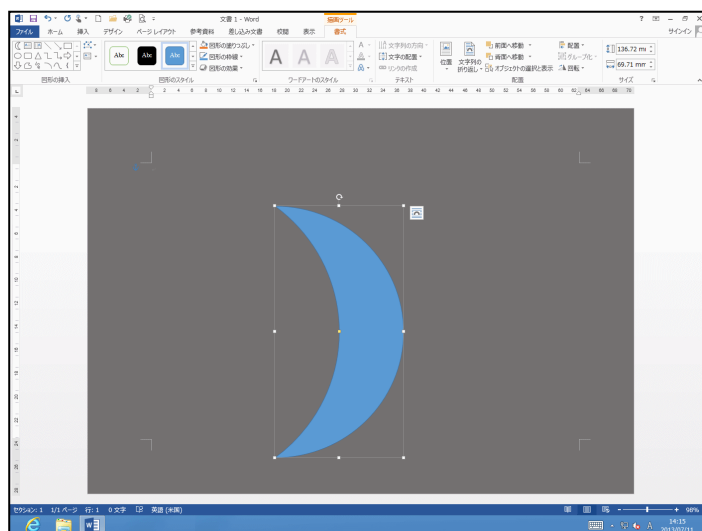
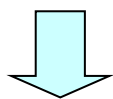
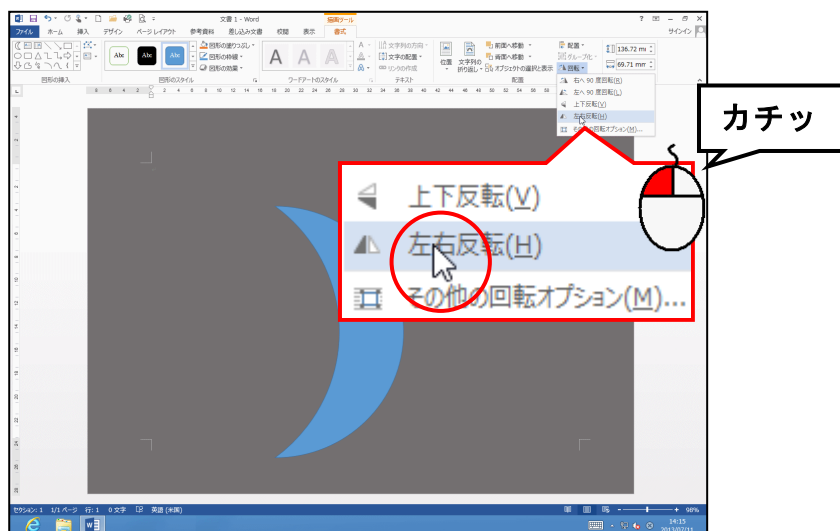
大きめに月を描きます。



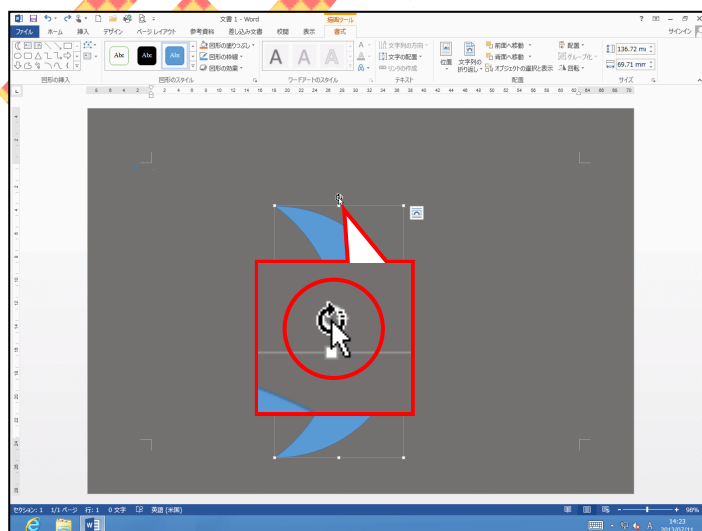
【配置】グループにある [回転] ボタンにポイントし、クリックします。




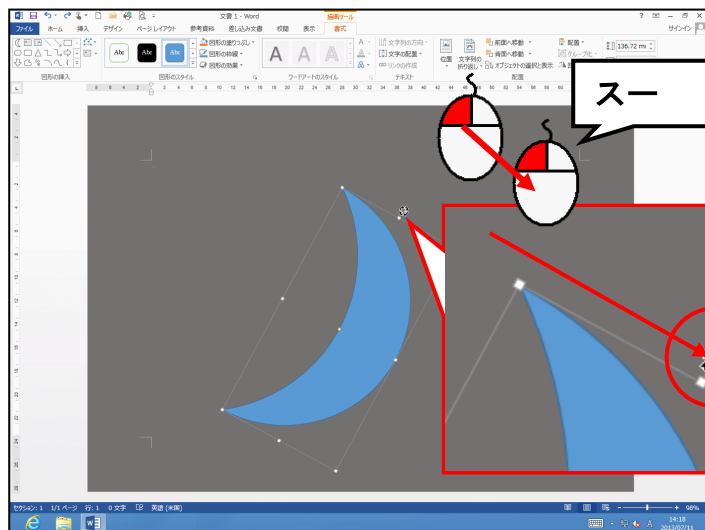
表示された一覧から「左右反転(H)」にポイントし、クリックします。




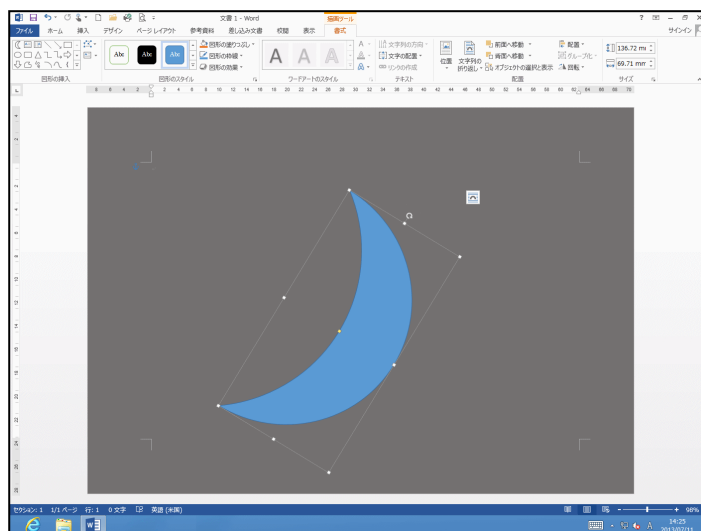
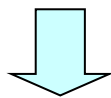
(回転ハンドル)にポイントします。



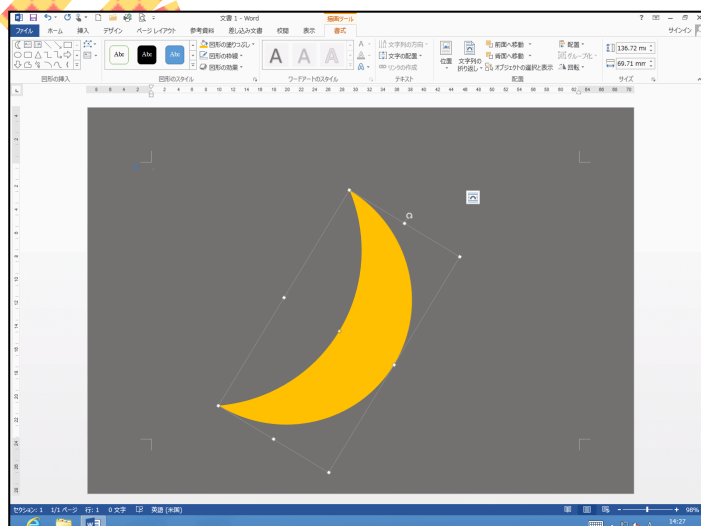
そのまま、（回転ハンドル）を右下に向かって少しドラッグします。



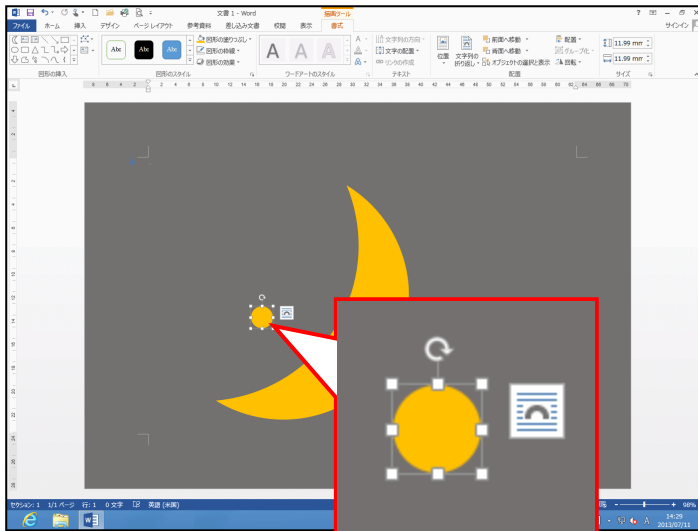
●マウスの左ボタンを押した時点で、マウスポインターが  に変わります。



図形の塗りつぶしの色を「ゴールド、アクセント4」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。

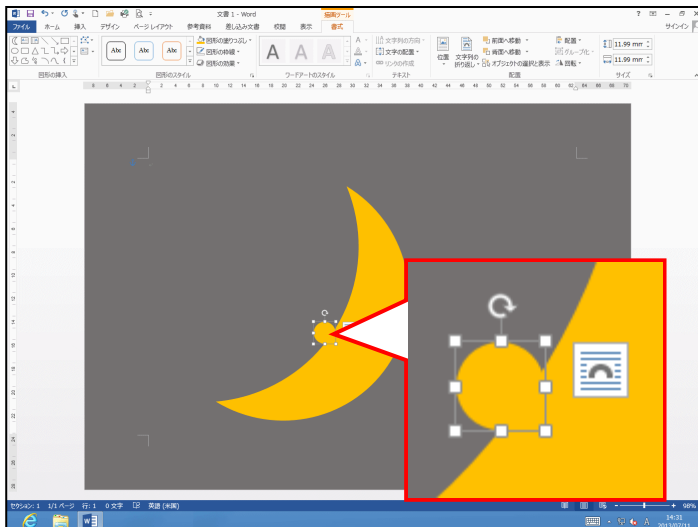


小さめに楕円を描き、図形の塗りつぶしの色を「ゴールド、アクセント 4」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。

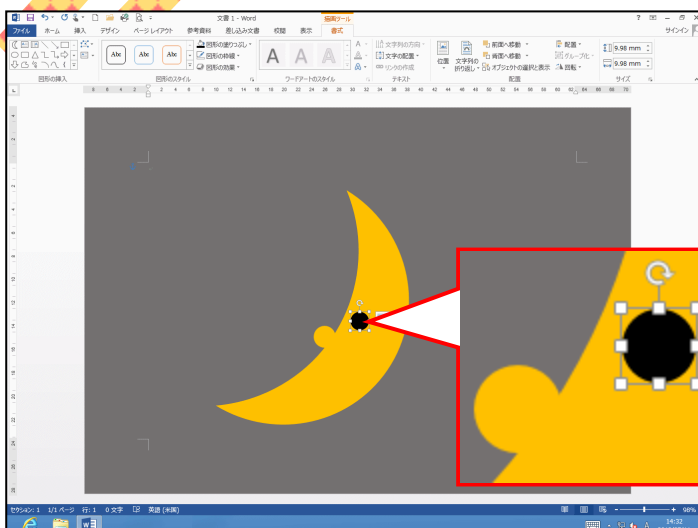


●月の鼻になる部分です。

下図の位置になるように、小さな楕円を月の図形に重ね合わせます。

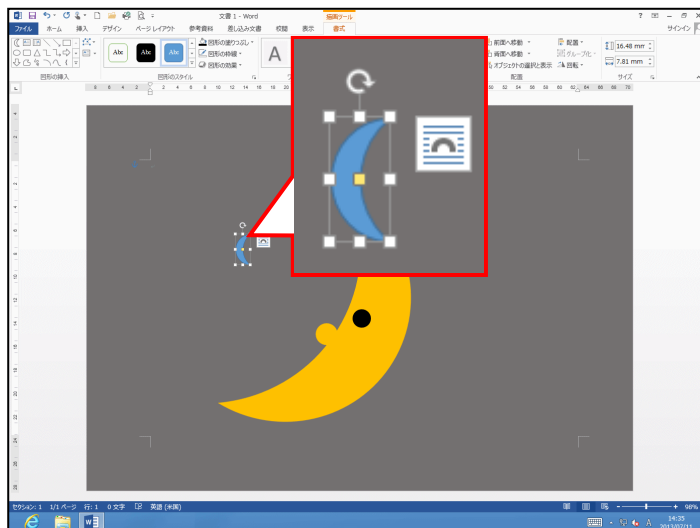


小さめに楕円を描き、図形の塗りつぶしの色を「黒、テキスト 1」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



●月の目になる部分です。

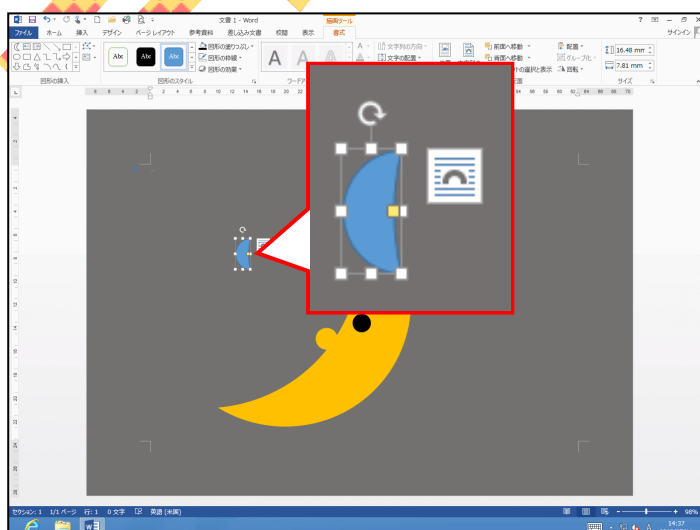
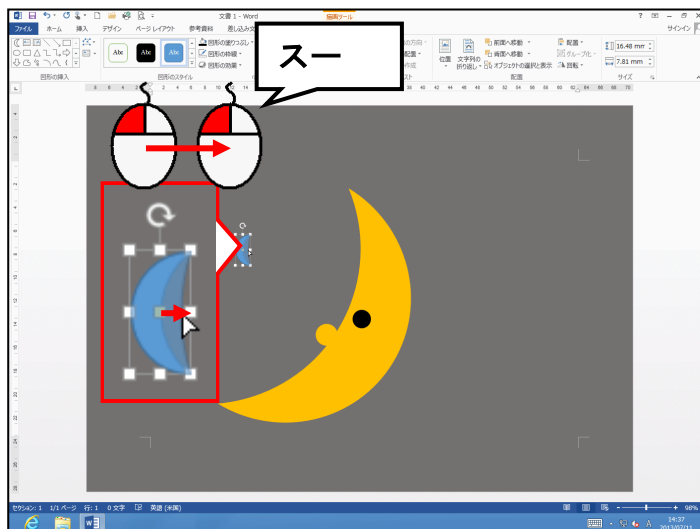
下図のように、月の図形を描きます。



●月の口になる部分です。

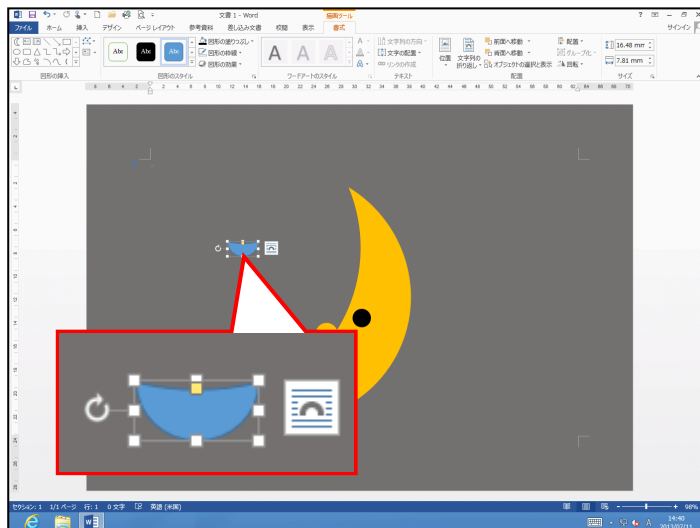
●ポイントは、あまり小さく描かないことです。小さく描きすぎると、図形の ■（変形ハンドル）が表示されなくなってしまうためです。

描いた月の図形の ■（変形ハンドル）にポイントし、右方向へドラッグします。



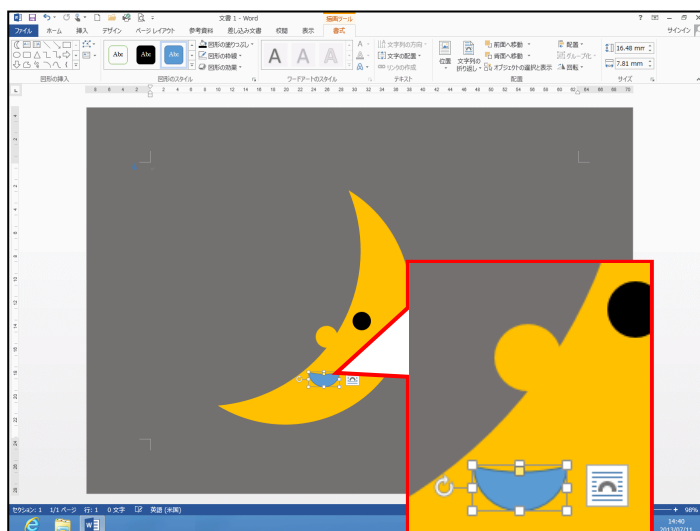
●図形が変形しました。

月の図形を左へ 90 度回転します。



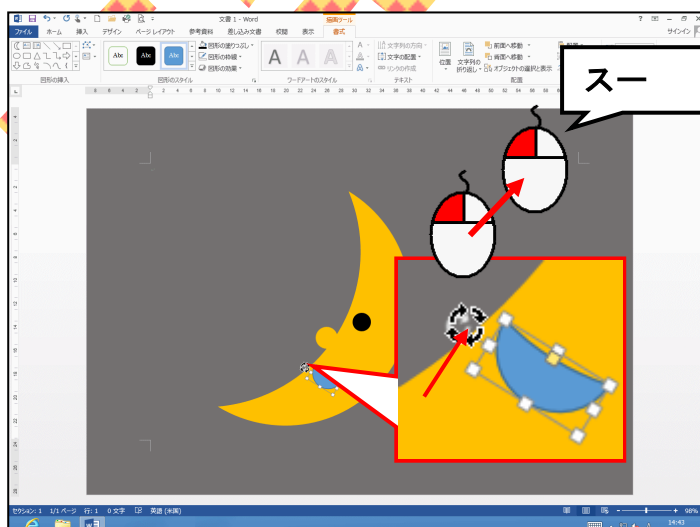
●図形の回転を忘れた方は、P23～P24 を参照してください。

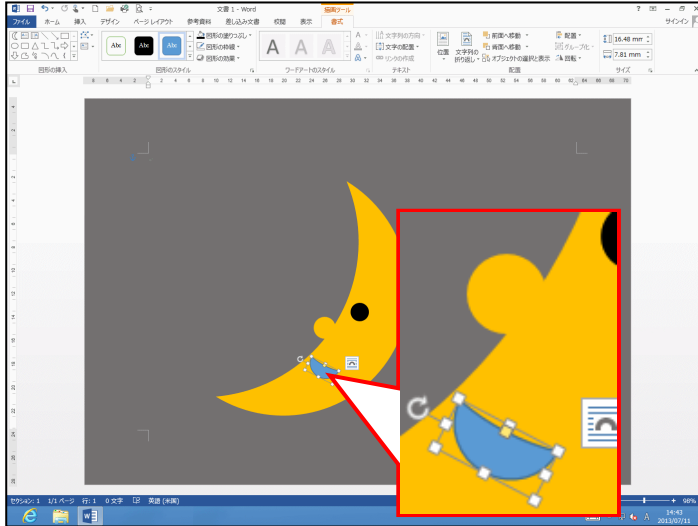
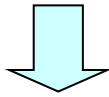
回転させた月を、下図のように移動します。



●最初は、ぴったりこの位置に移動できなくても構いません。次の操作で口になるこの図形を回転させます。

（回転ハンドル）にポイントし、右上に向かって少しドラッグします。

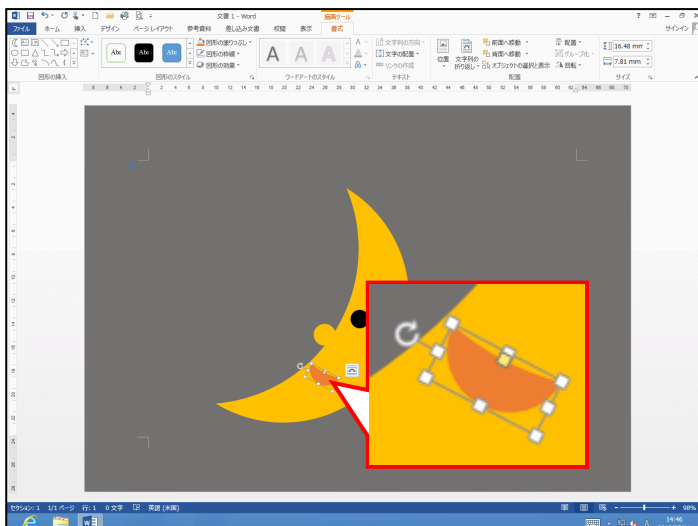




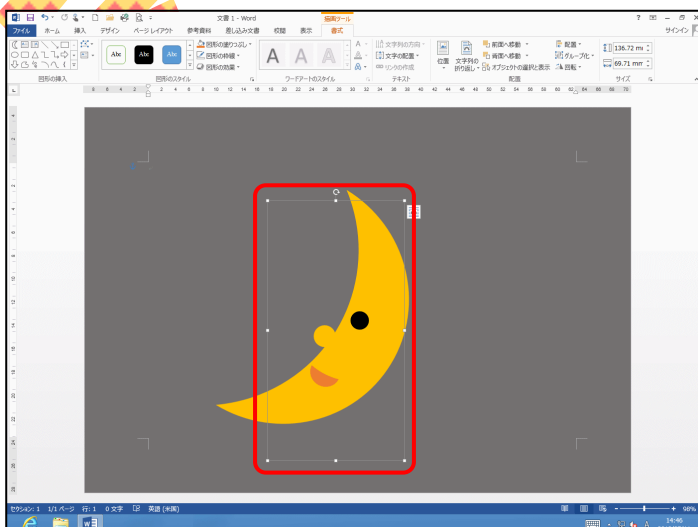
●角度が変わりました。

●口となる月の図形を移動して、位置を微調整しておきましょう。

回転させた月の塗りつぶしの色を「オレンジ、アクセント 2」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



お月さまをグループ化しておきましょう。



●図形のグループ化を忘れた方は、**P34 ⑫ 図形のグループ化**を参照してください。

●グループ化された図形をクリックすると、図形の周りに薄い枠線が表示されています。月の図形よりも内側に表示されていますが、きちんとグループ化されていますので、心配いりません。

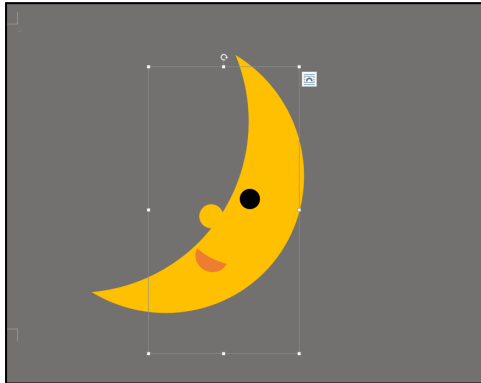
(3) お月さまに雲を描く

① ぼかしの設定

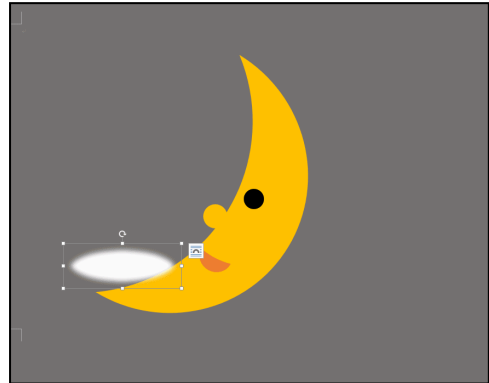
今度は、先ほど描いたお月さまに、ふんわりした雲を描いていきましょう。

◆雲にぼかしを設定する方法をマスターしましょう。

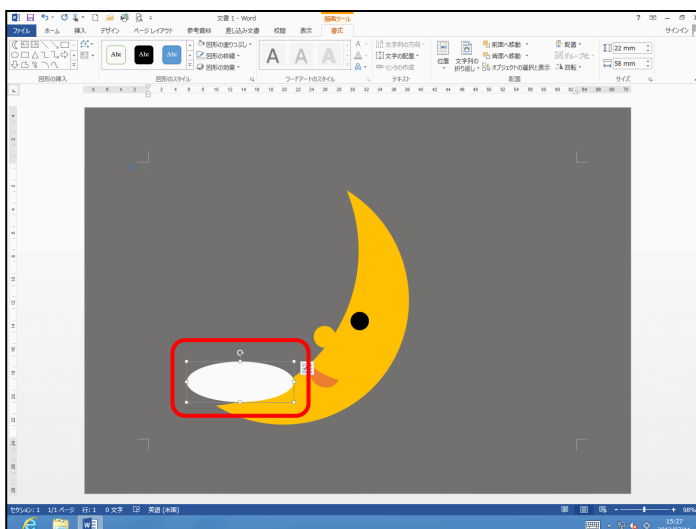
操作前



操作後

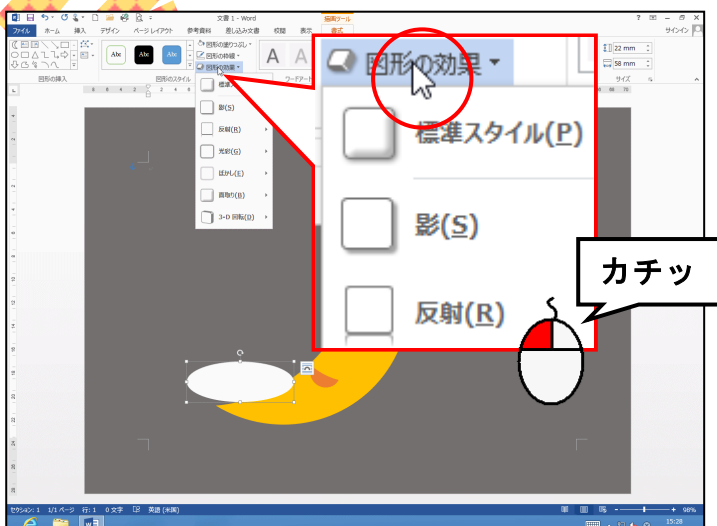


お月さまの下の方に、楕円を一つ描き、図形の塗りつぶしの色を「白、背景 1」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。

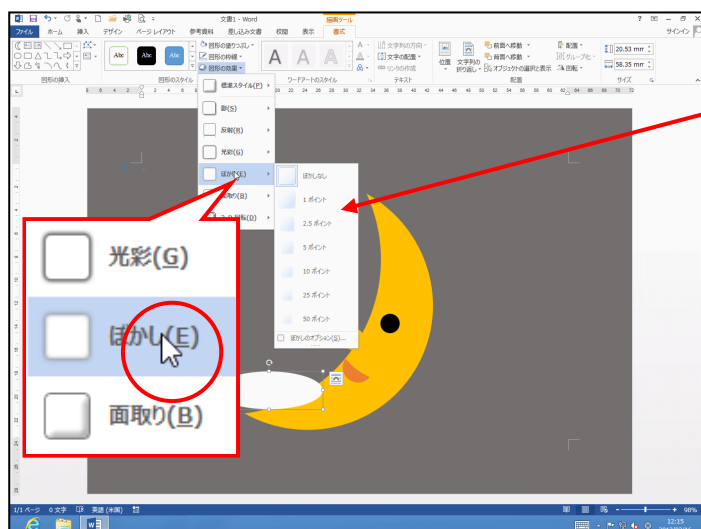


●まずは最初に一つ、ぼかした感じの雲を作ってみましょう。

白い楕円が選択されていることを確認して、[図形のスタイル] グループにある **図形の効果** ▶ [図形の効果] ボタンにポイントし、クリックします。

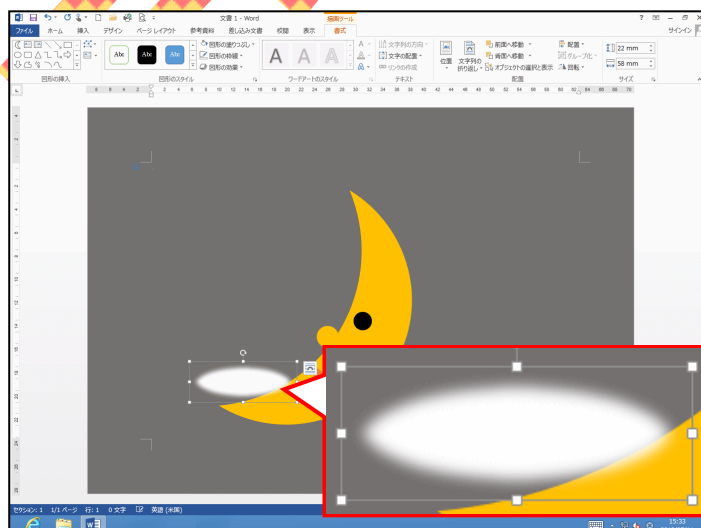
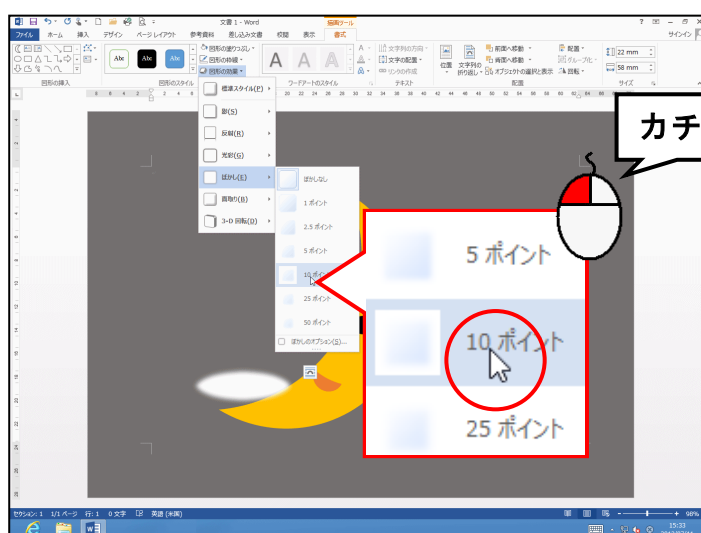


表示された一覧から「ぼかし(E)」にポイントします。



●「ぼかし(E)」にポイントすると、ぼかしの大きさの一覧が表示されます。

右側に表示された一覧から「10 ポイント」にポイントし、クリックします。



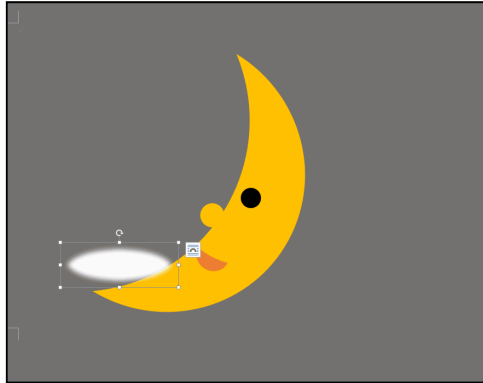
●雲にぼかしがかり、ふんわりとした感じになりました。

② 透明度の設定

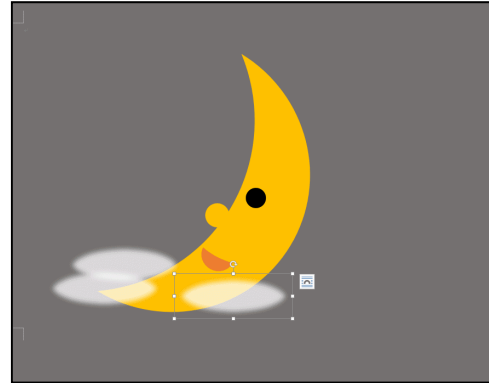
先ほど描いた雲は、このままでは重ねたときにうっすらとした透明感（透明度）が出ません。透明度を設定し、もっと雲らしくしてみましょう。

◆雲に透明度を設定する方法をマスターしましょう。

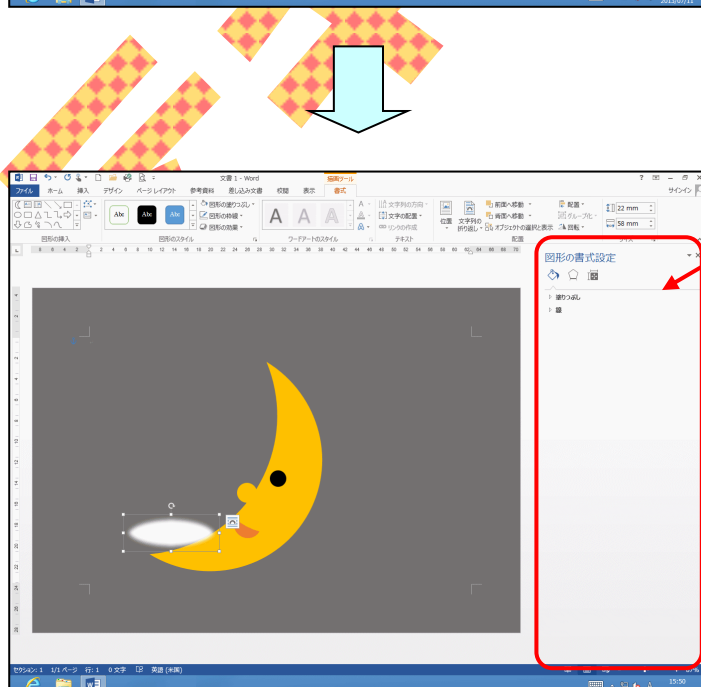
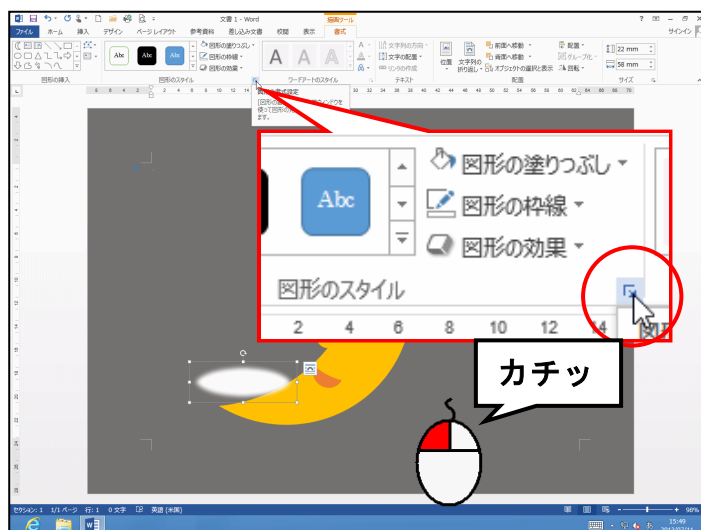
操作前



操作後

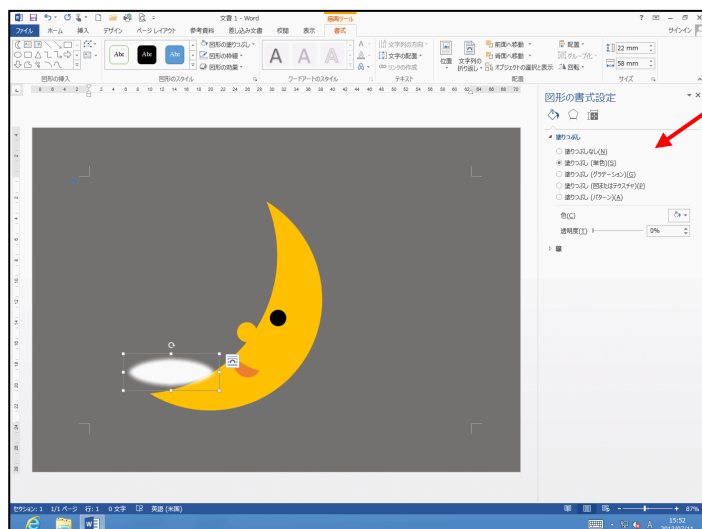
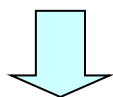
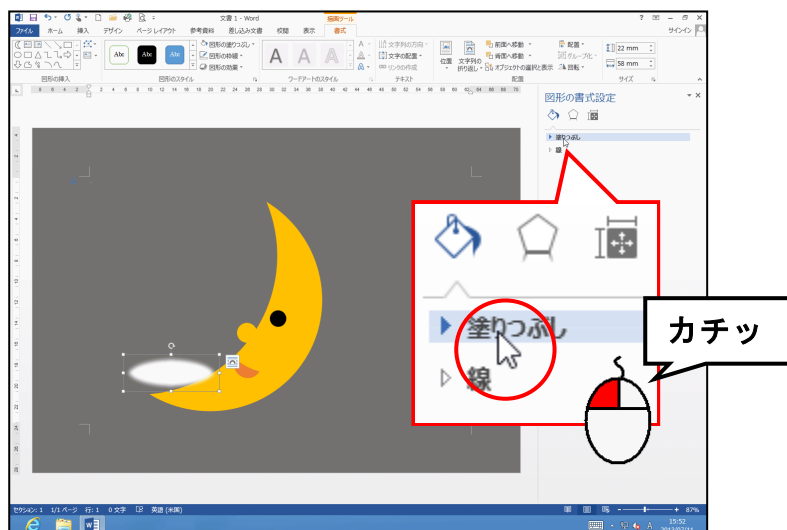


白い楕円が選択されていることを確認して、[図形のスタイル] グループの右下にある [図形の書式設定] ボタンにポイントし、クリックします。




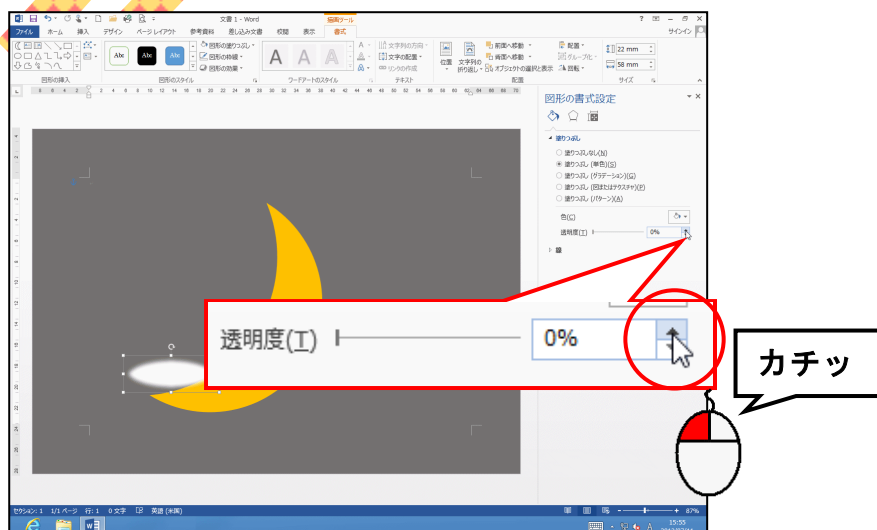
● [図形の書式設定] ウィンドウが表示されました。

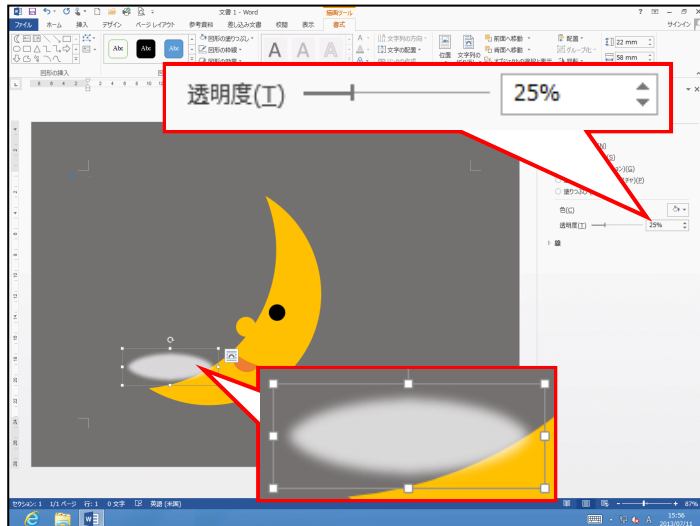
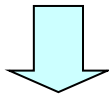
表示された「図形の書式設定」ウィンドウから「塗りつぶし」にポイントし、クリックします。



●「塗りつぶし」をクリックすると、塗りつぶしの色やグラデーション、透明度などを設定する項目が表示されます。

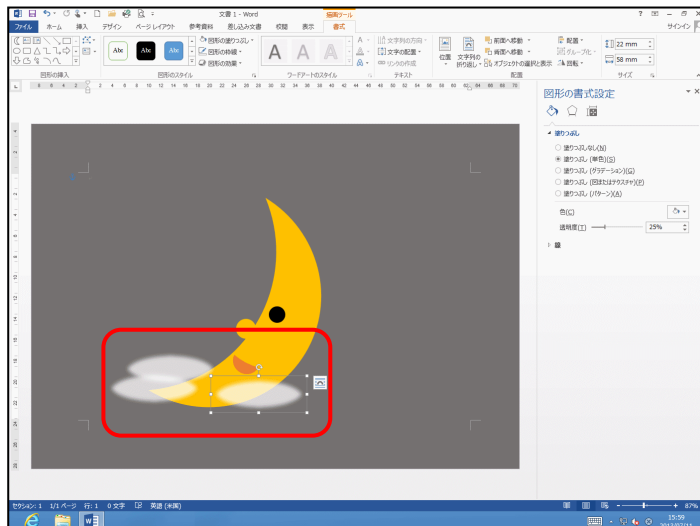
「塗りつぶし」の下にある「透明度(T)」の  にポイントし、「25%」になるまでクリックします。





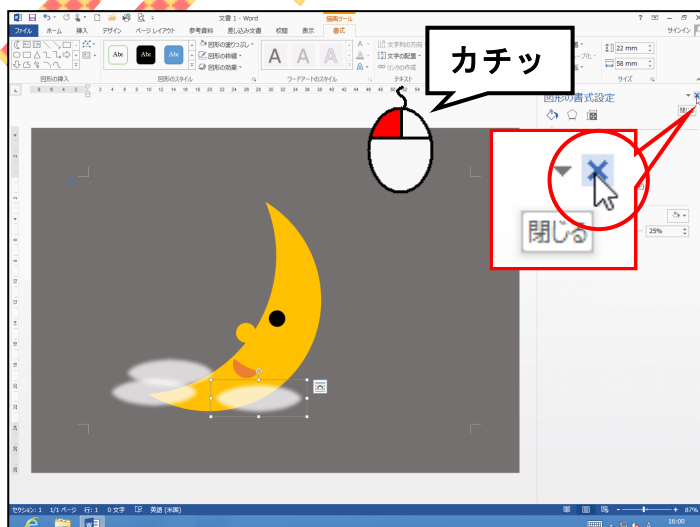
- 透明度の数値が上がれば上がるほど、透明度が増します。
「100%」に設定した場合、透明になりますので、色は見えません。

雲をコピーして、下図のように配置してみましょう。

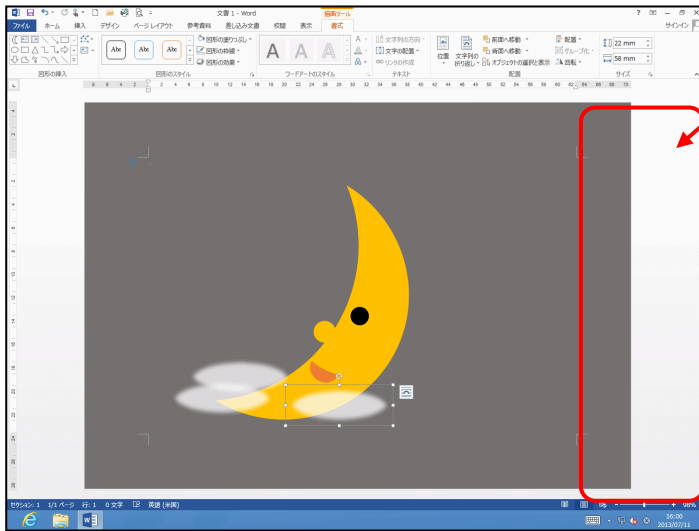
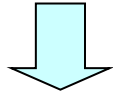


- コピーした雲が、月の後ろに行ってしまった方は、雲を最前面に移動しておきましょう。
最前面へ移動する方法を忘れた方は、P38 (2) テントウムシの胴体を描く（図形の順序）を参照してください。

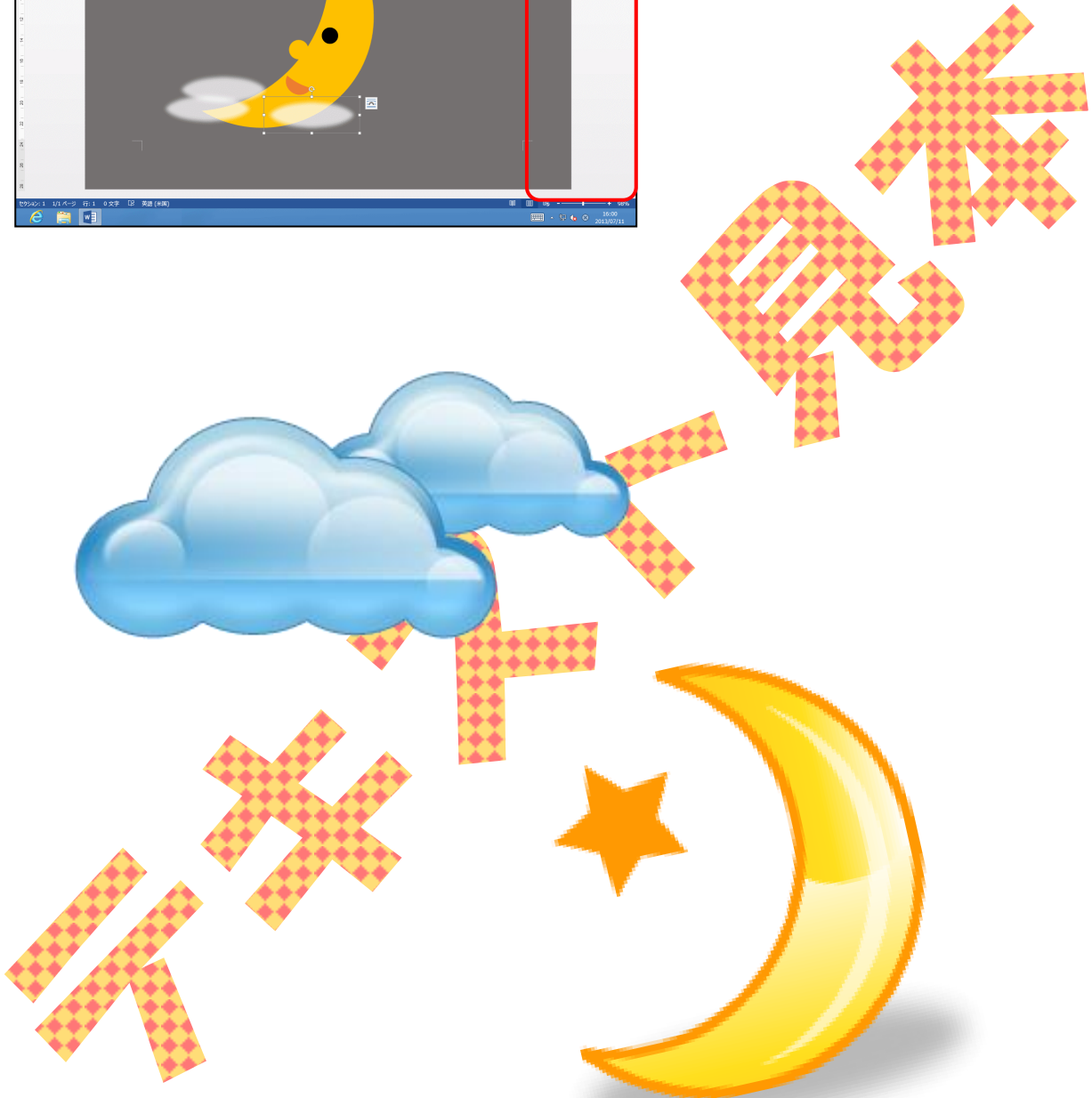
「図形の書式設定」ウィンドウの右側にある × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



- 注意!**
● 画面右上隅の × [ワードを閉じる] ボタンと間違わないように注意しましょう。



●【図形の書式設定】ウィンドウが
閉じられました。



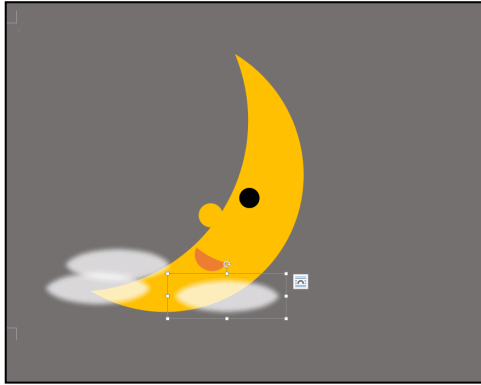
(4) お月さまに星を描く

① 図形の効果の設定

先ほど作ったお月さまと雲の周りに、星を描きましょう。色を1色で塗るだけではなく、「図形の効果」を使って、効果を付けた星を描いてみましょう。

◆図形の効果を設定する方法をマスターしましょう。

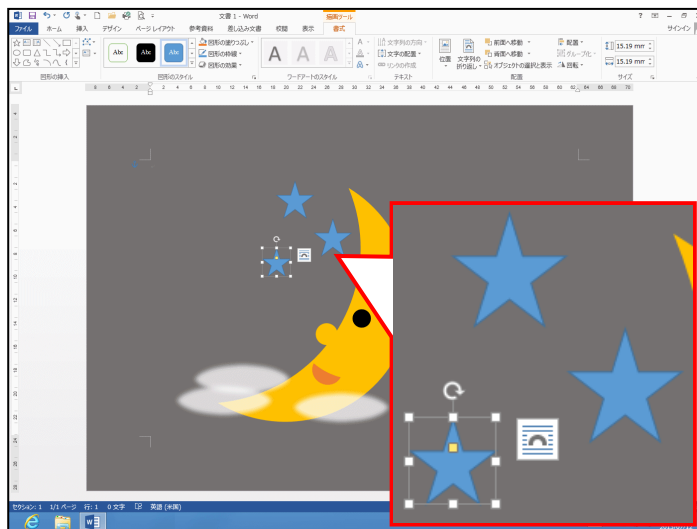
操作前



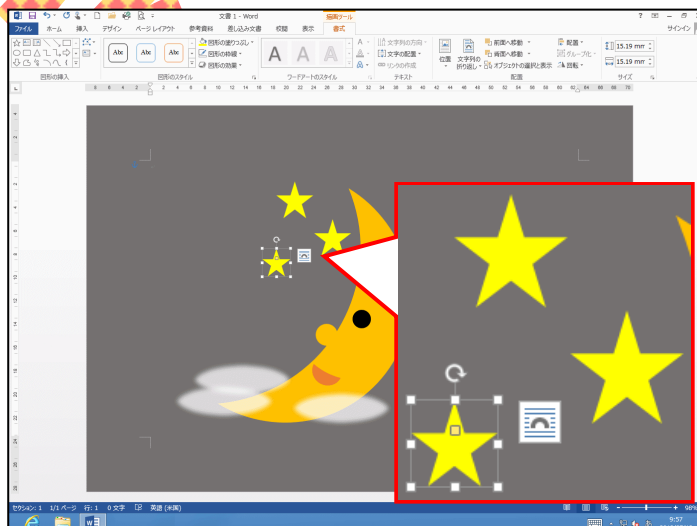
操作後



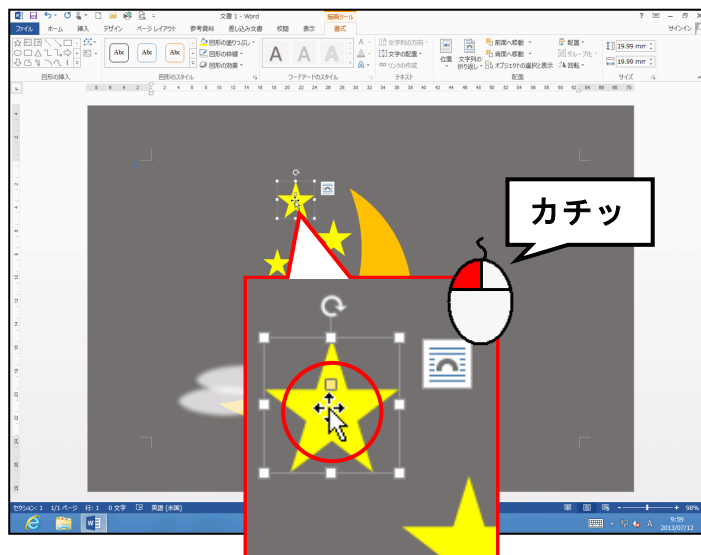
下図を参考に、「星 5」の図形を使って、大小の星を3つ描きましょう。



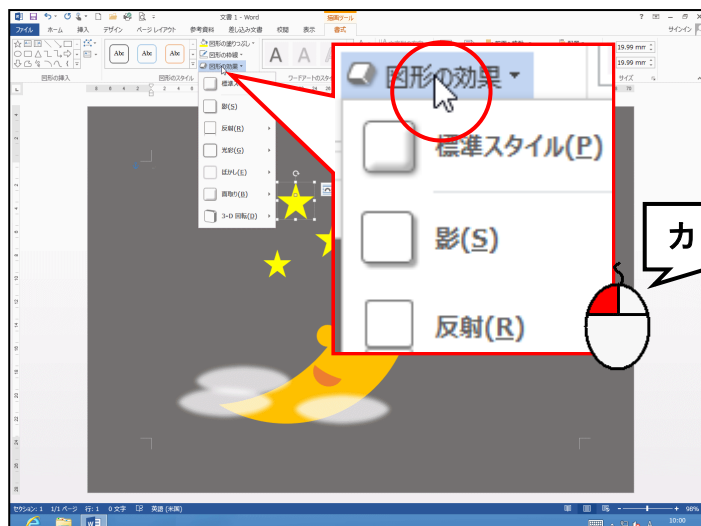
描いた星の塗りつぶしの色を「黄」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



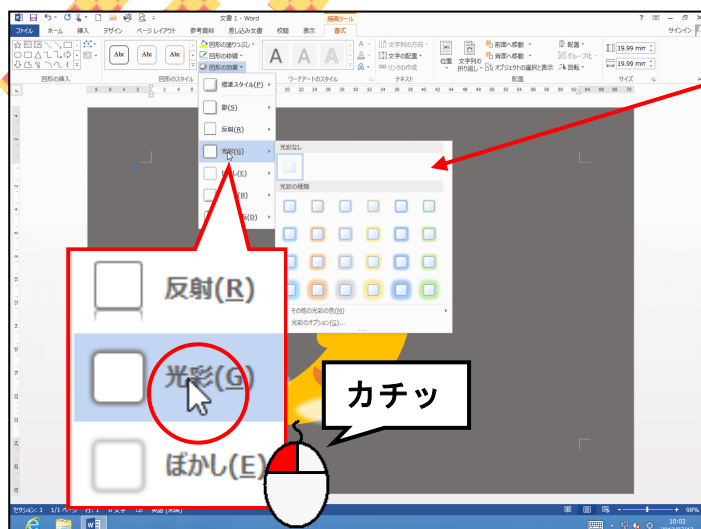
一番上の星の図形を選択します。



【図形のスタイル】グループにある 図形の効果・【図形の効果】 ボタンにポイントし、クリックします。

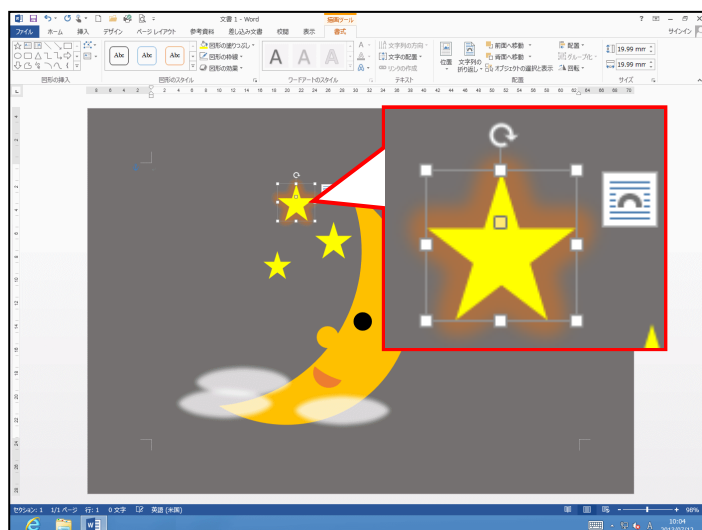
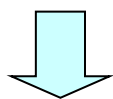
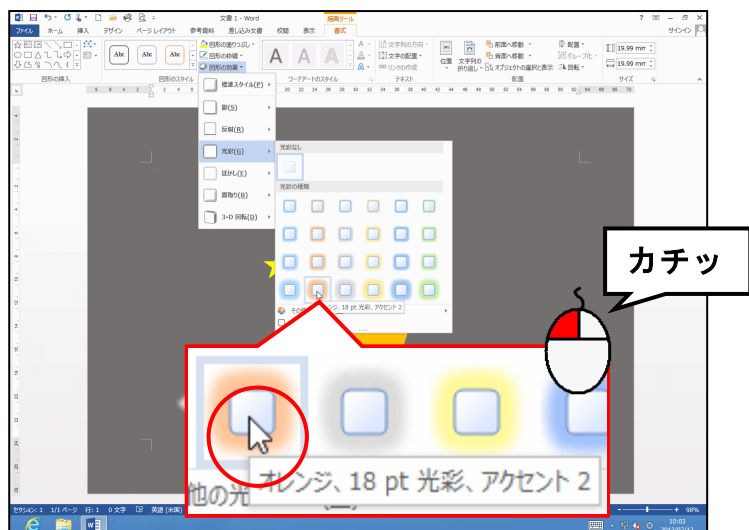


表示された一覧から【光彩(G)】にポイントします。



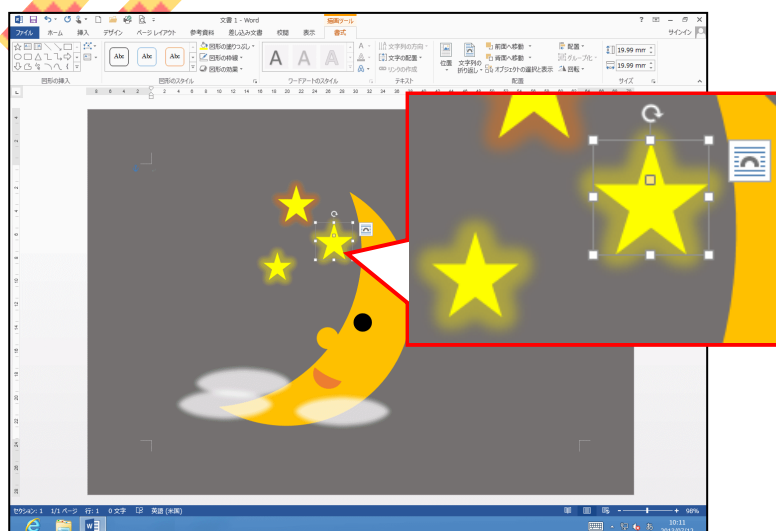
●【光彩(G)】にポイントすると、光彩の種類の一覧が表示されます。

右に表示された一覧から「オレンジ、18pt 光彩、アクセント 2」にポイントし、クリックします。

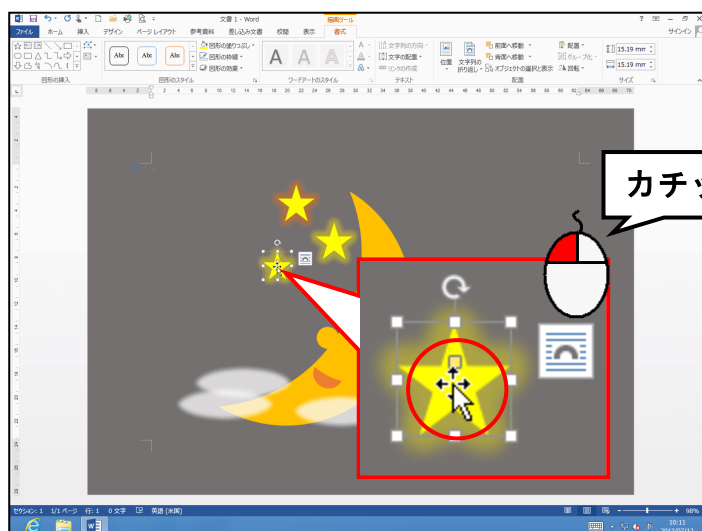


●星の図形に、光彩がつけました。

残りの2つの星の図形にも、同様に「ゴールド、18pt 光彩、アクセント 4」の図形の効果を設定しておきましょう。

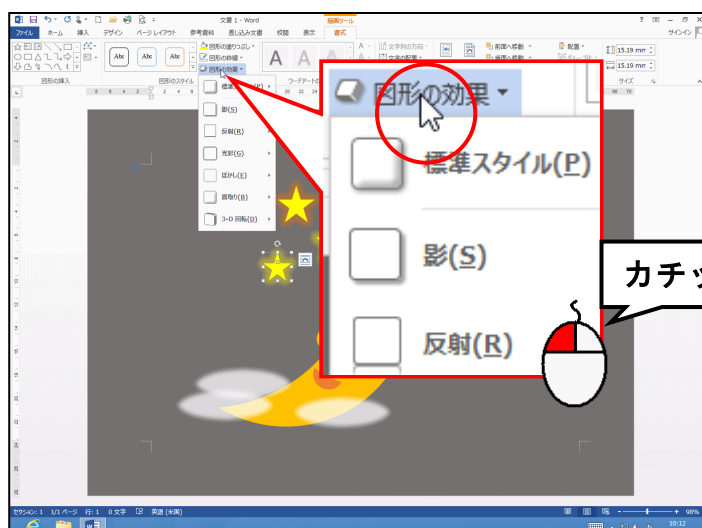


左側の星の図形を選択します。



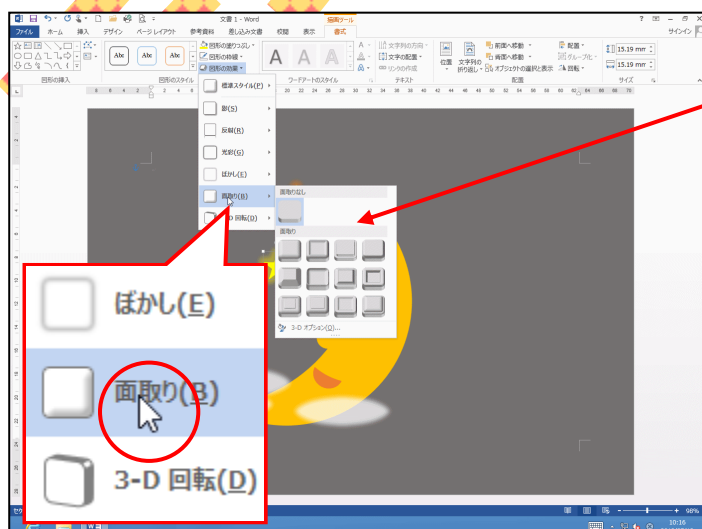
●すでに左側の星の図形が選択されている方は、この操作は不要です。

「図形のスタイル」グループにある 図形の効果・「図形の効果」ボタンにポイントし、クリックします。



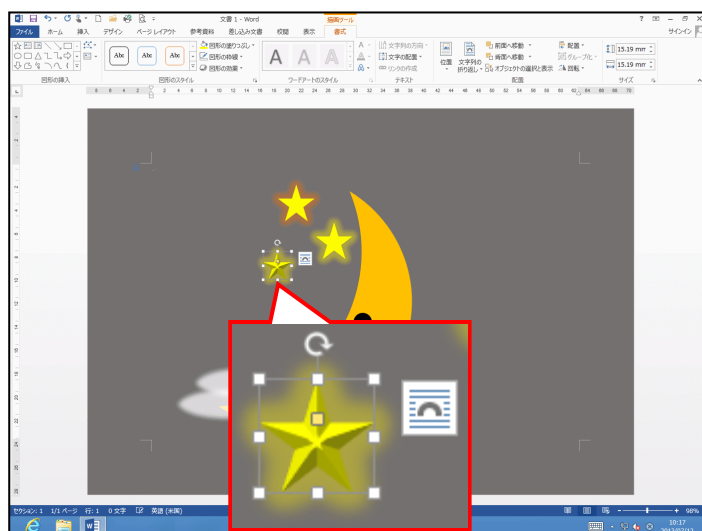
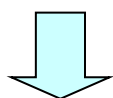
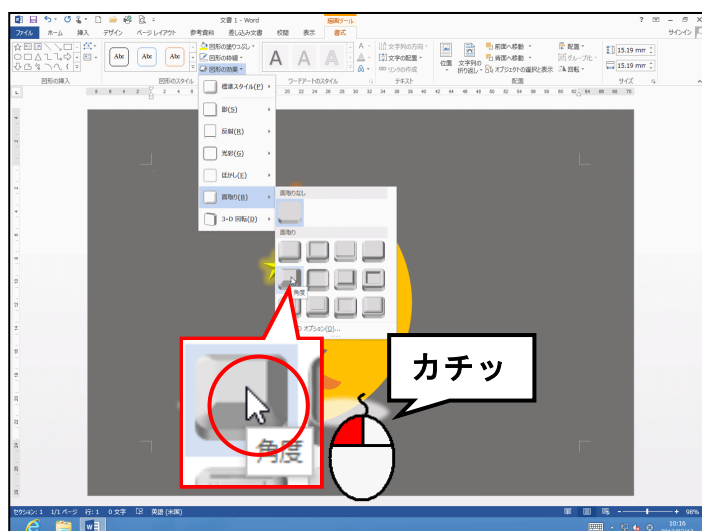
●左側の星の図形が選択されていることを確認しておきましょう。

表示された一覧から「面取り(B)」にポイントします。



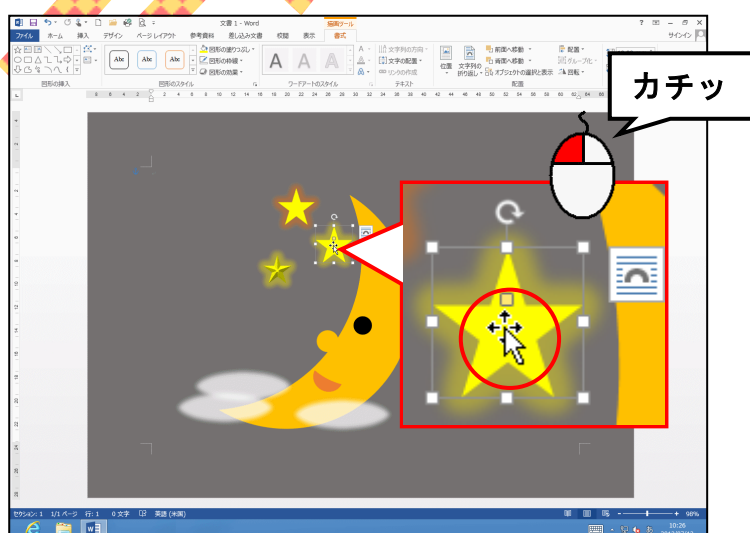
●「面取り(B)」にポイントすると、面取りの種類の一覧が表示されます。


右に表示された一覧から「角度」にポイントし、クリックします。

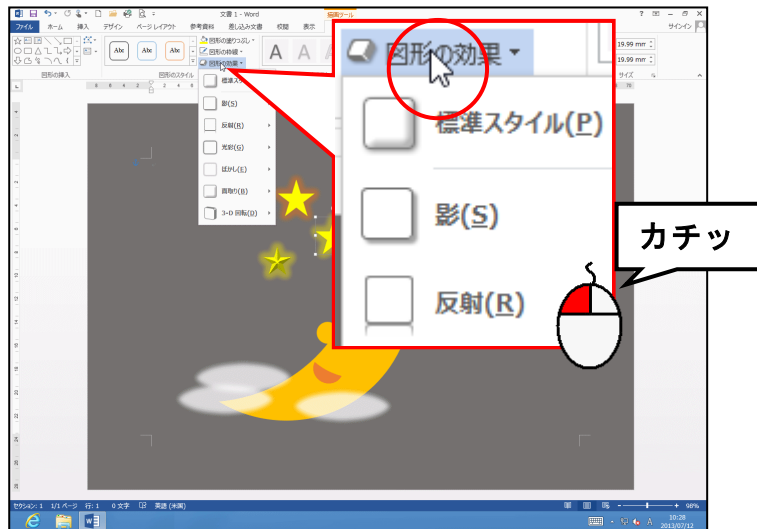


●星の図形に、面取りの効果がつきました。

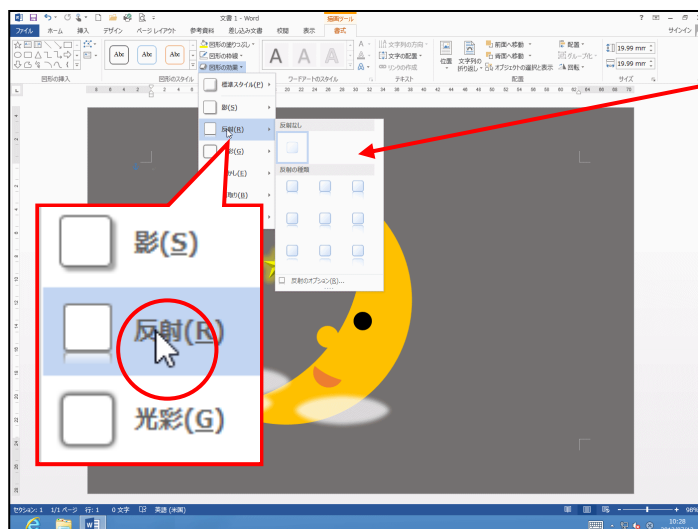
右側の星の図形を選択します。



「図形のスタイル」グループにある  図形の効果・「図形の効果」ボタンにポイントし、クリックします。

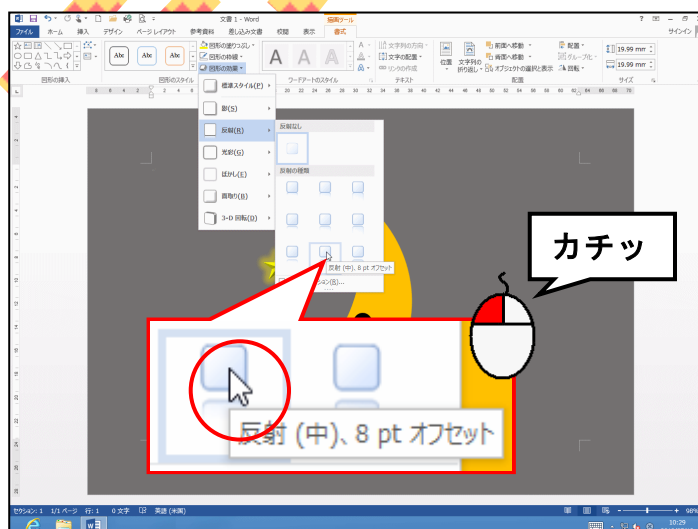


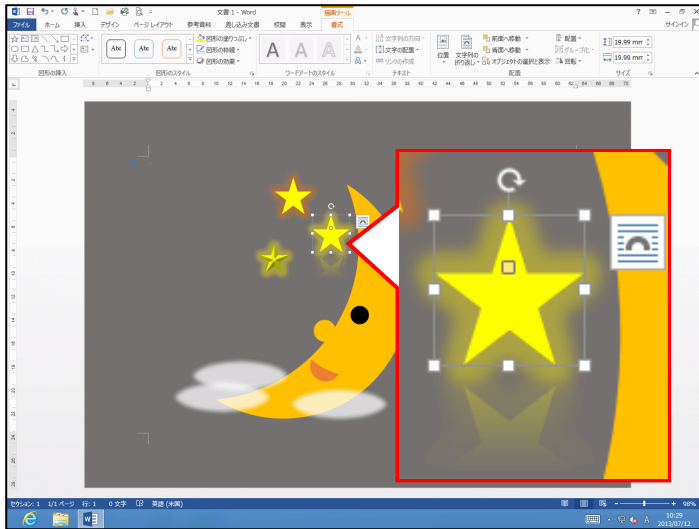
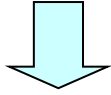
表示された一覧から「反射(R)」にポイントします。



●「反射(R)」にポイントすると、反射の種類の一覧が表示されます。

右に表示された一覧から「反射(中)、8pt オフセット」にポイントし、クリックします。





●星の図形に、反射がつけました。



② 書式のコピー

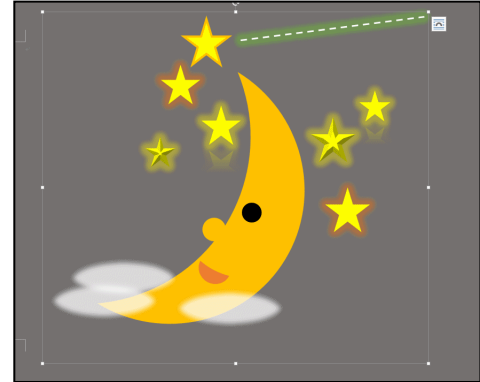
先ほど星に設定した書式（図形の効果や反射などの設定）を、別の図形にコピーすることができます。新たに星の図形を追加し、書式をコピーしてみましょう。

◆図形に書式のコピーを設定する方法をマスターしましょう。

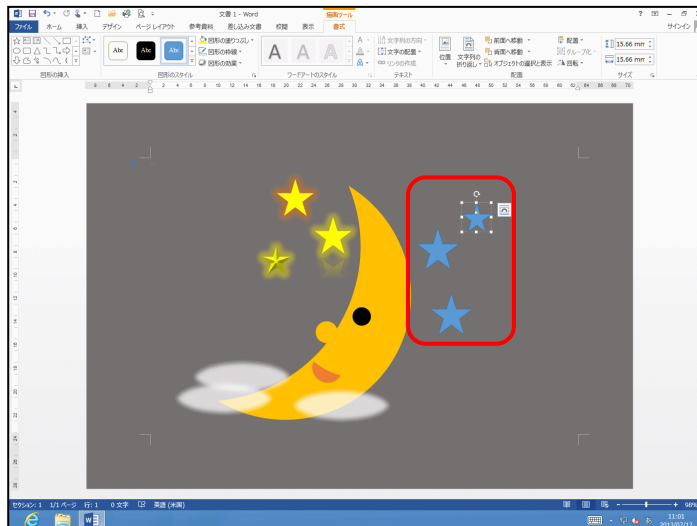
操作前



操作後

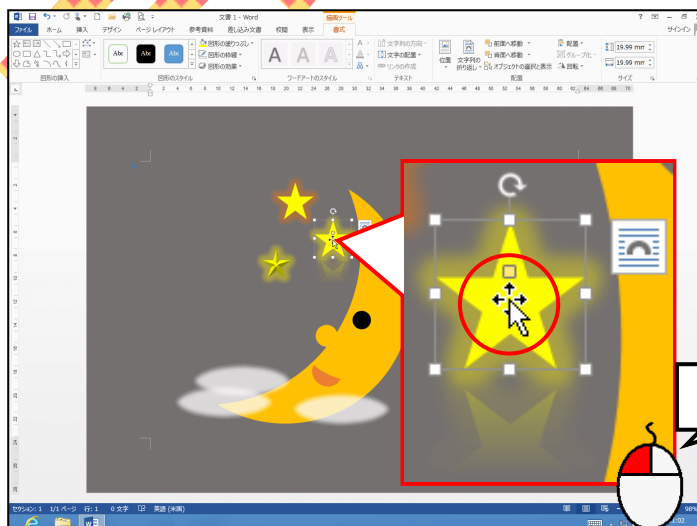


下図の位置を参考にして、星の図形を3つ描きましょう。

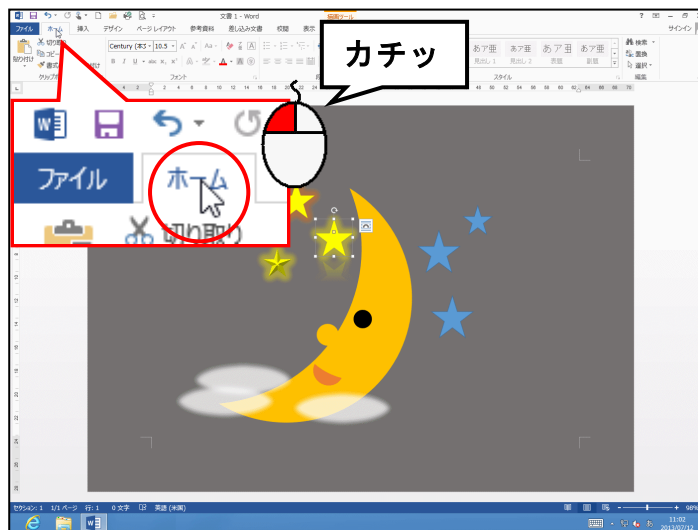


●星の図形は、同じ大きさのものより、大小サイズを変えて作っておきましょう。

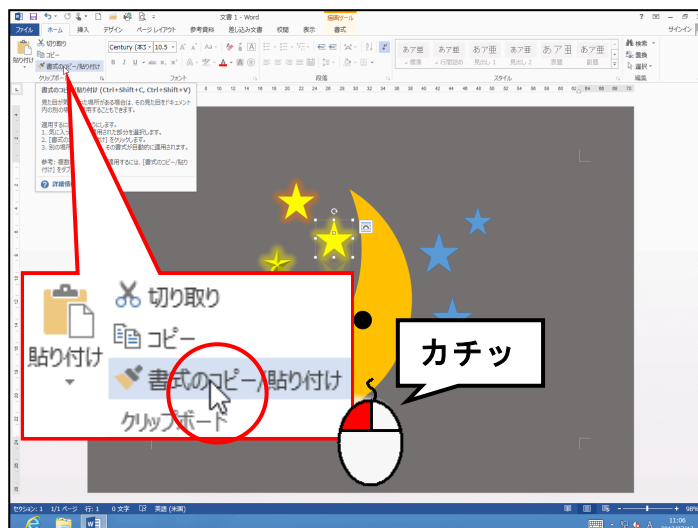
反射の設定をした星の図形を選択します。



「ホーム」タブにポイントし、クリックします。



「クリップボード」グループにある [書式のコピー/貼り付け] ボタンにポイントし、クリックします。

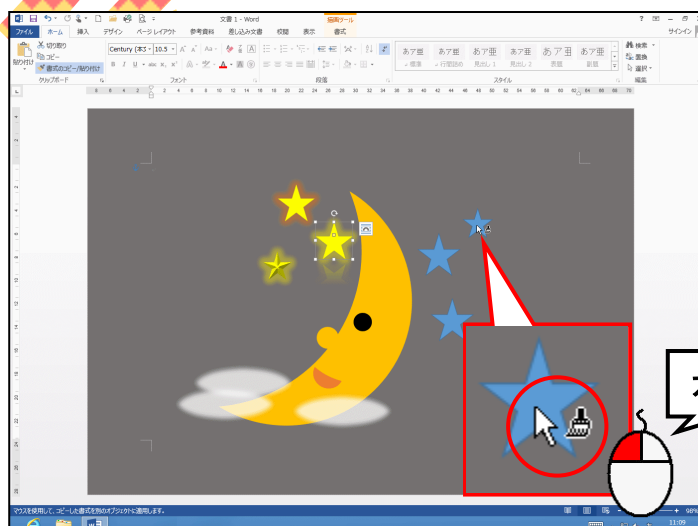



●書式のコピーを 1 回だけ行う場合は、[書式のコピー/貼り付け] ボタンをクリックします。

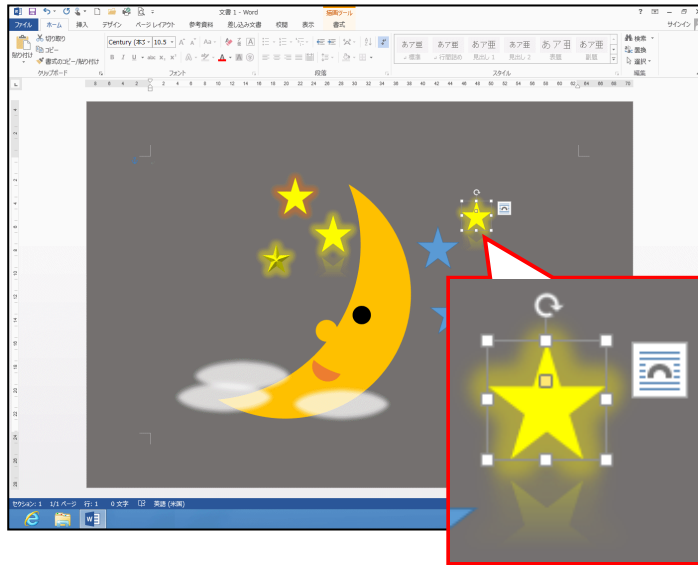
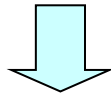
●書式のコピーを 2 回以上続けて行う場合は、[書式のコピー/貼り付け] ボタンをダブルクリックします。
ただしその場合は、同じ書式が続けてコピーされますので注意しましょう。



一番右上の星の図形をクリックします。



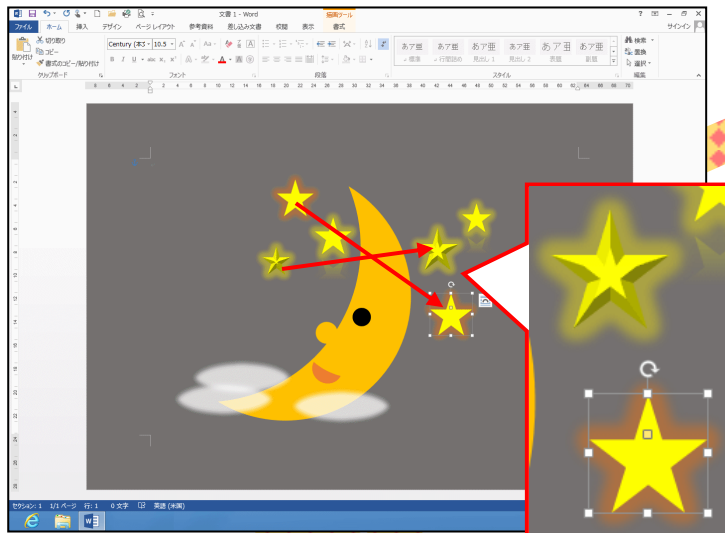
● [書式のコピー/貼り付け] ボタンをクリック（ダブルクリック）すると、マウスポインターは  に変わります。



●クリックすると、書式（今回は、「ゴールド、18pt 光彩、アクセント 4」の図形の効果と、「反射（中）、8pt オフセット」の 2 つの効果）がコピーされました。

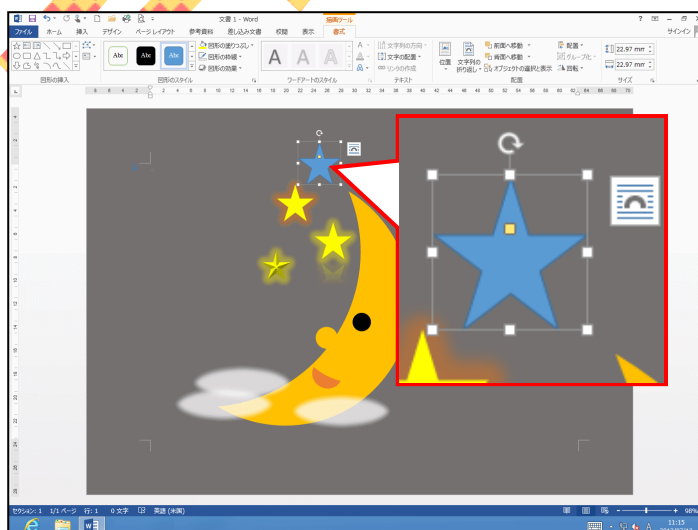
●マウスポインターは✎に戻ります。

書式のコピーを使って、残りの 2 つの図形にもそれぞれ書式をコピーしてみましょう。



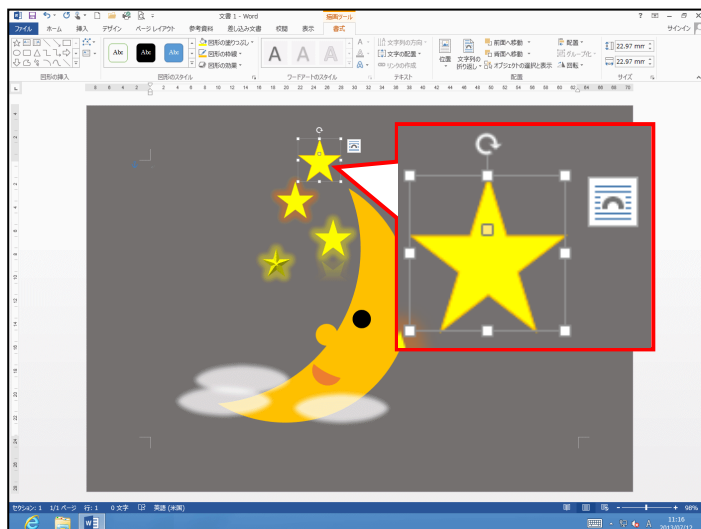
●赤矢印の書式を、それぞれコピーしてみましょう。


下図の位置を参考にして、星の図形を 1 つ描きましょう。

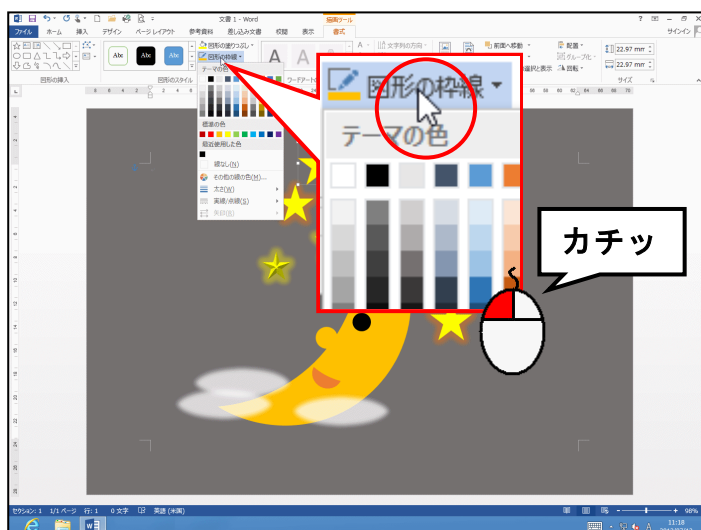


●流れ星を描くための操作です。

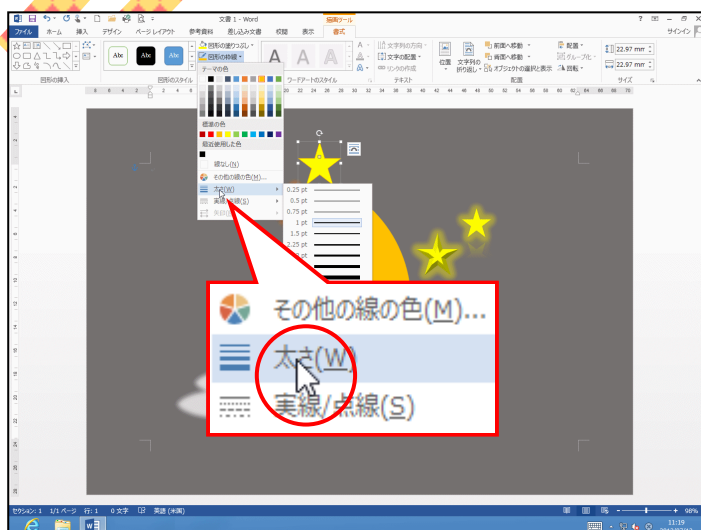
描いた星の塗りつぶしの色を「黄」に、図形の枠線の色を「ゴールド、アクセント 4」に設定しましょう。



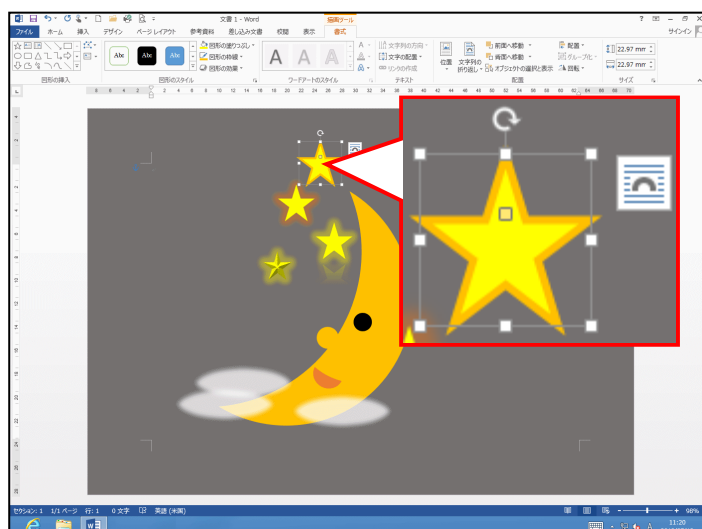
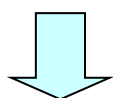
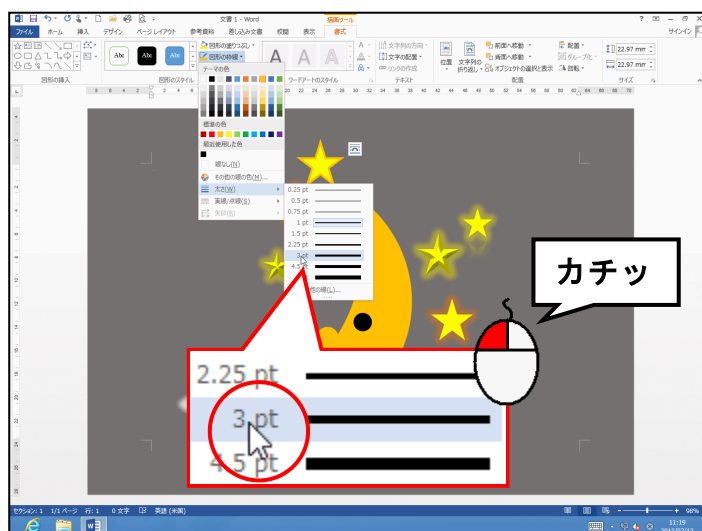
星の図形が選択されている状態で、[図形のスタイル] グループにある  図形の枠線 ▾ [図形の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。



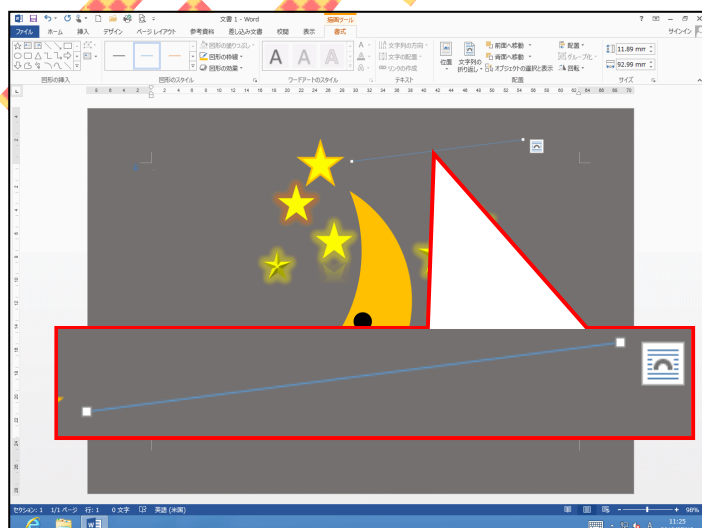
表示された一覧から [太さ(W)] にポイントします。



右に表示された一覧から「3pt」にポイントし、クリックします。

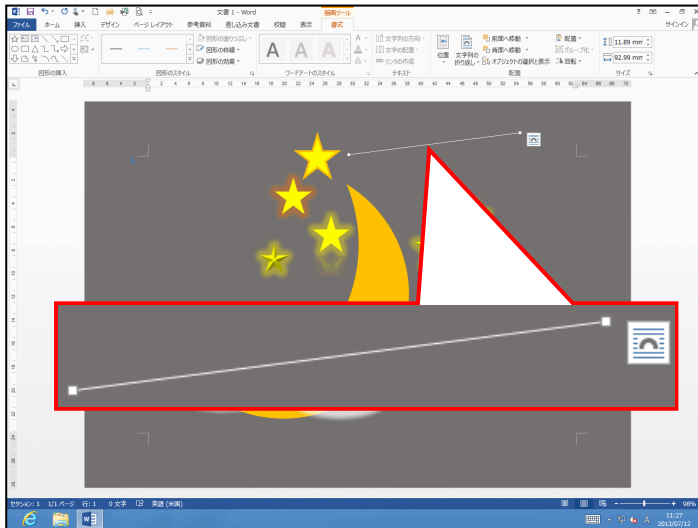


下図の位置を参考にして、直線を描いてみましょう。

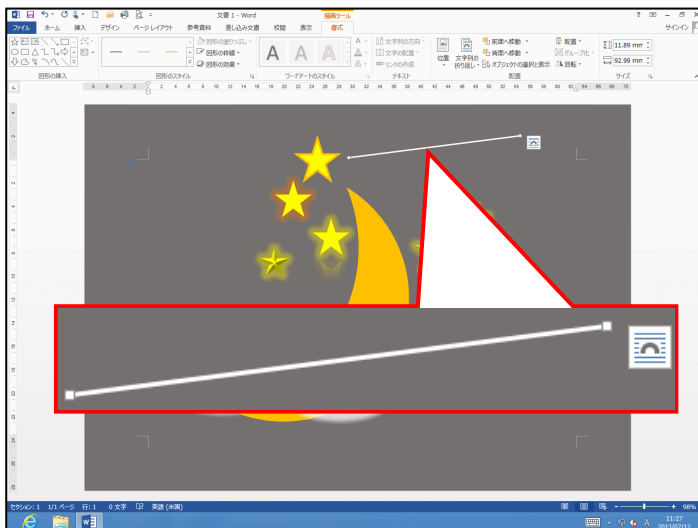



●流れ星の線の部分を描くための操作です。

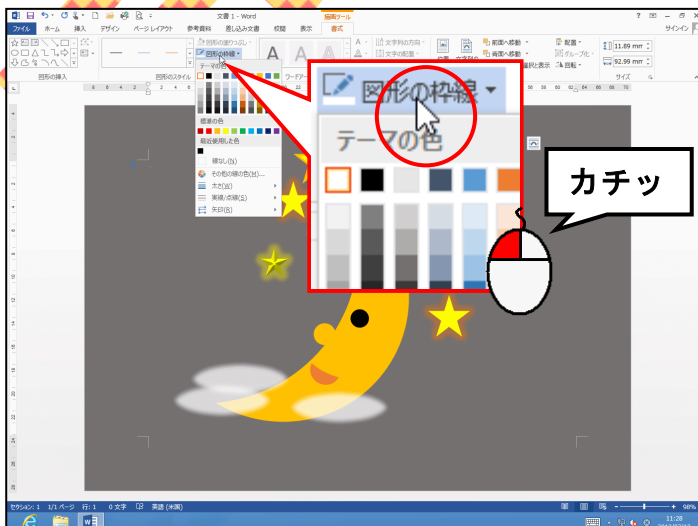
線の色を「白、背景 1」に設定しましょう。



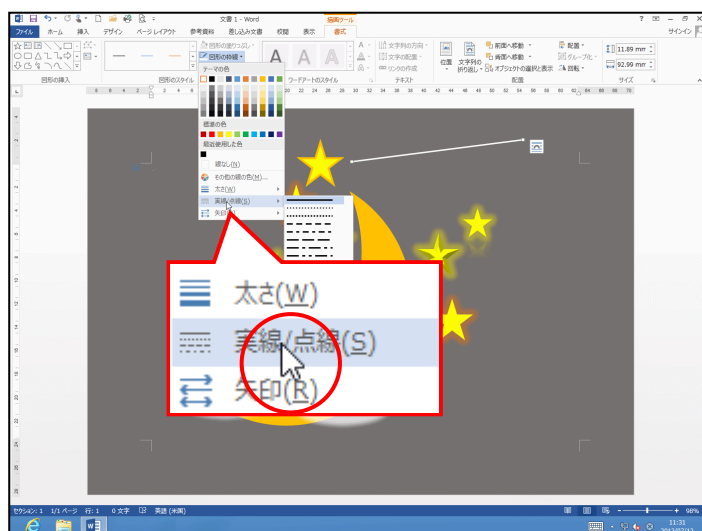
線の太さを「2.25pt」に設定しましょう。



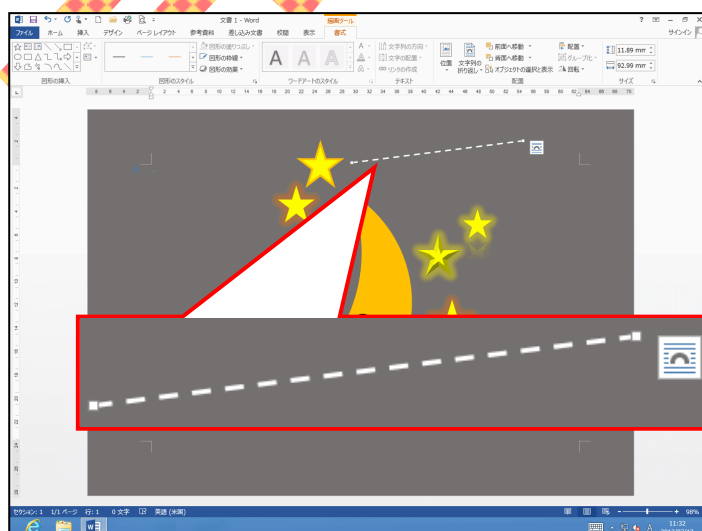
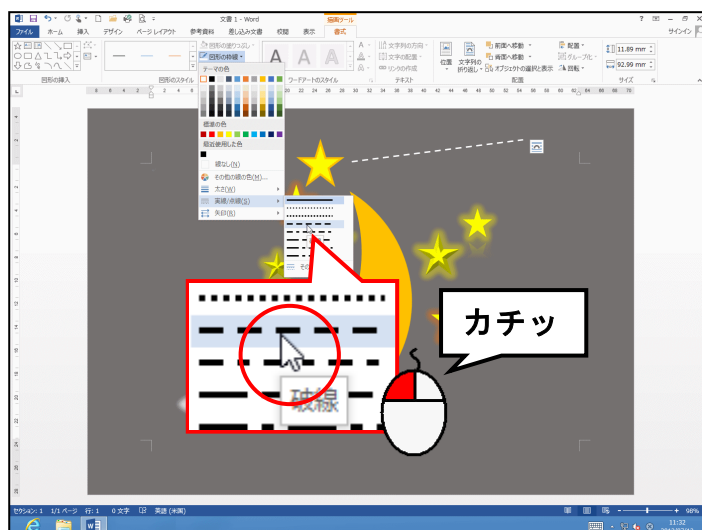
直線の図形が選択されている状態で、[図形のスタイル] グループにある  図形の枠線 ▾ [図形の枠線] ボタンにポイントし、クリックします。




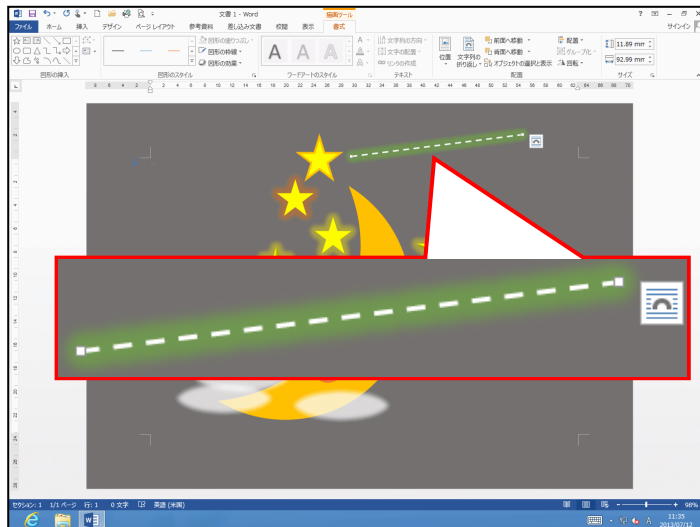
表示された一覧から「実線/点線(S)」にポイントします。



表示された一覧から「破線」にポイントし、クリックします。

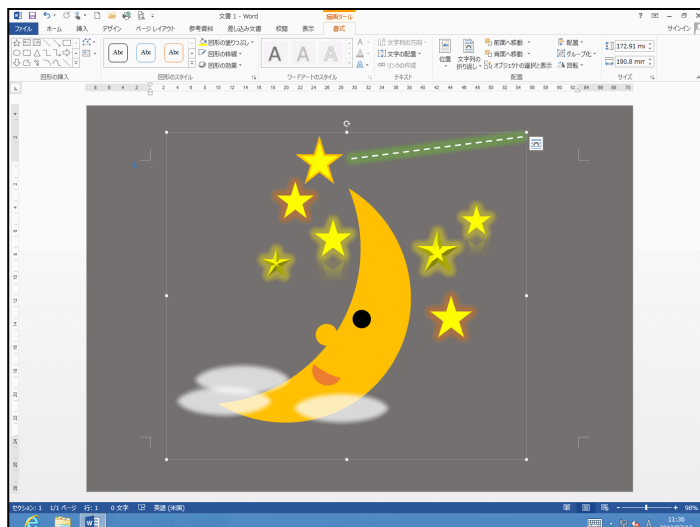


「図形のスタイル」グループにある  図形の効果・「図形の効果」ボタンから「緑、18pt 光彩、アクセント 6」の光彩を設定しましょう。



- 光彩の設定方法を忘れた方は、P98～P99 を参照してください。
- 流れ星の完成です。

図形を全てグループ化しておきましょう。



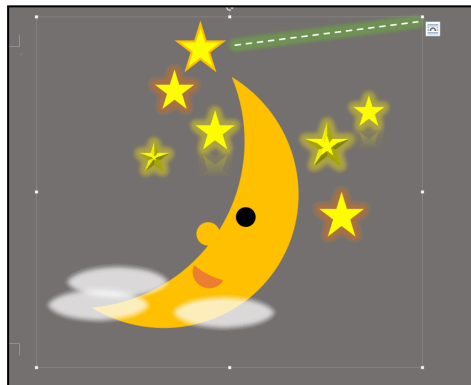
- 図形のグループ化を忘れた方は、P34 ⑫ 図形のグループ化を参照してください。

(5) 背景を入れる (テクスチャ)

これまで描いてきたお月さまと雲に、背景を描きましょう。ここでは、「テクスチャ」という塗りつぶしの効果を使って、背景にしてみましょう。

◆図形の塗りつぶしにテクスチャを設定する方法をマスターしましょう。

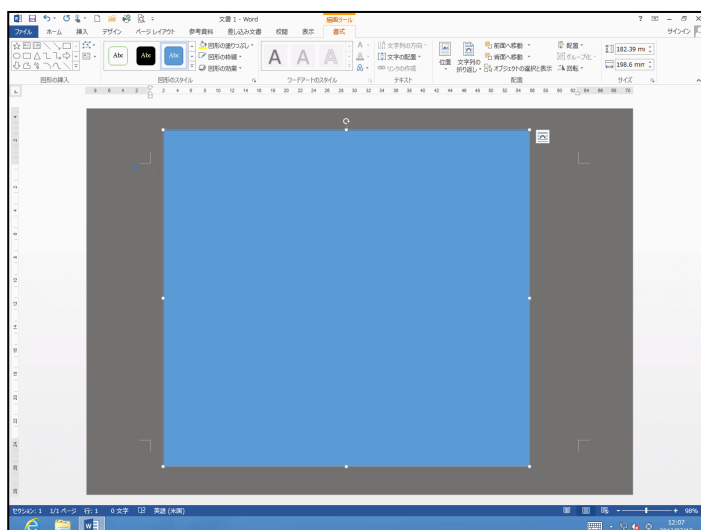
操作前



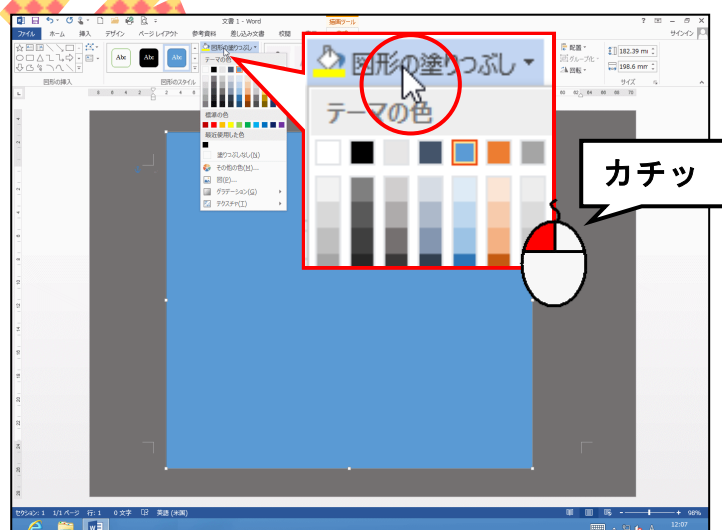
操作後



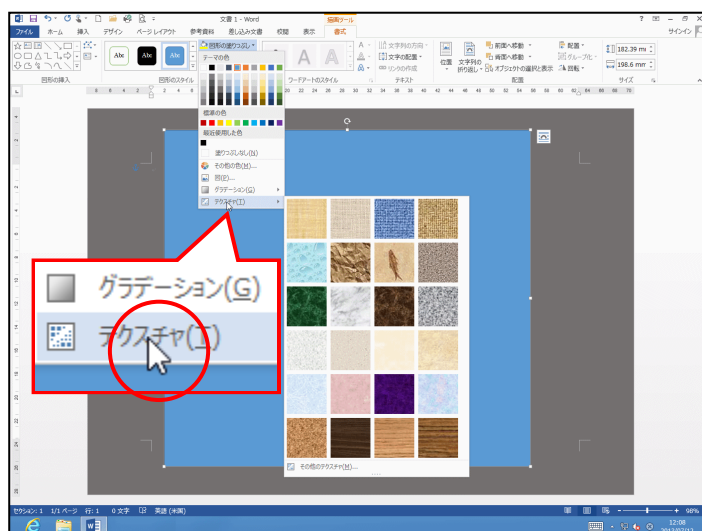
下図を参考に、月と星と雲が隠れるように、四角形を描きましょう。



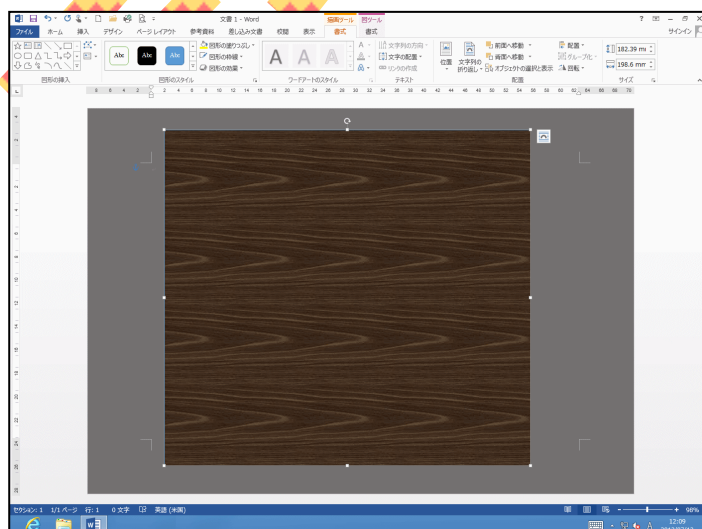
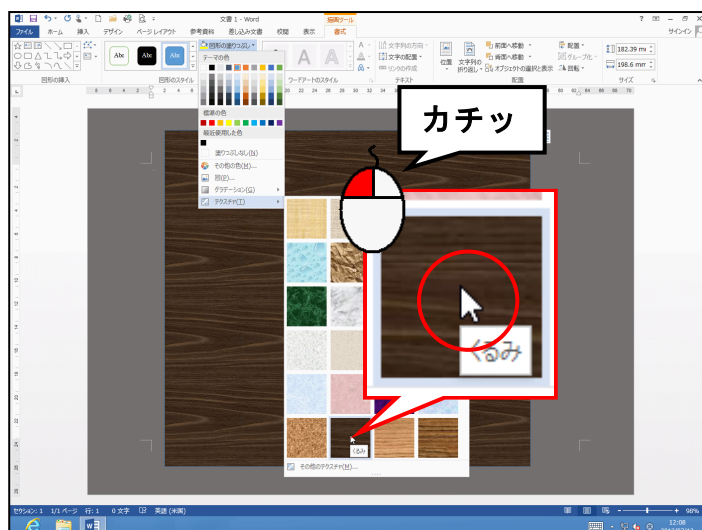
「図形のスタイル」グループにある 図形の塗りつぶし ▾ 「図形の塗りつぶし」 ボタンにポイントし、クリックします。



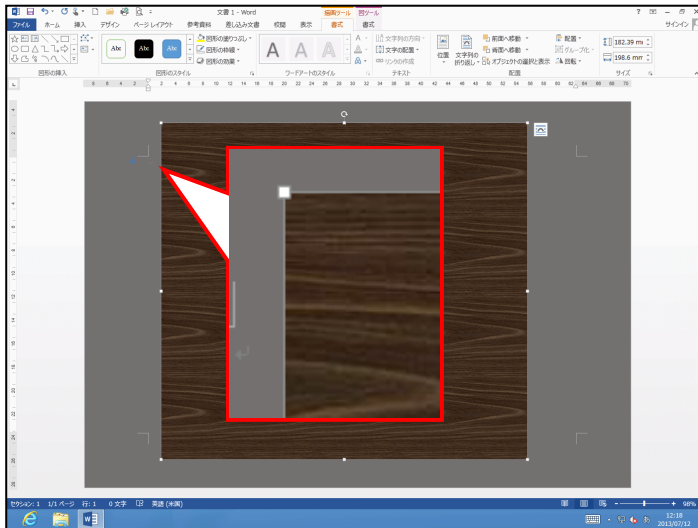
表示された一覧から「テクスチャ(T)」にポイントします。



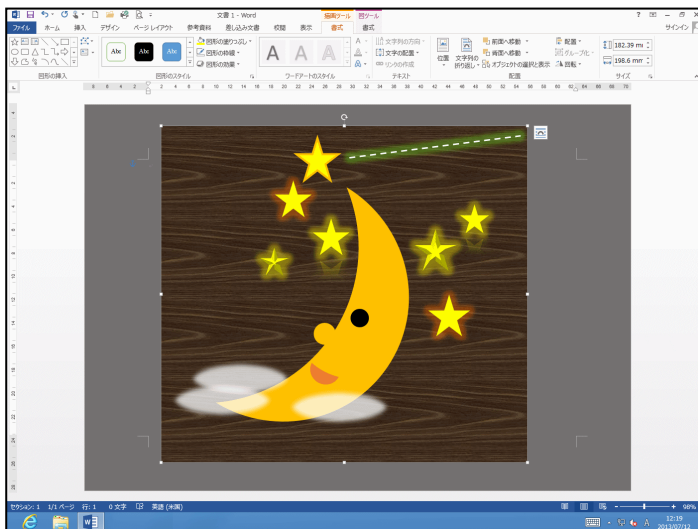
右側に表示された一覧から「くるみ」にポイントし、クリックします。



図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。

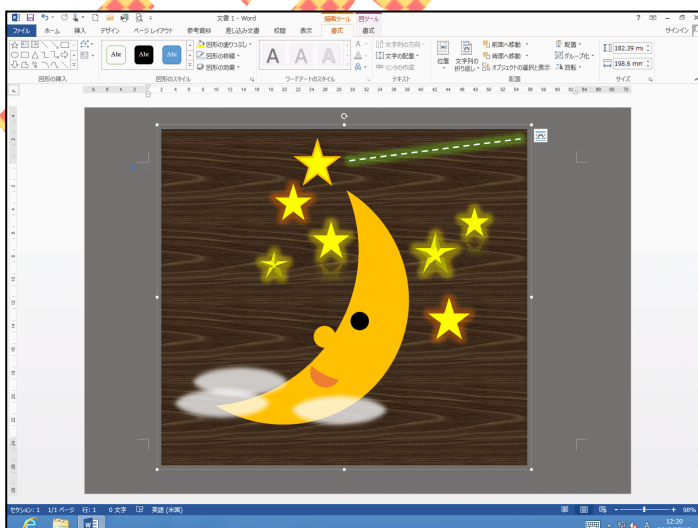


四角形を最背面に設定しましょう。



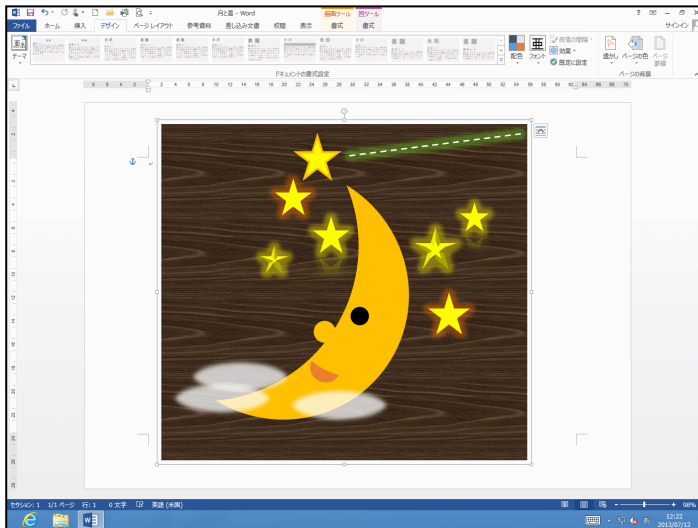
- 図形を最背面へ移動する方法を忘れた方は、P38 (2) テントウムシの胴体を描く（図形の順序）を参照してください。

グループ化しておいたお月さまと、四角形とをグループ化しましょう。



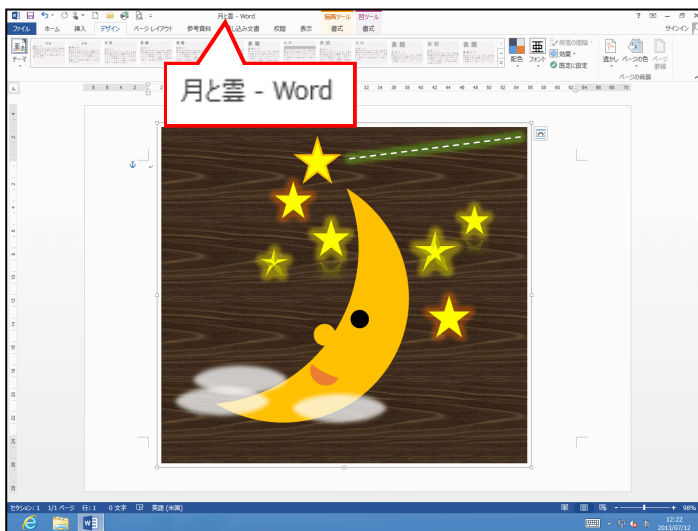
- 図形のグループ化を忘れた方は、P34 ⑫ 図形のグループ化を参照してください。

ページの色を「色なし」に設定しましょう。



● ページの色の設定方法を忘れた方は、P82 ② 背景色の設定を参照してください。

「月と雲」という名前でワードを保存しましょう。



● ワードの保存方法を忘れた方は、P42 ① ワードの保存を参照してください。

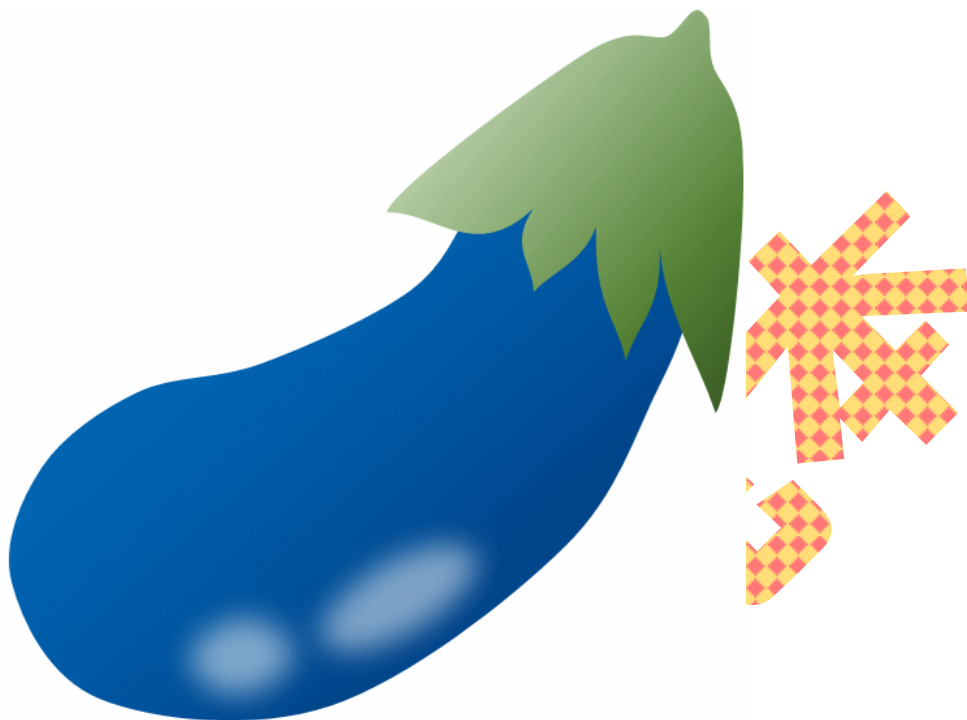
画像を PNG 形式で、「月と雲（画像）」という名前で保存しましょう。

● 画像を PNG 形式で保存する方法を忘れた方は、P48 ② 画像を PNG 形式で保存を参照してください。

☆☆ここまでくれば練習問題 3 で理解度を試してください。☆☆

5. 線で描く

【なすび 完成例】



マウスを使って線を描くって難しそう～

タケさん「マウスを使うのって、最初に比べたら大分慣れてきたけどそれでもマウスで線を使って絵が描けるかな？」

くじら先生「最初は難しいかもしれませんが、このテキストでは線を描く練習がありますから、じっくりやっていただければ、簡単に線が描けるようになりますよ。」

ウメさん「パソコンで真っすぐな線以外も描けるってすごいわ～」

くじら先生「線で絵が描けると、絵を描く幅がぐ～んと広がるので、タケさん、ウメさん、がんばってやっていきましょう！！」

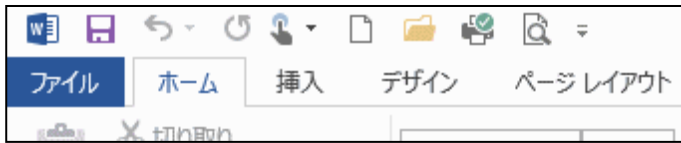


(1) ボタンの登録

絵を描く時に、使いたい道具をすぐに使えるようにボタンを登録します。

◆よく使うボタンを登録する方法をマスターしましょう。

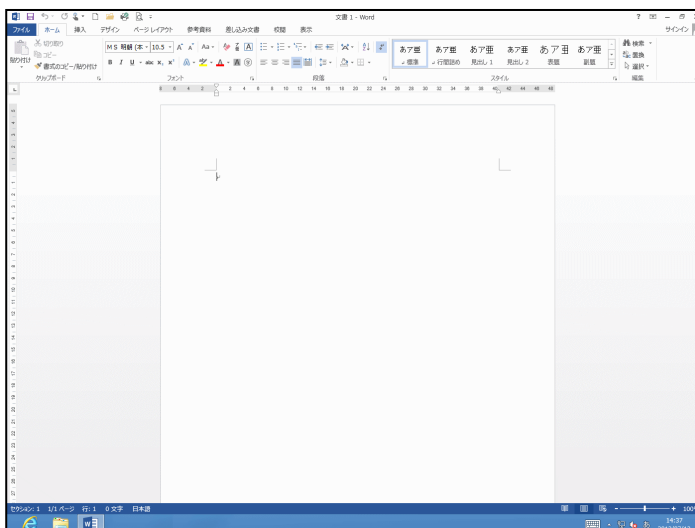
操作前



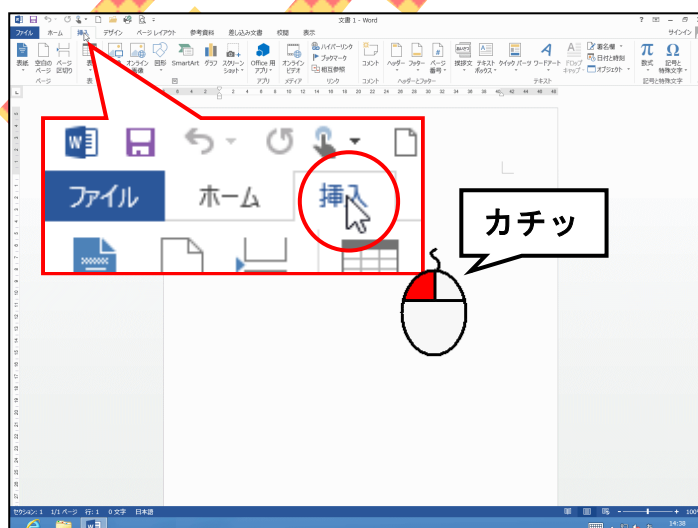
操作後



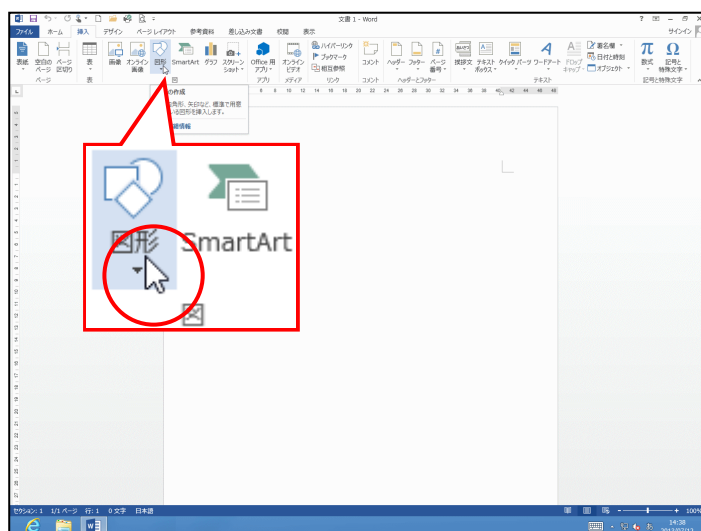
ワードを起動します。



「挿入」タブにポイントし、クリックします。



【図】グループにある【図形】ボタンにポイントします。

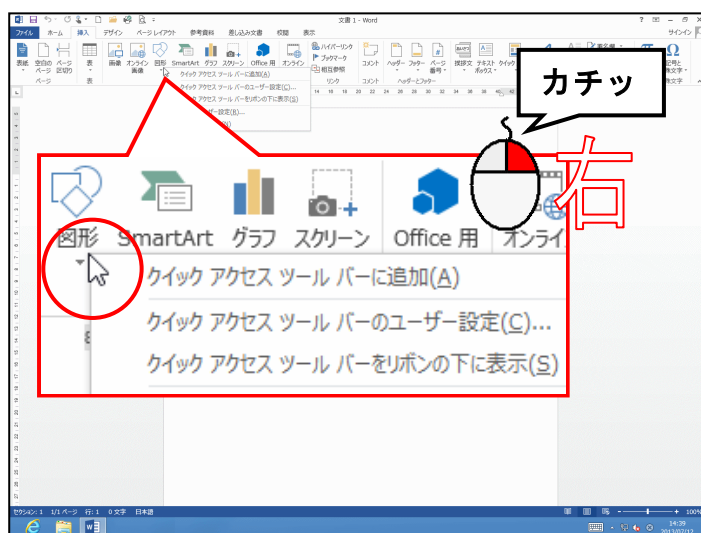


●リボンが表示されていない方は、
P216 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

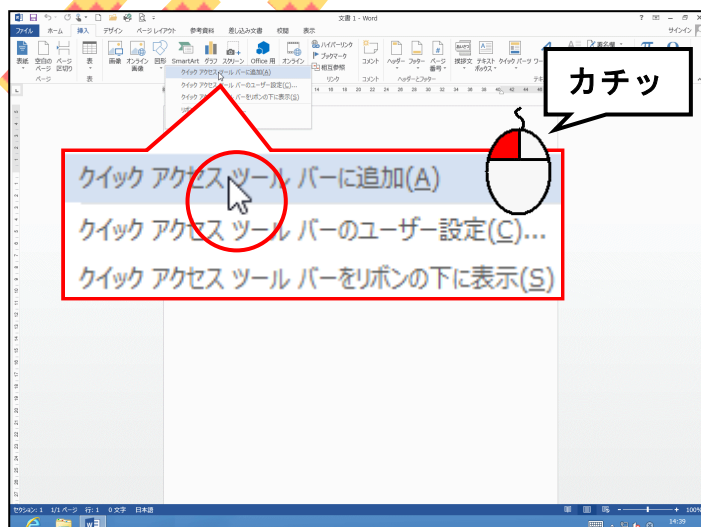
ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考文献 差し込み文書 校閲 表示

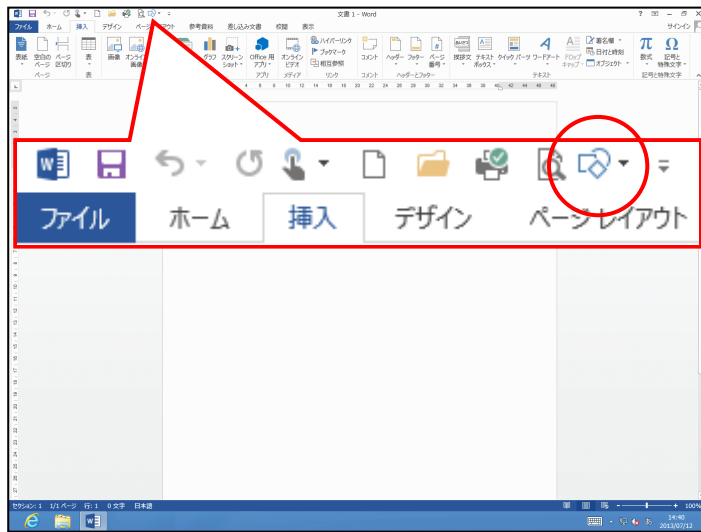
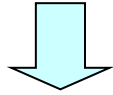


そのまま右クリックします。

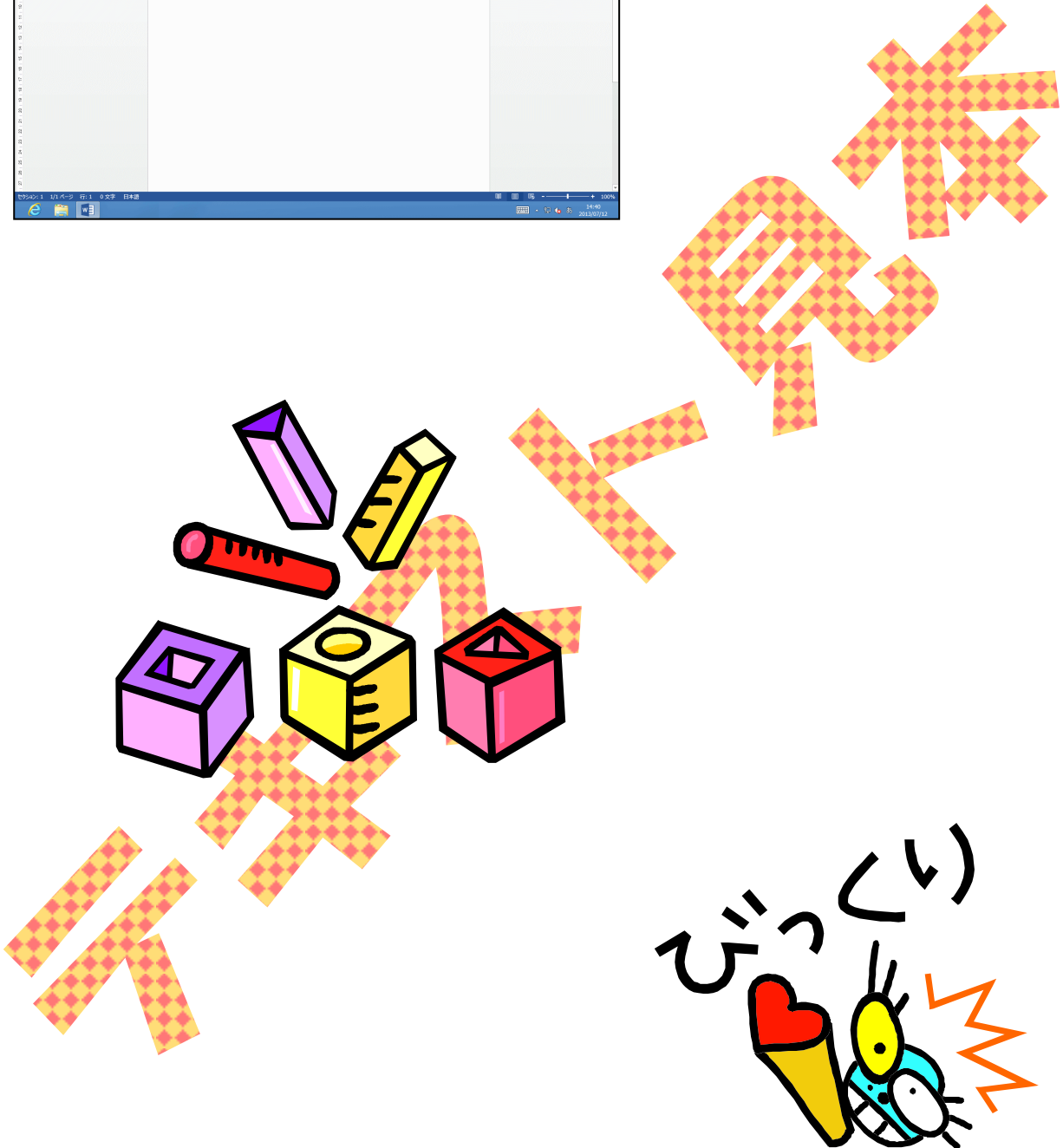


表示されるショートカットメニューから、[クイックアクセスツールバーに追加(A)] にポイントし、クリックします。





- [クイックアクセス] ツールバーは、普段よく使うボタンを登録しておくツールバーです。



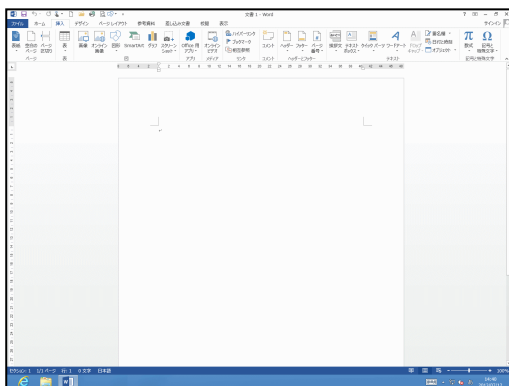
(2) 線を使ってなすびを描く

① なすびを描く（曲線）

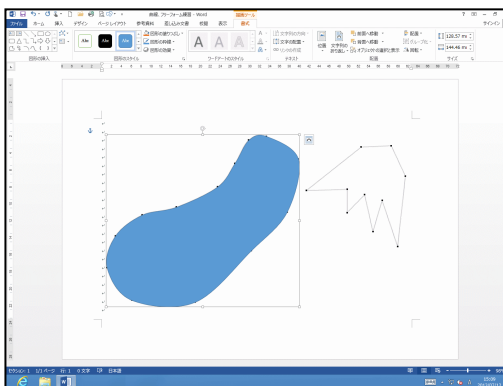
図形の種類の線の中に、**曲線**という線があります。**曲線**を使うと自由な線を描くことができます。

◆曲線でなすびを描く方法をマスターしましょう。

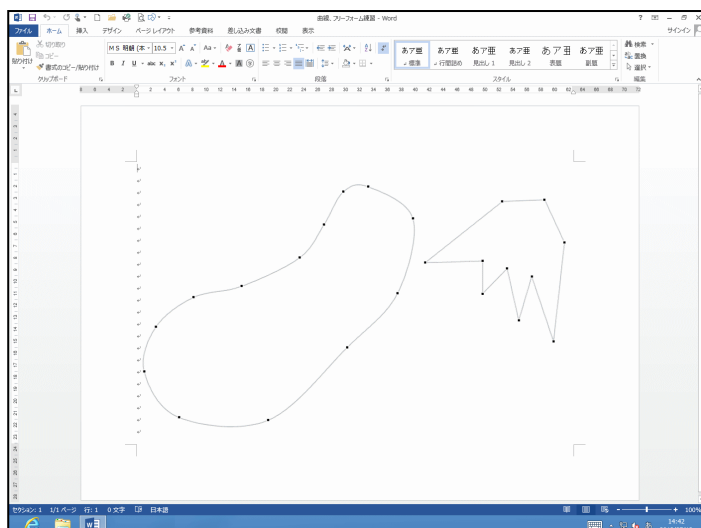
操作前



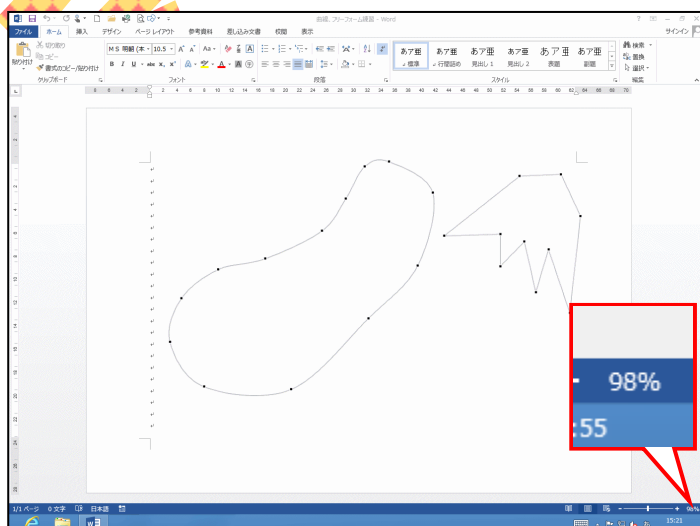
操作後



「ドキュメント」の中の「曲線、フリーフォーム練習」を開きます。




画面表示を「ページ全体を表示」にします。

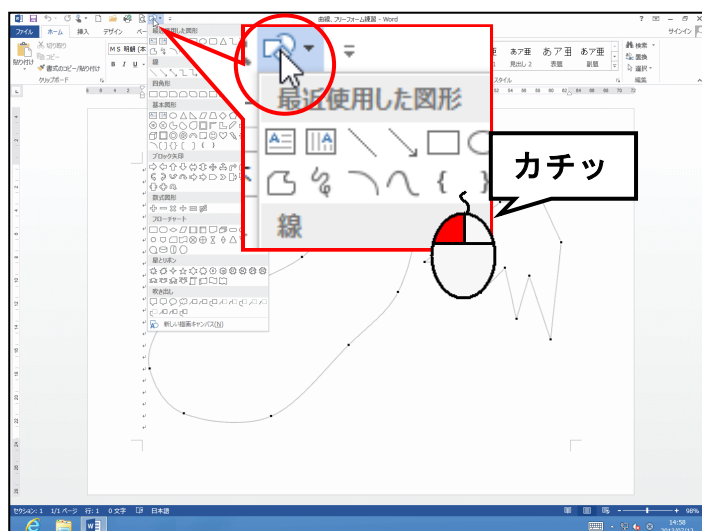



●画面表示の設定方法を忘れた方は、**P79 ① 画面の設定**を参照してください。

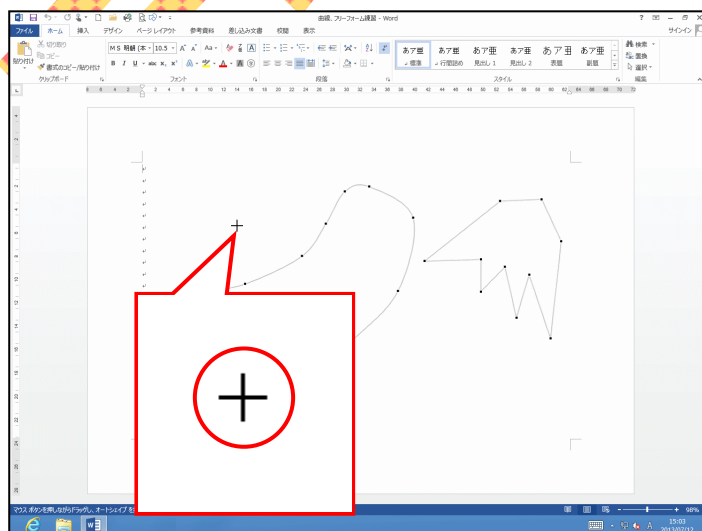
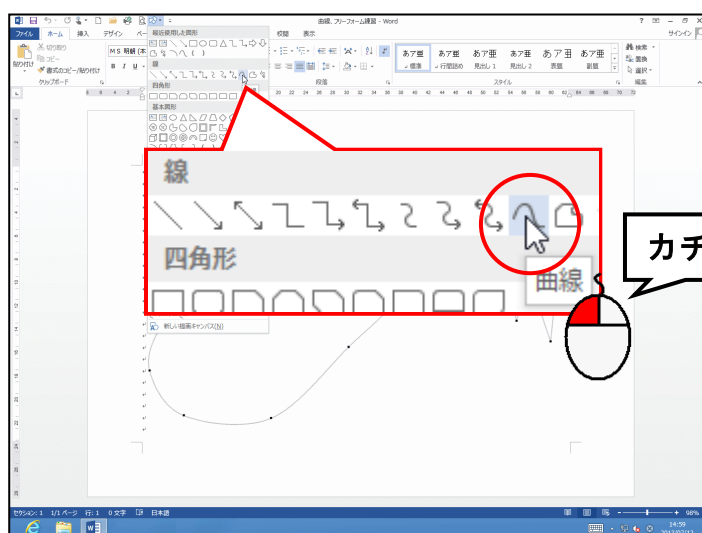
●左の図では、表示倍率が**98%**になっていますが、お使いのパソコンによって表示倍率は異なります。





「クイックアクセス」 ツールバーにある  「図形」 ボタンにポイントし、クリックします。

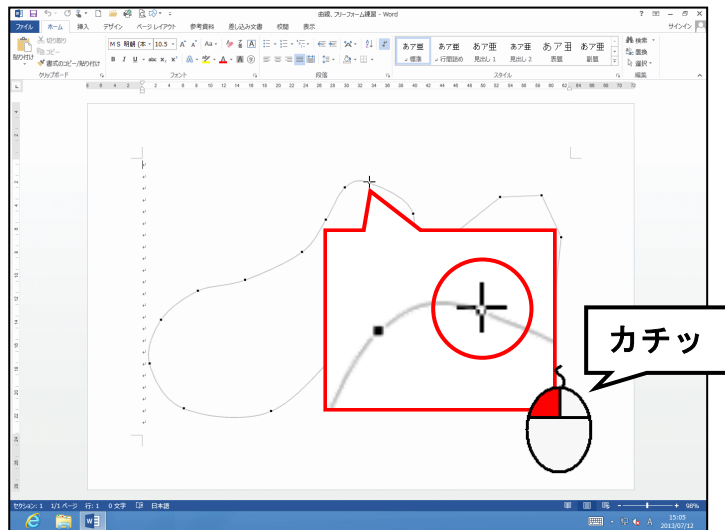


表示された一覧から「線」の  「曲線」 にポイントし、クリックします。

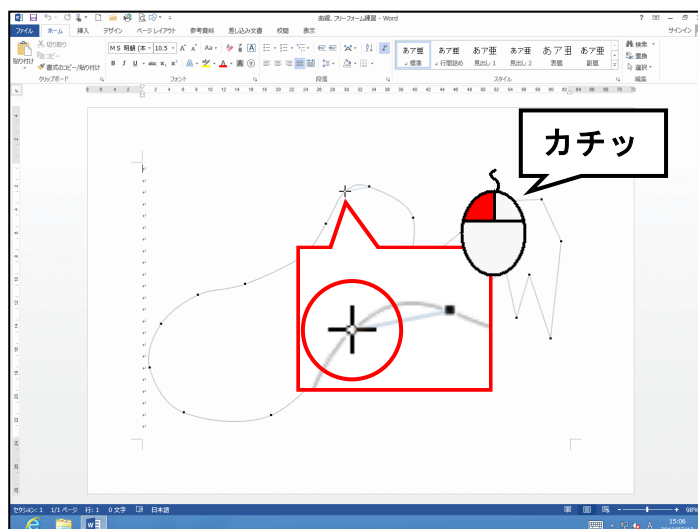


-  「曲線」 をクリックすると、マウスポインターは  の形になります。

下図のように ■（図形の頂点）の上にマウスポインターを移動し、クリックします。



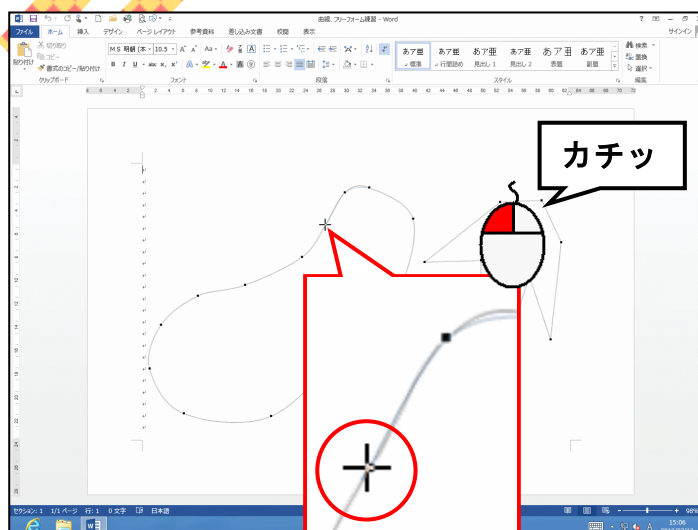
次の ■（図形の頂点）へとマウスを滑らせ、■（図形の頂点）にポイントし、クリックします。



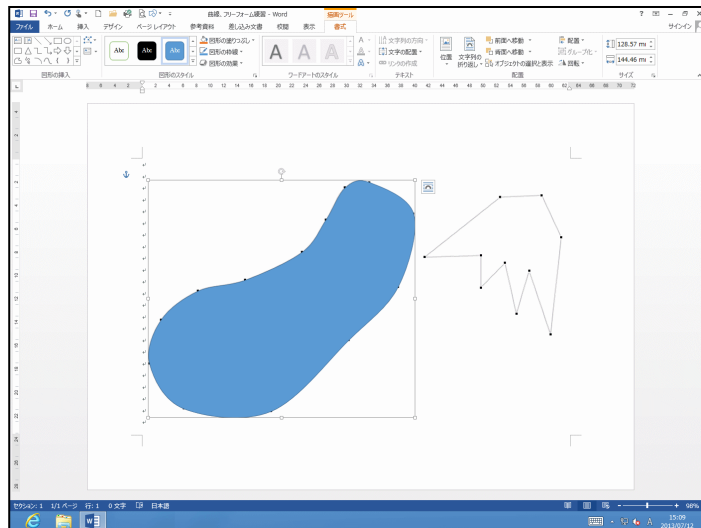
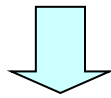
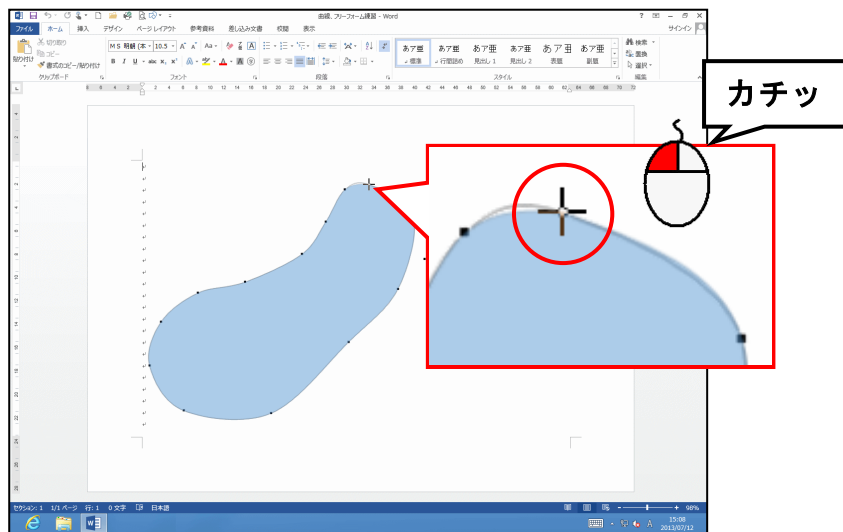
注意!

●ドラッグせずに、■（図形の頂点）をクリックしていきます。

同様にして、次の ■（図形の頂点）へとマウスを滑らせ、■（図形の頂点）にポイントし、クリックします。



同じことを 11 回繰り返します。



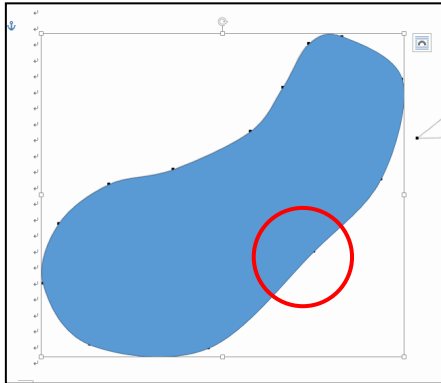
● 11 回目のクリックで、始点と終点
がくっついて、図が確定します。
始点と終点がずれてしまった場合
は、一度 **[Delete]** キーを押し、
描いた図形を削除してから、もう一
度操作してみましょう。

② なすびの形を変更（頂点を使用）

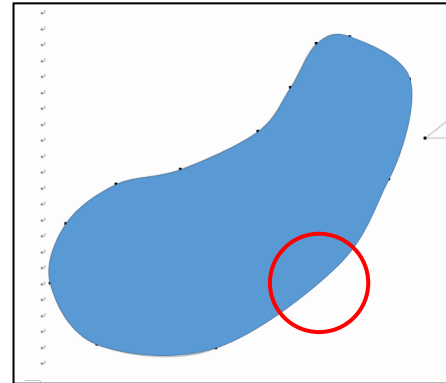
曲線を描くと、クリックした位置に頂点ができます。頂点を移動させることによって形を変更することができます。

◆頂点を使って形を変更する方法をマスターしましょう。

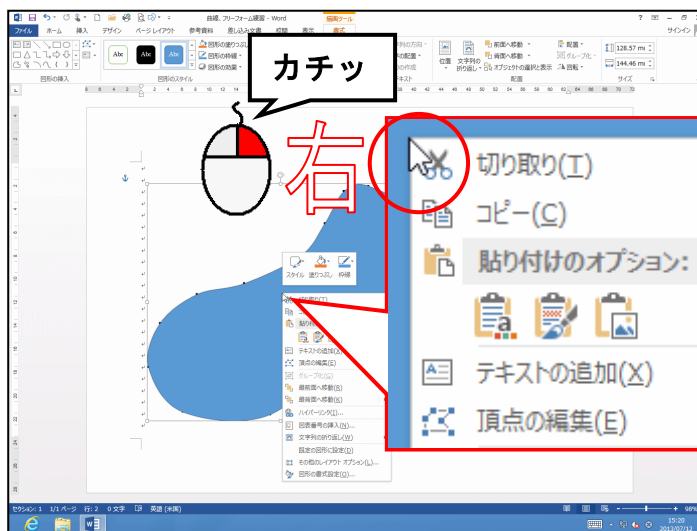
操作前



操作後

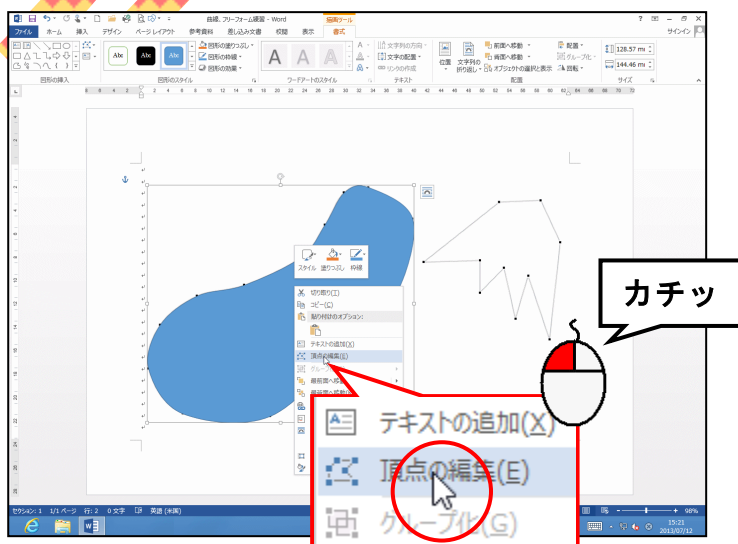


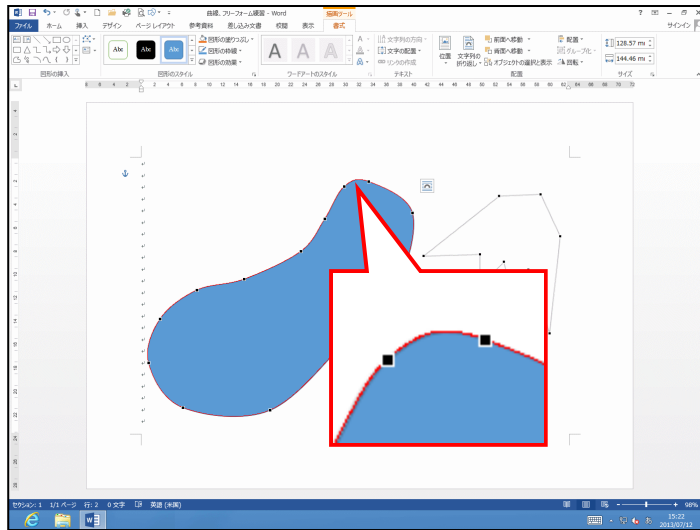
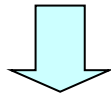
なすびが選択されていることを確認し、なすびの中（青い部分）で右クリックします。



●なすびが選択されていると、図形の周りに □（サイズ変更ハンドル）が表示されます。


表示されるショートカットメニューから、[頂点の編集(E)] にポイントし、クリックします。



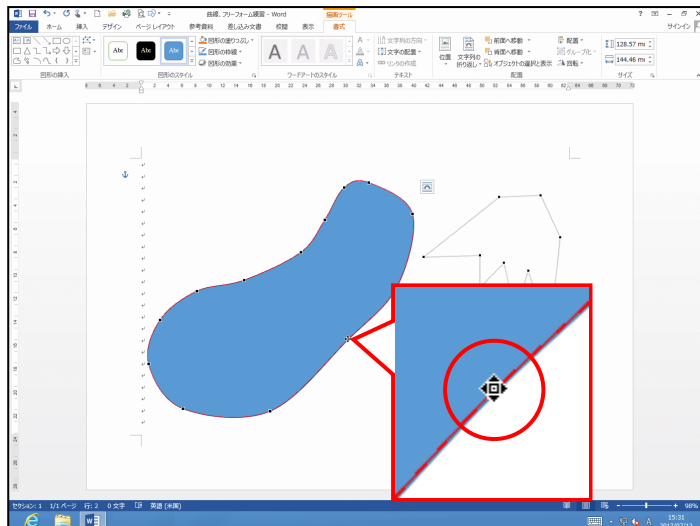



- [頂点の編集(E)] をクリックすると、■（頂点）が表示されます。

余裕があれば読んでね

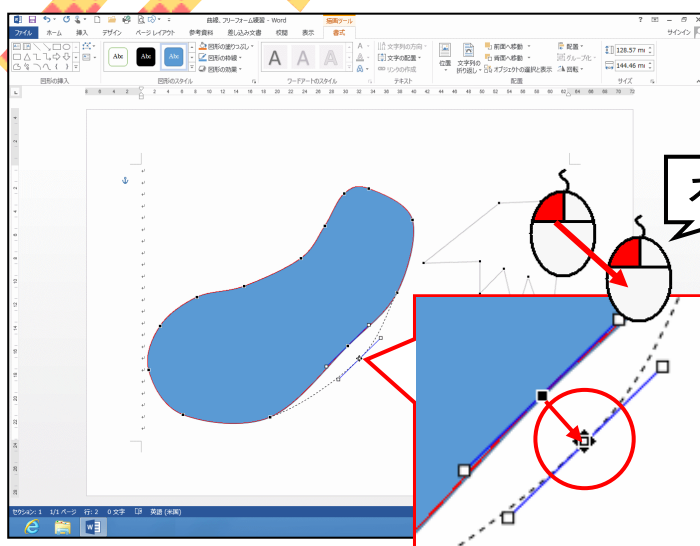
- 描画ツール [書式] タブの [図形の挿入] グループにある  [図形の編集] ボタンをクリックして [頂点の編集(E)] をクリックすると、頂点が表示されます。

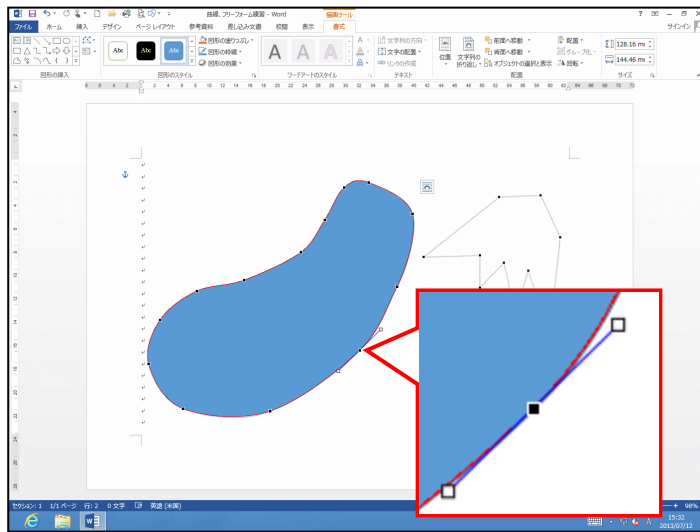
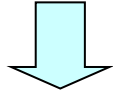
下図の位置の ■（頂点）にポイントします。



- 頂点にマウスポインターを移動すると、マウスポインターは  の形になります。

そのまま外へ向かってドラッグします。

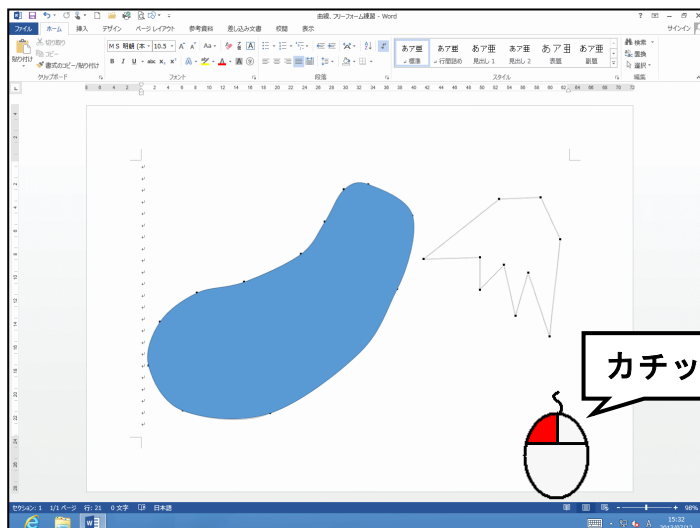




●頂点を選択してドラッグすると、描いた後でも、頂点の位置を変更できます。



何もないところでクリックし、選択を解除しておきましょう。

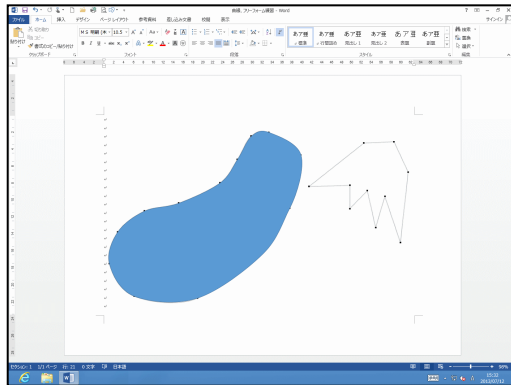


③ なすびのへたを描く（フリーフォーム）

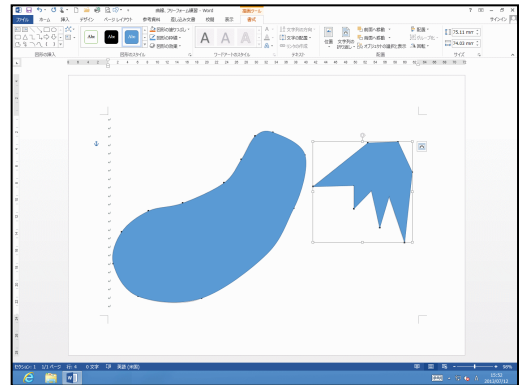
図形の線の種類の中に、フリーフォームという線があります。フリーフォームを使うと、自由な線を描くことができます。

◆フリーフォームを使って描く方法をマスターしましょう。

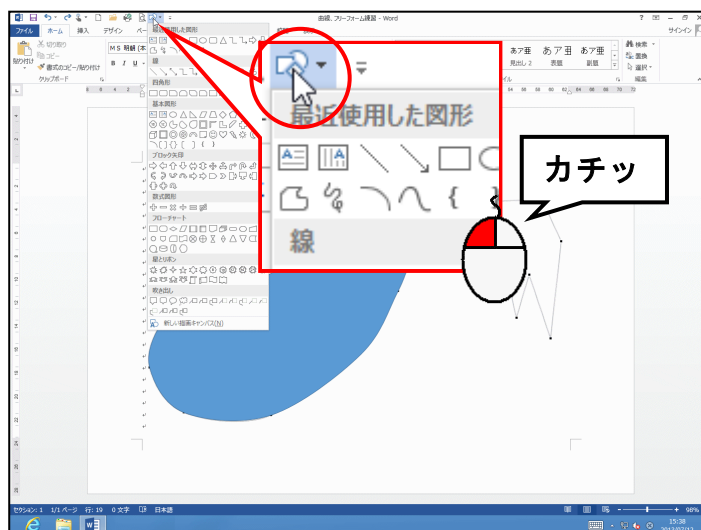
操作前



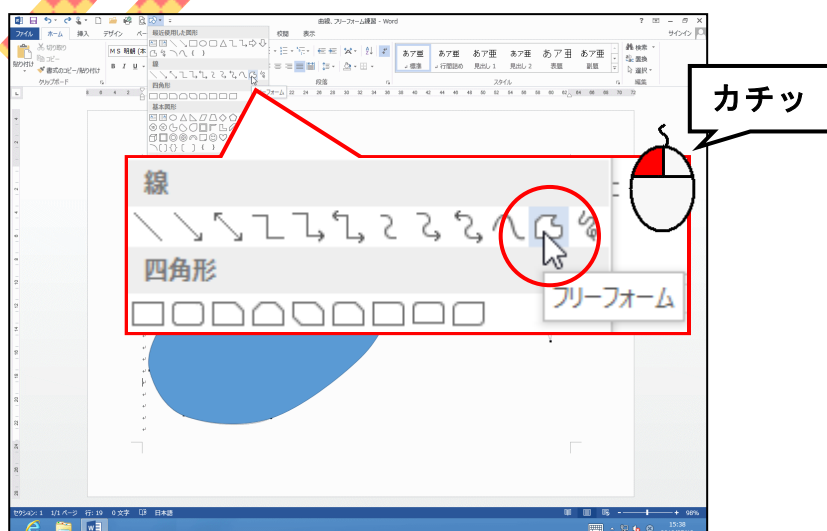
操作後

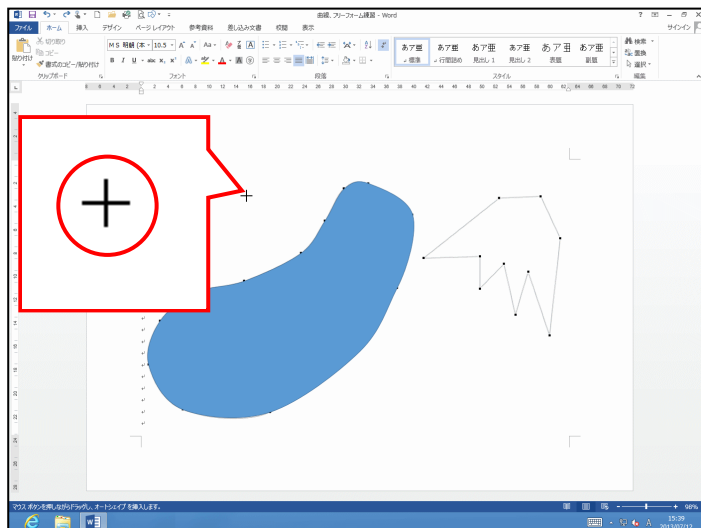
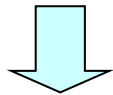


[クイックアクセス] ツールバーの [図形] ボタンにポイントし、クリックします。



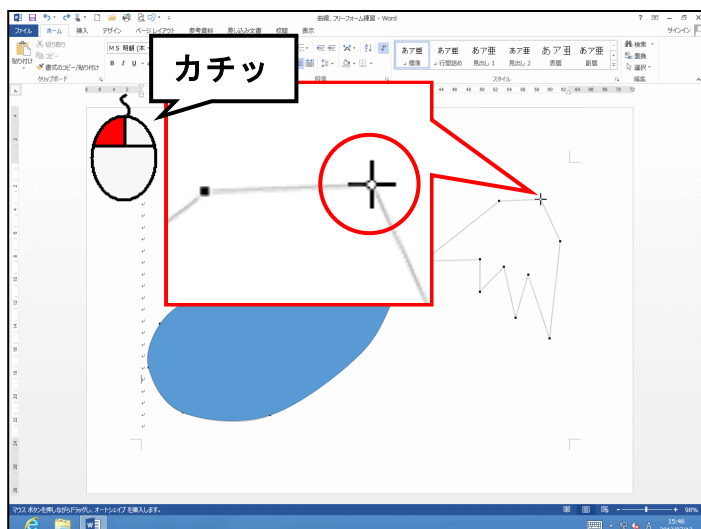
表示される一覧から「線」の [フリーフォーム] にポイントし、クリックします。



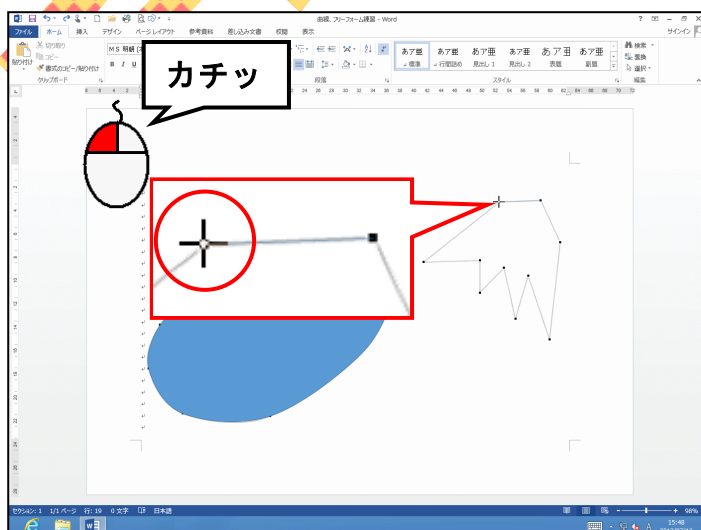


- [フリーフォーム] をクリックすると、マウスポインターは 十の形になります。

下図の位置の ■（頂点）へポイントし、クリックします。

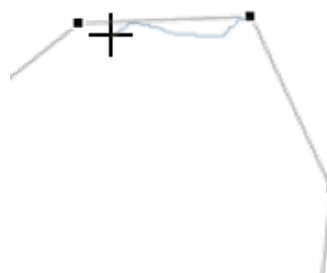


次の ■（頂点）へマウスを滑らせ、■（頂点）にポイントし、クリックします。

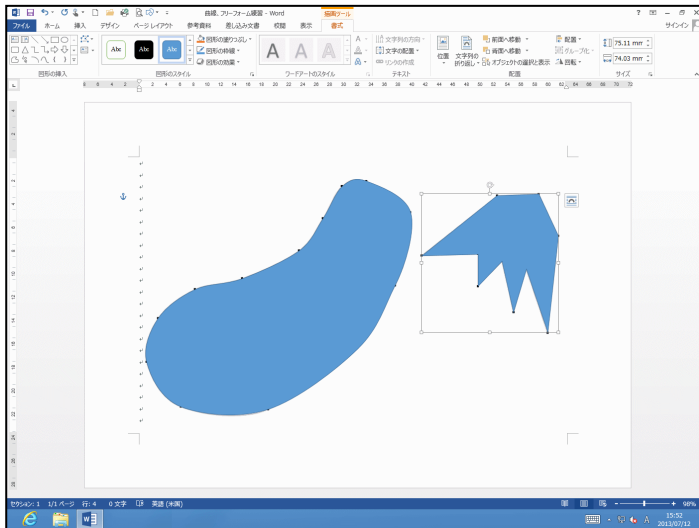


注意!

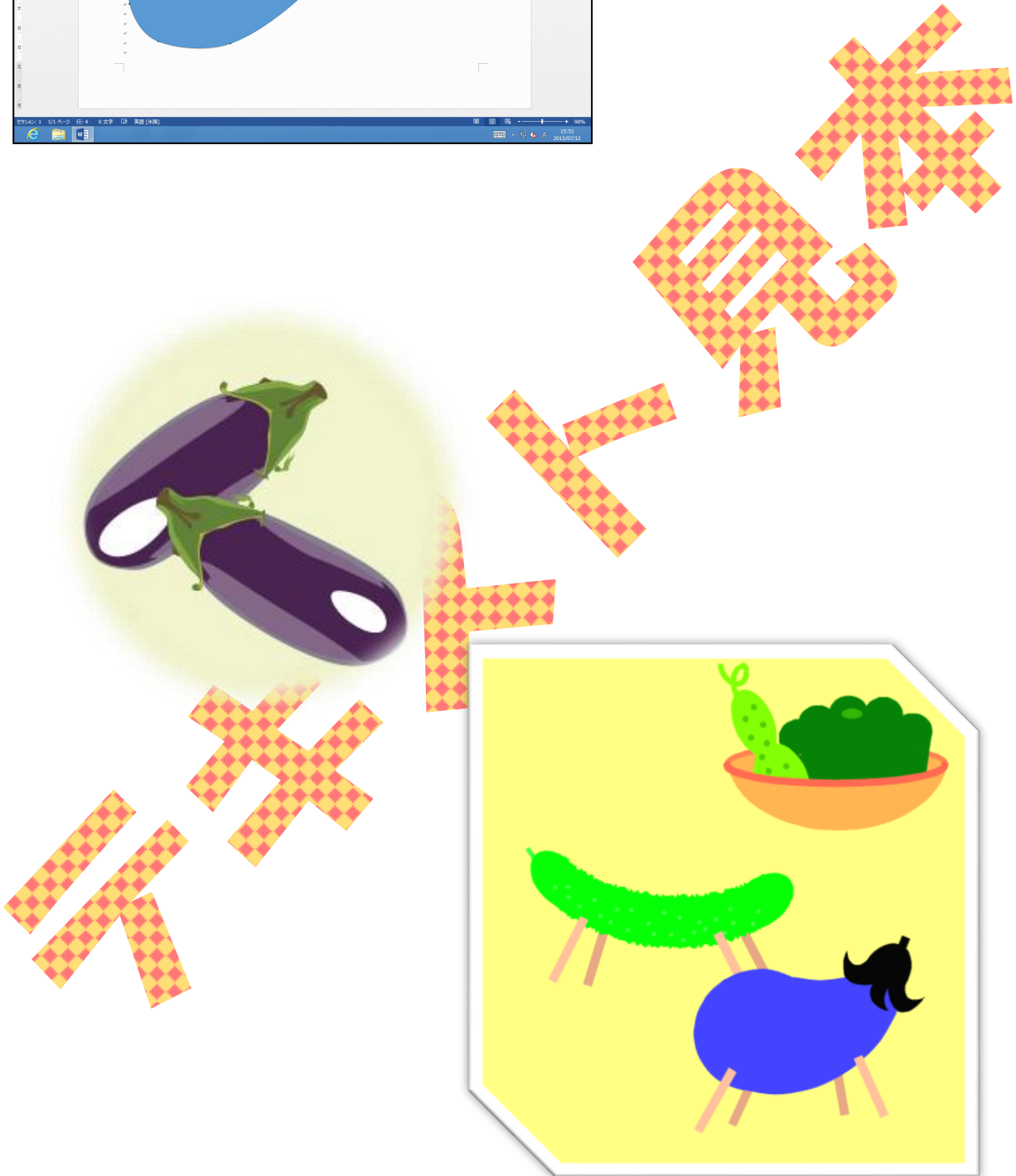
- マウスを滑らせずにそのままドラッグすると、下図のように真っ直ぐな線が引けないので注意しましょう。



同じことを9回繰り返します。



●9回目のクリックで、始点と終点がかっついて、図が確定します。

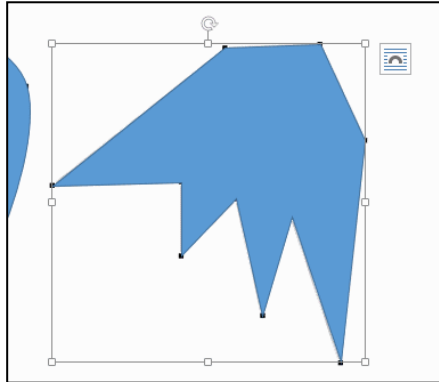


④ なすびのへたをなめらかに描く（頂点を中心にスムージングする）

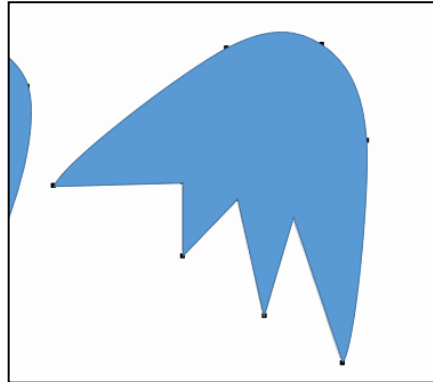
フリーフォームの頂点の編集で、「頂点を中心にスムージングする」を選択すると、角ばった線を頂点を中心にまくなめらかにすることができます。ここではなすびのへた（上の部分）をなめらかにします。

◆頂点を中心に丸くする方法をマスターしましょう。

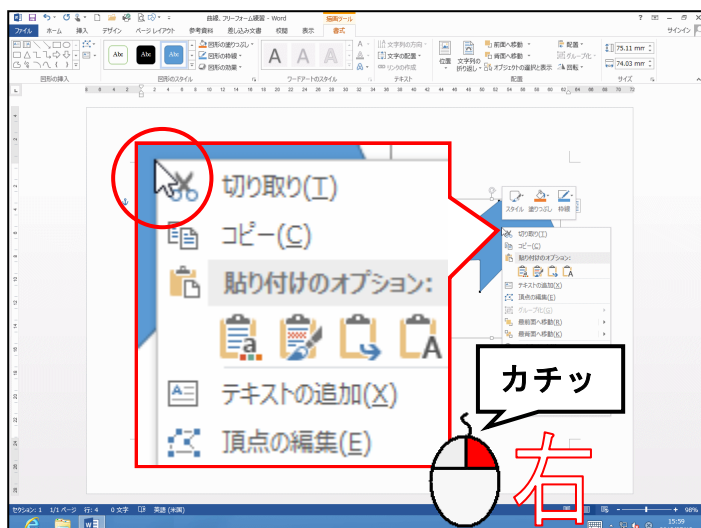
操作前



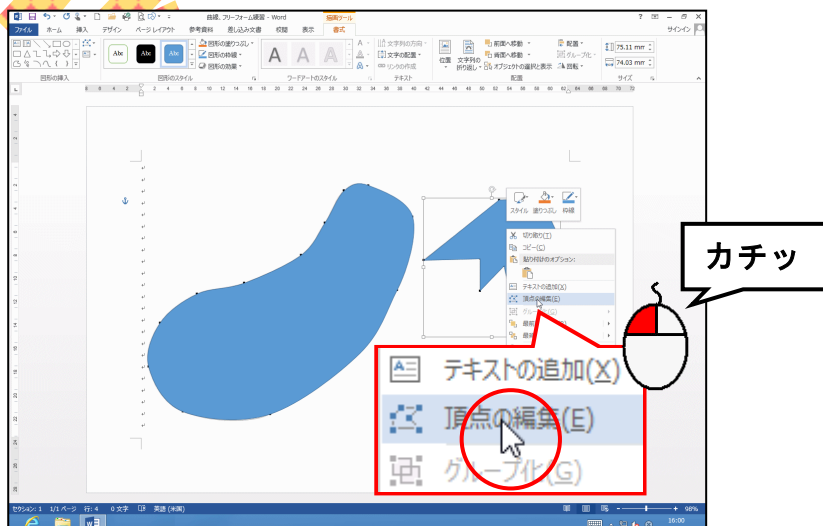
操作後

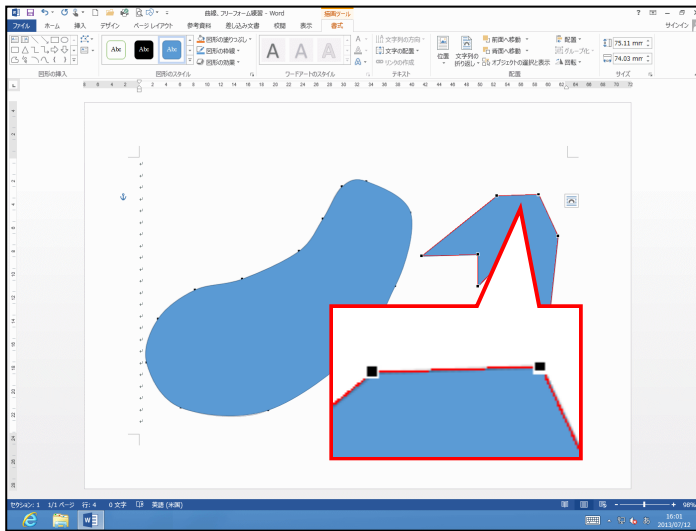
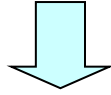


なすびのへたが選択されていることを確認し、なすびのへたの中（青い部分）で右クリックします。



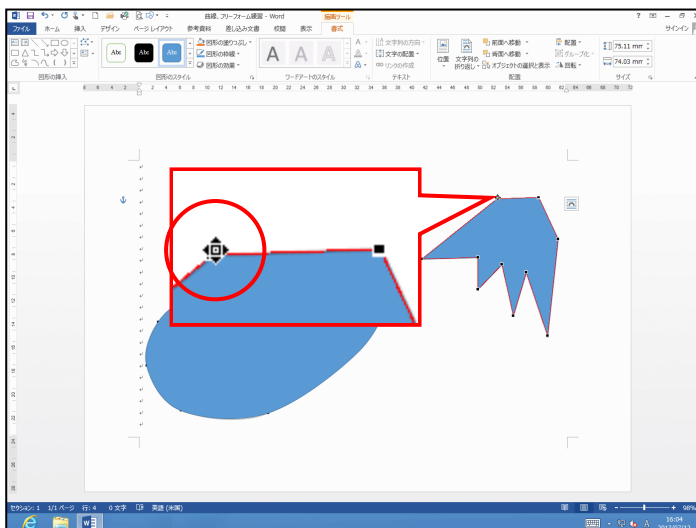
表示されるショートカットメニューから、[頂点の編集(E)] にポイントし、クリックします。






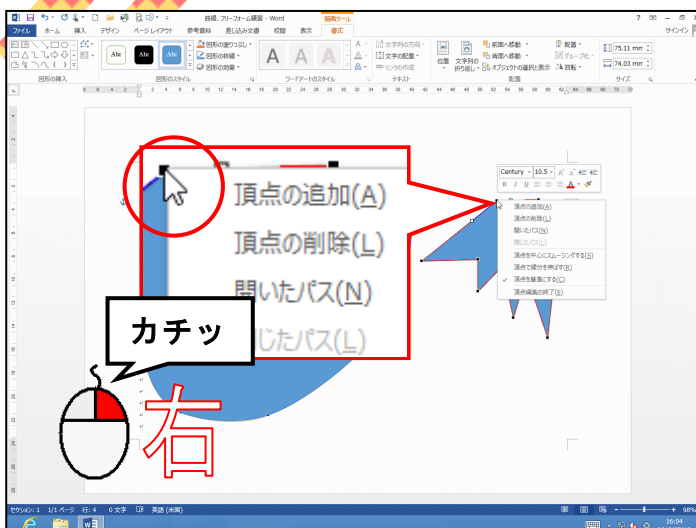
- [頂点の編集(E)] をクリックすると、頂点が表示されます。

下図の位置の ■（頂点）にポイントします。

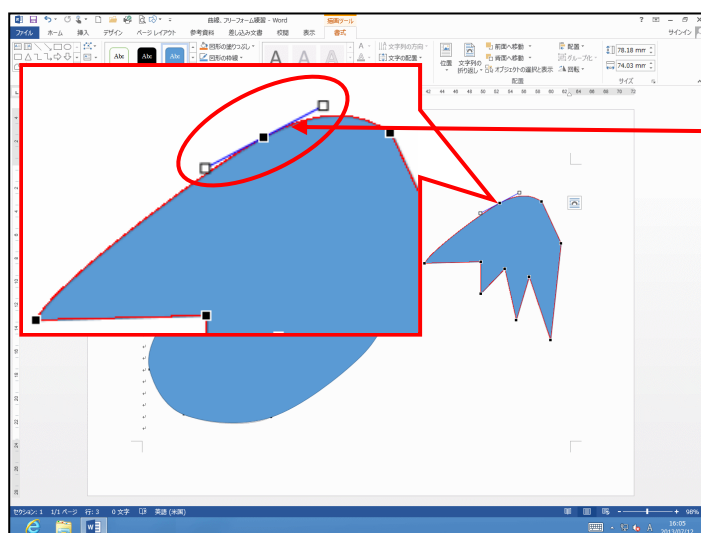
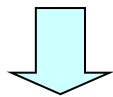
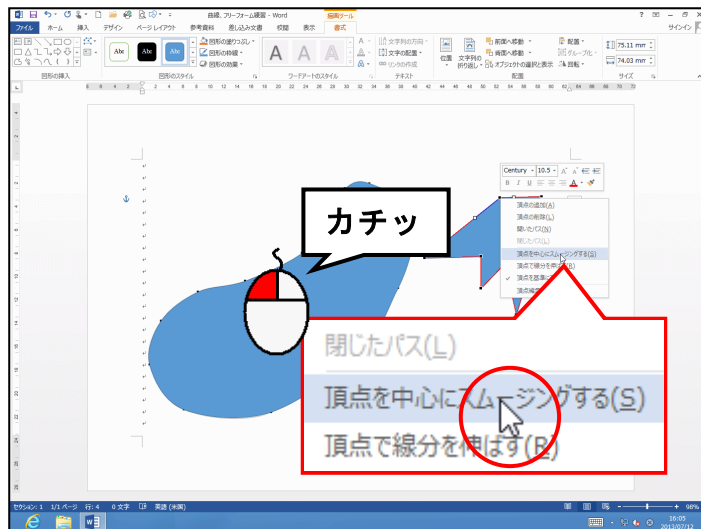



- ■（頂点）にマウスポインターを移動すると、 の形になります。

そのまま右クリックします。

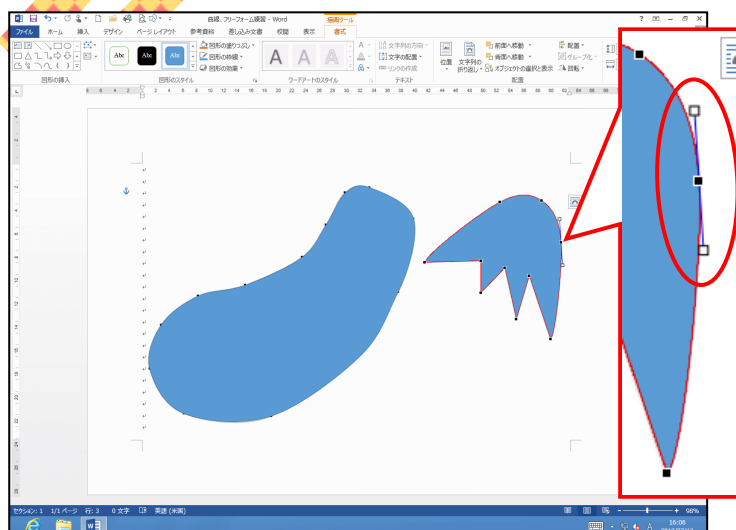


表示されるショートカットメニューから、[頂点を中心にスムージングする(S)] にポイントし、クリックします。

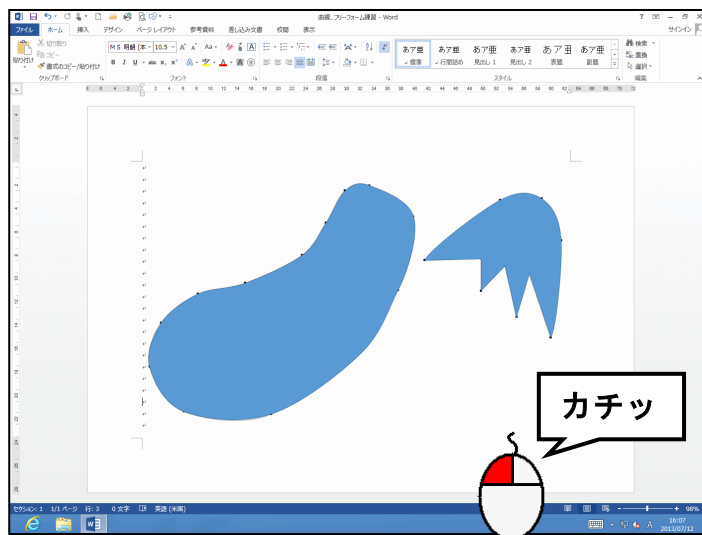


- [頂点を中心にスムージングする(S)] をクリックすると、頂点を中心に丸くなります。さらに、 コントロールポイントが表示されます。

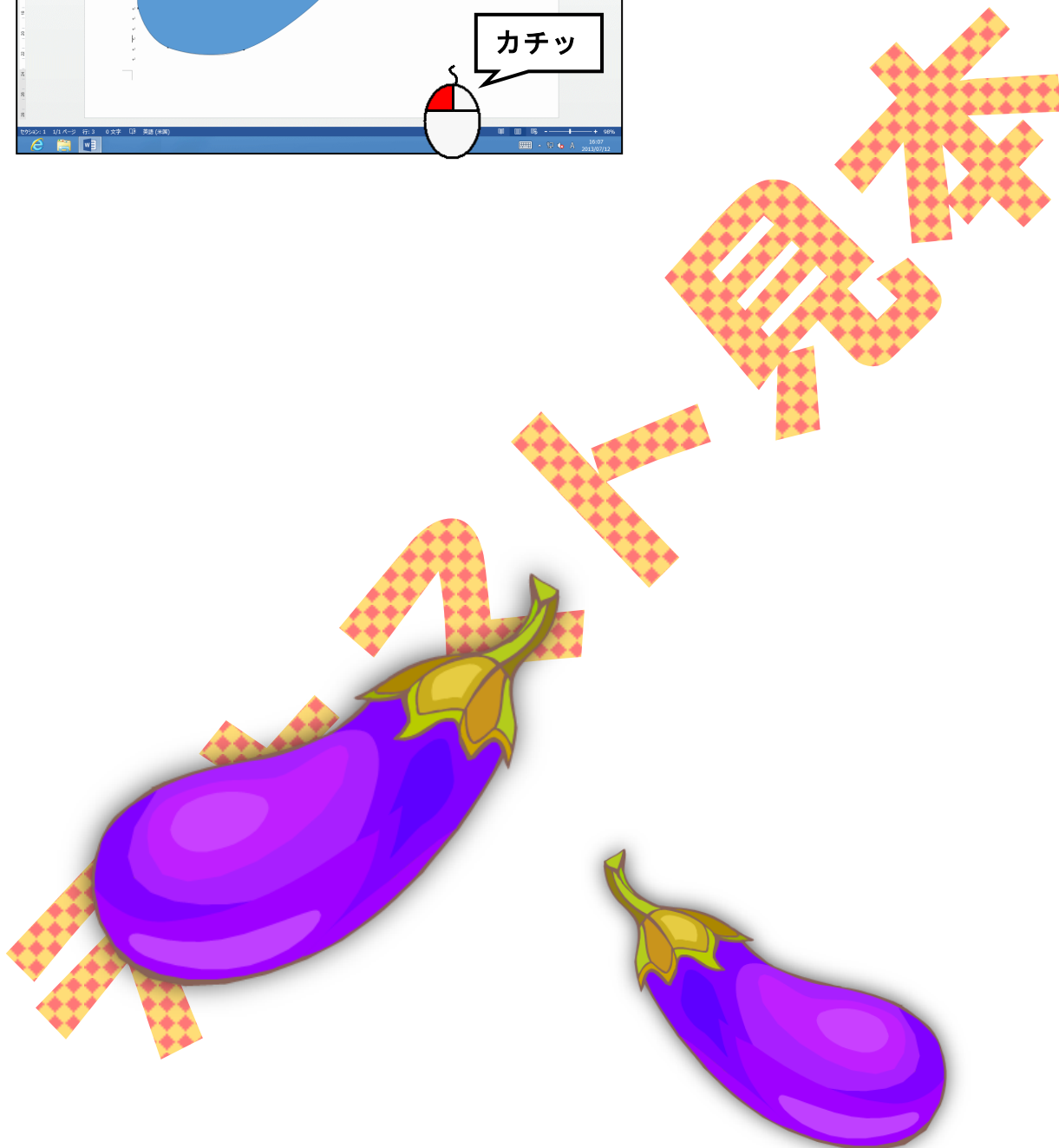
右側の ■ (頂点) も同様に、[頂点を中心にスムージングする(S)] に設定しましょう。



次の操作のために、選択を解除しておきましょう。



- 選択された図形以外のところをクリックし、選択を解除しましょう。

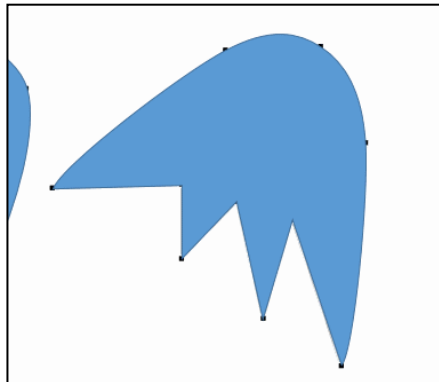


⑤ なすびのへたをなめらかに描く（頂点を基準にする）

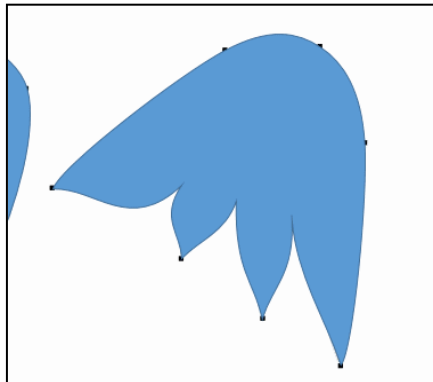
フリーフォームの頂点の編集で、「頂点を基準にする」を選択すると、角ばった線の頂点を中心に片方ずつ線をまろくなめらかにすることができます。ここではなすびのへた（ぎざぎざの部分）をなめらかにします。

◆頂点を基準に描く方法をマスターしましょう。

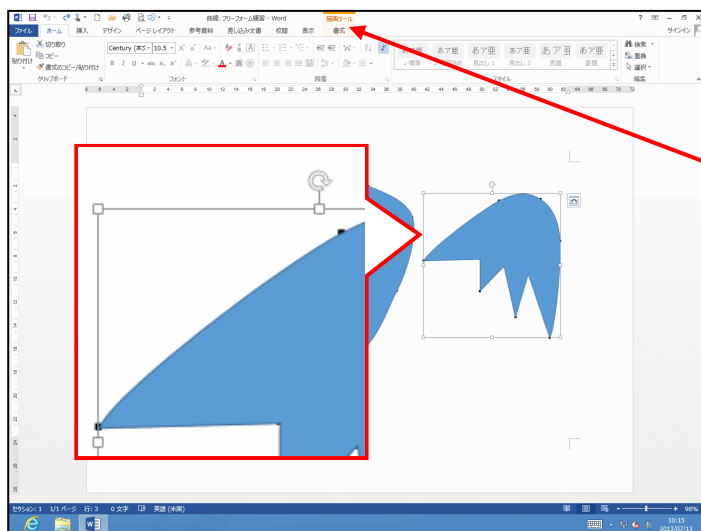
操作前



操作後



なすびのへたを選択します。



注意!

● 見た目には違いが判りません。なすびのへたを選択したときに、**【描画】ツール**の書式タブが表示されていれば大丈夫です。もしも、**【図】ツール**の書式タブが表示されている場合は、下書きの絵が選択されていますので、再度選択し直しましょう。

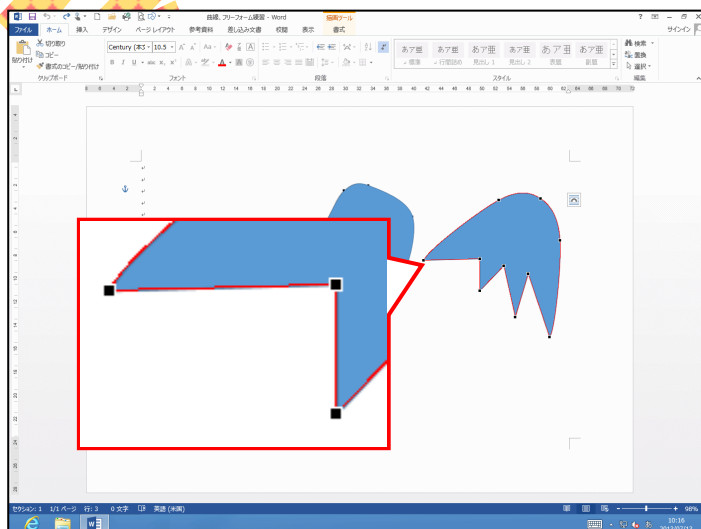
描画ツール
書式

【描画】ツール・・・図形

図ツール
書式

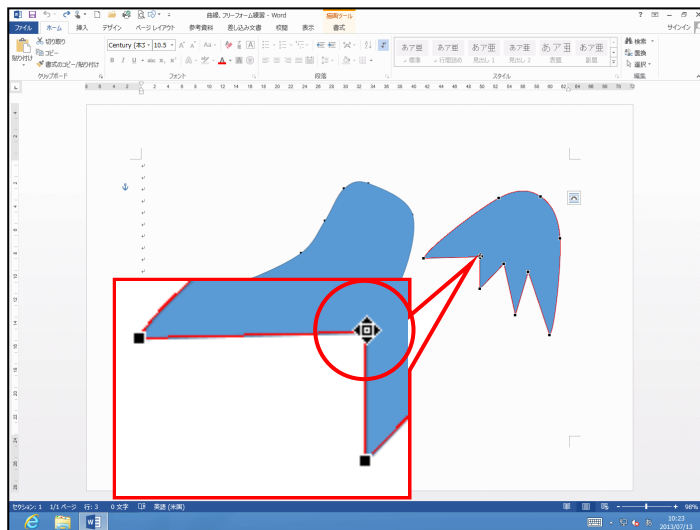
【図】ツール・・・画像

■（頂点）を表示させます。

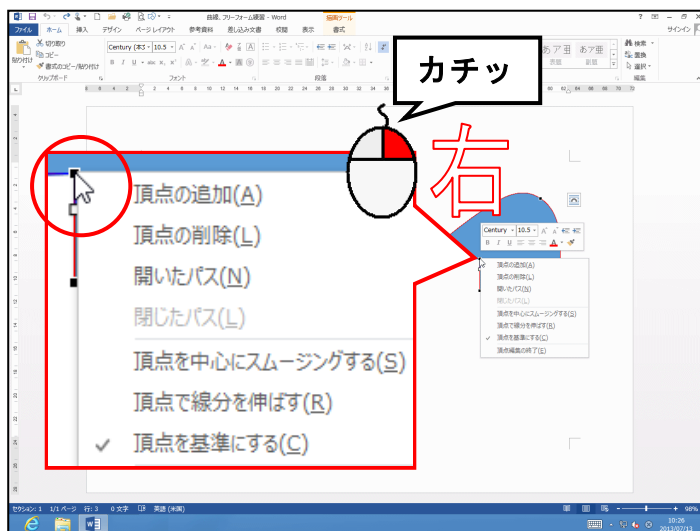


● ■（頂点）の表示の仕方を忘れた方は、P124 を参照してください。

下図の位置の ■（頂点）にポイントします。

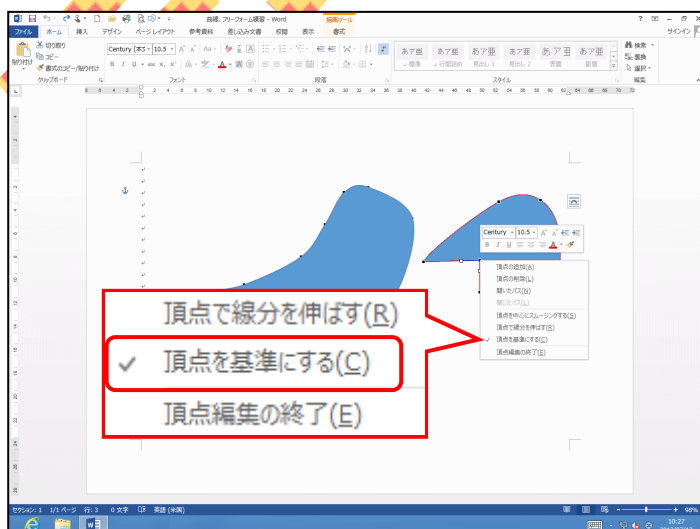


そのまま右クリックします。



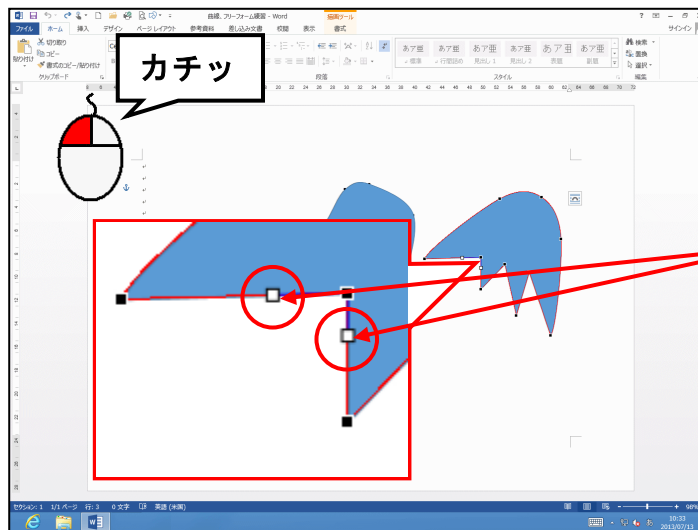
●ここでは確認のためだけに、右クリックしています。

表示されるショートカットメニューから、[頂点を基準にする(C)]にチェックが付いていることを確認します。



●[頂点を基準にする(C)]にチェックがついていない方は、[頂点を基準にする(C)]をクリックしておきましょう。

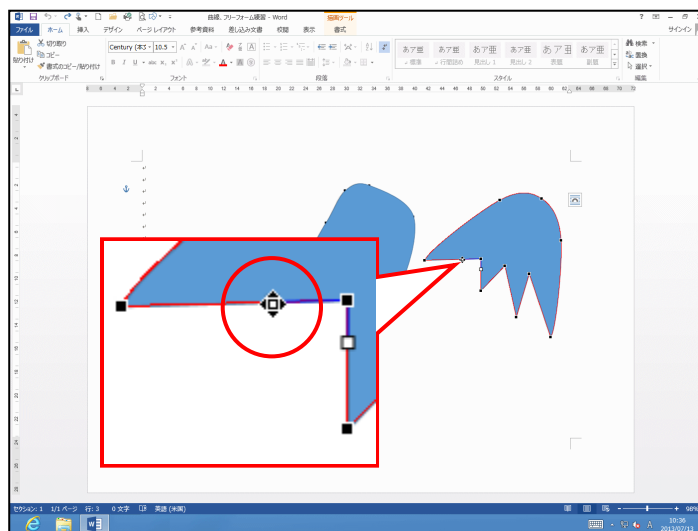
表示されているショートカットメニュー以外の場所にポイントし、クリックします。



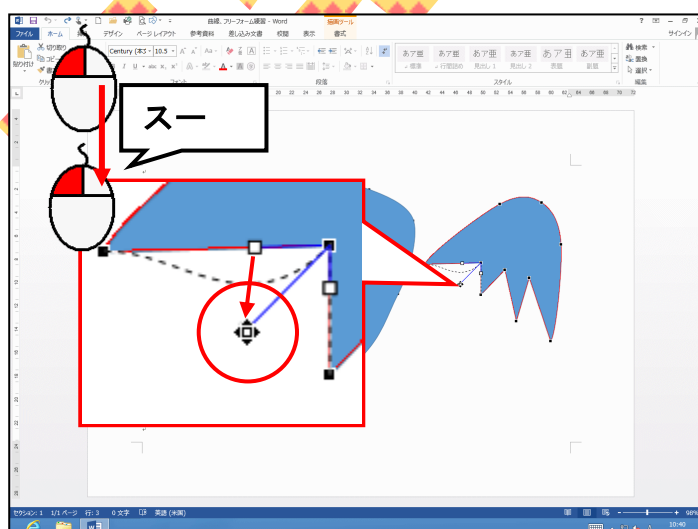
●ショートカットメニュー以外の場所でクリックすると、ショートカットメニューが閉じます。

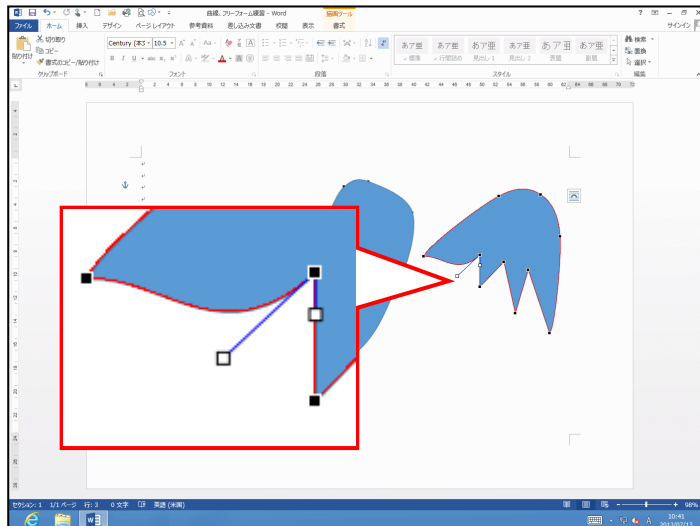
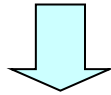
●右クリックした ■（頂点）の両サイドに □—□ コントロールポイントが表示されていることを確認しておきましょう。

左側のコントロールポイントにポイントします。

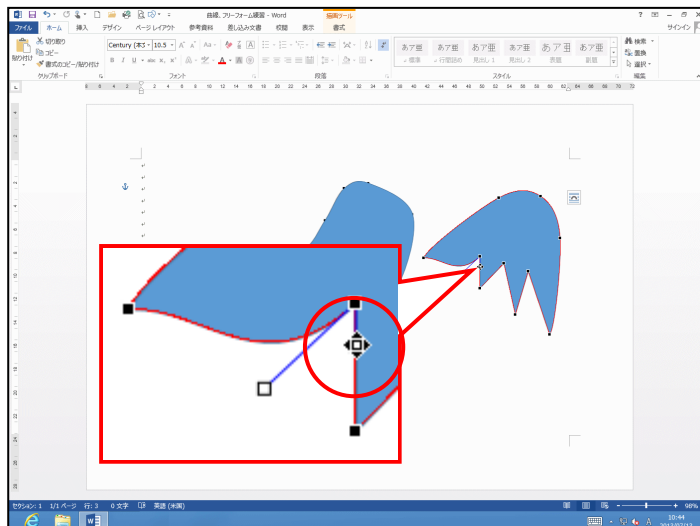


そのまま下方向へドラッグします。



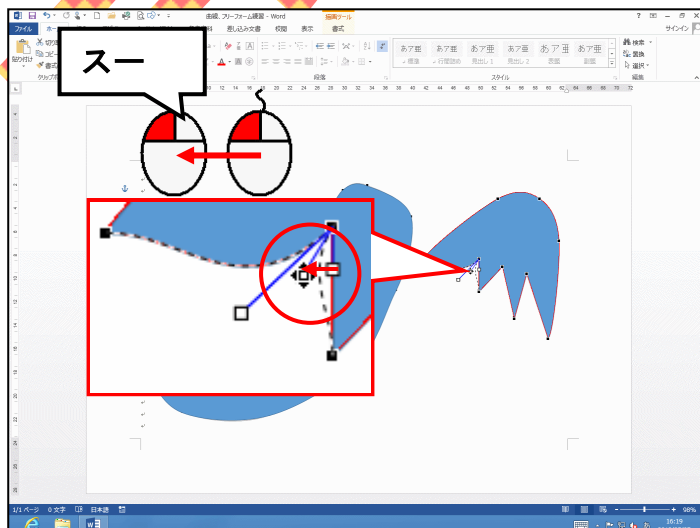


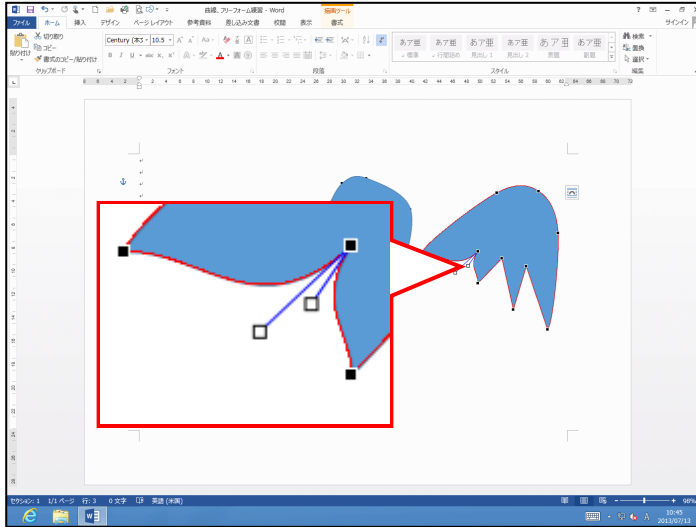
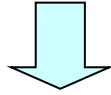
右側のコントロールポイントにポイントします。



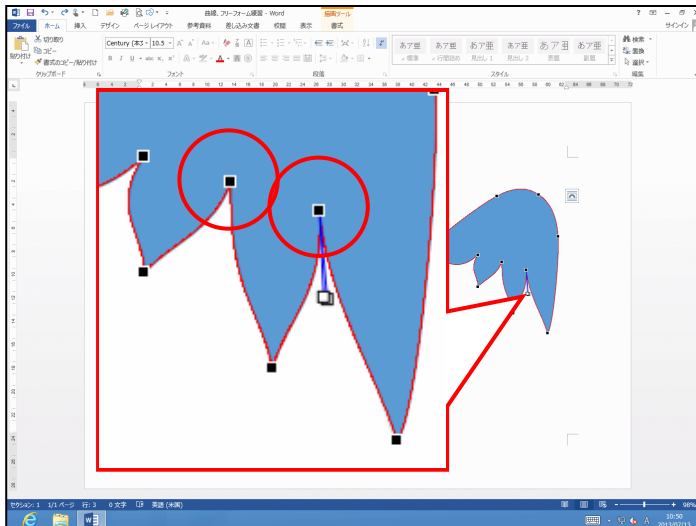
●コントロールポイントをドラッグすると、真っすぐな線が丸くなります。

そのまま左方向へドラッグします。





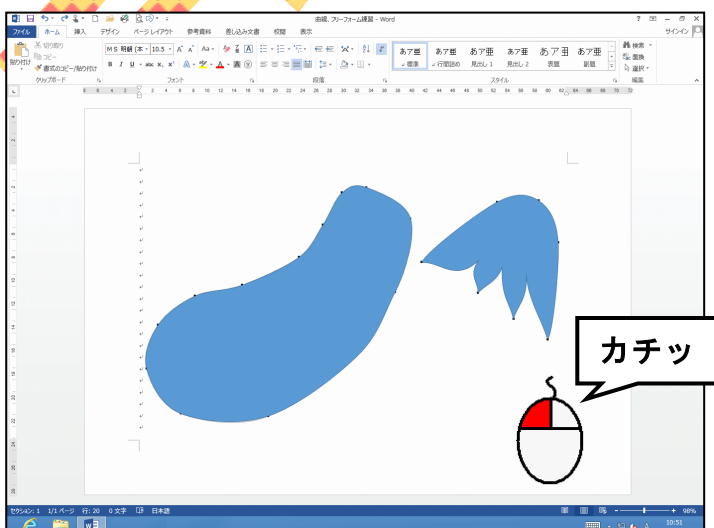
他の部分も同様に設定しましょう。



●赤丸のついている場所のコントロールポイントを設定しましょう。先程の様に、1つのコントロールポイントにつき、2ヶ所設定しましたので、全部で4ヶ所設定することになります。



なすびのへた以外のところでクリックし、選択を解除しましょう。

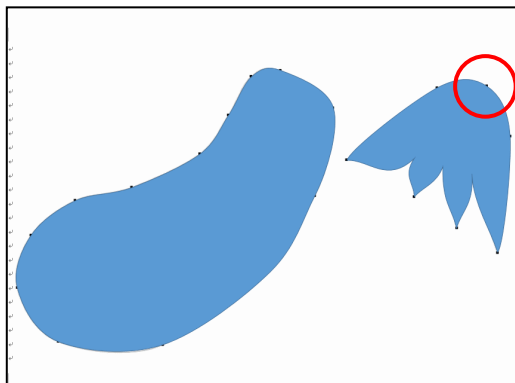


⑥ なすびのじくを描く（頂点の追加を使用）

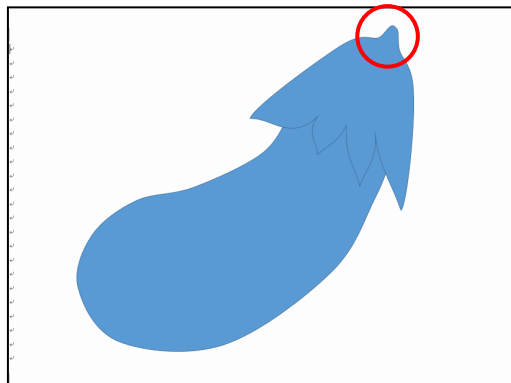
フリーフォームで図形を描くと、曲線と同様にクリックした位置に頂点ができます。頂点は、描いた後からでも追加することができ、頂点を追加することによって、形を変形させることができます。ここではなすびのへたの先端部分を追加するために頂点を追加し、変形させてみましょう。

◆頂点を追加する方法をマスターしましょう。

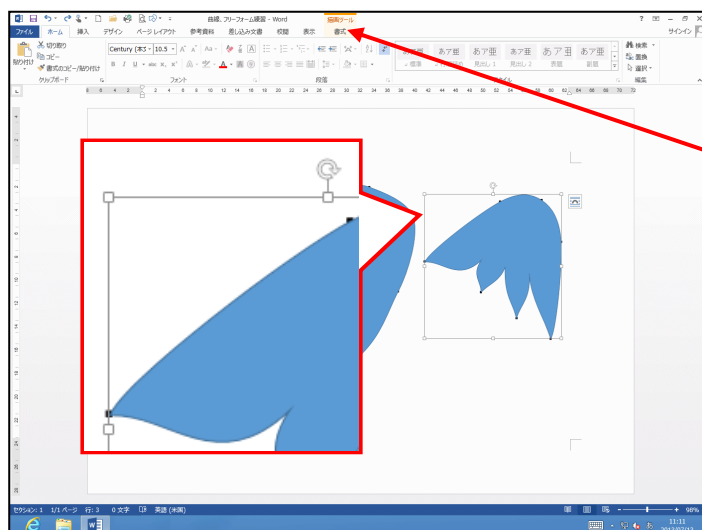
操作前



操作後



なすびのへたを選択します。



注意!

- 見た目には違いが判りません。なすびのへたを選択したときに、**【描画】 ツール**の書式タブが表示されていれば大丈夫です。もしも、**【図】 ツール**の書式タブが表示されている場合は、下書きの絵が選択されていますので、再度選択し直しましょう。

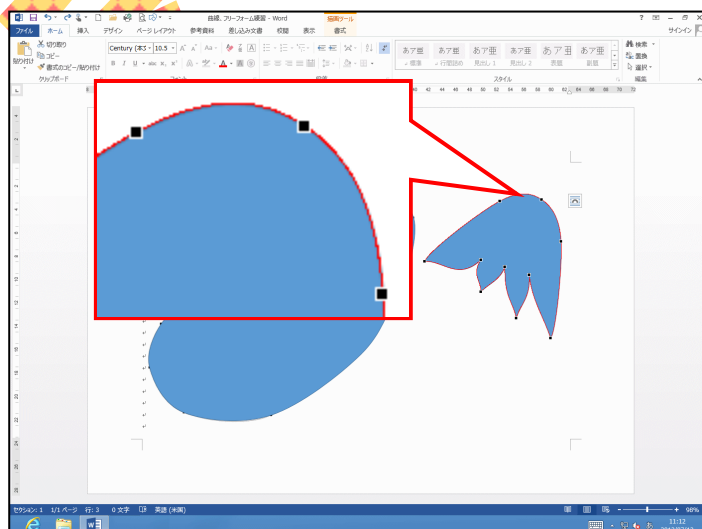
描画ツール
書式

【描画】 ツール ・ ・ 図形

図ツール
書式

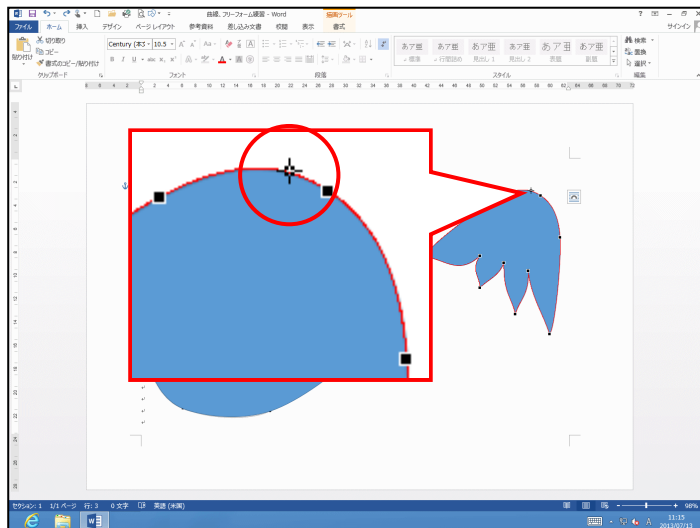
【図】 ツール ・ ・ ・ 画像

■（頂点）を表示させます。



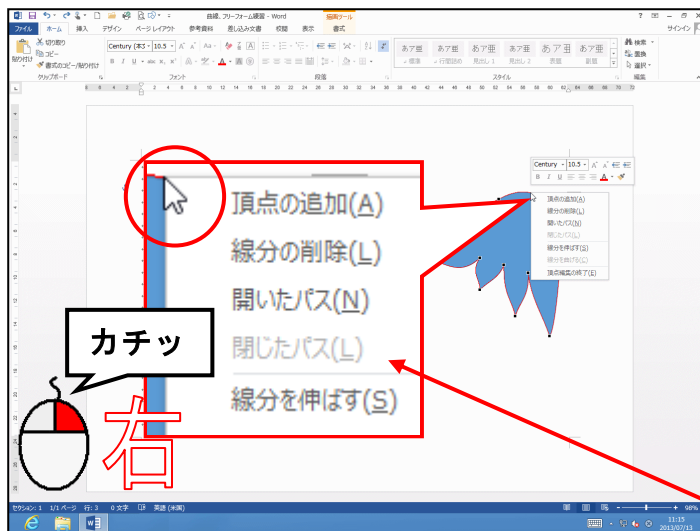
- ■（頂点）の表示の仕方を忘れた方は、P124 を参照してください。

下図の位置の ■（頂点）と ■（頂点）の間の線の上でポイントします。



- 線上にマウスポインターを移動すると、✦ の形になります。
- ■（頂点）にポイントすると、次の操作で違う画面が表示されてしまうので注意しましょう。

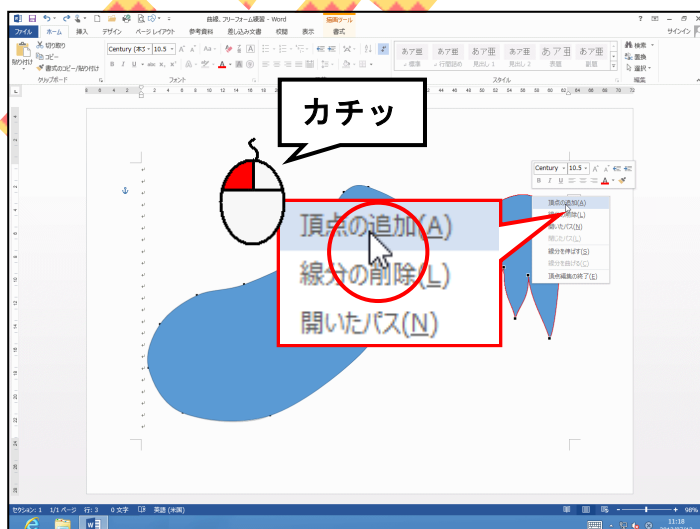
そのまま線の上で右クリックします。

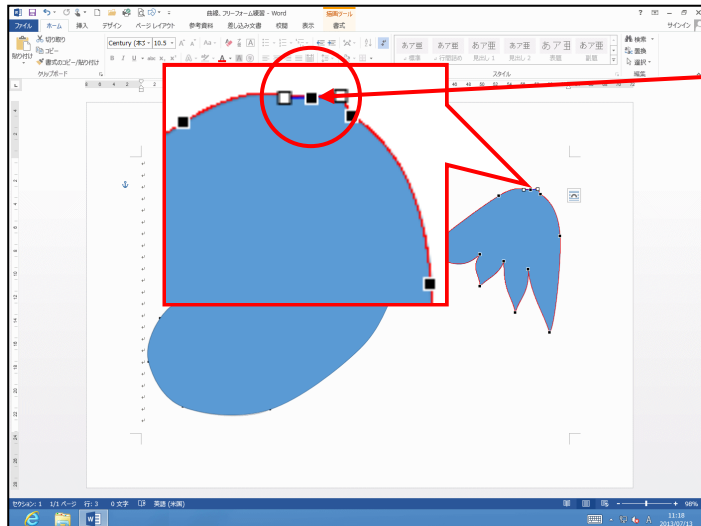
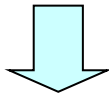


注意!

- 右クリックしている時間が長かったり、マウスが動いてしまったりすると、その時点で ■（頂点）が追加されるので注意しましょう。誤って ■（頂点）が追加されてしまった場合は、☞ [元に戻す] ボタンをクリックして、再度チャレンジしましょう。
- 右クリックすると、左のようなショートカットメニューが表示されます。

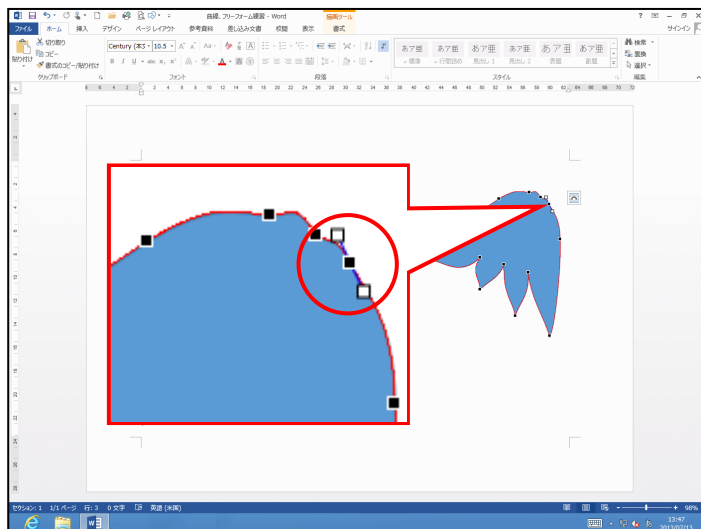
表示されるショートカットメニューから、[頂点の追加(A)] にポイントし、クリックします。





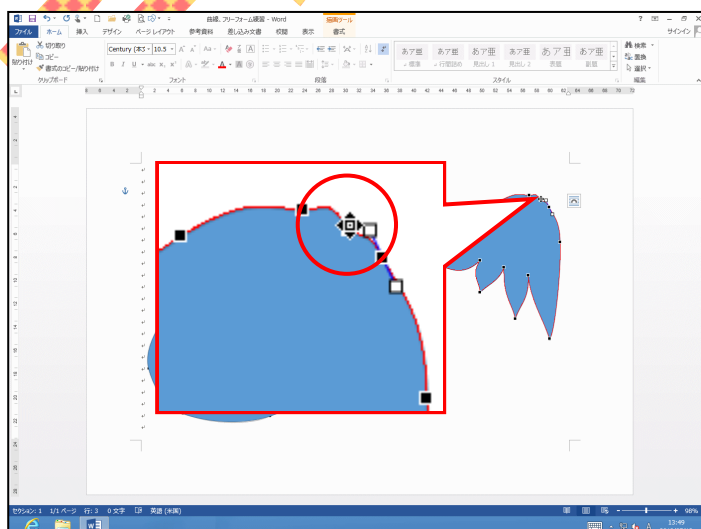
- [頂点の追加(A)] をクリックすると、■（頂点）がひとつ増えました。

同様に、下図の位置に ■（頂点）を追加しましょう。

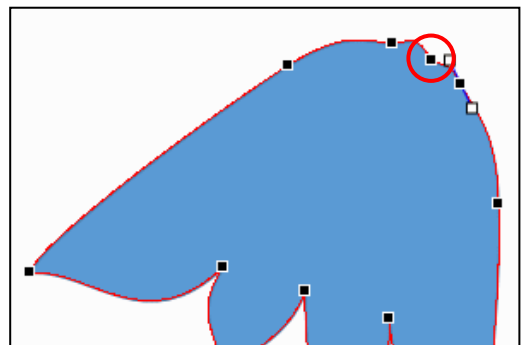


- 先ほど追加した左側の ■（頂点）と反対側の右側の ■（頂点）の追加になります。

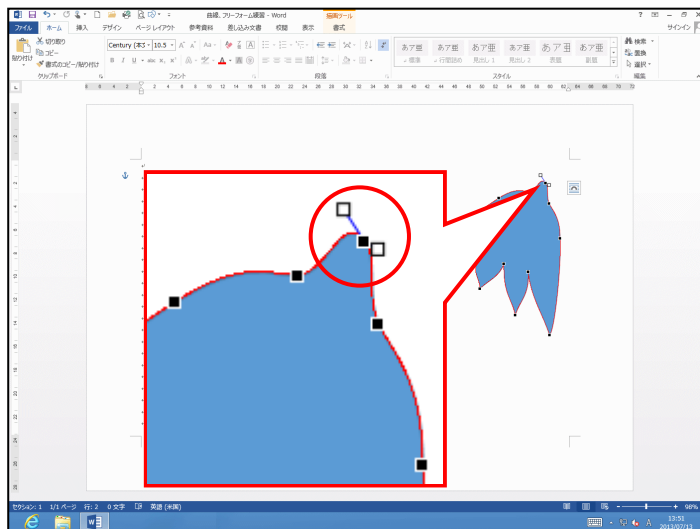
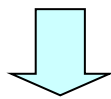
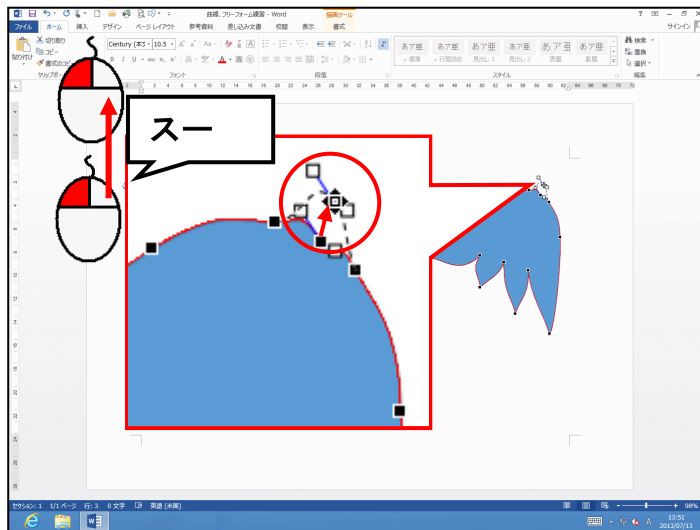
下図の位置の ■（頂点）にポイントします。



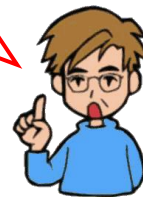
- ポイントする位置は、追加した 2 つの ■（頂点）の間の ■（頂点）になります。



そのまま上方向へドラッグします。



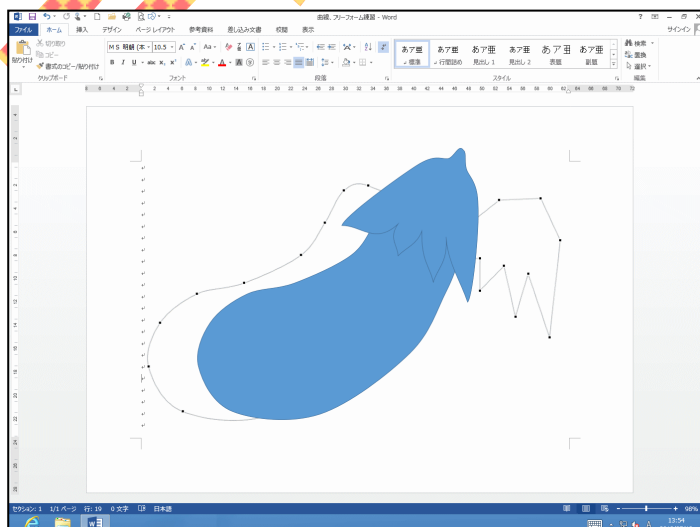
●図形を描いた後も、頂点を追加して図形を変更することができます。



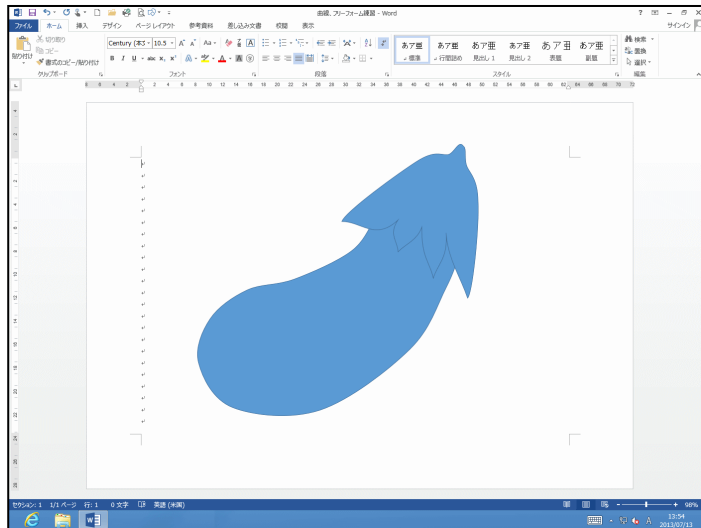
頂点についての補足説明

P 211

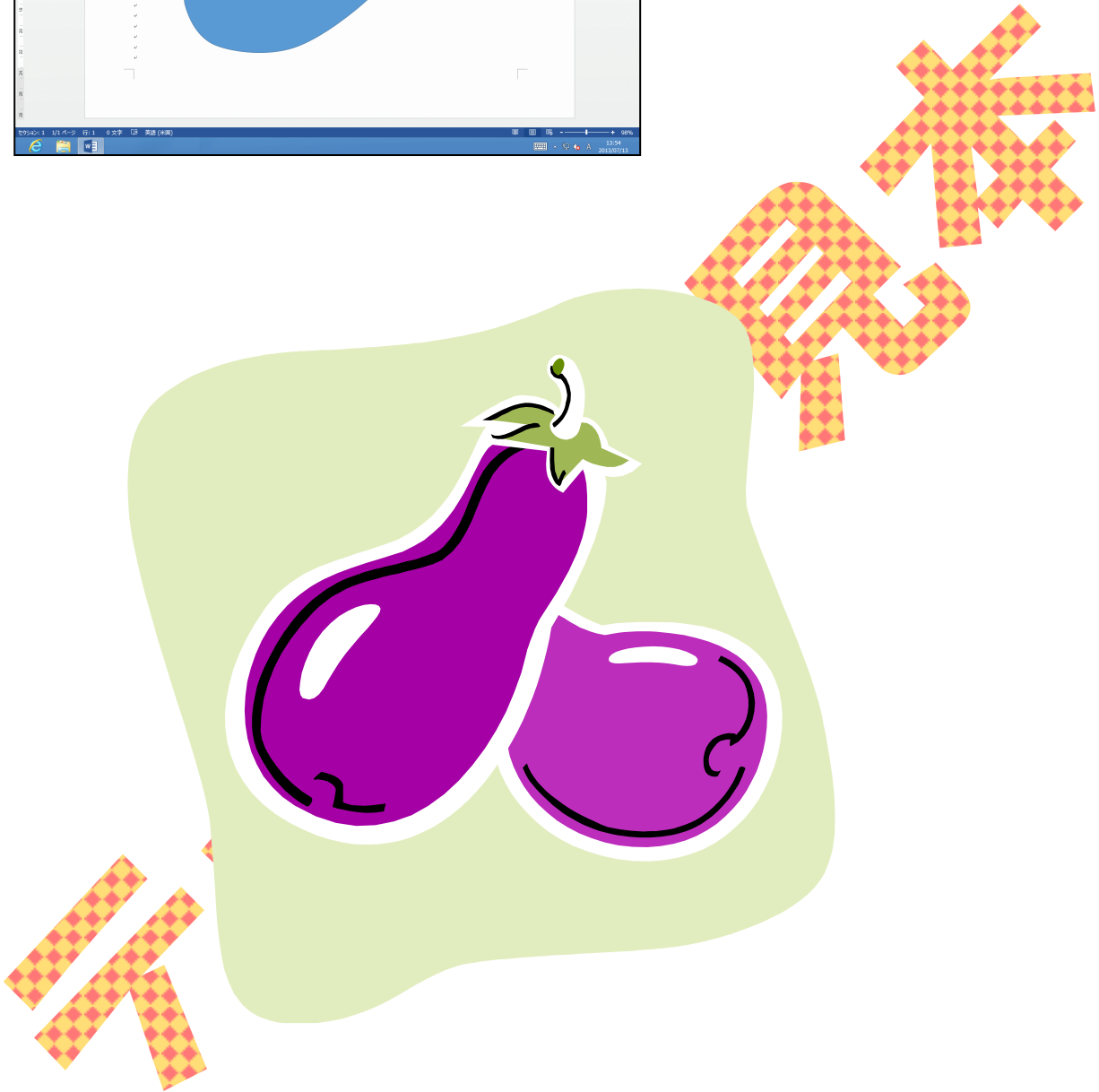
なすびの実の部分とへたの部分をつっつけます。



下書きの画像を削除します。



- 画像を削除する方法を忘れた方は、**P11 ③ 図形の削除**を参照してください。
- 図形の削除の方法も、画像の削除の方法も同様の操作でできます。

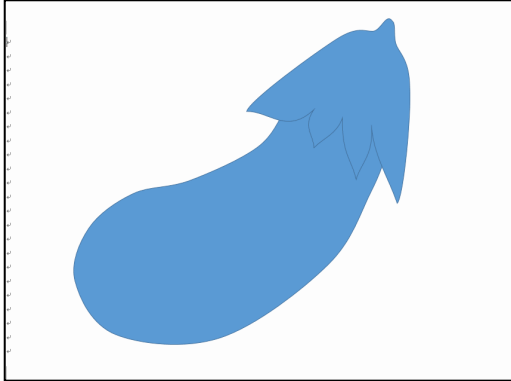


⑦ なすびに色を塗る（グラデーションの設定）

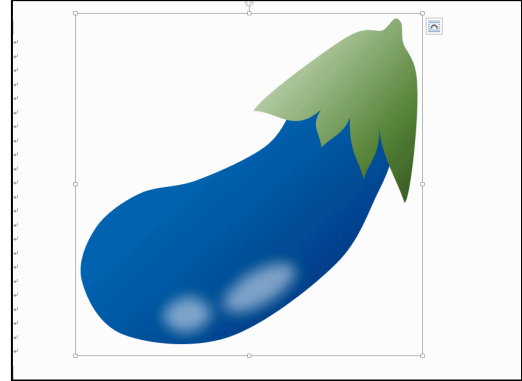
これまで図形にいろんな色を設定してきましたが、図形に設定できる色は、単色（1色）だけではありません。ここでは描いた図形にグラデーションを設定してみましょう。

◆グラデーションを設定する方法をマスターしましょう。

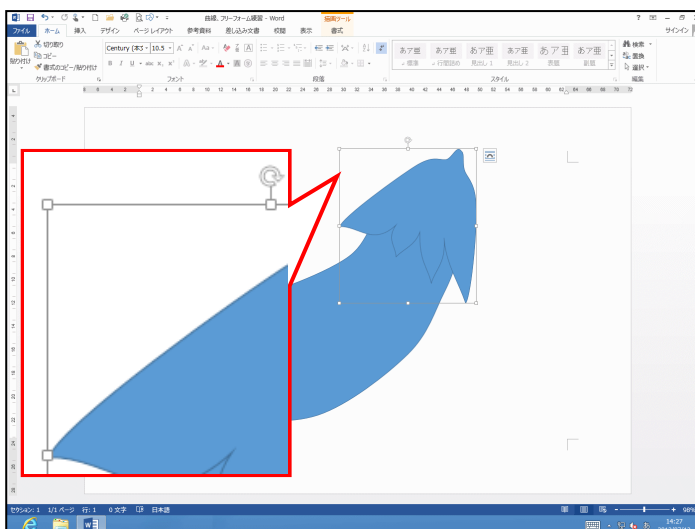
操作前



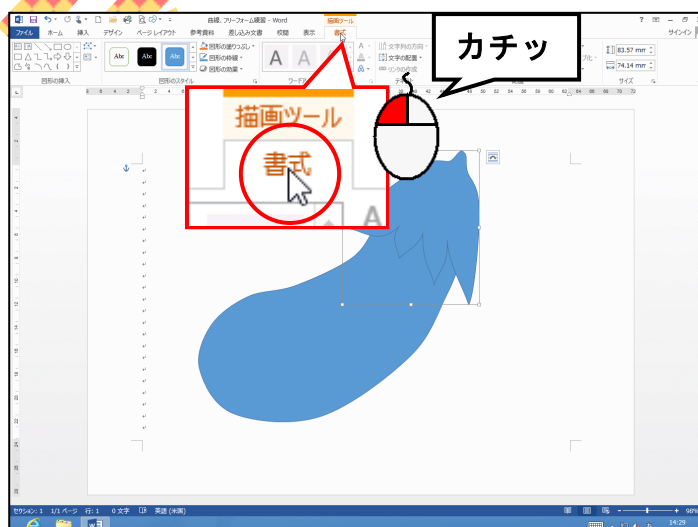
操作後




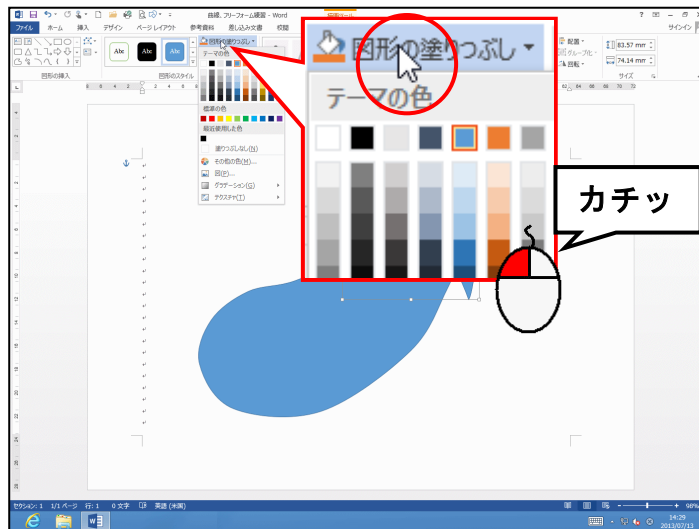
なすびのへたの部分を選択します。



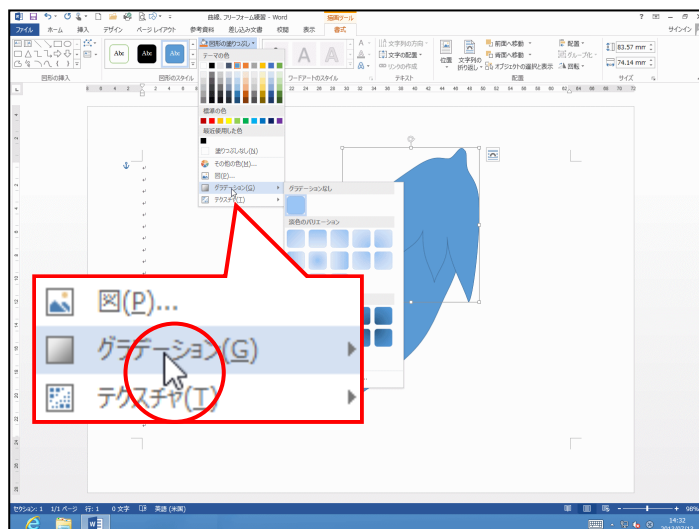
〔書式〕タブにポイントし、クリックします。



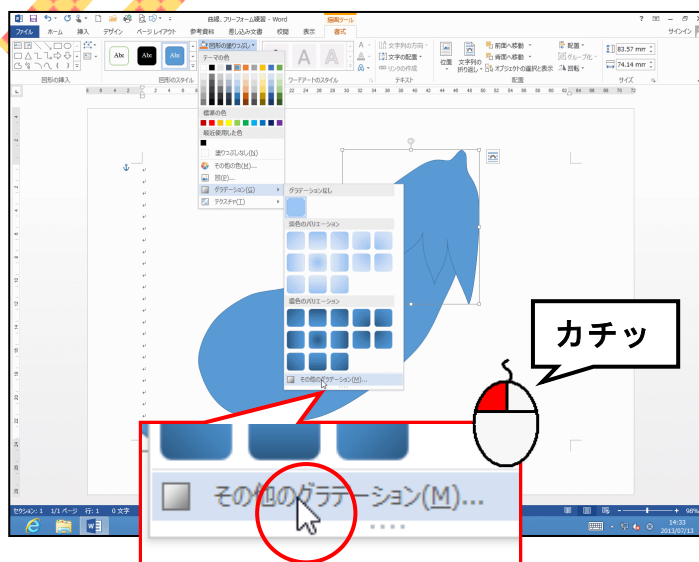
「図形のスタイル」グループにある  図形の塗りつぶし・「図形の塗りつぶし」ボタンにポイントし、クリックします。

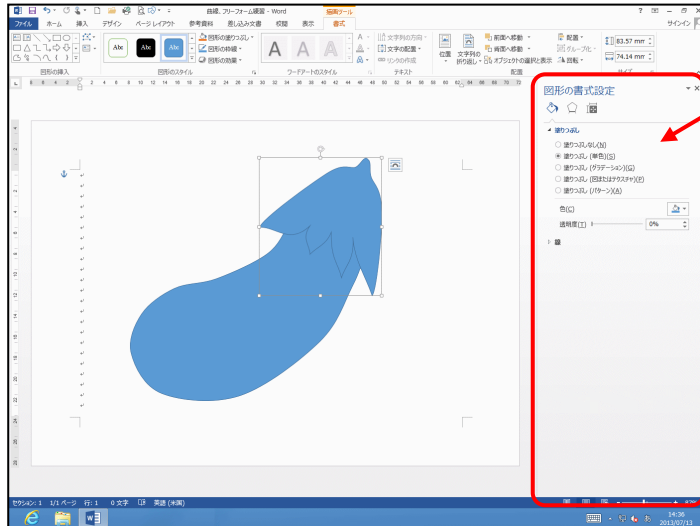
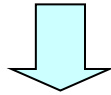


表示された一覧から「グラデーション(G)」にポイントします。



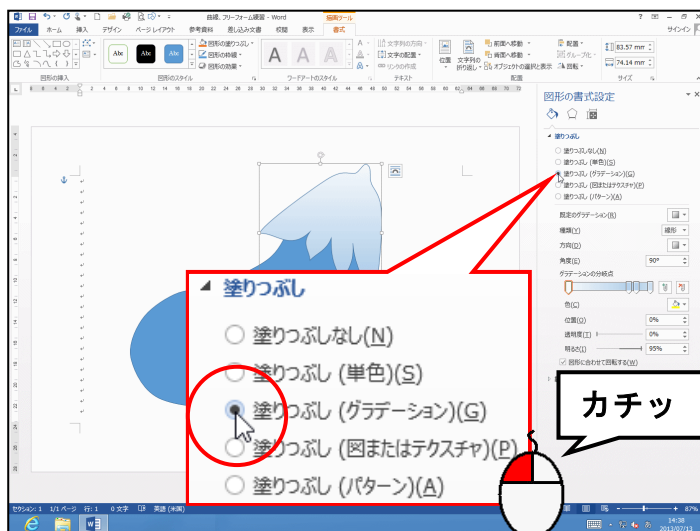
右側に表示された一覧から「その他のグラデーション(M)...」にポイントし、クリックします。



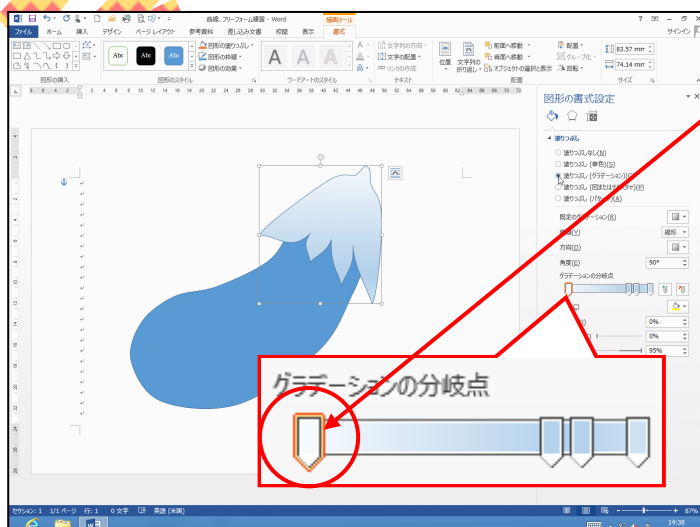


● [その他のグラデーション(M)...] をクリックすると、左のように [図形の書式設定] ウィンドウが画面右に表示されます。

[図形の書式設定] ウィンドウで、[塗りつぶし(グラデーション)(G)] のチェックボックスにポイントし、クリックします。

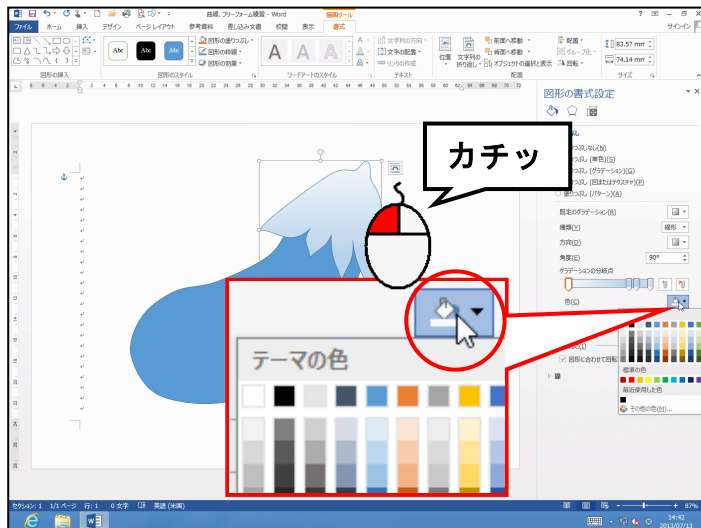


[グラデーションの分岐点] で、一番左の ▮ が選択されていることを確認します。

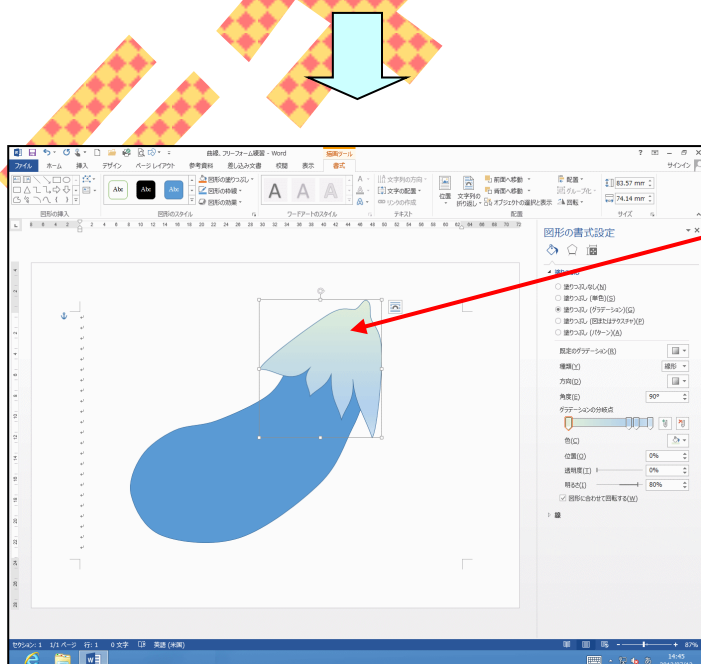
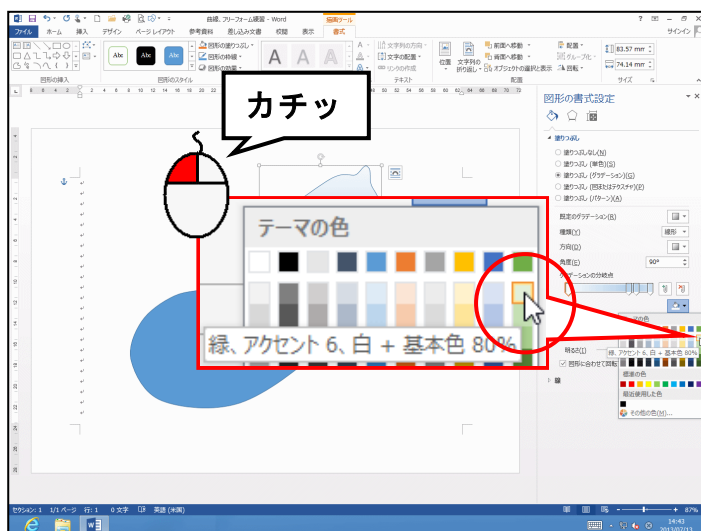


● 一番左の ▮ がオレンジ色の枠線に囲まれていれば、選択されています。選択されていない方は、一番左の ▮ をクリックして選択しておきましょう。

「色(C)」の右にある [色] ボタンにポイントし、クリックします。

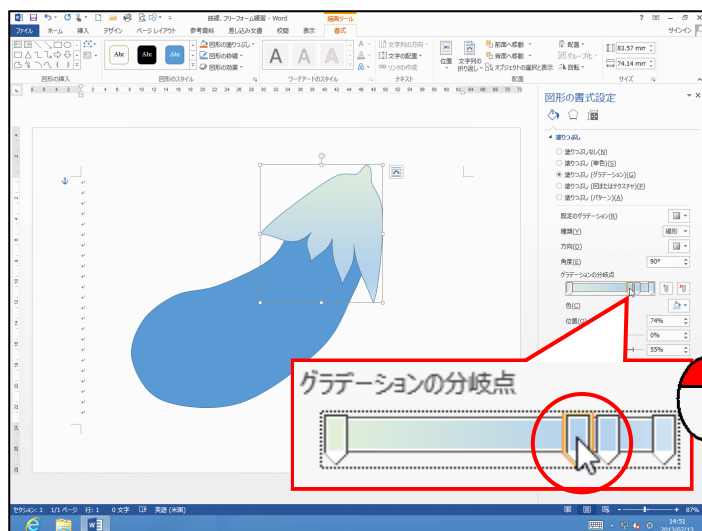


表示された色の一覧から「緑、アクセント 6、白 + 基本色 80%」にポイントし、クリックします。

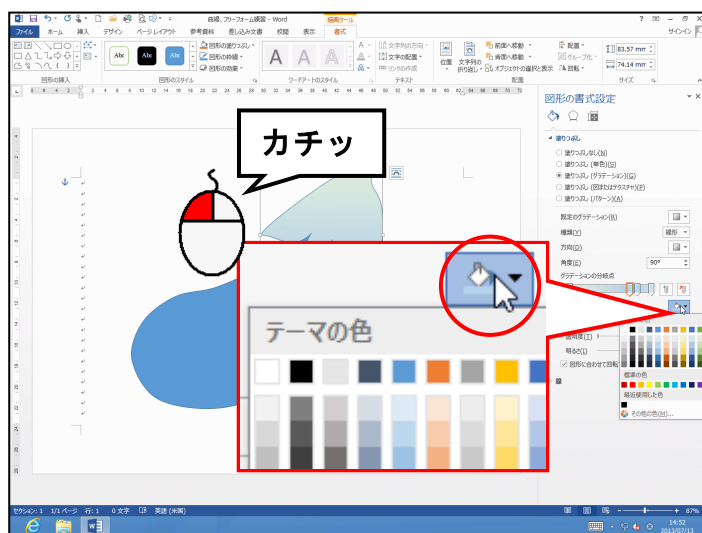


● 「緑、アクセント 6、白 + 基本色 80%」をクリックすると、なすびのへたのグラデーションの色が変わります。

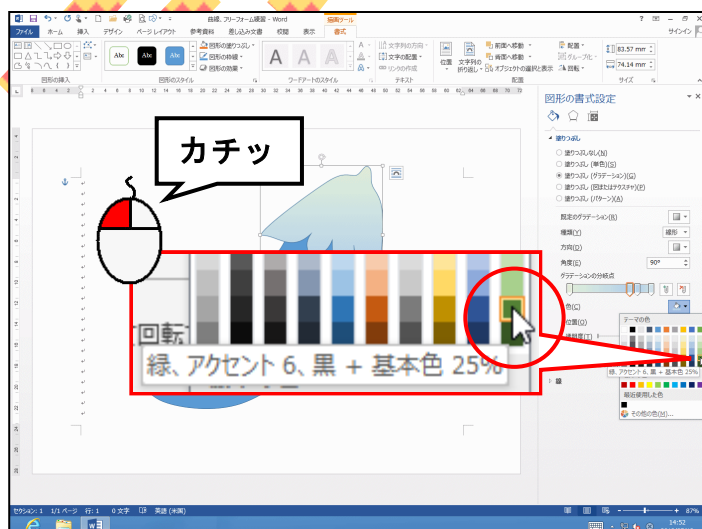
「グラデーションの分岐点」で、左から2番目の にポイントし、クリックします。

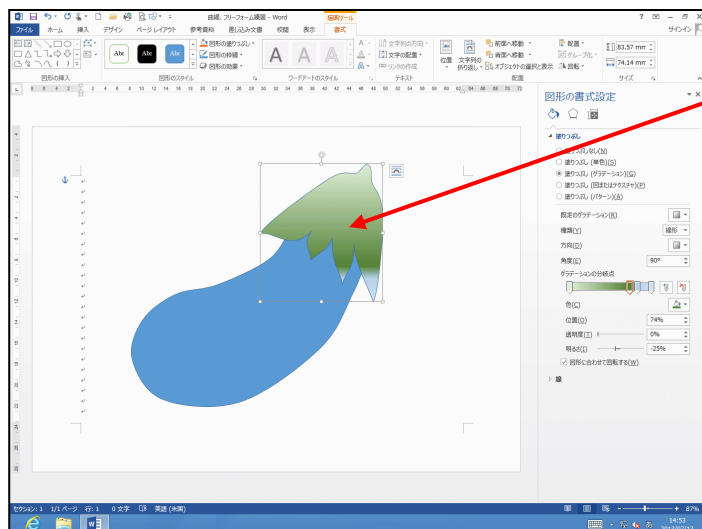
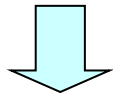


「色(C)」の右にある [色] ボタンにポイントし、クリックします。



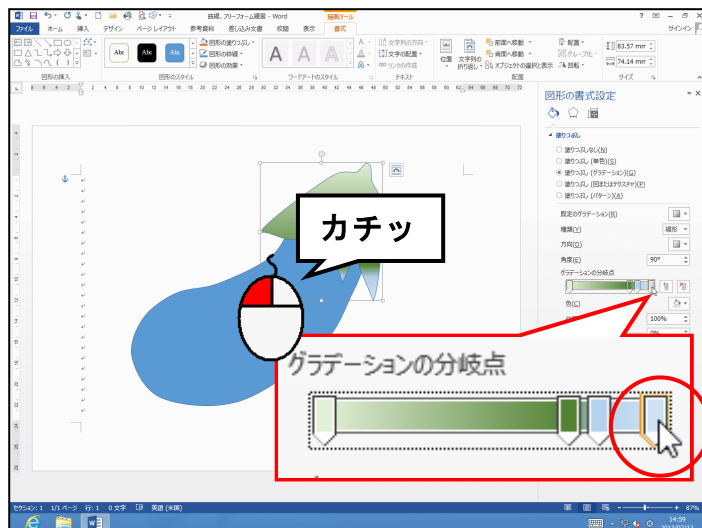
表示された色の一覧から「緑、アクセント 6、黒 + 基本色 25%」にポイントし、クリックします。



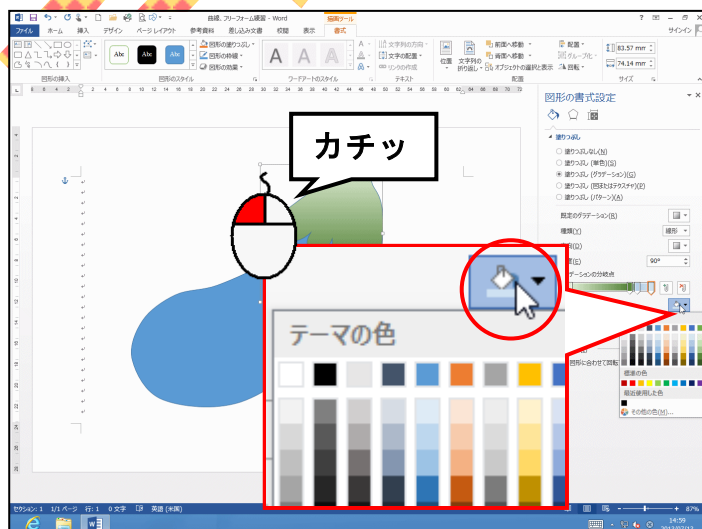


●「緑、アクセント 6、黒+基本色 25」をクリックすると、なすびのへたのグラデーションの色が変わります。

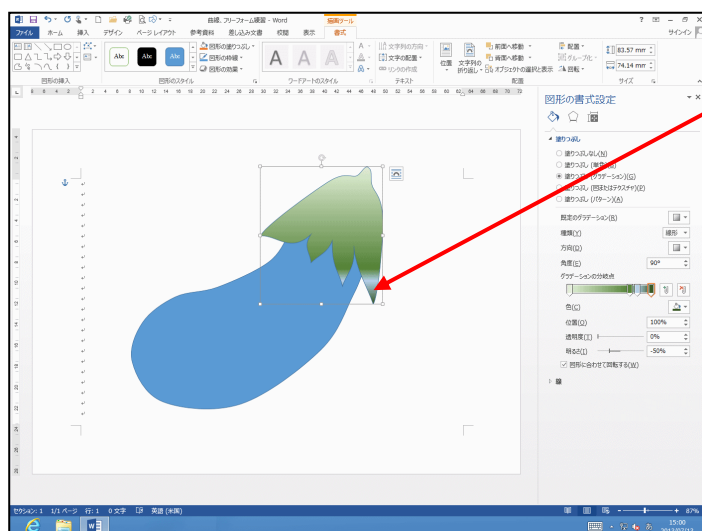
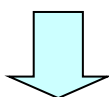
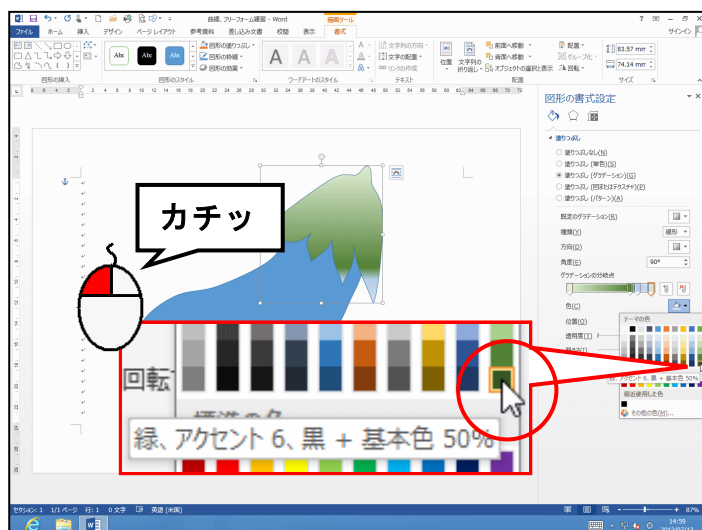
「グラデーションの分岐点」で、一番右側の ▮ にポイントし、クリックします。



「色(C)」の右にある ▮ 「色」ボタンにポイントし、クリックします。

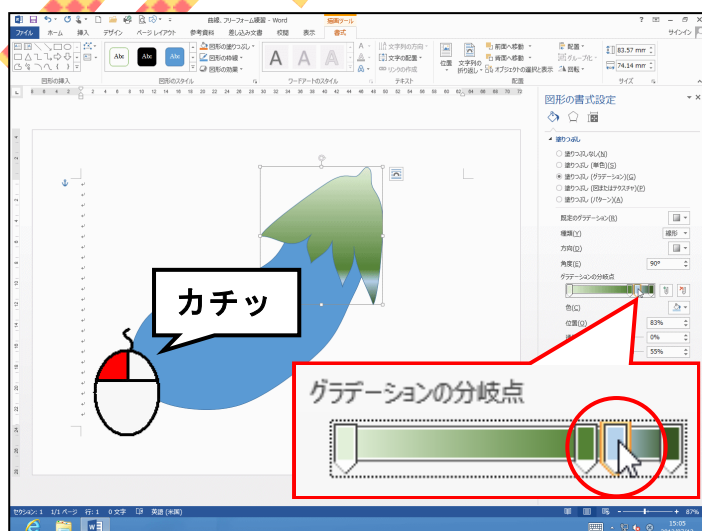


表示された色の一覧から「緑、アクセント 6、黒+基本色 50%」にポイントし、クリックします。




- 「緑、アクセント 6、黒+基本色 50%」をクリックすると、なすびのへたのグラデーションの色が変わります。

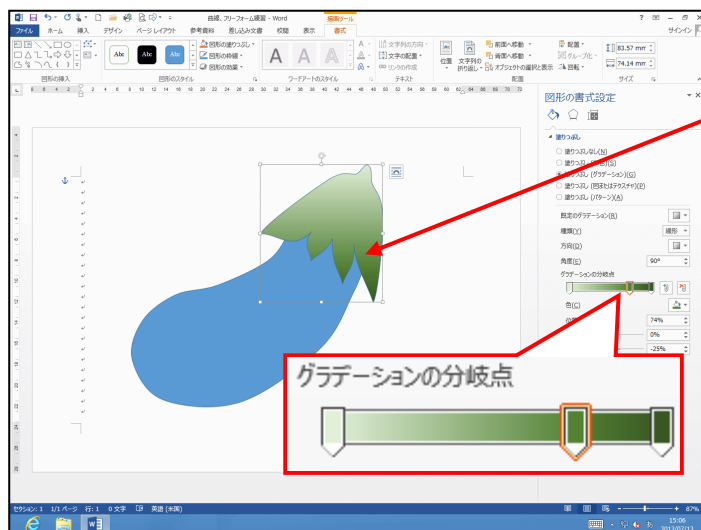
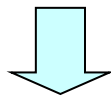
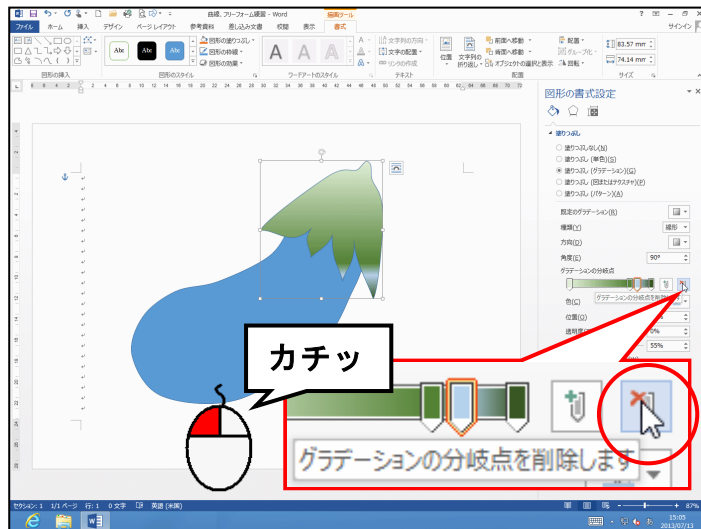
「グラデーションの分岐点」で、右から2つ目の色にポイントし、クリックします。





- 右から2つ目の色をクリックすると、右から2つ目の色が選択されます。

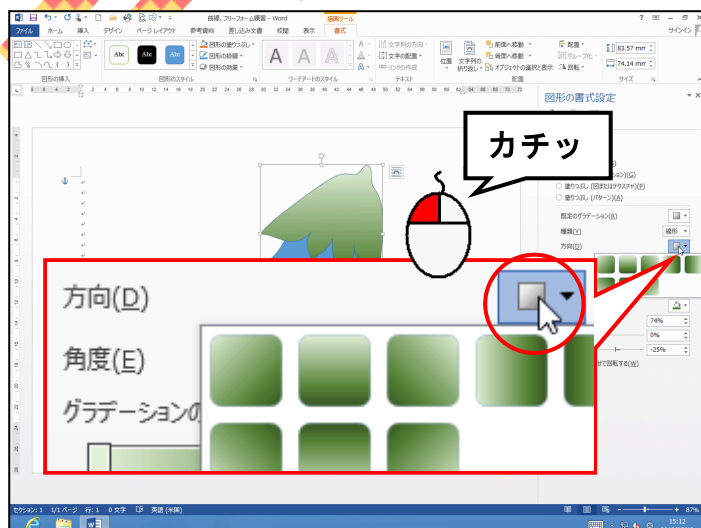
- 現在、「緑、アクセント 6、黒+基本色 25%」と「緑、アクセント 6、黒+基本色 50%」の間に薄い青色が1つ入って、合計4色のグラデーションになっているため、この薄い青色の色を削除します。

「グラデーションの分岐点」の右にある  「グラデーションの分岐点を削除します」 ボタンにポイントし、クリックします。

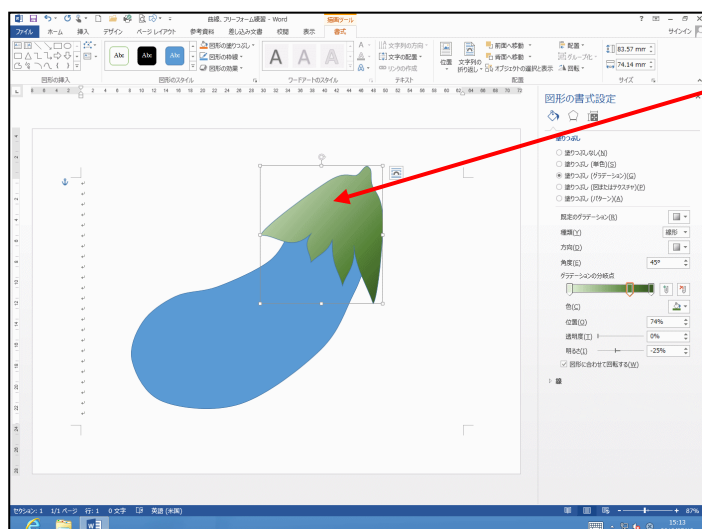
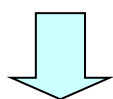
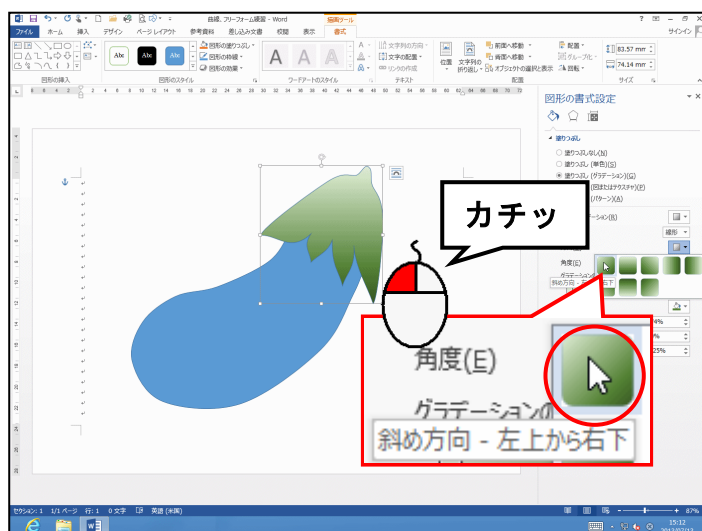


● 右から2つ目の  を削除すると、文書内に描いたなすびのへたの図形のグラデーションの色が、「緑、アクセント 6、白+基本色 80%」と「緑、アクセント 6、黒+基本色 25%」と「緑、アクセント 6、黒+基本色 50%」の3色に変わります。

「方向(D)」ボックスの右にある  「方向」 ボタンにポイントし、クリックします。

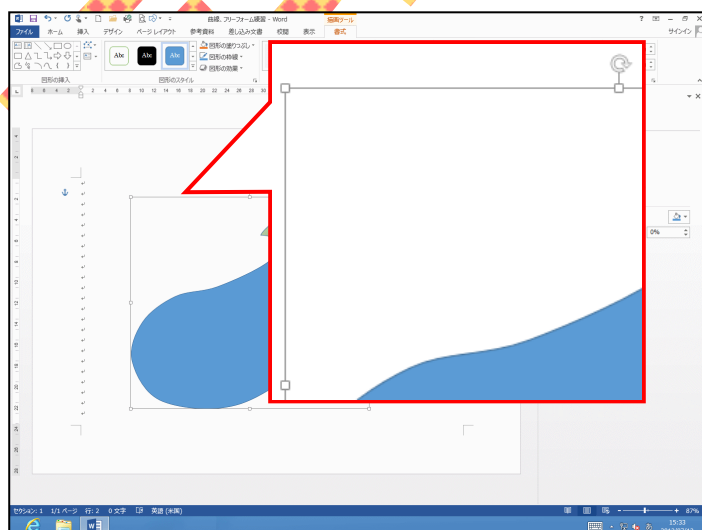


表示された方向の一覧から「斜め方向 - 左上から右下」にポイントし、クリックします。



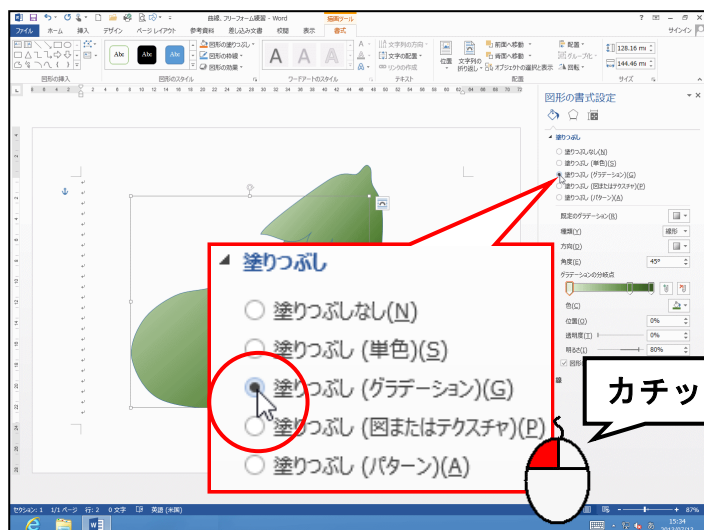
●グラデーションの方向が変わりました。

なすびの実の部分を選択します。




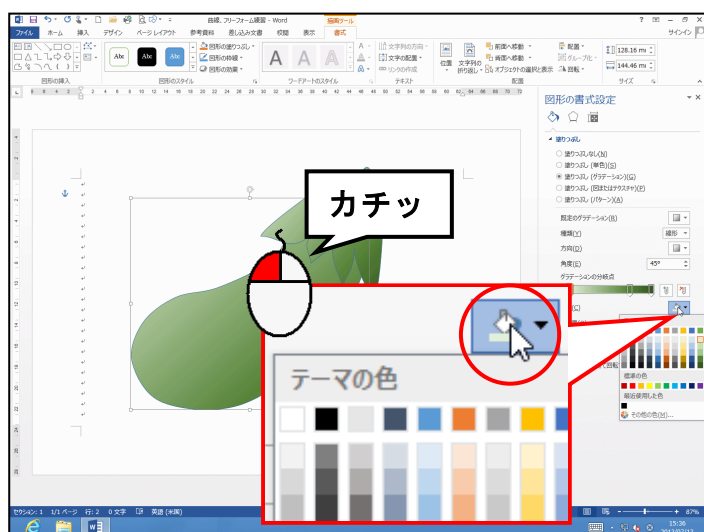
●ここからは、実の部分に色を塗っていきます。

「図形の書式設定」ウィンドウで、「塗りつぶし(グラデーション)(G)」のチェックボックスにポイントし、クリックします。

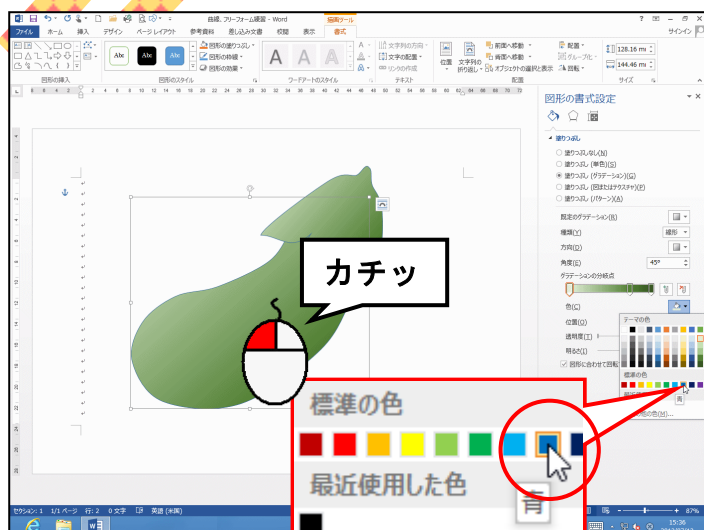


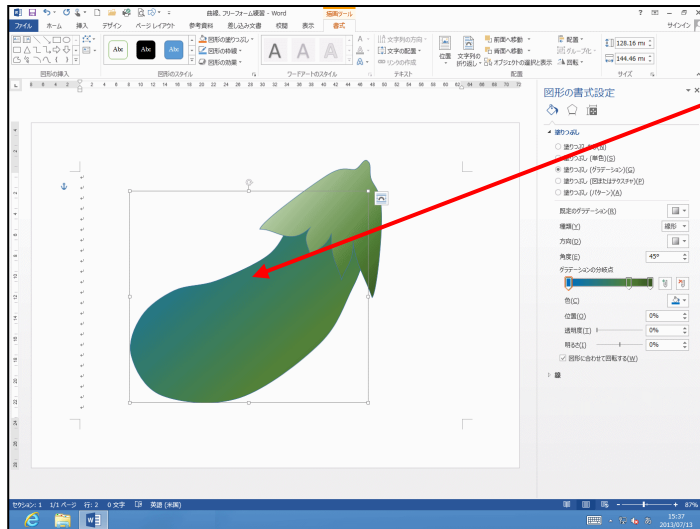
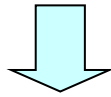
●「塗りつぶし(グラデーション)(G)」をクリックすると、先ほどの書式(へたの色や、グラデーションの分岐点の数)がそのまま適用されてしまいます。再度、実の色に設定していきましょう。

「グラデーションの分岐点」で一番左の  が選択されていることを確認して、「色(C)」の右にある  「色」ボタンにポイントし、クリックします。




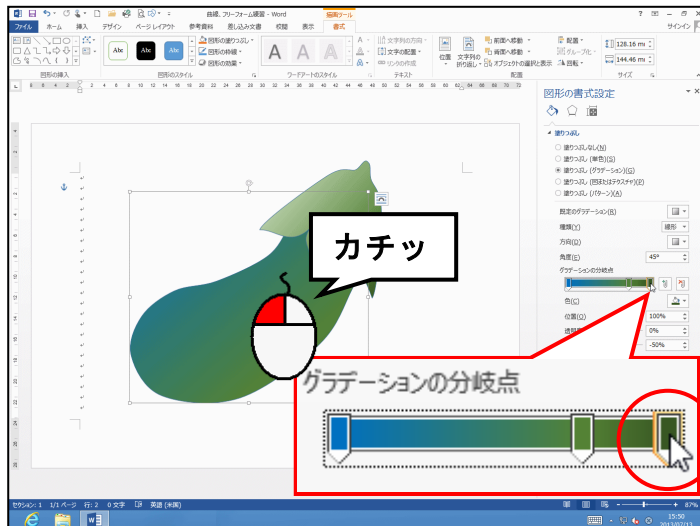
表示された色の一覧から「青」にポイントし、クリックします。




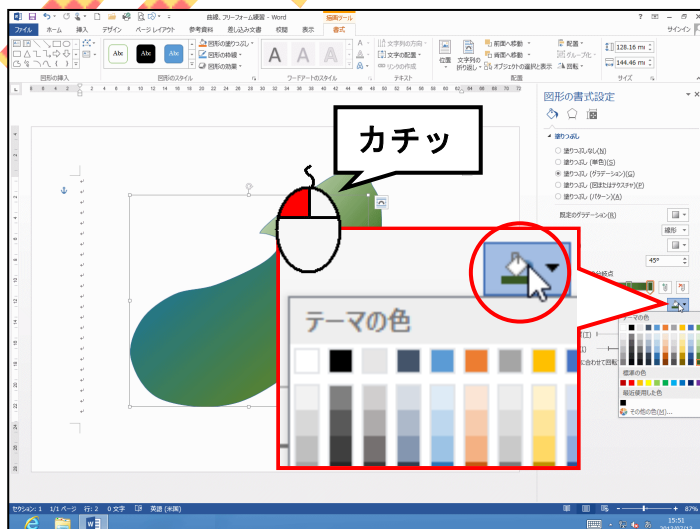


●「青」をクリックすると、なすびの
実際のグラデーションの色が変わり
ます。

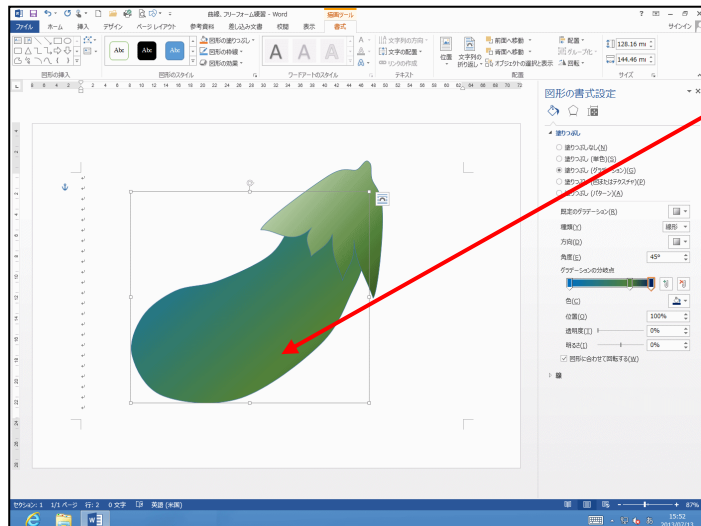
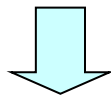
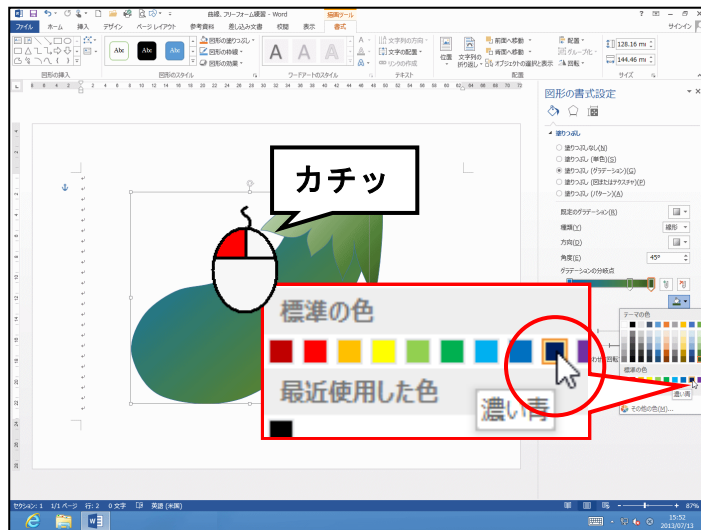
「グラデーションの分岐点」で、一番右側の  にポイントし、クリックします。



「色(C)」の右にある  「色」ボタンにポイントし、クリックします。

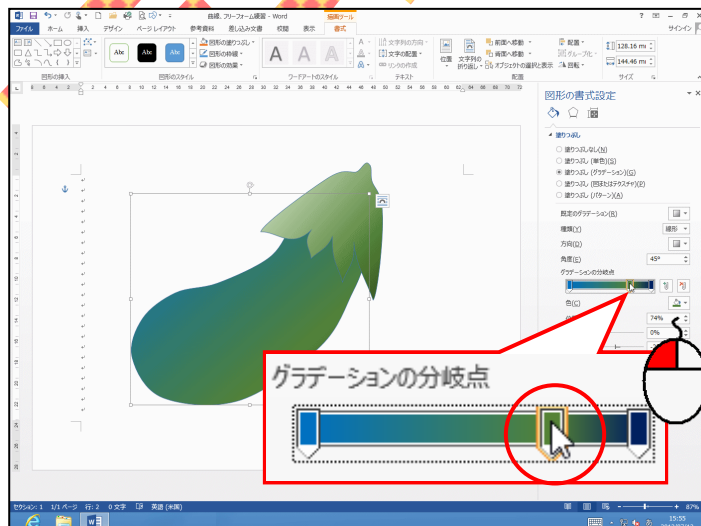



表示された色の一覧から「濃い青」にポイントし、クリックします。

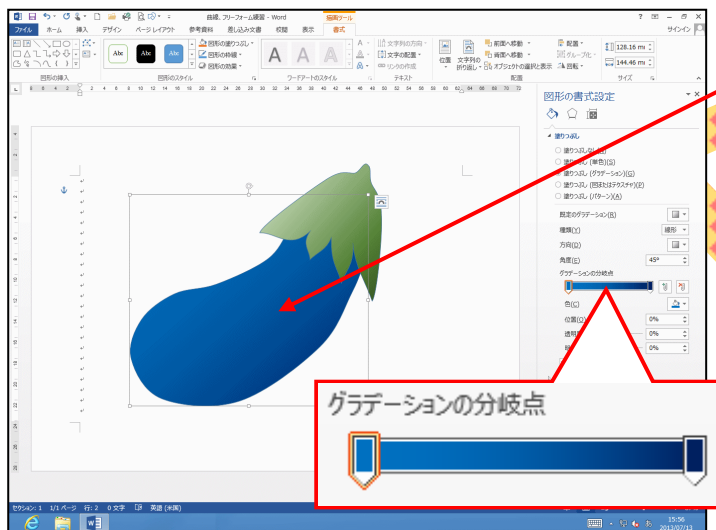
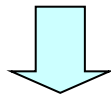
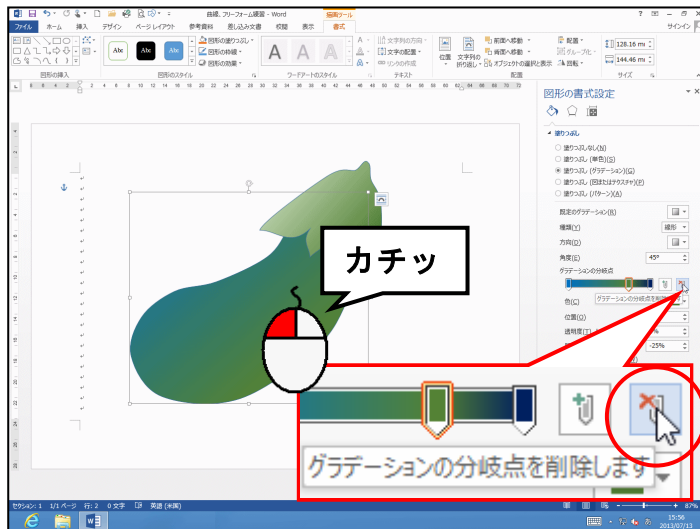


●「濃い青」をクリックすると、なすびの実のグラデーションの色が変わります。

「グラデーションの分岐点」で、中央の にポイントし、クリックします。

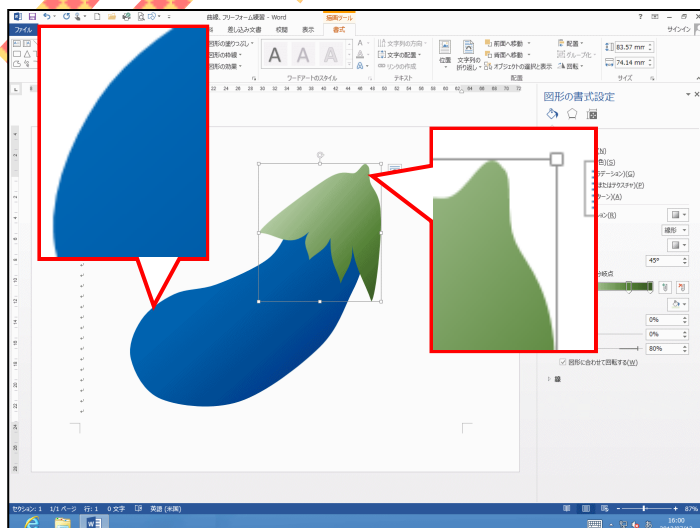


「グラデーションの分岐点」の右にある  「グラデーションの分岐点を削除します」ボタンにポイントし、クリックします。

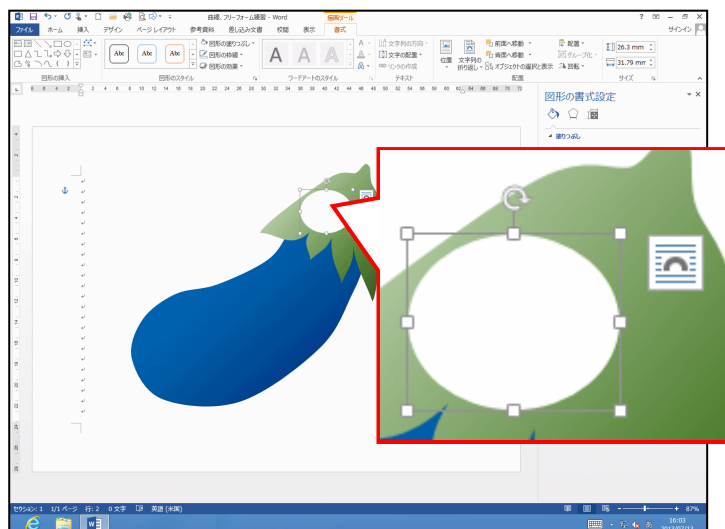


●実の色をグラデーションに設定できました。

なすびのへた、実の枠線の色を、いずれも「線なし」に設定しましょう。

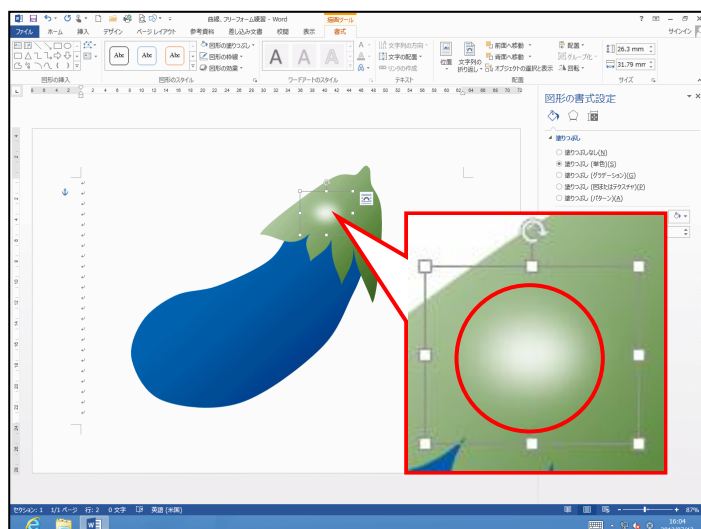


下図の位置に楕円を1つ描き、図形の塗りつぶしの色を「白、背景1」に、枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



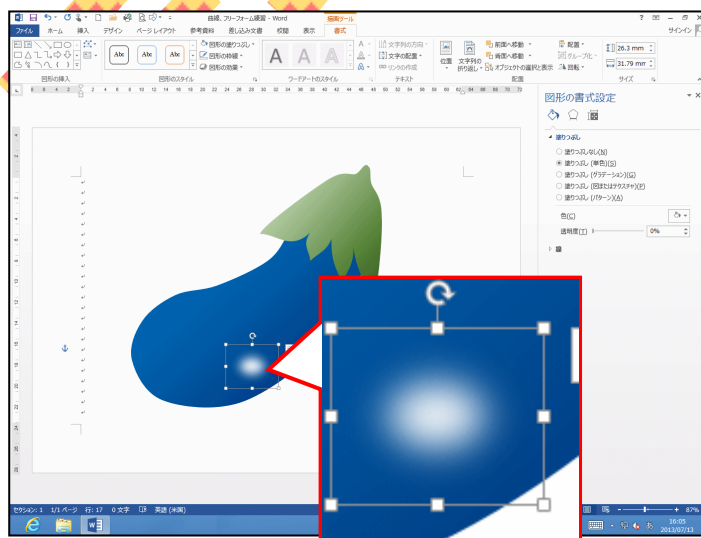
●実のつやになる部分です。

「25 ポイント」のぼかしを設定しましょう。

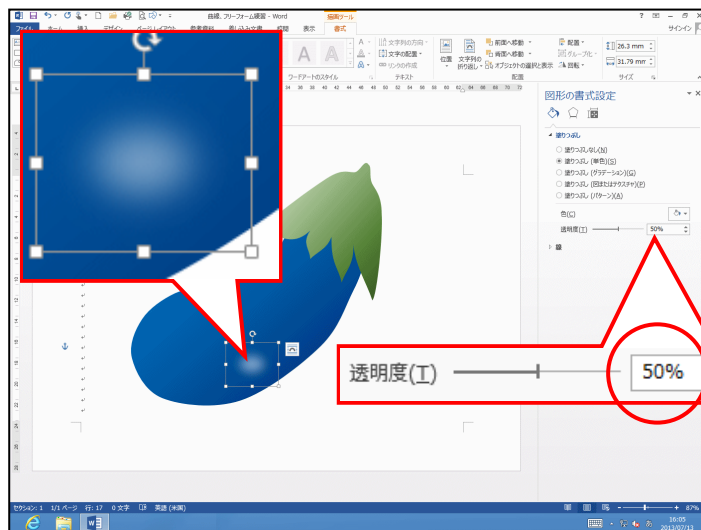


●ぼかしの設定方法を忘れた方は、P91 ① ぼかしの設定を参照してください。

先ほどのぼかしを、下図の位置へ移動します。

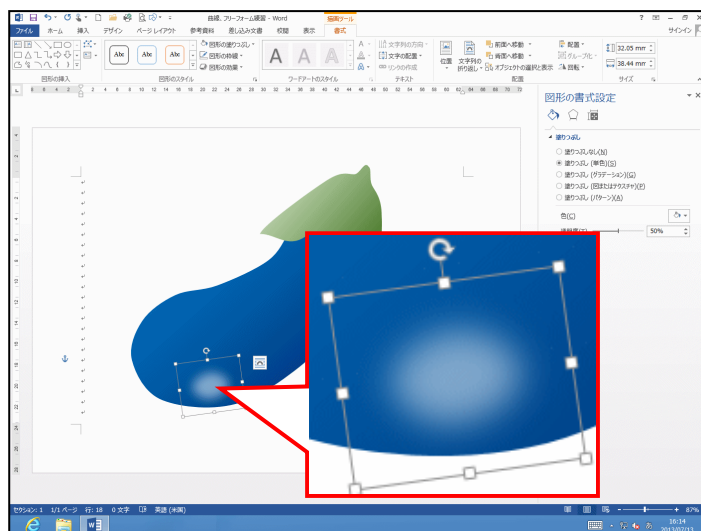


「透明度」を「50%」に設定します。



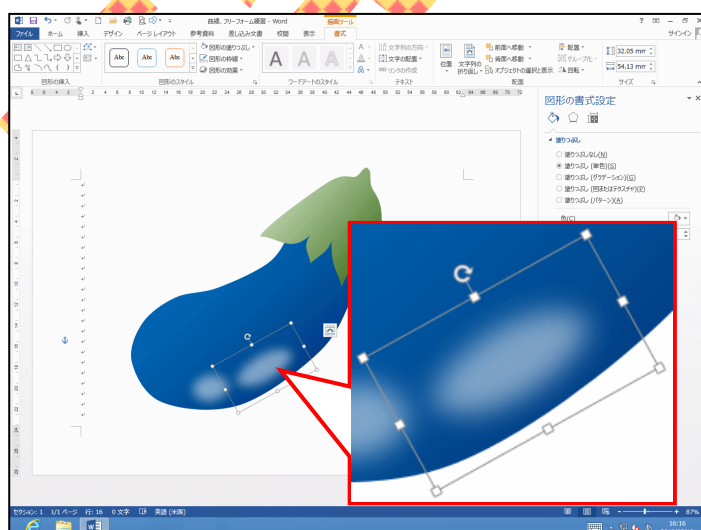
- 透明度の設定方法を忘れた方は、P93 ② 透明度の設定を参照してください。

ぼかしの大きさと配置、回転を下图のように調整してみましょう。



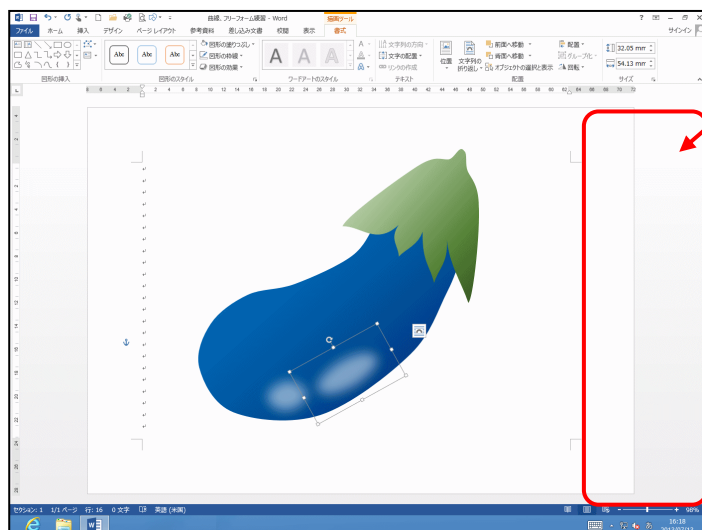
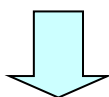
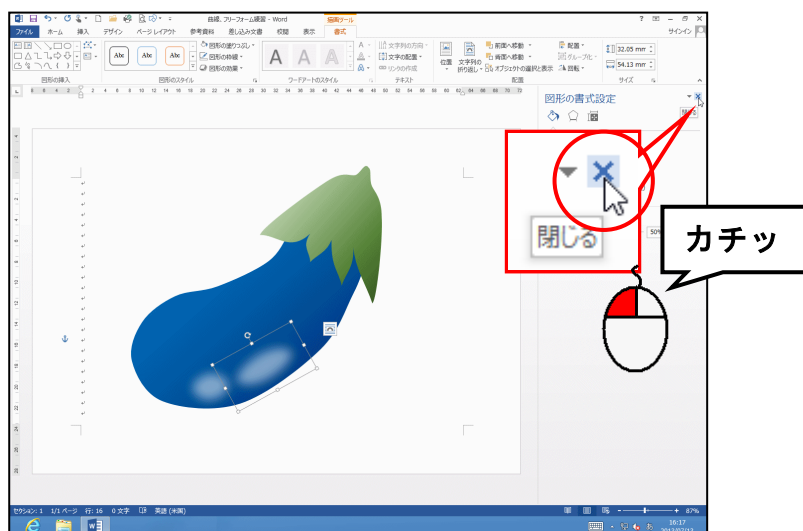
- 図形のサイズ変更の方法を忘れた方は、P25 ⑨ 図形のサイズ変更を参照してください。
- 図形の移動方法を忘れた方は、P9 ② 図形の移動を参照してください。
- (回転ハンドル) を使って図形を回転する方法を忘れた方は、P85 ~P86 を参照してください。

先ほどのぼかしをコピーし、細長い楕円にし、下图の位置に配置します。



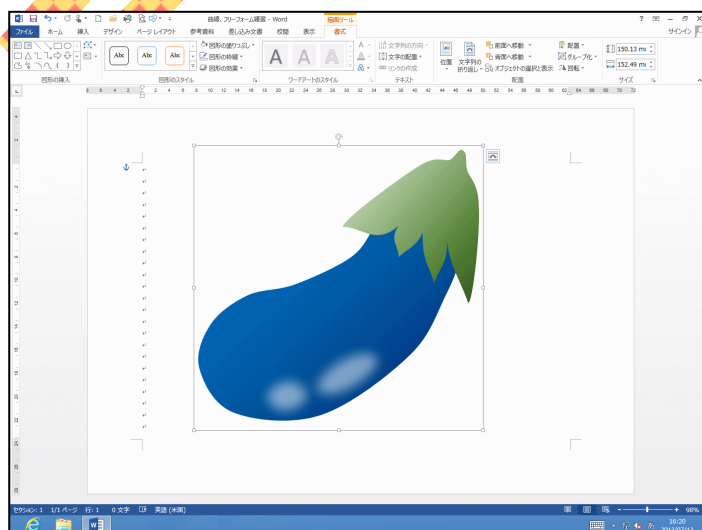
- 図形のコピーの方法を忘れた方は、P19 ⑦ 図形のコピーを参照してください。

「図形の書式設定」ウィンドウの右側にある × 「閉じる」 ボタンにポイントし、クリックします。



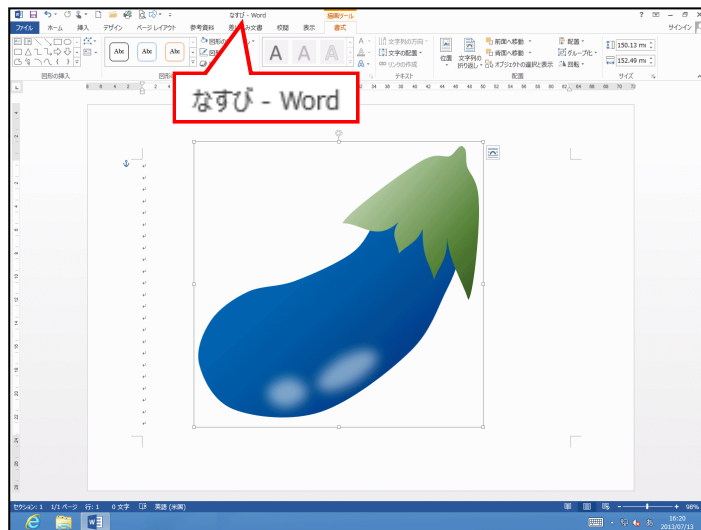
● 「図形の書式設定」ウィンドウが閉じられました。

なすびをグループ化しておきましょう。



● 図形のグループ化を忘れた方は、P34 ⑫ 図形のグループ化を参照してください。

リムーバブルディスクに、「なすび」と名前をつけて保存しましょう。

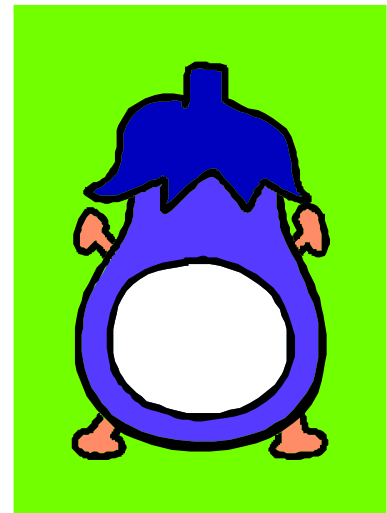
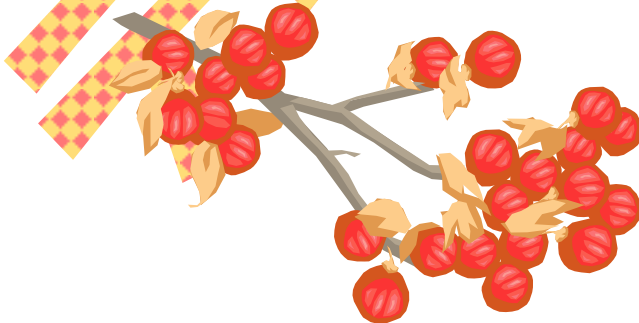


- ワードの保存方法を忘れた方は、P42 ① ワードの保存を参照してください。
- 画像を PNG 形式で保存する方法を忘れた方は、P48 ② 画像を PNG 形式で保存を参照してください。

画像を PNG 形式で、「なすび（画像）」という名前で保存しましょう。

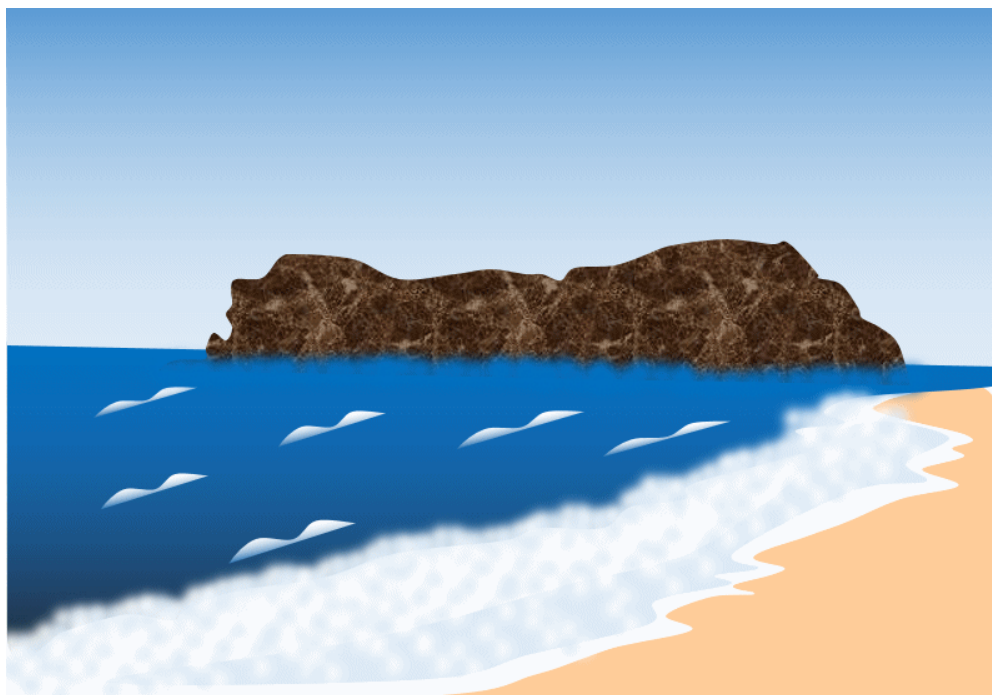
- 画像を PNG 形式で保存する方法を忘れた方は、P48 ② 画像を PNG 形式で保存を参照してください。

☆☆ここまでくれば練習問題 4 で理解度を試してください。☆☆



6. 風景を描く

【海辺 完成例】



風景画なんて絵心がないと無理じゃよ…

タケさん「先生、風景画なんて、わしゃ全く絵心がないから無理じゃよ…」

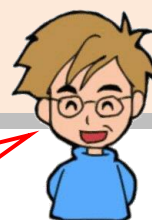
くじら先生「タケさん、絵心がなくても大丈夫！！ このテキストでは、写真を元に絵を描けるように説明しているので大丈夫ですよ。」

ウメさん「写真からなんて助かるわ……。私も絵心ないからね。」

タケさん「うれしいのう。去年北海道に行った時の大雪山のええ写真があるんじゃ。あれを描いてみたいの～」

ウメさん「私もお庭のお花を撮った写真がたくさんあるので、それを元に絵を描きたいわ～」

くじら先生「タケさんもウメさんも、今から楽しみです。それでははりきってやっていきましょう！！」



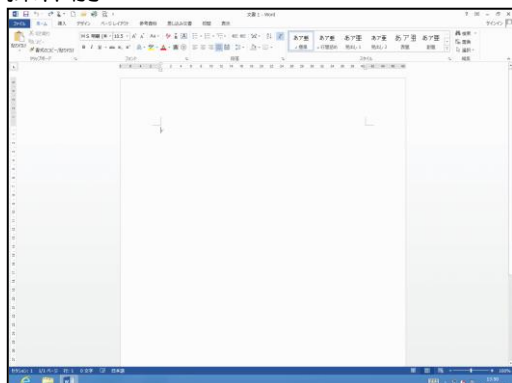
ここでは、今まで習ったことの総まとめとして「海辺」を描いていきます。難しそうに思えますが、このテキストどおりに操作していただければ、大丈夫です。心配せずにこのテキストどおりに操作しましょう。

(1) 絵を描くための写真の挿入

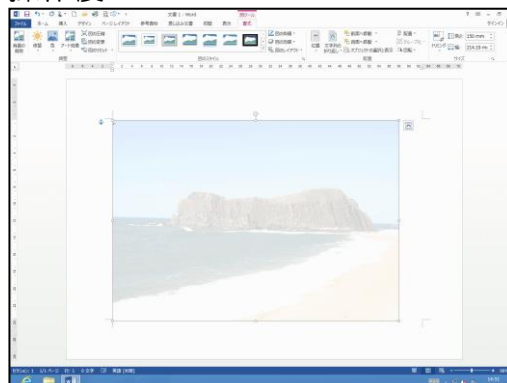
ここでは、写真を元に絵を描いていくので、まず描きたい写真を挿入します。

◆絵を描くための写真を挿入する方法をマスターしましょう。

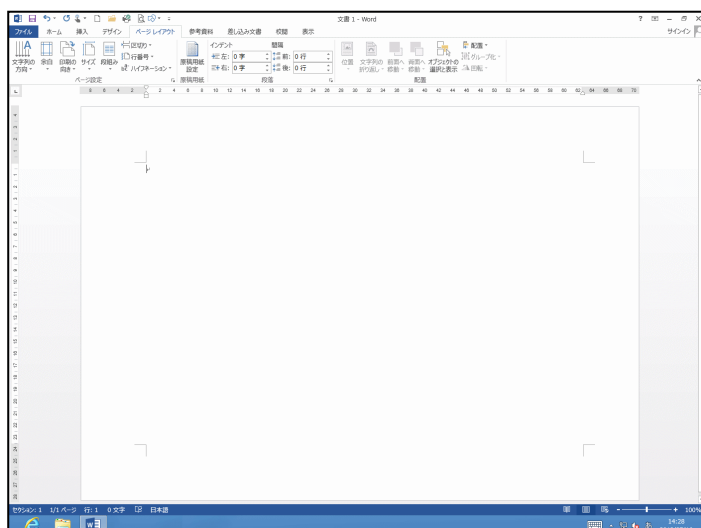
操作前



操作後

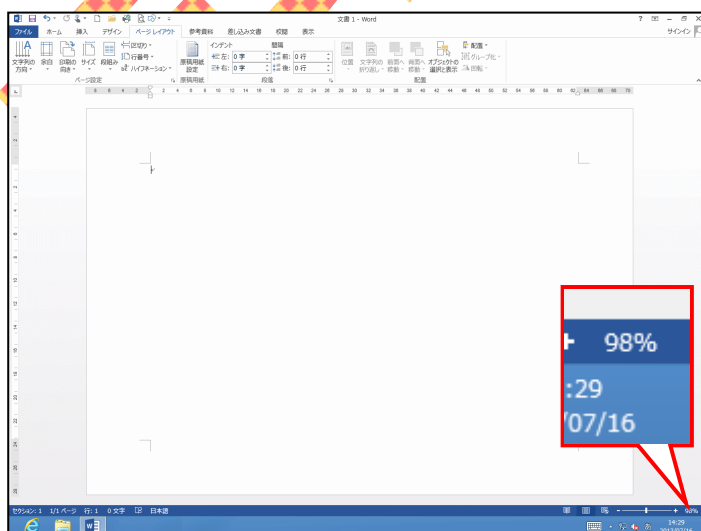


ワードを起動し、用紙サイズを A4 横向きで設定します。



- 用紙を横向きにするには、[ページレイアウト] タブの [ページ設定] グループにある [印刷の向き] ボタンをクリックし、「横」を選択します。

画面表示を、「ページ全体を表示」に指定します。

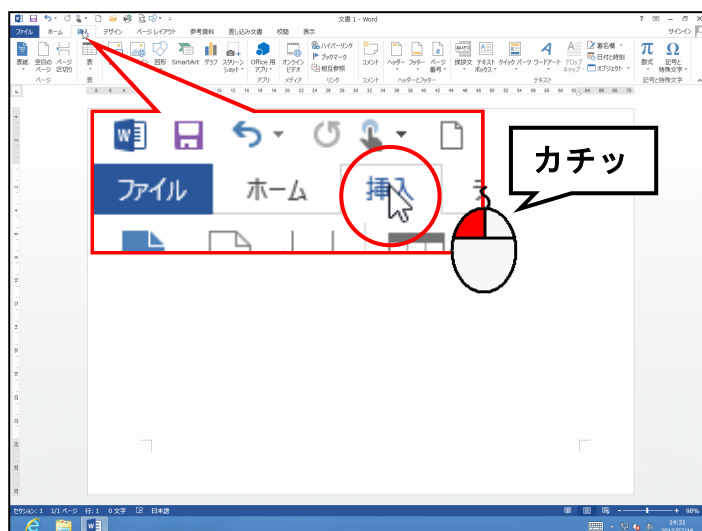


- 画面表示の設定方法を忘れた方は、P79 ① 画面の設定を参照してください。

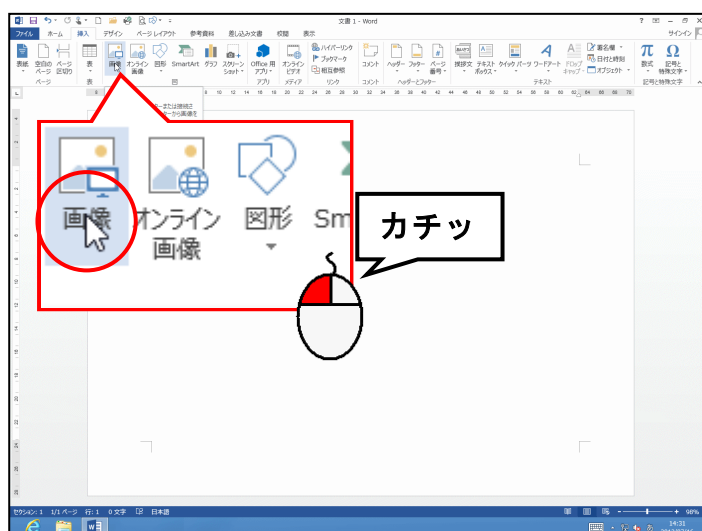
- 左の図では、表示倍率が 98% になっていますが、お使いのパソコンによって表示倍率は異なります。



【挿入】タブにポイントし、クリックします。

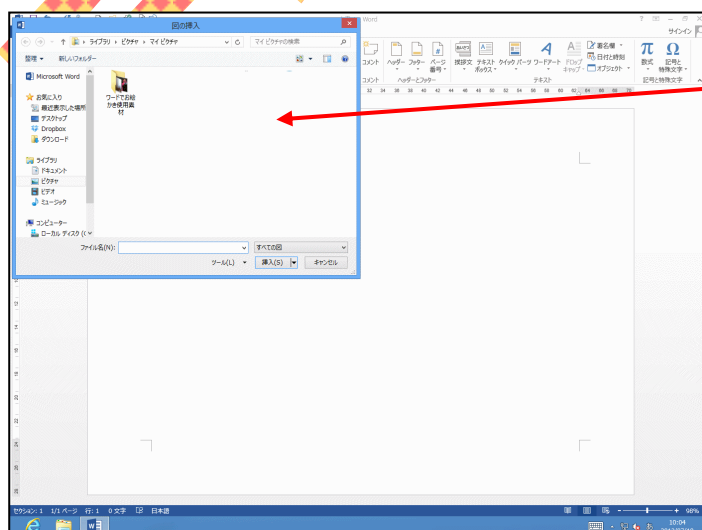
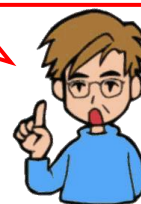


【図】グループにある【画像】ボタンにポイントし、クリックします。



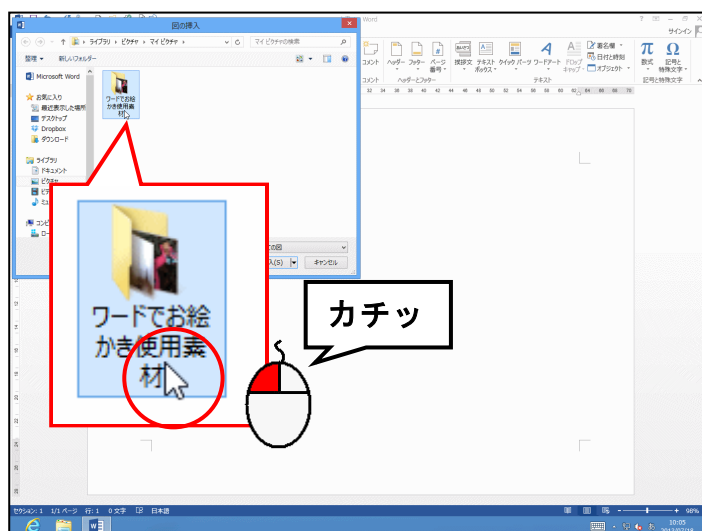
●リボンが表示されていない方は、
P216 リボンの表示オプションの変更を参照してください。
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示

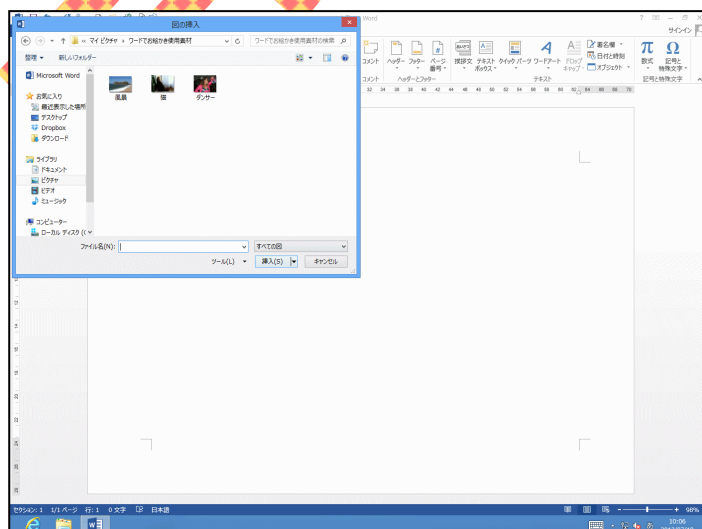
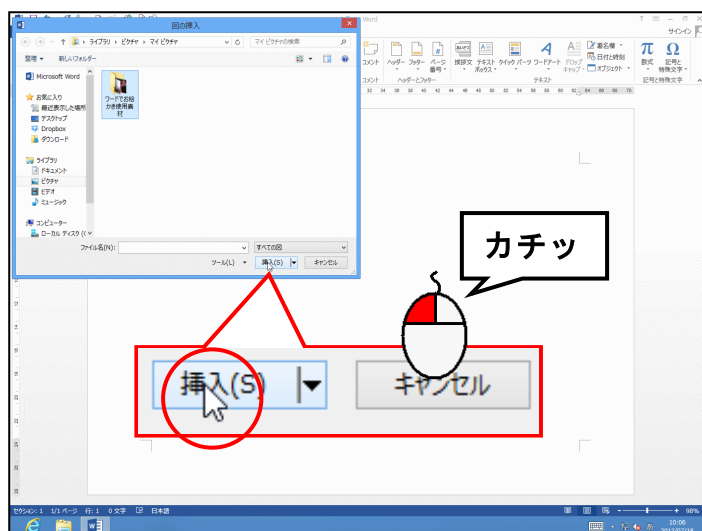


●【画像】ボタンをクリックすると、左のように【図の挿入】ダイアログボックスが表示されます。

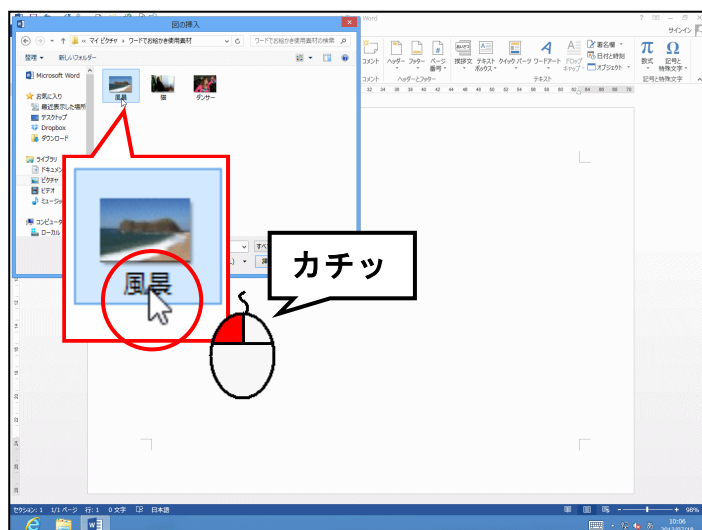
「ワードでお絵かき使用素材」にポイントし、クリックします。



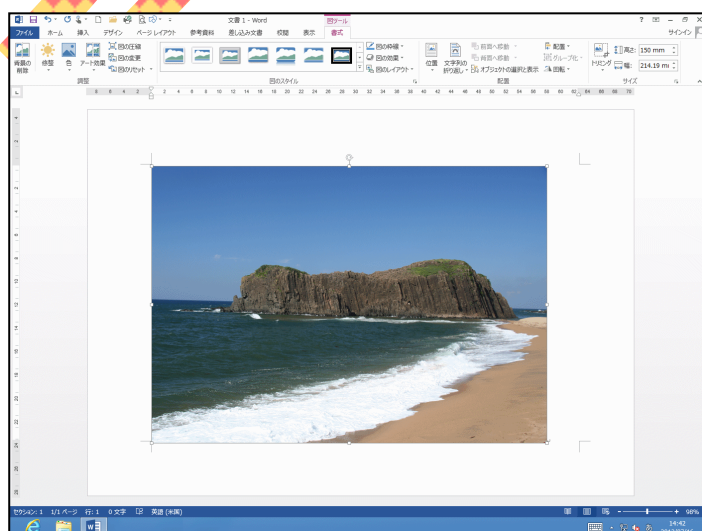
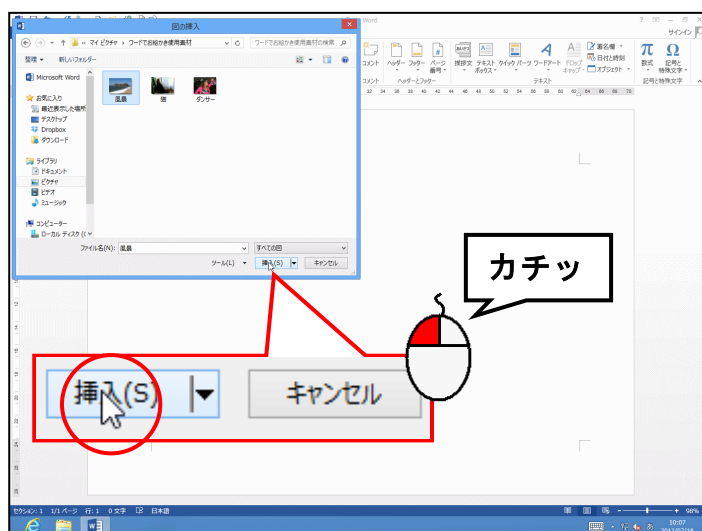
「挿入(S)」ボタンにポイントし、クリックします。




「ワードでお絵かき使用素材」の中から「風景」にポイントし、クリックします。

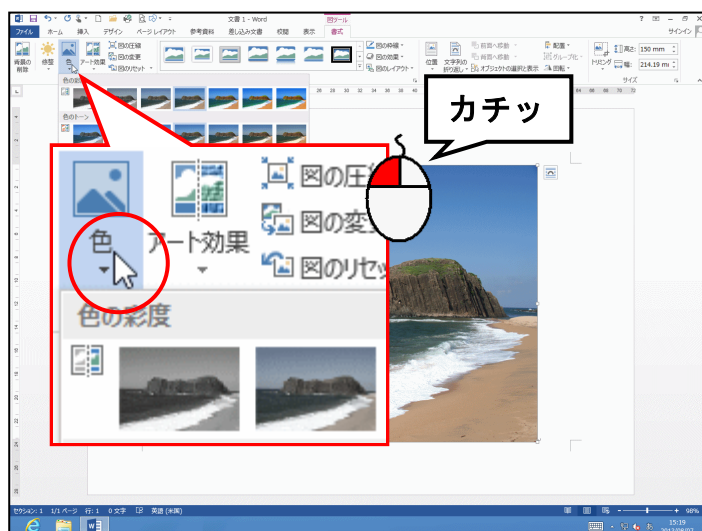


【挿入(S)】ボタンにポイントし、クリックします。

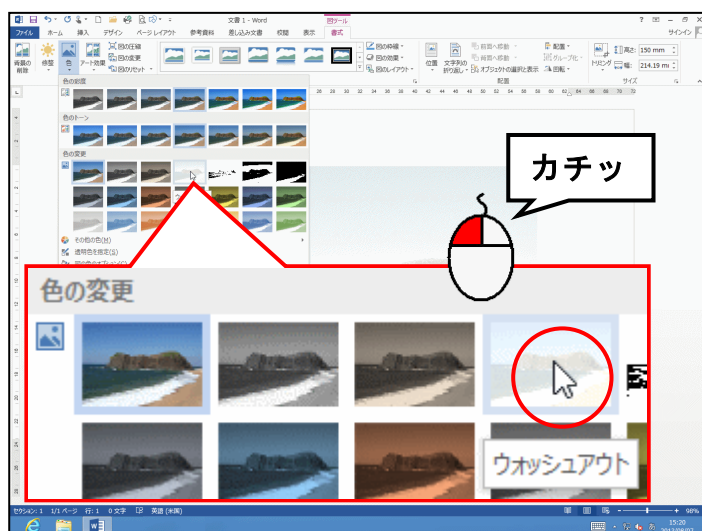


- 【挿入(S)】ボタンをクリックすると、「風景」という写真が挿入されます。

【調整】グループにある  【色】 ボタンにポイントし、クリックします。

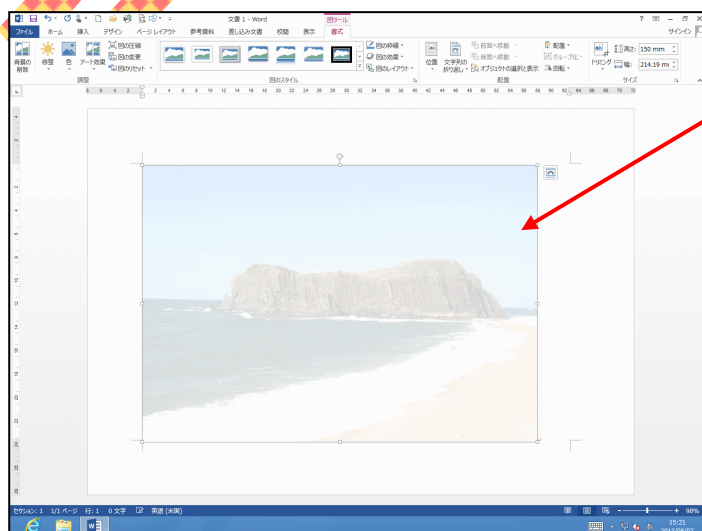


表示された一覧から「色の変更」の中の「ウォッシュアウト」にポイントし、クリックします。



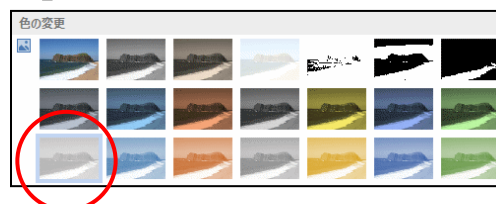
色調の種類一覧

P212

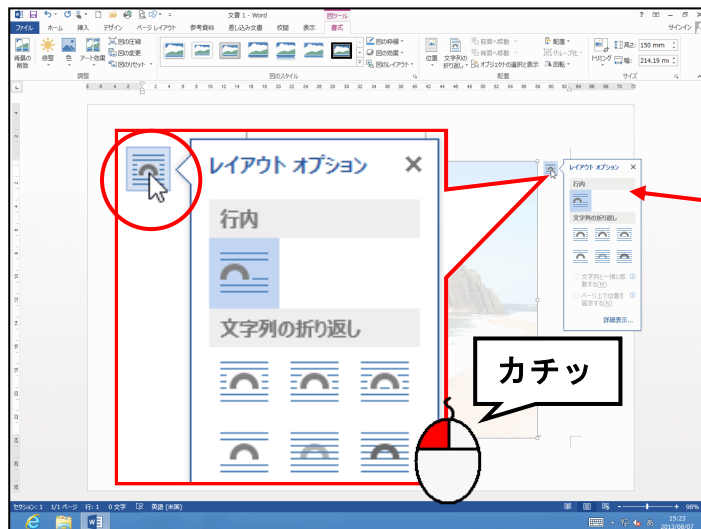


● 「ウォッシュアウト」をクリックすると、絵が透かしがかったような状態に変わります。

● 絵が薄くなり過ぎて見えにくいという方は、「25%灰色、背景色 2 淡色」を選択してください。



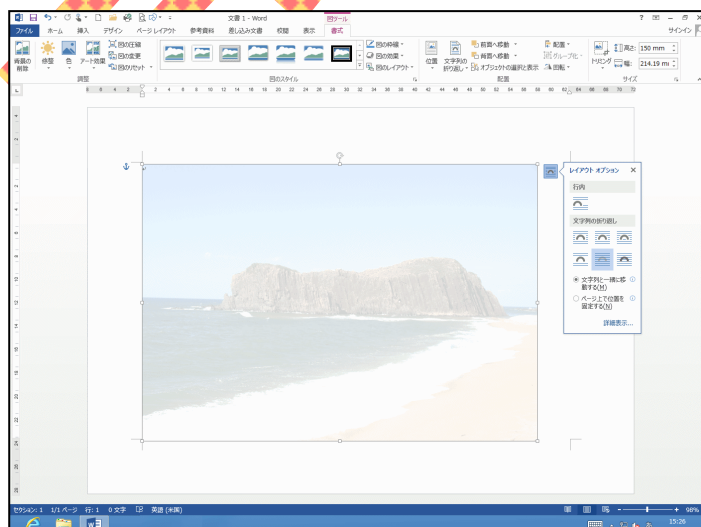
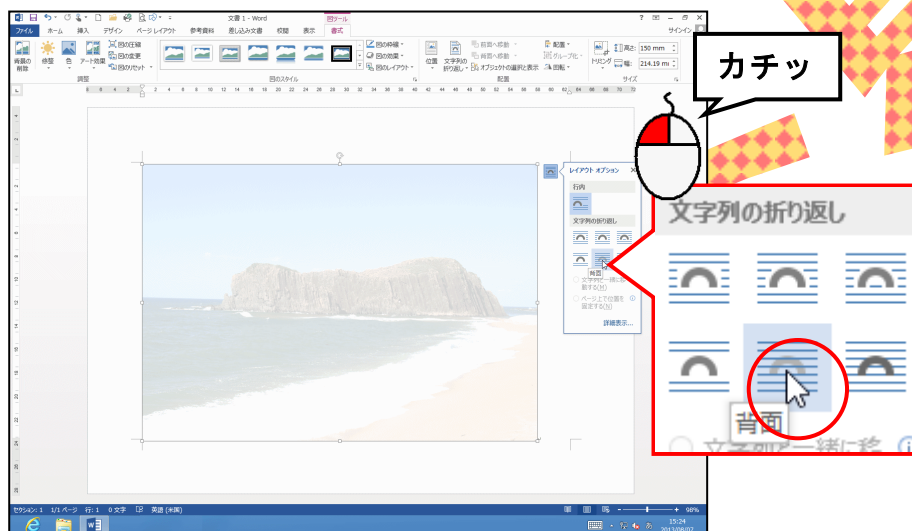
「風景」の画像の右上にある [レイアウト オプション] ボタンにポイントし、クリックします。



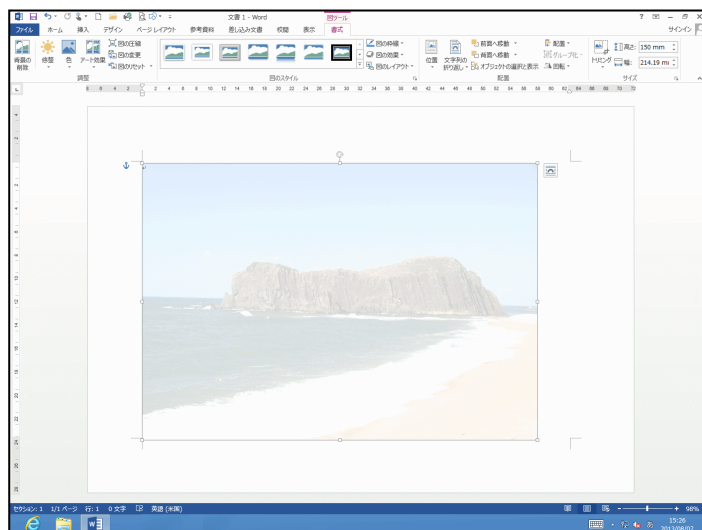
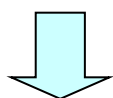
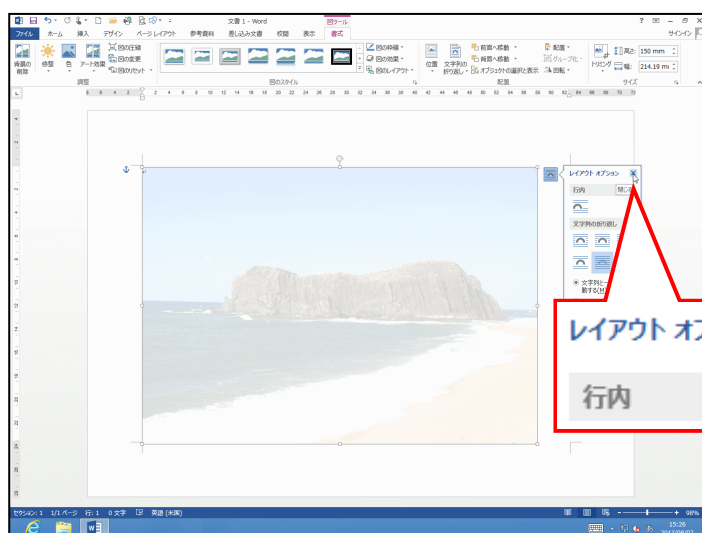
●文字列の折り返しを背面にするための操作になります。

● [レイアウト オプション] ボタンをクリックすると、左のようにレイアウトの種類が表示されます。

表示された折り返しの中から 「背面」 にポイントし、クリックします。



【レイアウト オプション】の×【閉じる】ボタンにポイントし、クリックします。

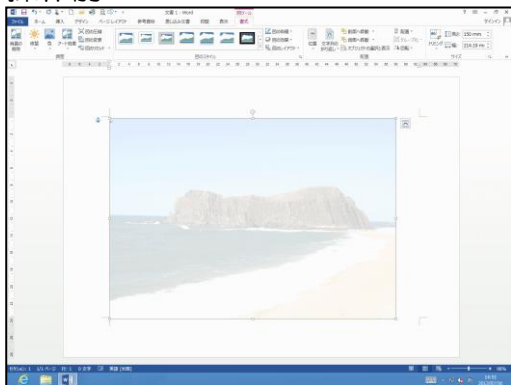


(2) 写真をもとに描きやすくするための準備 (図形の既定値の変更)

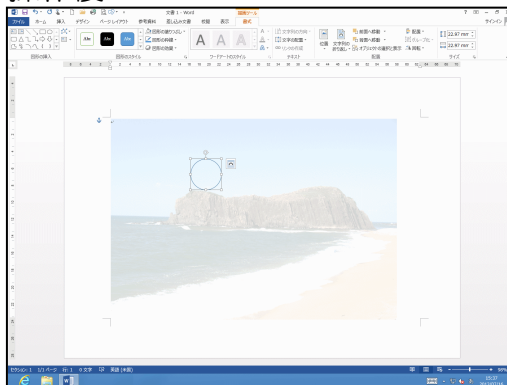
図形を描くと、既定では図形の塗りつぶしの色は「青、アクセント 1」になります。今から写真を曲線やフリーフォームの線を使ってふちをとりながら絵を描いていきますが、そのままだと青く塗りつぶされてしまうので、写真が隠れて描きにくくなります。そこで、図形の塗りつぶしの既定を透明に設定します。

◆図形の既定を「塗りつぶしなし」にする方法をマスターしましょう。

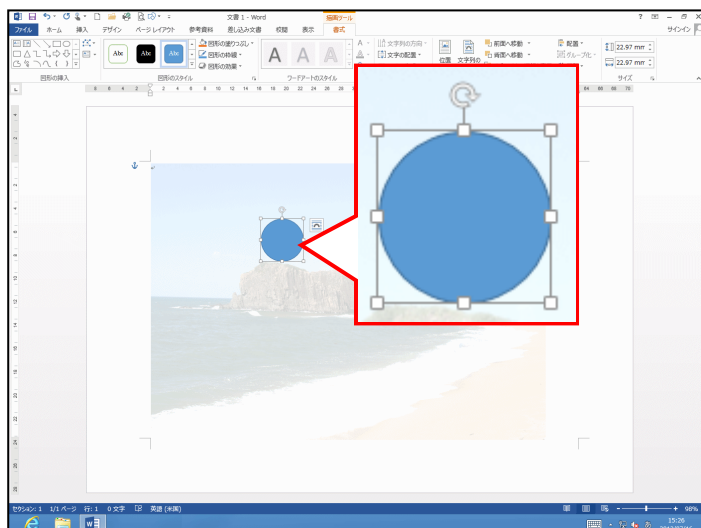
操作前




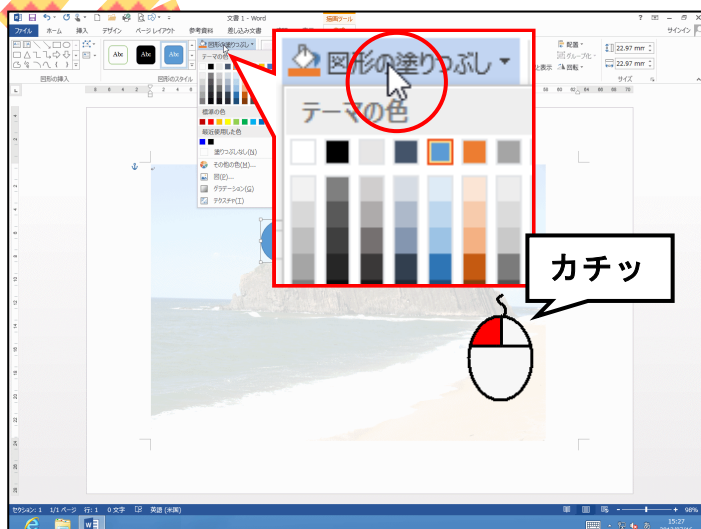
操作後



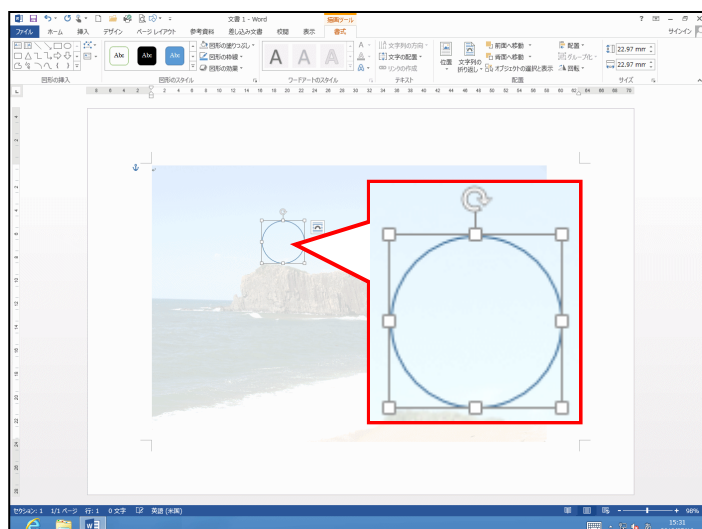
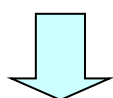
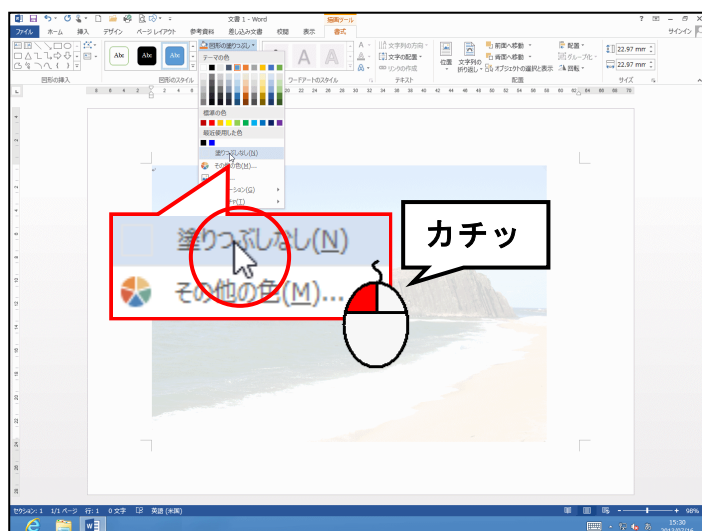
図形の「円／楕円」を描きます。



「図形のスタイル」グループにある  図形の塗りつぶし・「図形の塗りつぶし」ボタンにポイントし、クリックします。

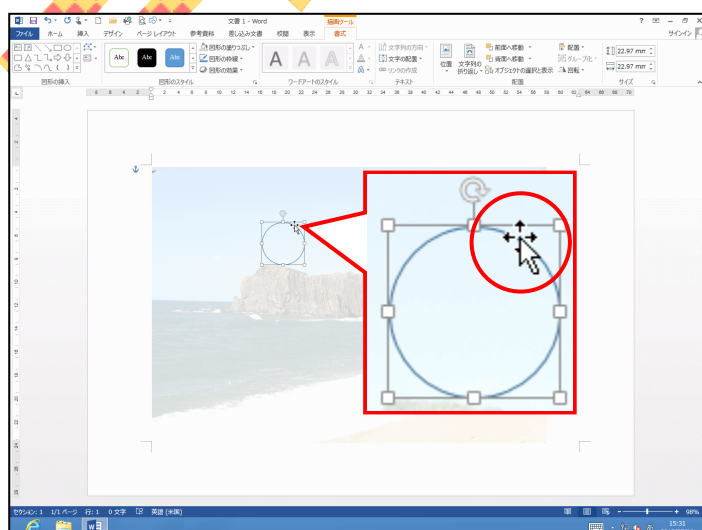


「塗りつぶしなし(N)」にポイントし、クリックします。



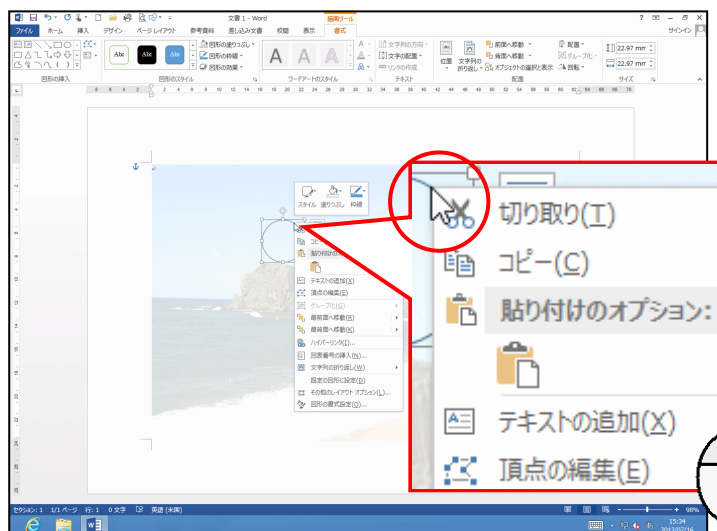
- 「塗りつぶしなし(N)」をクリックすると、楕円の塗りつぶしが透明になります。

楕円の枠線の上にポイントします。



- 枠線の上でポイントすると、マウスポインターは  の形になります。

そのまま右クリックします。

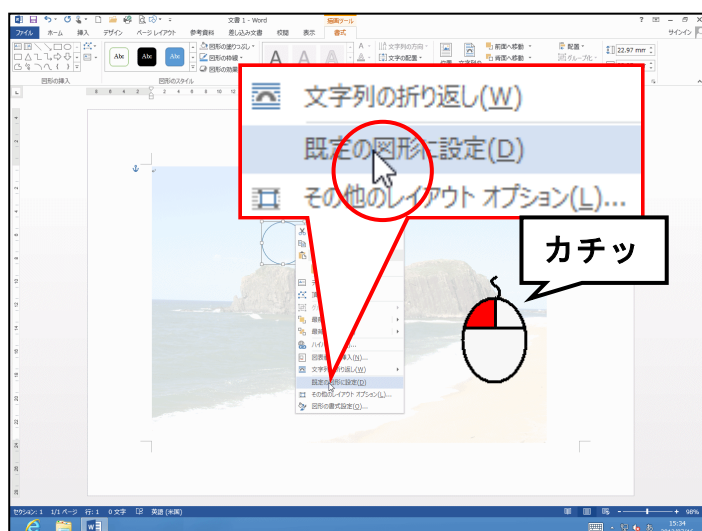


●右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

カチッ

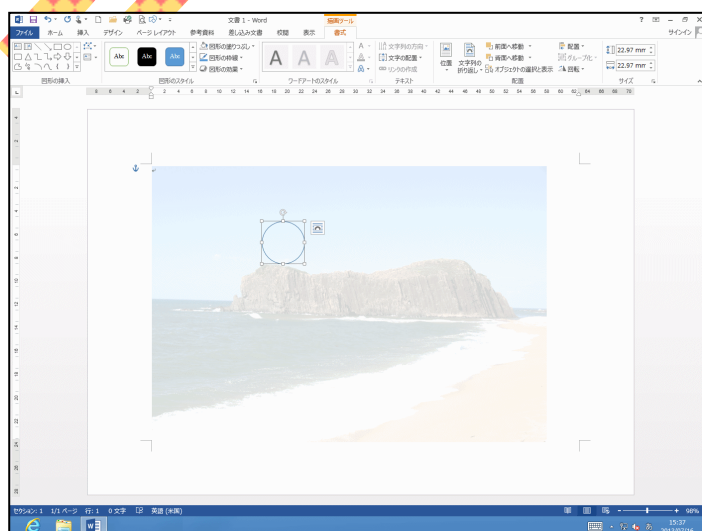
右

表示されるショートカットメニューから、[既定の図形に設定(D)] にポイントし、クリックします。



●図形を描くと、既定では図形の塗りつぶしの色は「青、アクセント1」ですが、今回は写真から絵を下書きにし、ふちどりをしやすくするために、既定を「塗りつぶしなし」に設定します。

カチッ

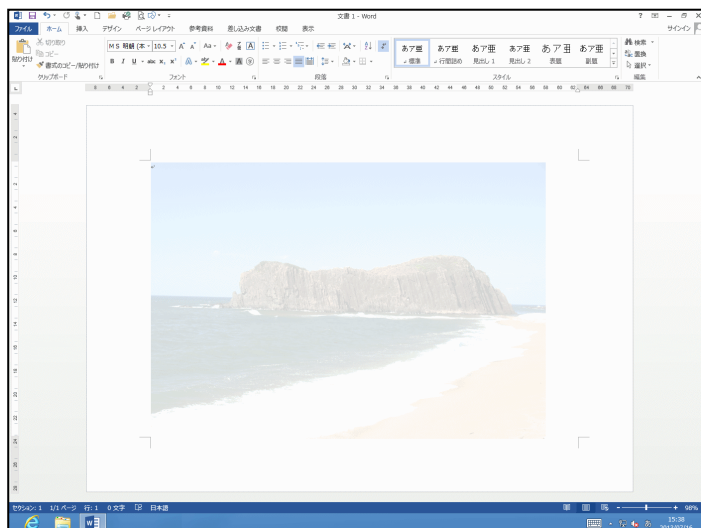


●これで、次に図形を描いたときは「塗りつぶしなし」の設定で図形が描けるようになります。

ご参考までに

●この設定はこの文書の中だけの設定なので、新規のワード文書を起動したときは、塗りつぶしの色は「青、アクセント1」になっています。

次の操作のために、楕円を削除しておきましょう。



●図形を削除する方法を忘れた方は、**P11 ③ 図形の削除**を参照してください。



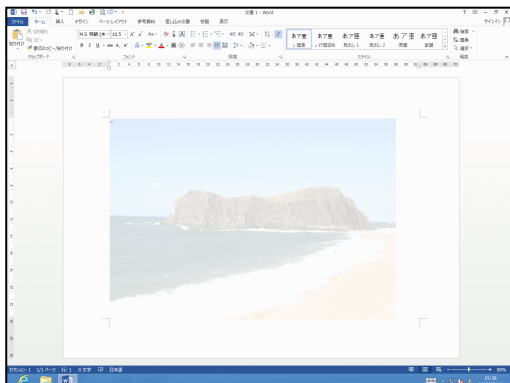
(3) 写真に沿って風景をふちどりする

① 曲線部分を直線に変更する（線分を伸ばす）

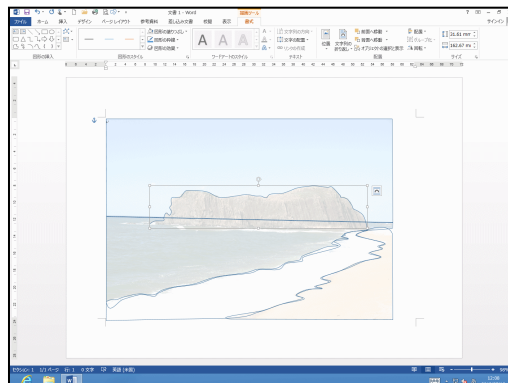
ここでは、フリーフォームでふちどりして、曲線部分を直線にする方法を説明します。

◆曲線部分を直線に変更する方法をマスターしましょう。

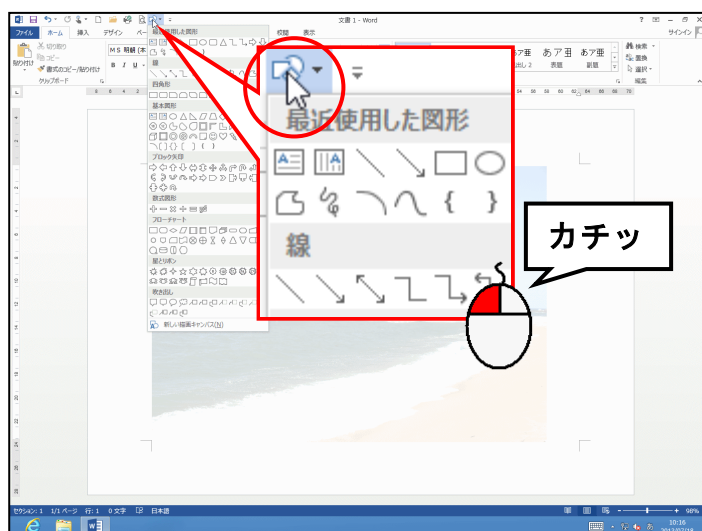
操作前




操作後

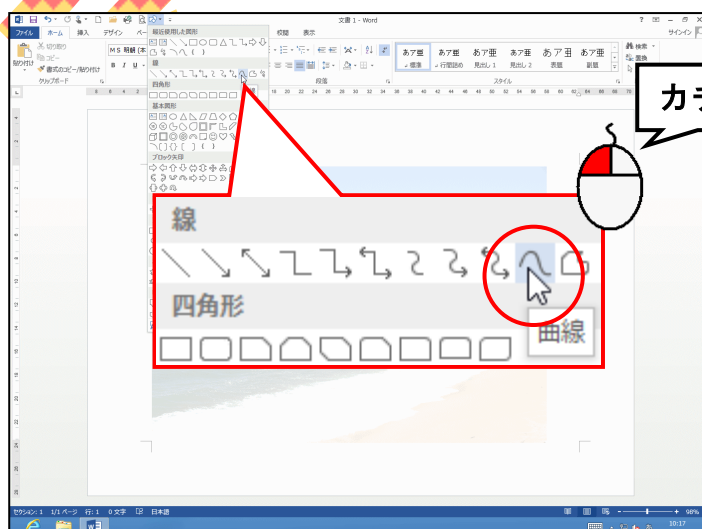


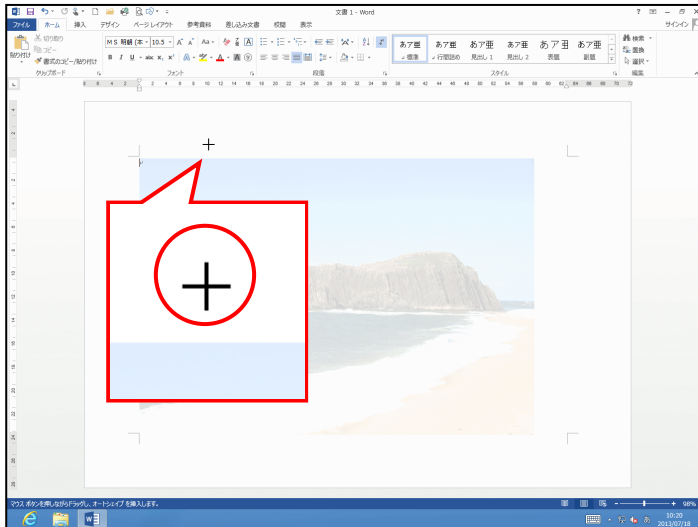
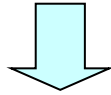
[クイックアクセス] ツールバーにある ・[図形] ボタンにポイントし、クリックします。



●ここからは、風景の「砂浜」を描いていきます。

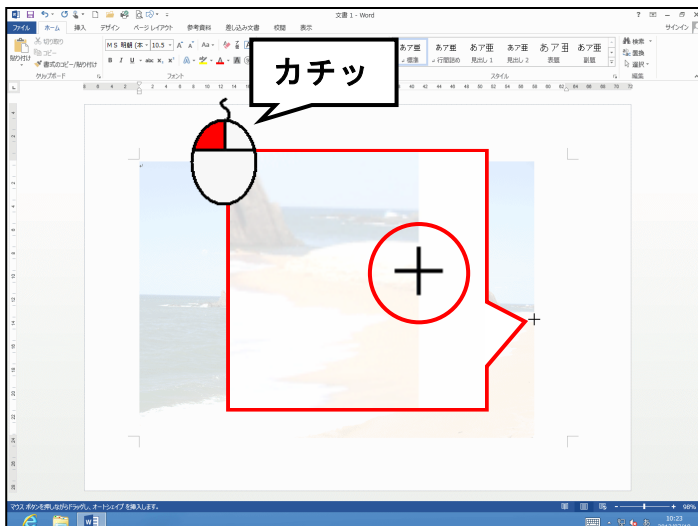
表示された一覧から「線」の  [曲線] にポイントし、クリックします。





- **「曲線」** をクリックすると、マウスポインターが **+** の形になります。

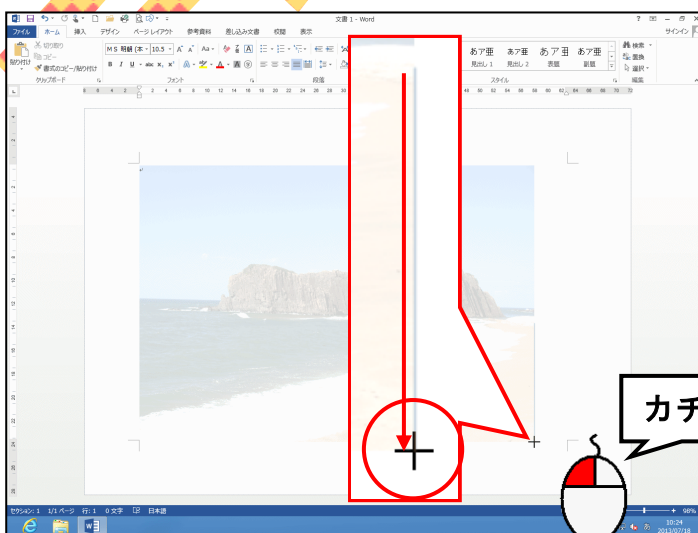
下図のようにマウスポインターを移動し、クリックします。



- 下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を描いていきます。

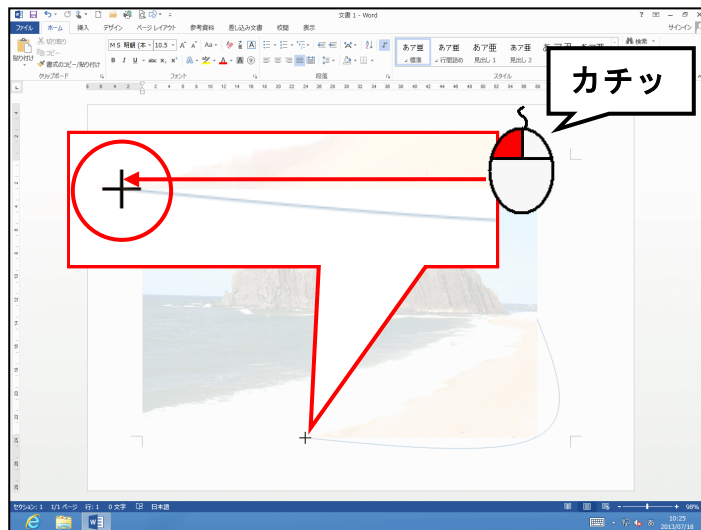


そのまま下図のようにマウスポインターを下方へ滑らせ、角でクリックします。

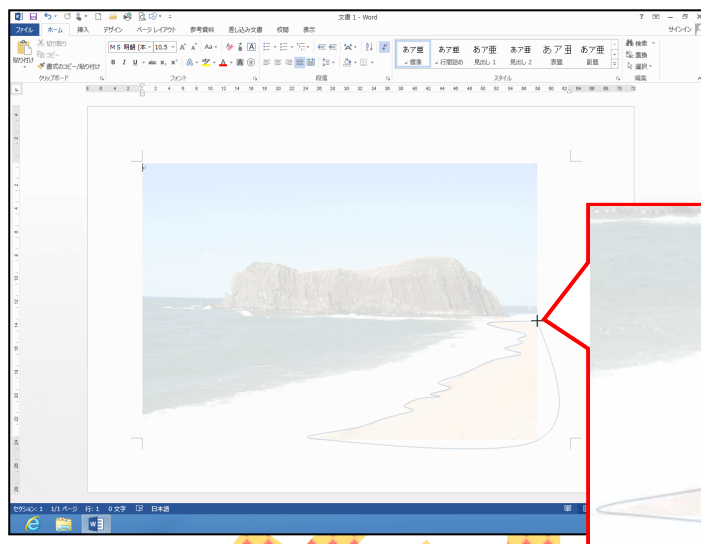


- クリックすると、頂点が決まります。

そのまま下図のようにマウスを左方向へ滑らせ、砂浜と波の境界でクリックします。

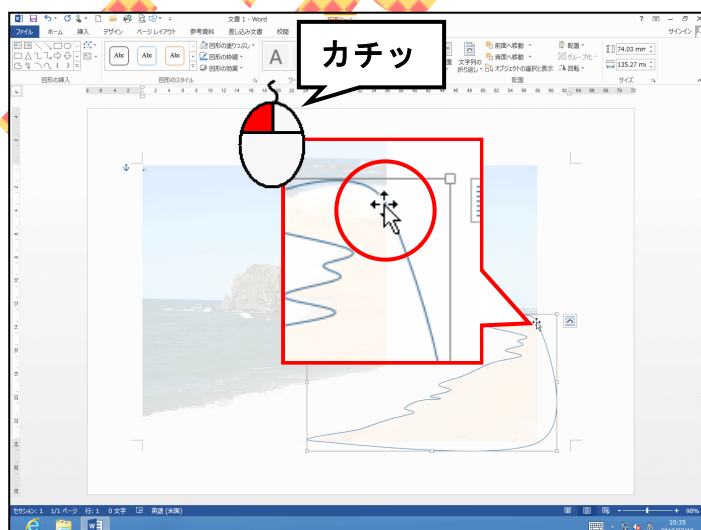


下図のように曲線で描いていきます。



- 曲げたいところでクリックして、マウスを滑らせる操作を繰り返して描いていきます。

描き終わったら、最後に始点の位置でクリックします。

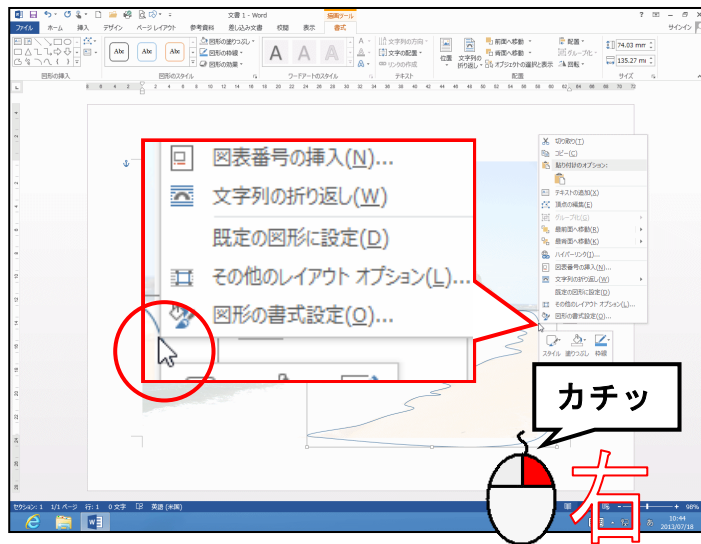


- 最後は、始点の位置でクリックすると、絵が確定します。

注意!

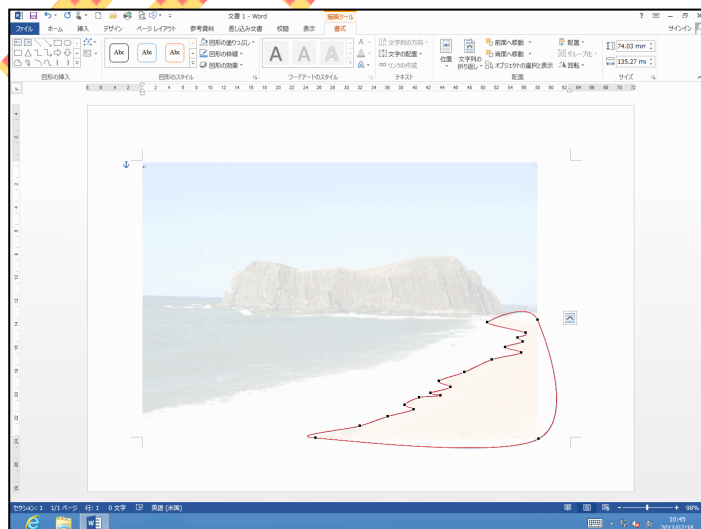
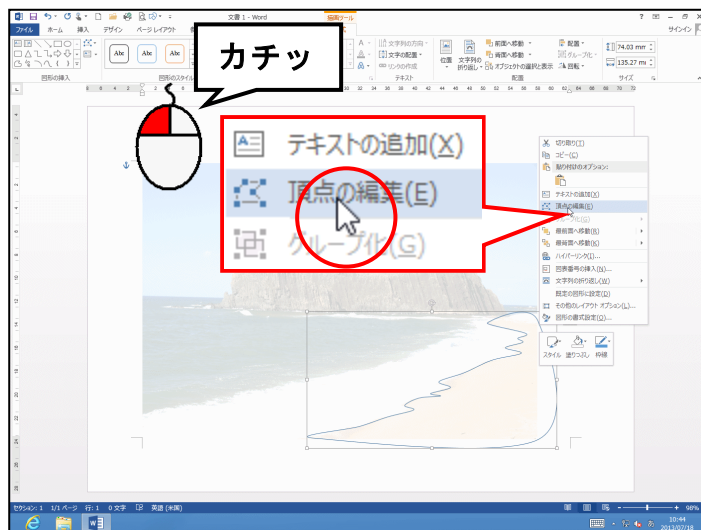
- 始点と終点がかっつくように描きましょう。始点と終点がずれてしまった場合は、ダブルクリックをして確定し、図形が選択された状態で **[Delete]** キーを押して削除してから、もう一度操作してみましょう。

図形の線の上で右クリックします。



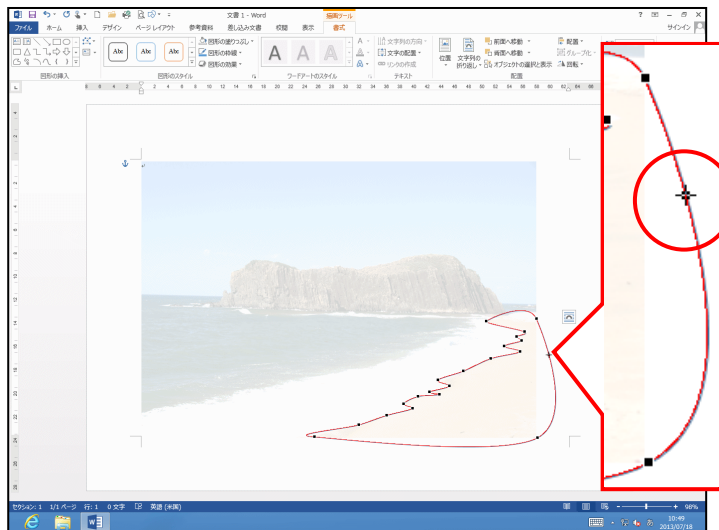
●図形の線の部分ではなく、中の塗りつぶされる部分で右クリックすると、違うメニューが表示されますので、線の部分で右クリックしましょう。


表示されるショートカットメニューから、[頂点の編集(E)] にポイントし、クリックします。



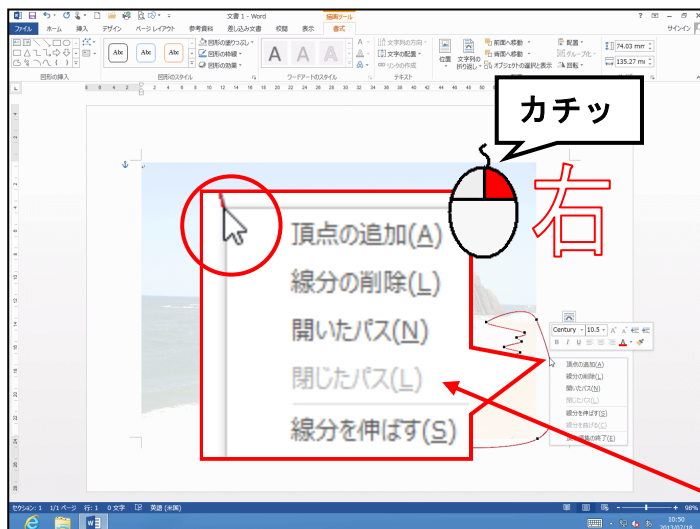
● [頂点の編集(E)] をクリックすると、■ (頂点) が表示されます。

下図の位置の線の上にポイントします。




●線の上をポイントすると、マウスインターは  の形になります。

そのまま右クリックします。

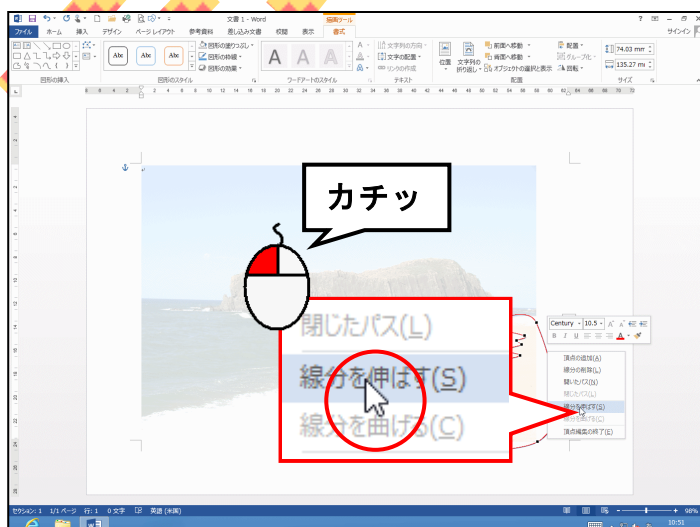


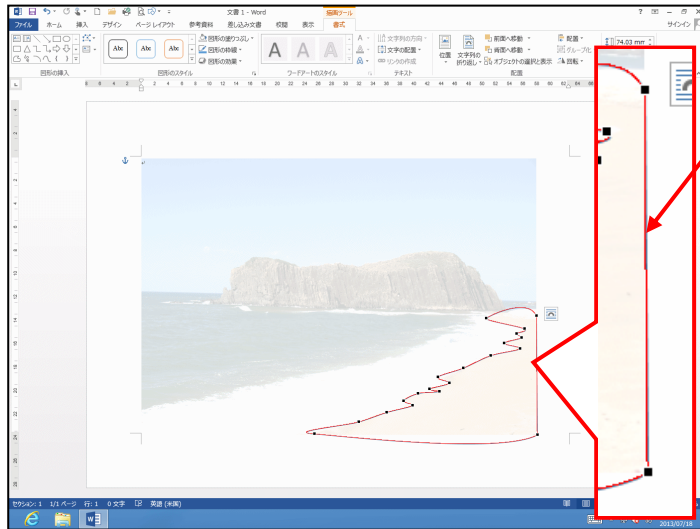
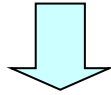
注意!

●右クリックしている時間が長かったり、マウスが動いてしまったりすると、その時点で ■（頂点）が追加されるので注意しましょう。誤って ■（頂点）が追加されてしまった場合は、 [元に戻す] ボタンをクリックして、再度チャレンジしましょう。

●右クリックすると、左のようなショートカットメニューが表示されます。

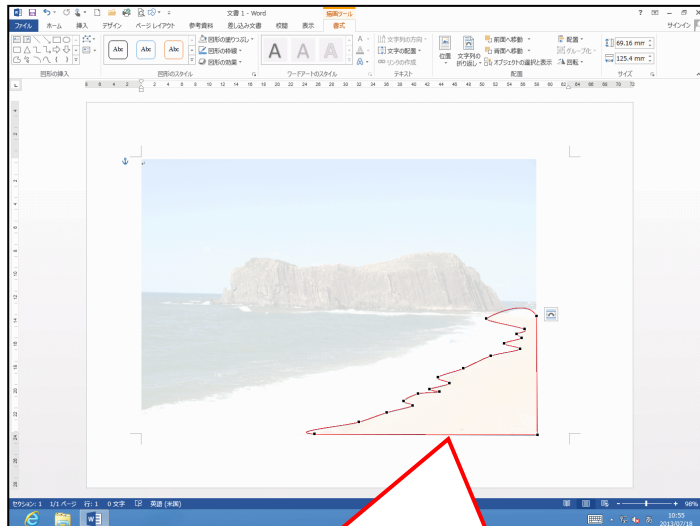
表示されるショートカットメニューから、[線分を伸ばす(S)] にポイントし、クリックします。





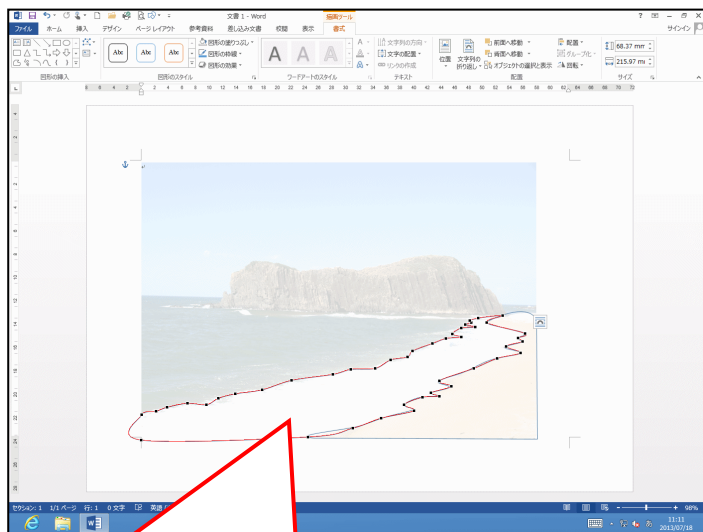
- 【線を伸ばす(S)】をクリックすると、右クリックした部分の2つの■（頂点）の間が、直線になります。

同様に、下図の青線の部分を、「線を伸ばす」に設定しておきましょう。



●波を描く

波も同様に曲線で描き、■（頂点）を表示させておきましょう。



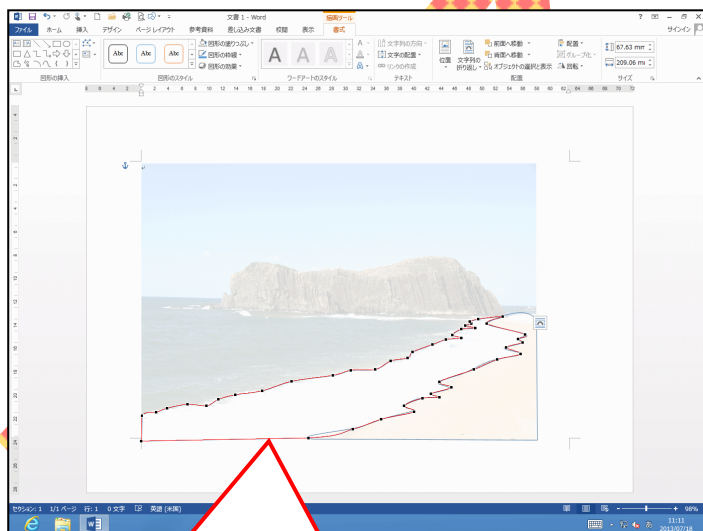
●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を描いていきます。



注意!

●始点と終点がかっつくように描きましょう。始点と終点がずれてしまった場合は、もう一度操作してみましょう。

下図の青線の部分を、「線分を伸ばす」に設定しておきましょう。

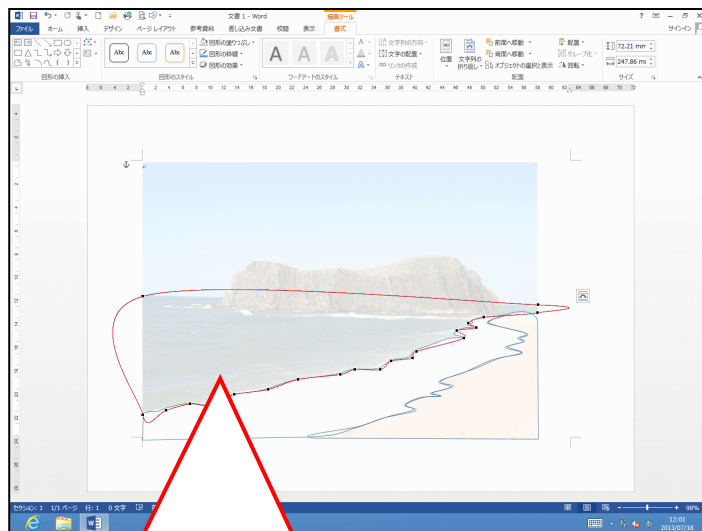


●線分を伸ばす方法を忘れた方は、P177～P178 を参照してください。



●海を描く

海も同様に曲線で描き、■（頂点）を表示させておきましょう。



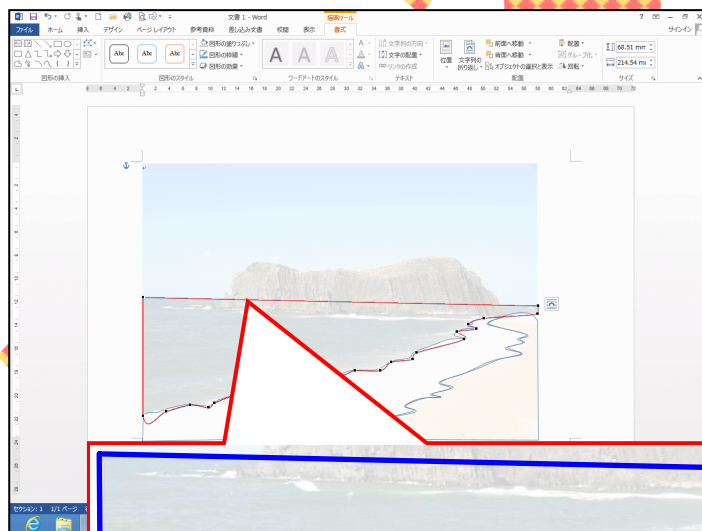
●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を描いていきます。



注意!

●始点と終点がくっつくように描きましょう。始点と終点がずれてしまった場合は、ダブルクリックをして確定し、図形が選択された状態で [Delete] キーを押して削除してから、もう一度操作してみましょう。

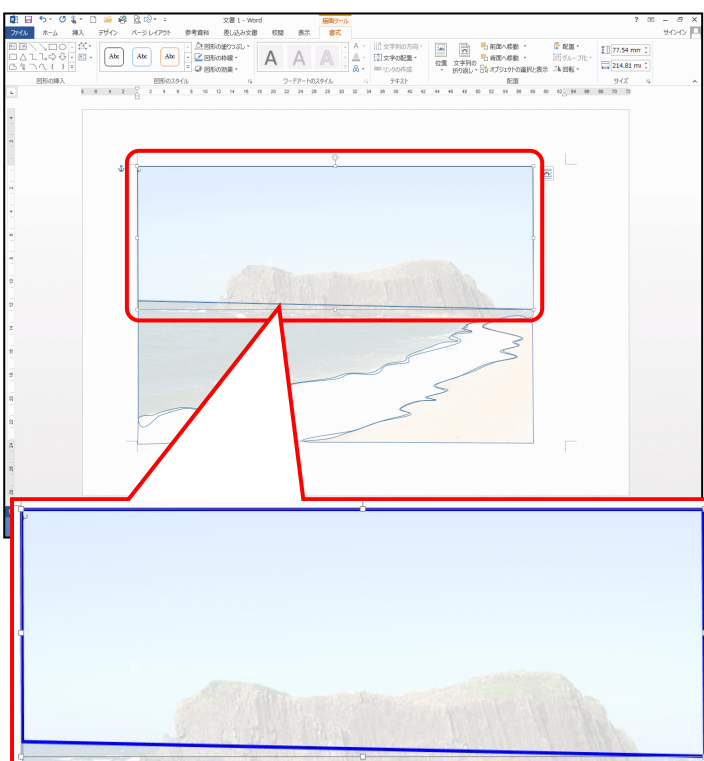
下図の青線の部分を、「線分を伸ばす」に設定しておきましょう。



●線分を伸ばす方法を忘れた方は、P177~P178 を参照してください。

●空を描く

空の部分（下図の青線の部分）はフリーフォームで描きます。



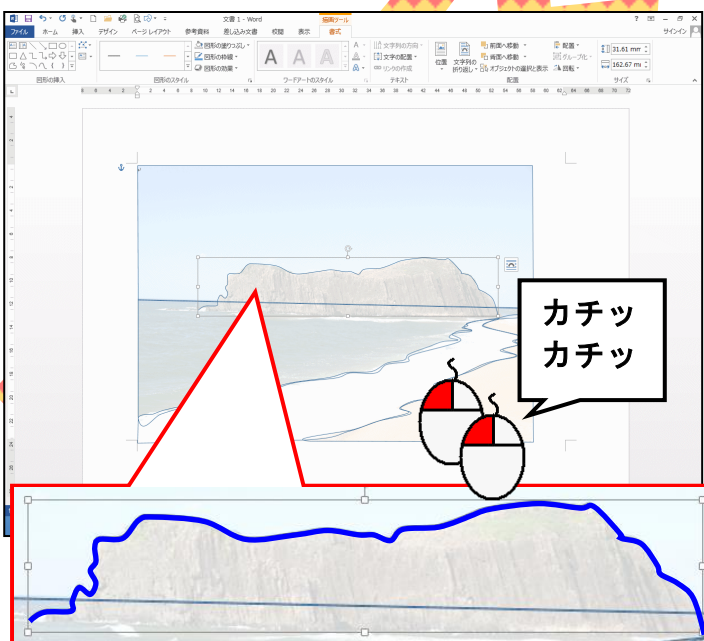
●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を描いていきます。



●フリーフォームで図形を描く方法を忘れた方は、P127 ③ なすびのへたを描く（フリーフォーム）を参照してください。

●岩を描く

曲線を使って、岩を部分（下図の青線の部分）を描き、最後にダブルクリックします。



●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を描いていきます。



●最後にダブルクリックすると、絵が確定します。

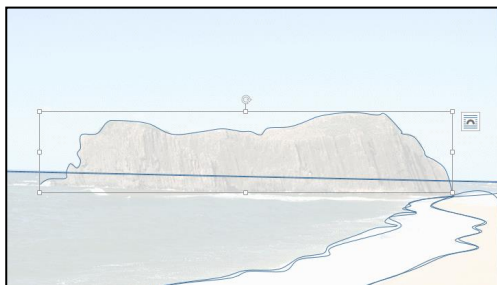
●左右のどちらから描き出しても構いません。

② 始点と終点をつなげる（閉じたパス）

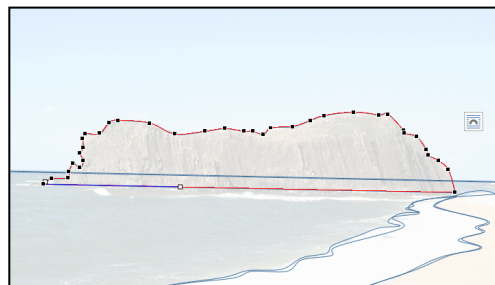
ここでは、岩の左下の ■（頂点）と右下の ■（頂点）をつなげていきます。

◆始点と終点をつなげる方法をマスターしましょう。

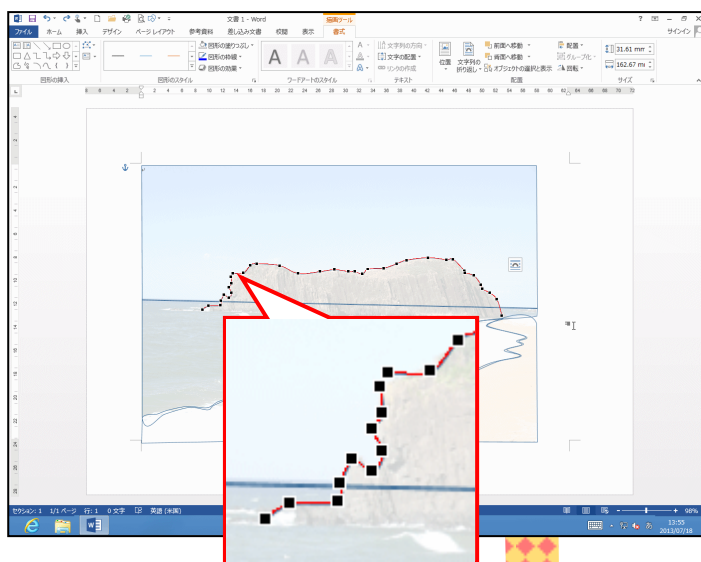
操作前



操作後

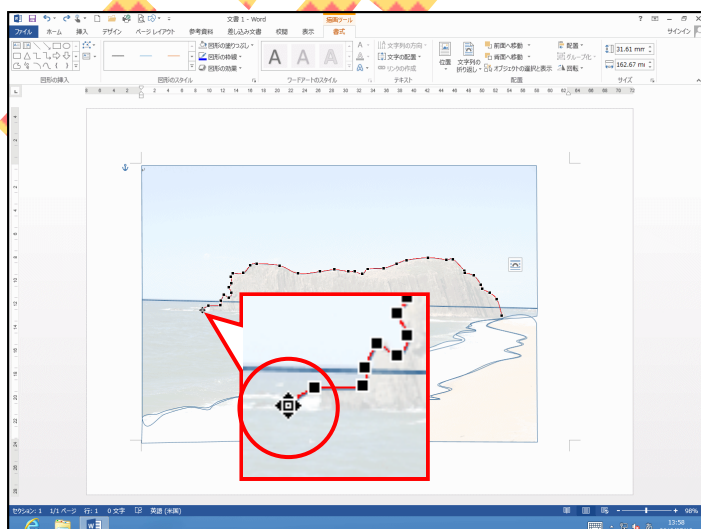



岩の部分の ■（頂点）を表示させます。



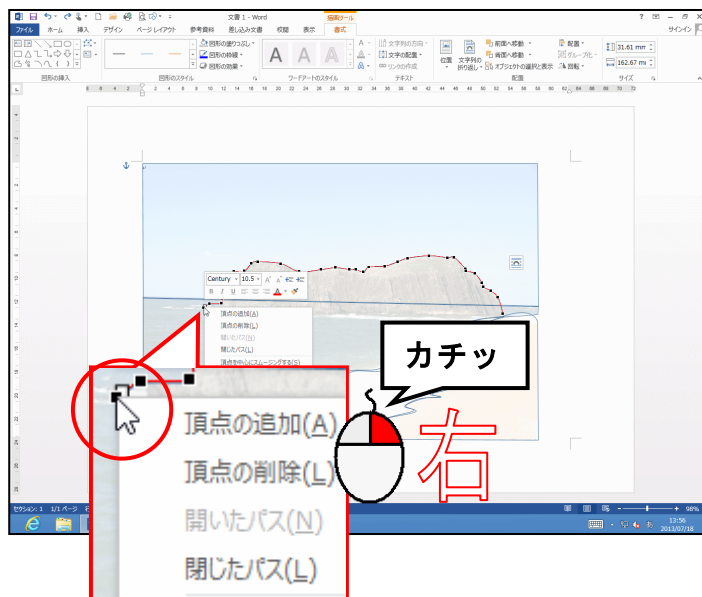
- ■（頂点）の表示の仕方を忘れた方は、P176を参照してください。

下図の位置にマウスポインターを移動します。

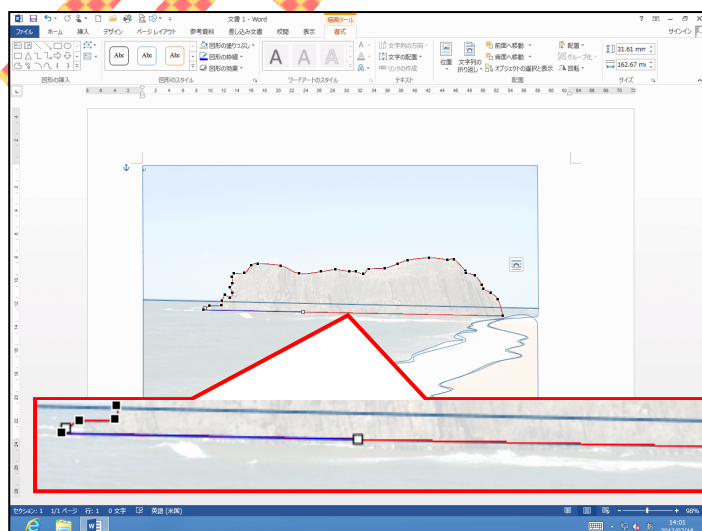
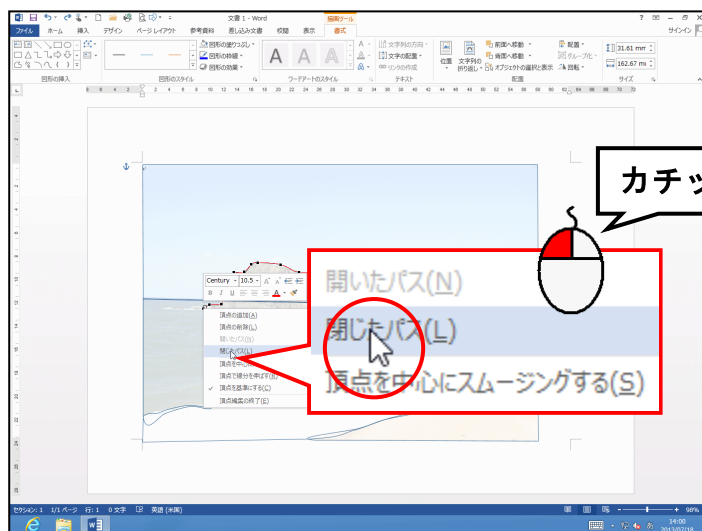


- ■（頂点）にマウスポインターを移動すると、の形になります。
- ここからが、岩を描いた始点と終点をつなげる操作です。

そのまま右クリックします。



表示されるショートカットメニューから、[閉じたパス(L)] にポイントし、クリックします。

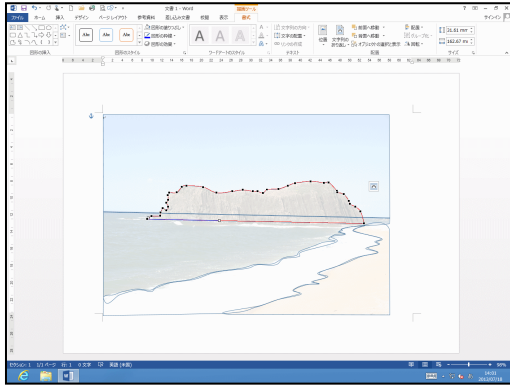


- [閉じたパス(L)] をクリックすると、始点と終点がつつきます。

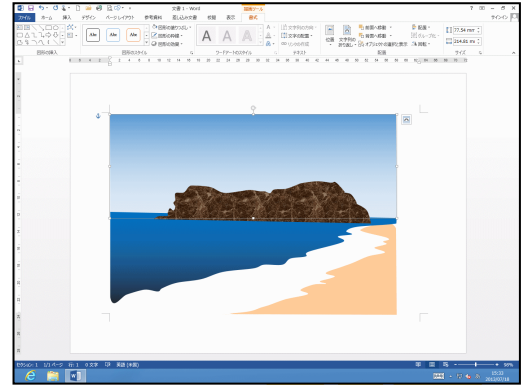
③ 海辺に色を塗る（その他の色を設定）

◆その他の色を使い、図形に色を塗る方法をマスターしましょう。

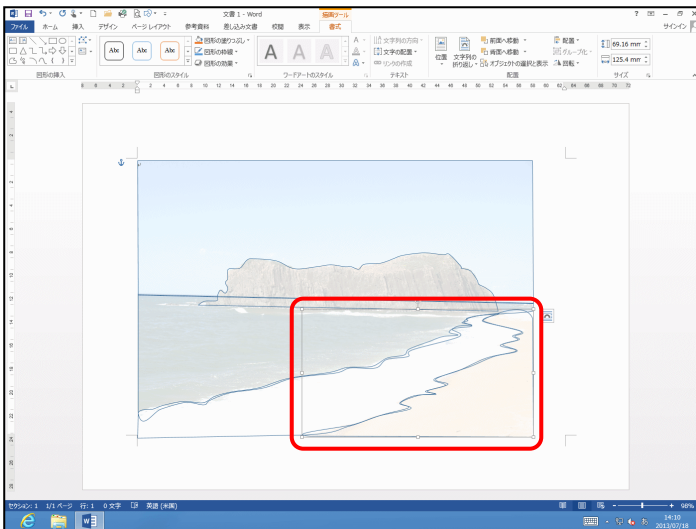
操作前



操作後



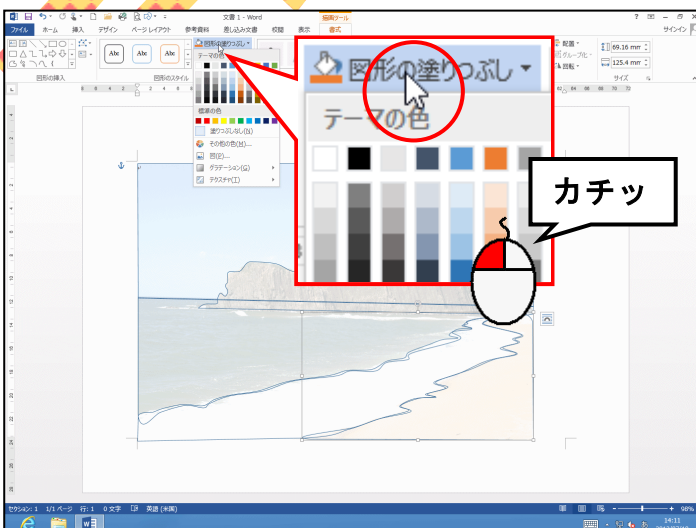
砂浜の部分を選択します。



●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を編集していきます。

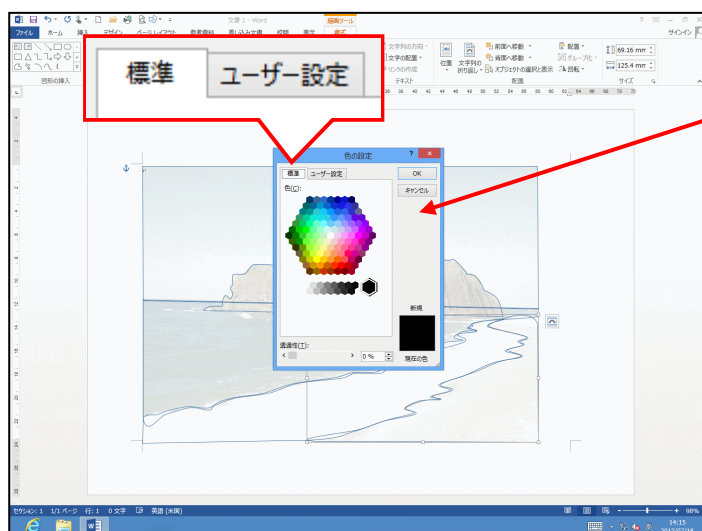
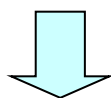
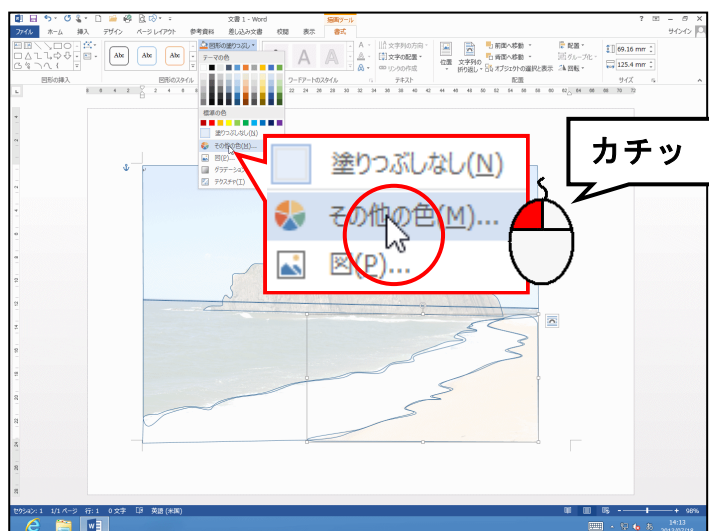


「図形のスタイル」グループにある 図形の塗りつぶし・「図形の塗りつぶし」ボタンにポイントし、クリックします。



●「書式」タブが選択されていない方は、「書式」タブをクリックしておきましょう。

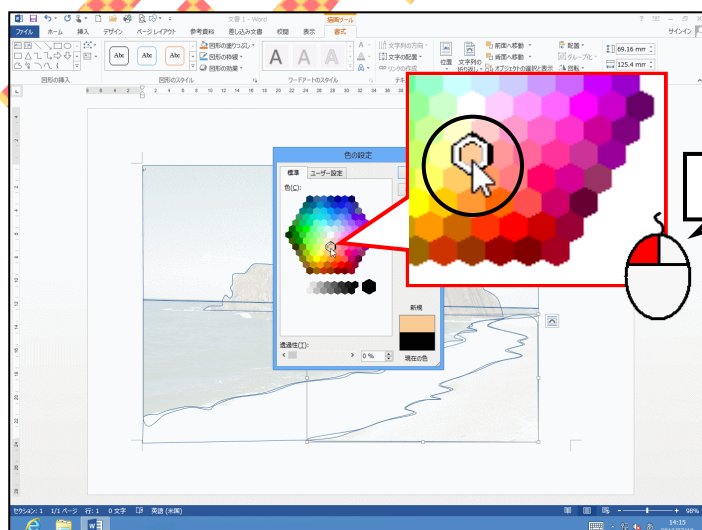
【その他の色(M)...】にポイントし、クリックします。



● 【その他の色(M)...】をクリックすると、左のように【色の設定】ダイアログボックスの【標準】タブが表示されます。

【標準】タブが選択されていない方は、【標準】タブをクリックして選択しておきましょう。

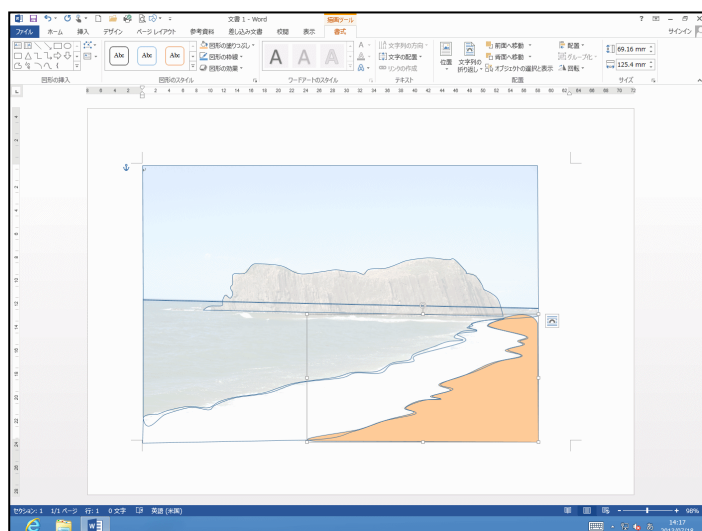
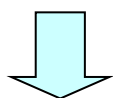
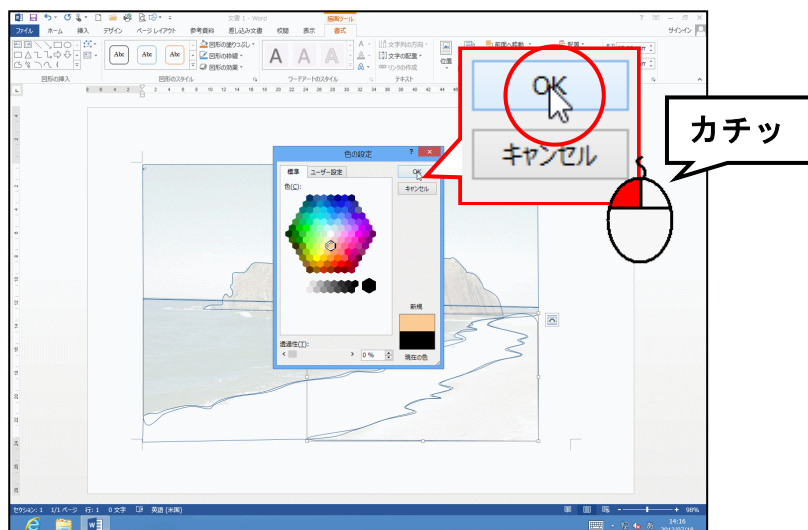
下図のマウスポインターの指す色をクリックします。



その他の色についての補足説明

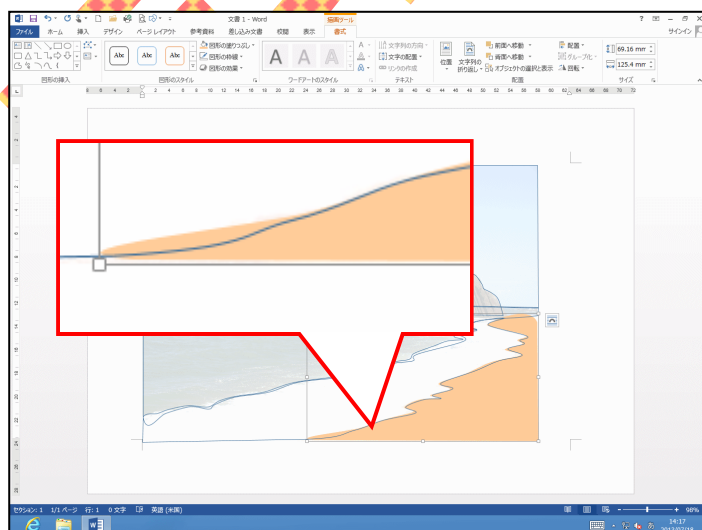
P213

[色の設定] ダイアログボックス右上にある [OK] ボタンにポイントし、クリックします。

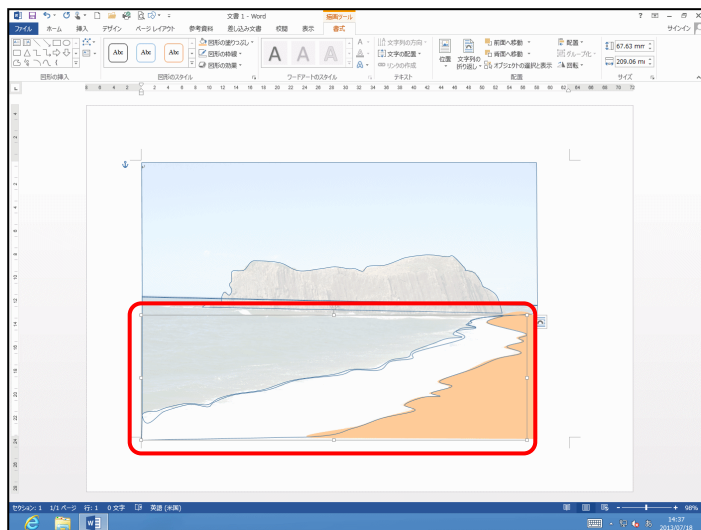


●砂浜の色が変わりました。

砂浜を選択したままで、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



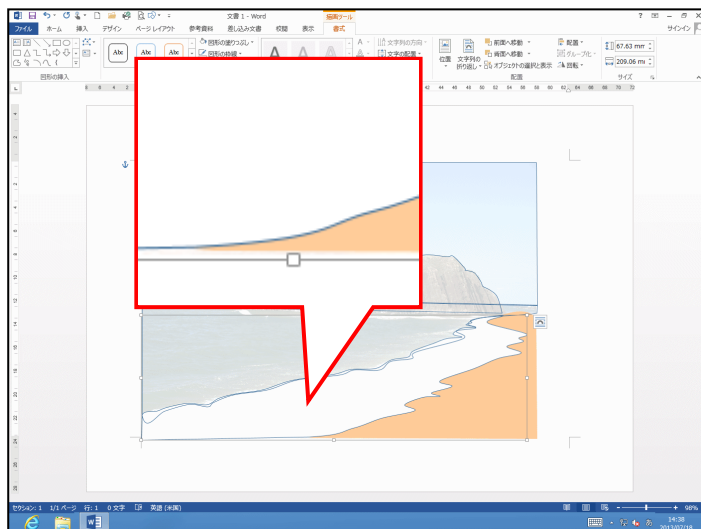
波の部分を選択します。



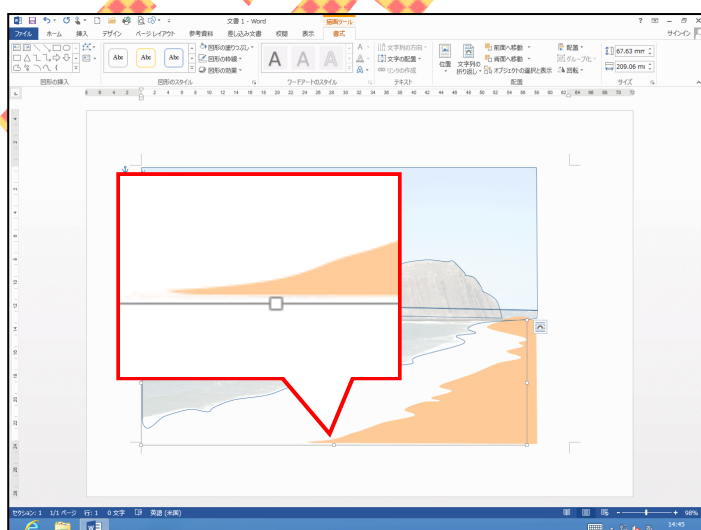
●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を編集していきます。



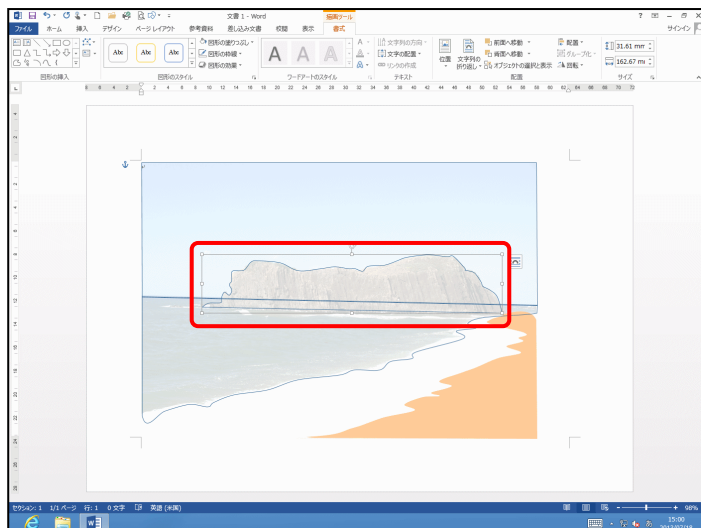
波を選択したままで、図形の塗りつぶしの色を「白、背景 1」に設定しましょう。



波を選択したままで、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



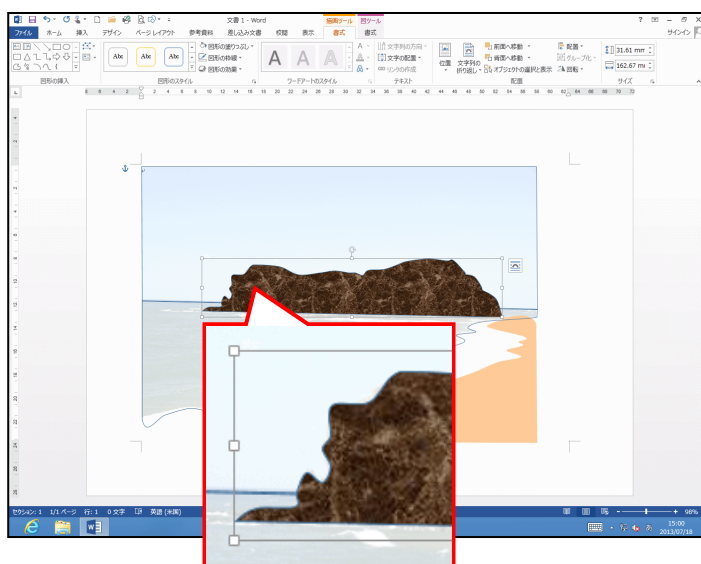
岩の部分を選択します。



●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を編集していきます。

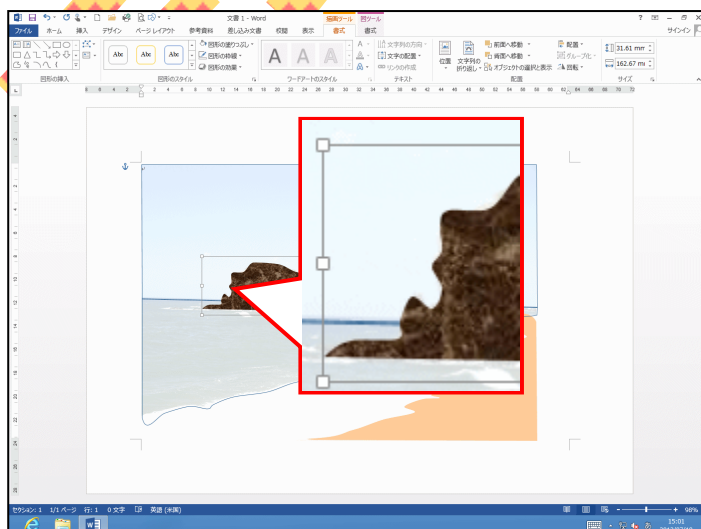


岩を選択したままで、図形の塗りつぶしの色を「テクスチャ」の「大理石（茶）」に設定しましょう。

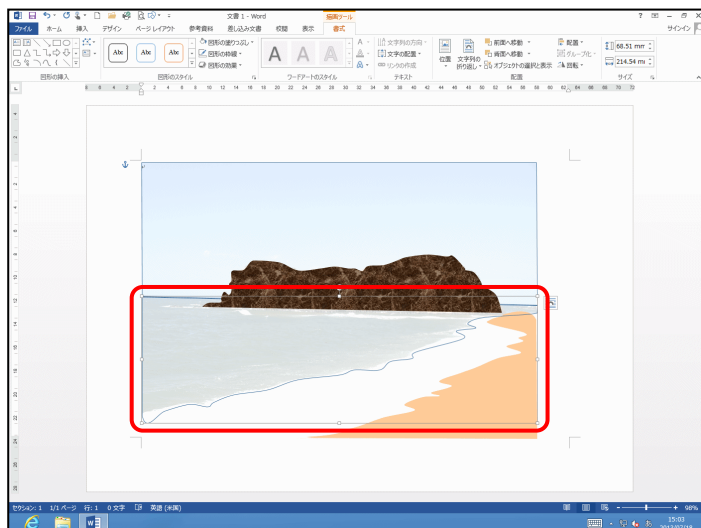


●図形の塗りつぶしの色を「テクスチャ」に設定する方法を忘れた方は、P112（5）背景を入れる（テクスチャ）を参照してください。

岩を選択したままで、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。




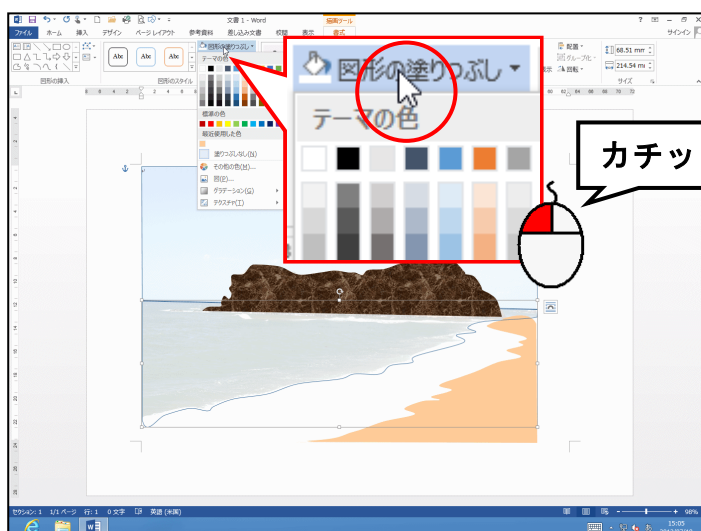
海を選択します。



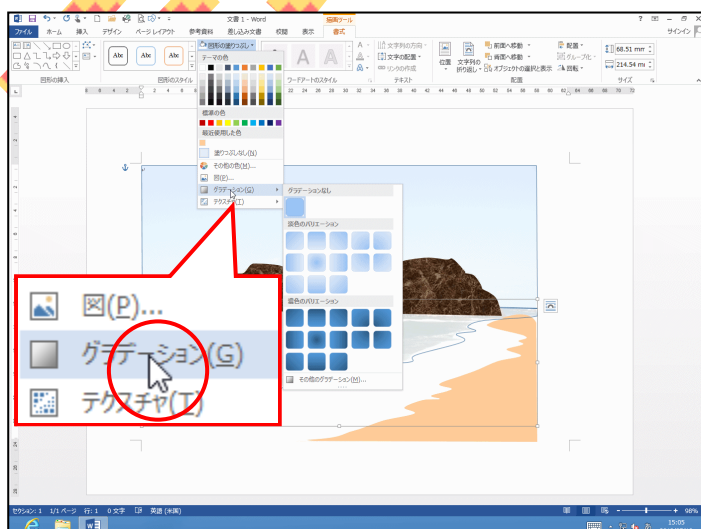
●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を編集していきます。



「図形のスタイル」グループにある  図形の塗りつぶし・「図形の塗りつぶし」ボタンにポイントし、クリックします。

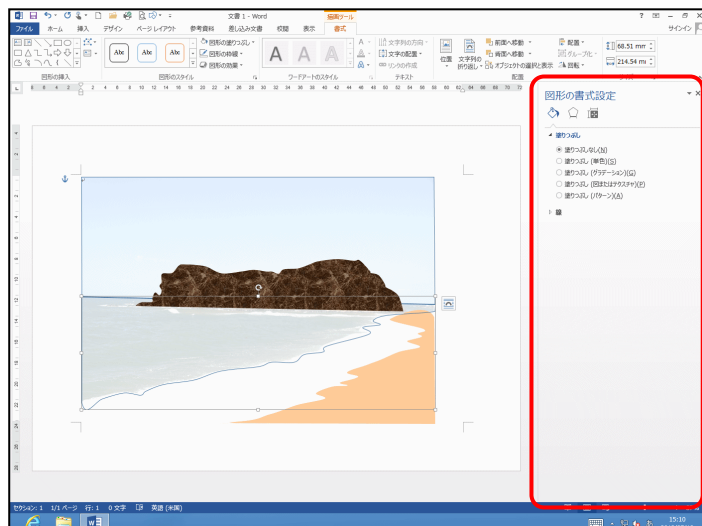
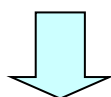
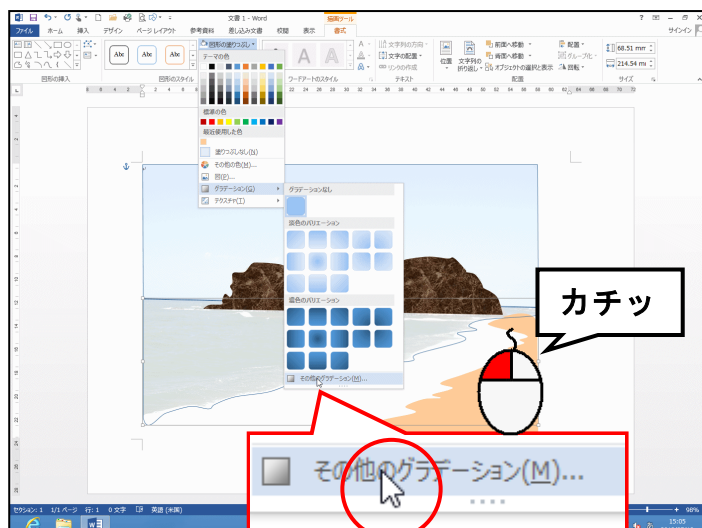


表示された一覧から「グラデーション(G)」にポイントします。



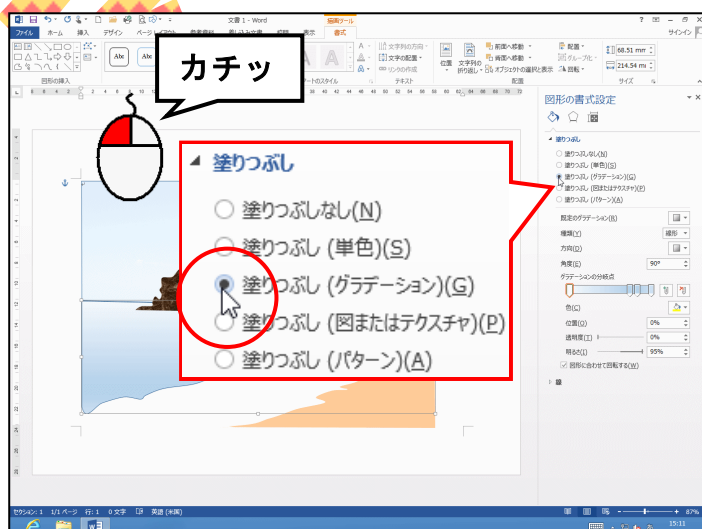
●海の図形に、グラデーションを設定していきます。


右側に表示された一覧から「その他のグラデーション(M)...」にポイントし、クリックします。

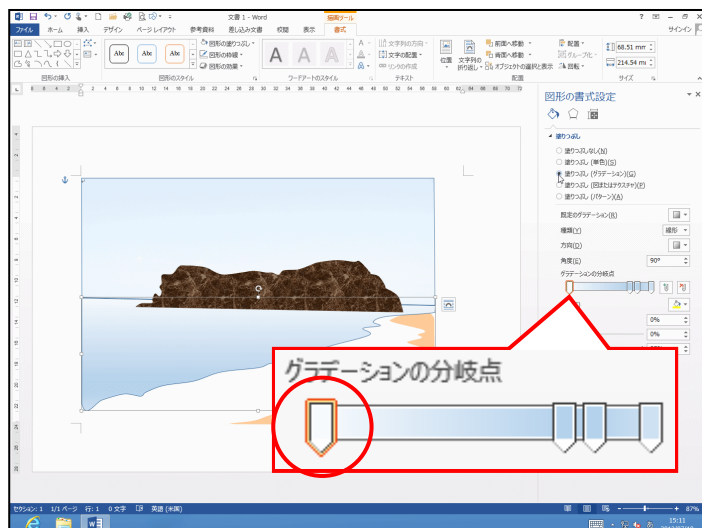




●「その他のグラデーション(M)...」をクリックすると、左のように「図形の書式設定」ウィンドウが画面右に表示されます。

「図形の書式設定」ウィンドウで、「塗りつぶし(グラデーション)(G)」のチェックボックスにポイントし、クリックします。

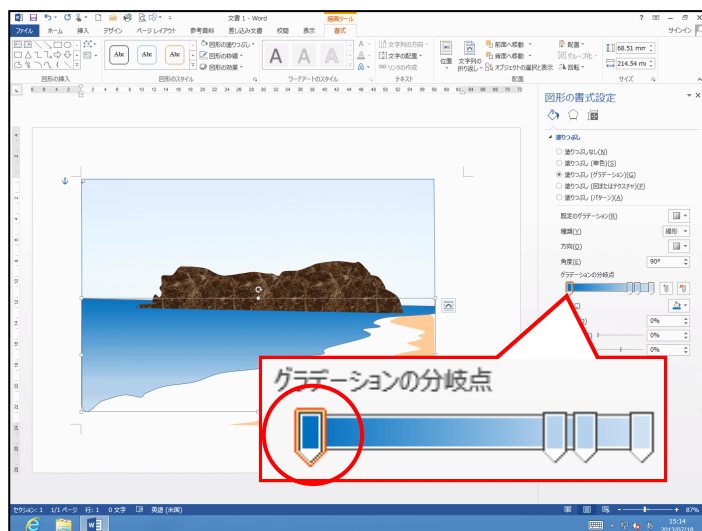


「グラデーションの分岐点」で、一番左の  が選択されていることを確認します。



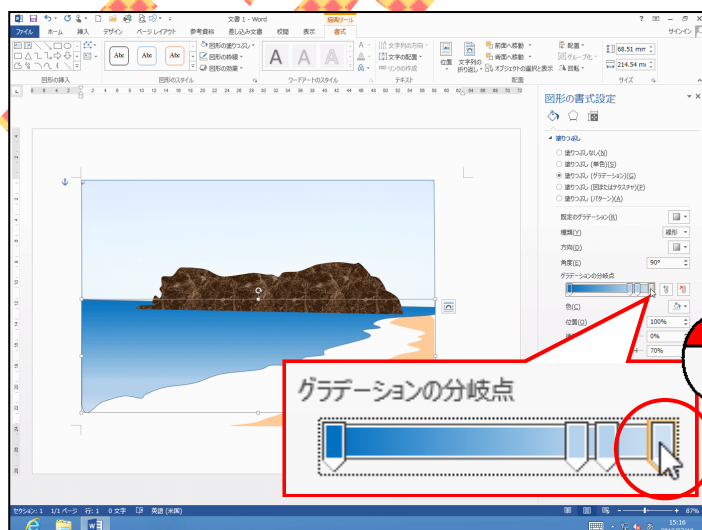
- 一番左の  がオレンジ色の枠線に囲まれていれば、選択されています。選択されていない方は、一番左の  をクリックして選択しておきましょう。

一番左の分岐点の色を「青」に設定します。



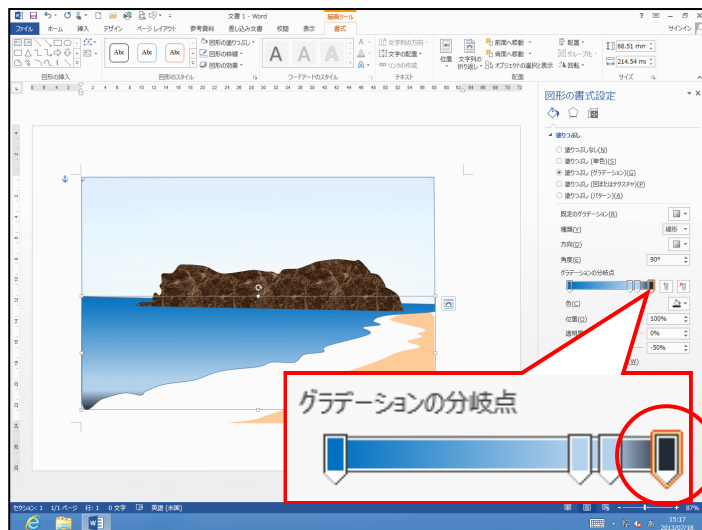
- 色の指定を忘れた方は、P144 ⑦ なすびに色を塗る（グラデーションの設定）を参照してください。

「グラデーションの分岐点」で一番右の分岐点をクリックします。

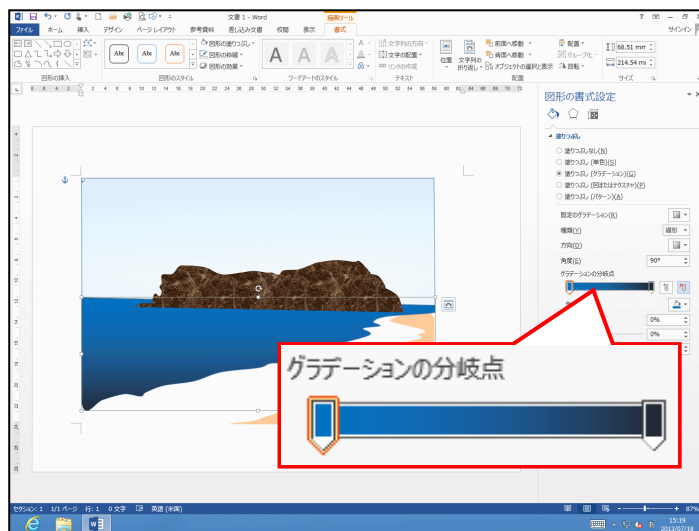


カチッ

一番右の分岐点の色を「ブルーグレー、テキスト2、黒+基本色 50%」に設定します。

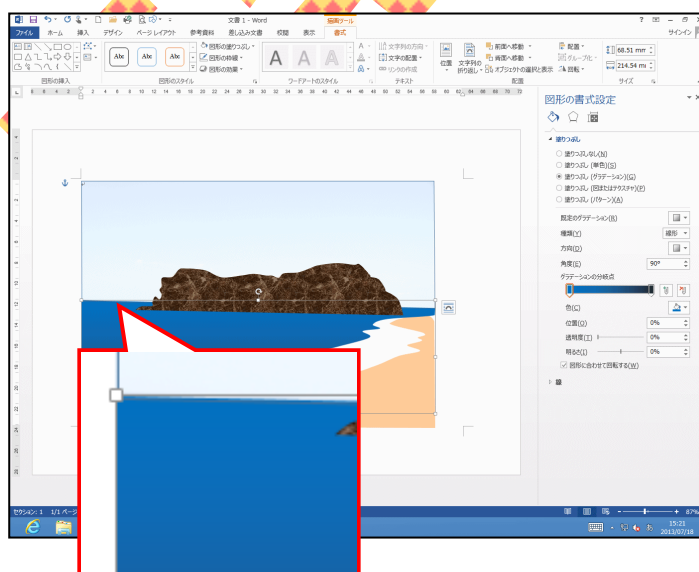


左から 2 番目と右から 2 番目のグラデーションの分岐点を削除します。

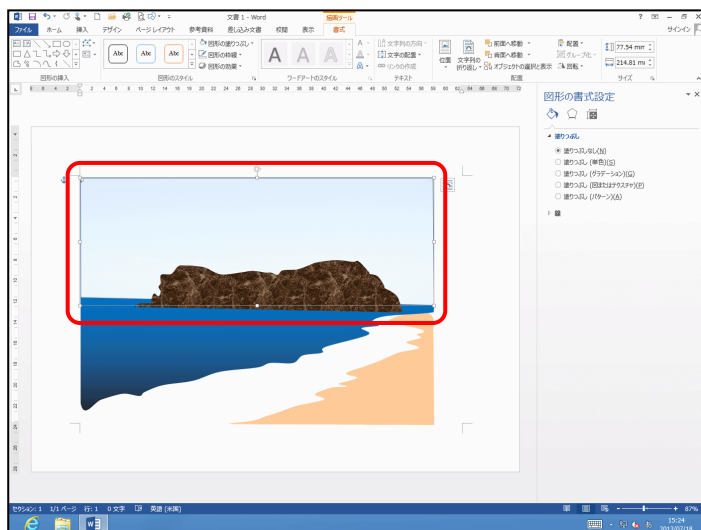


●分岐点の削除方法を忘れた方は、P150～P151 を参照してください。

海を選択したままで、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



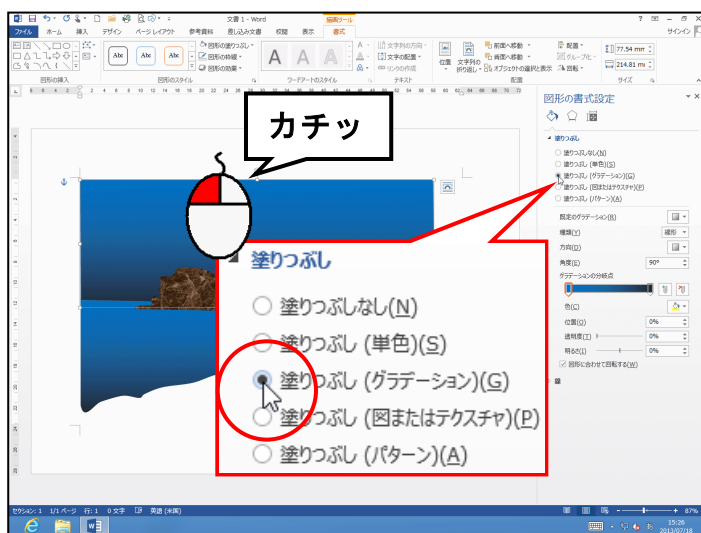
空の部分を選択します。



●下図が元の写真です。今からは、赤枠の部分を編集していきます。

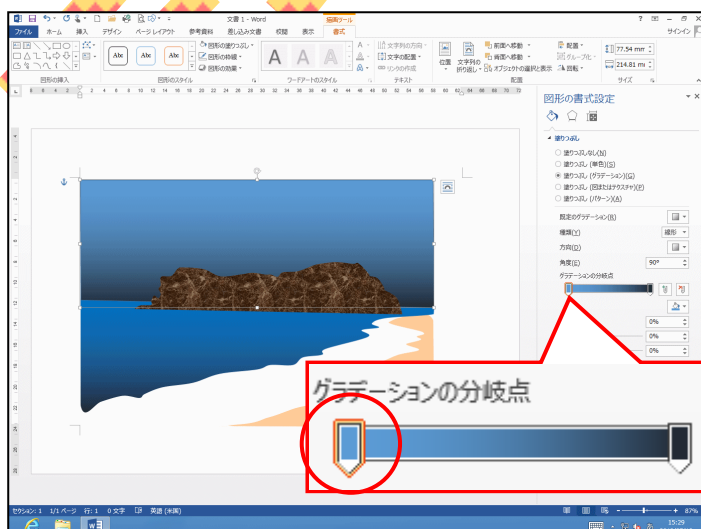


【塗りつぶし(グラデーション)(G)】をクリックします。



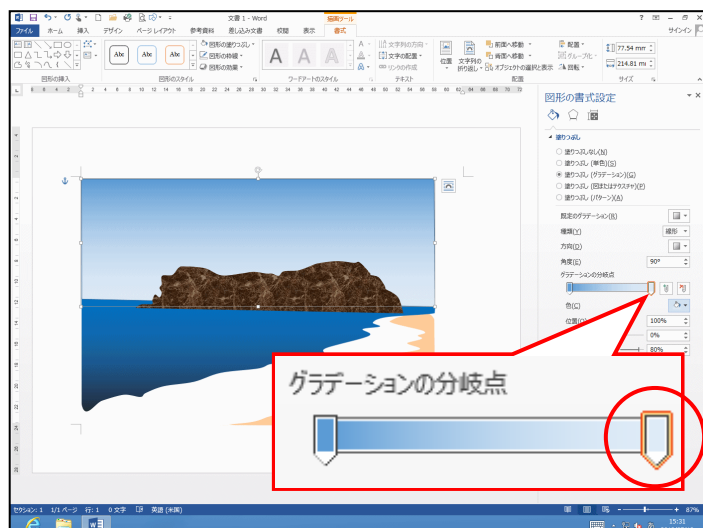
●【塗りつぶし(グラデーション)(G)】をクリックすると、先ほどの書式(海の色や、グラデーションの分岐点の数)がそのまま適用されてしまいます。再度、空の色に設定していきましょう。

【グラデーションの分岐点】で左の分岐点を選択し、分岐点の色を「青、アクセント1」に設定します。

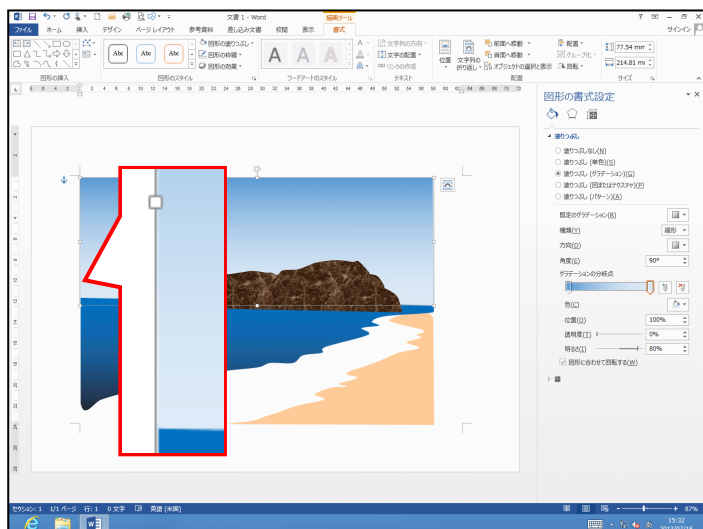


●色の指定を忘れた方は、P144 ⑦ なすびに色を塗る(グラデーションの設定)を参照してください。

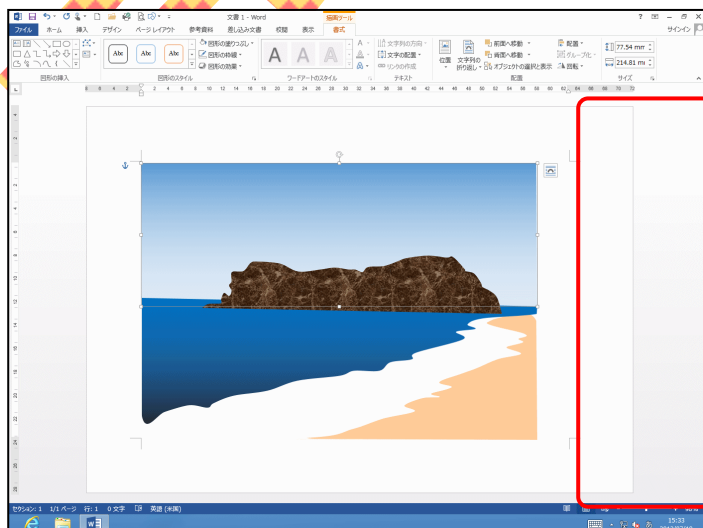
「グラデーションの分岐点」で右の分岐点を選択し、分岐点の色を「青、アクセント1、白+基本色 80%」に設定します。



空を選択したままで、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



「図形の書式設定」ウィンドウを閉じておきましょう。

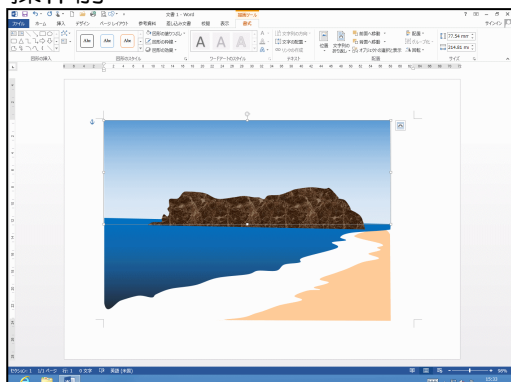


(4) ふちどり以外を描く

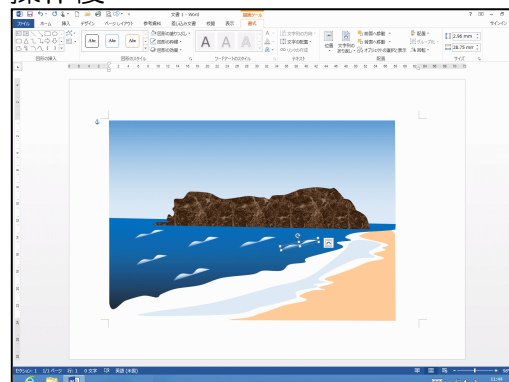
ここでは、ふちどり以外の部分を描いていきましょう。

◆ふちどり以外を描く方法をマスターしましょう。

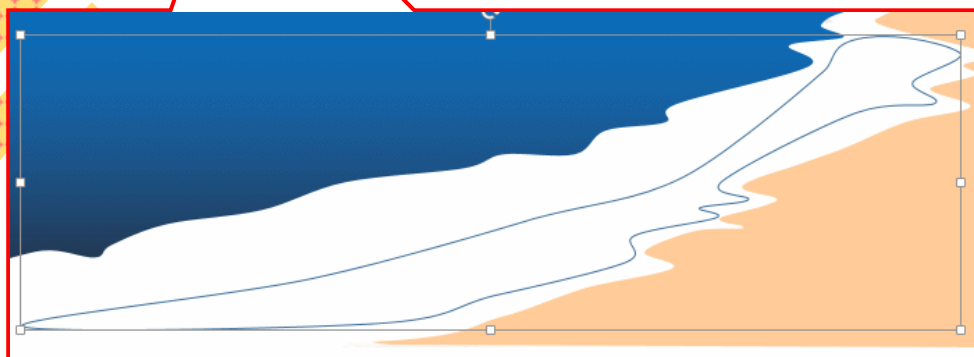
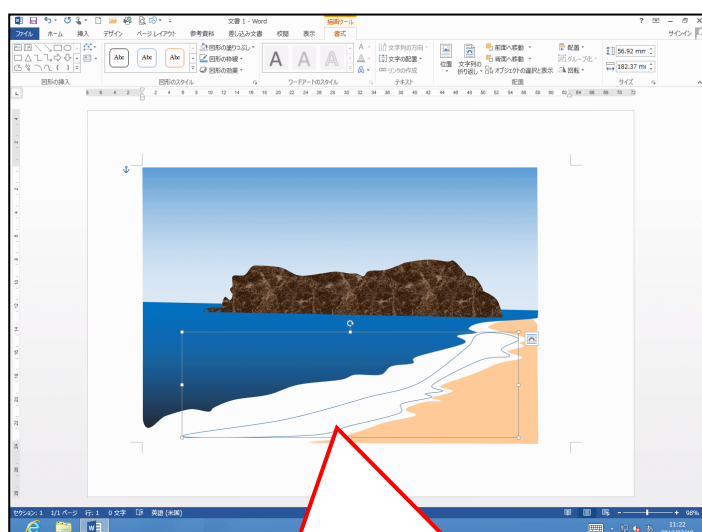
操作前



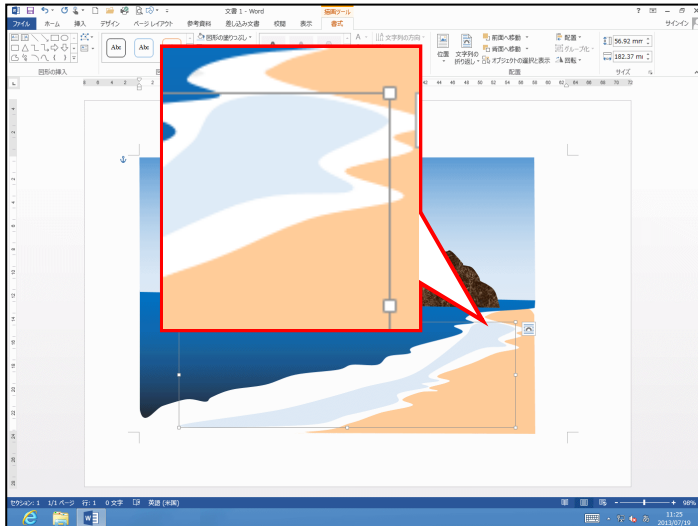
操作後



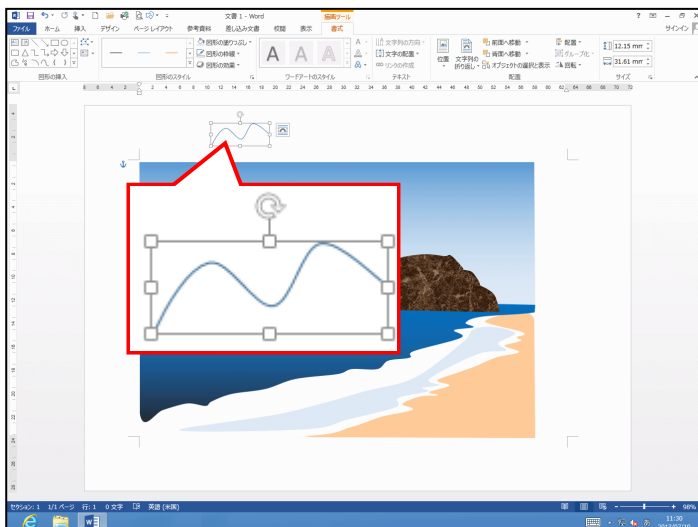
下の図のように、曲線を使って白色の波の内側にもうひとつ波を描きます。



図形の塗りつぶしの色を「青、アクセント 1、白+基本色 80%」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



曲線を使って、下図のような小さな波を余白部分に描きましょう。

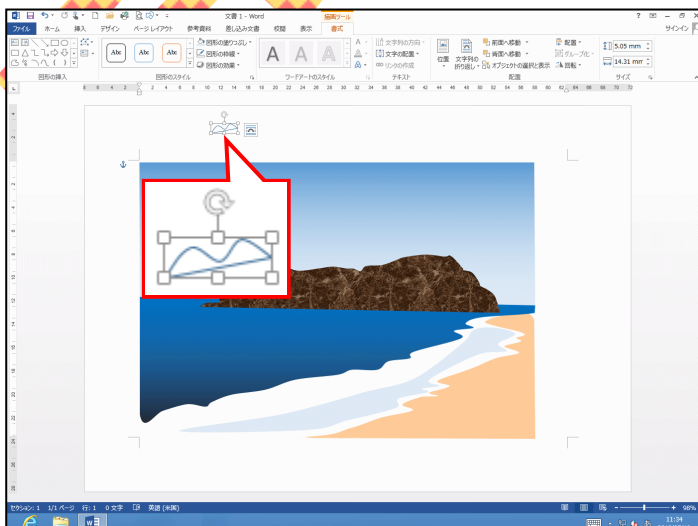


●下図の ■（頂点）の位置を参考にして、波を描きましょう。



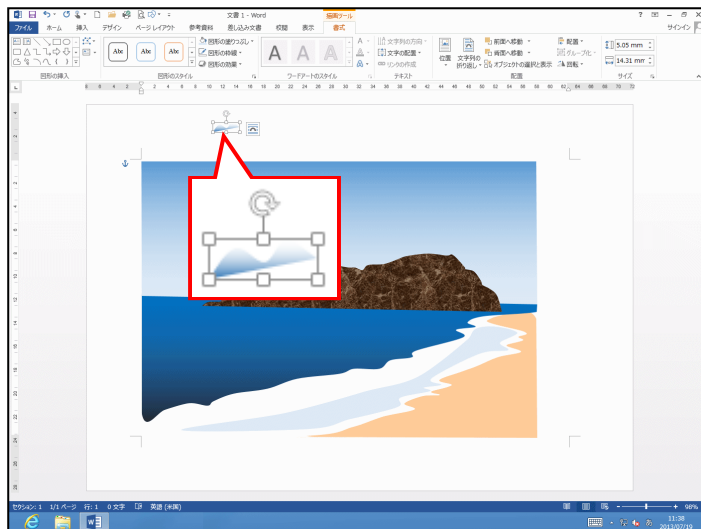
●後で移動するので、余白部分に描きましょう

先ほど描いた波に「閉じたパス」を設定し、少し小さくしましょう。

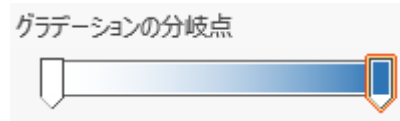


●閉じたパスの設定方法を忘れた方は、P182 ② 始点と終点をつなげる（閉じたパス）を参照してください。

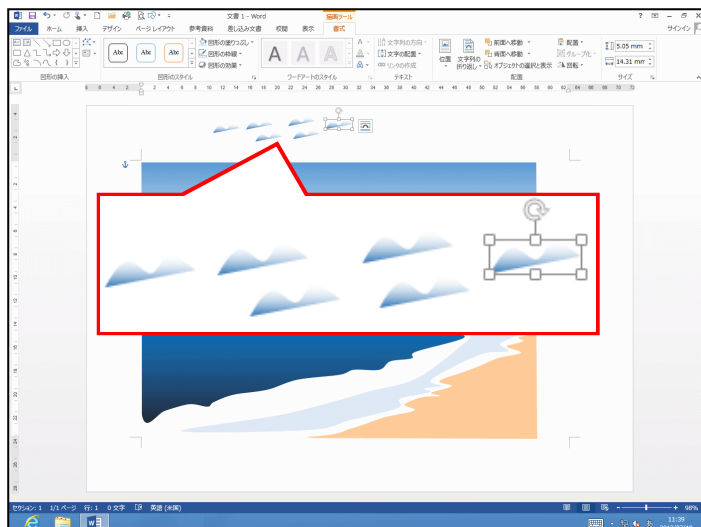
グラデーションの分岐点を2つ作成し、左の分岐点に「白、背景1」、右の分岐点に「青、アクセント1、黒+基本色 25%」を設定して、図形の枠線の色を「線なし」にしましょう。



●下図の分岐点の色になるように設定しましょう。



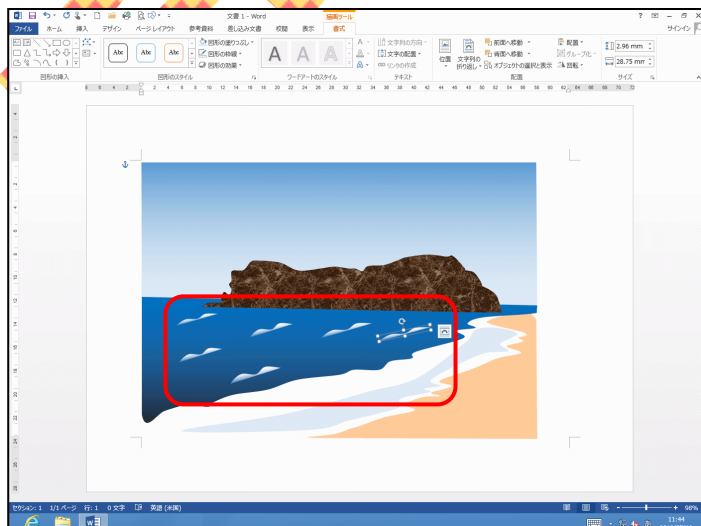
グラデーションを設定した小波を、5つコピーしましょう。



●小波の数は全部で6つになります。

●図形のコピーを忘れた方は、P19
⑦ 図形のコピーを参照してください。

小波を海に移動して並べて、大きさもいろいろ変えてみましょう。

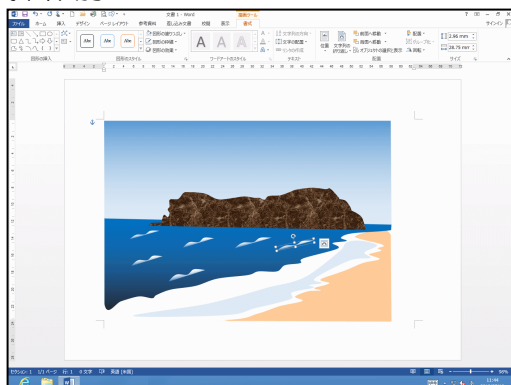


(5) 波を描く (ぼかしの利用)

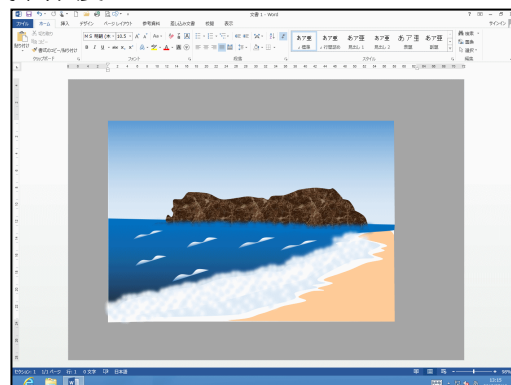
ここでは、ぼかしを利用して波の部分を描いていきましょう。

◆ぼかしを利用して波を描く方法をマスターしましょう。

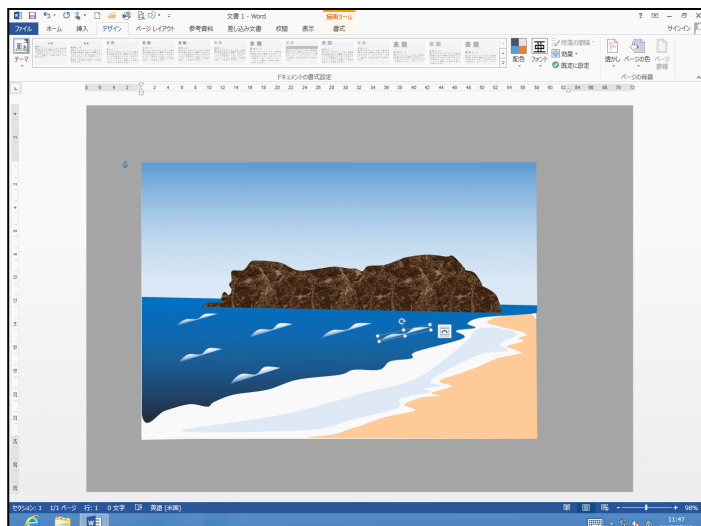
操作前



操作後



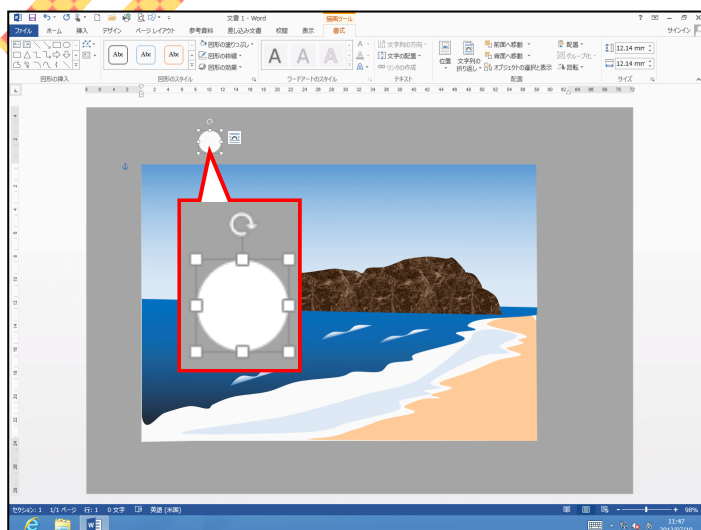
ページの色を「50%灰色、アクセント 3」に設定します。



● 淡い色のぼかしを作っていくので、背景を暗い色にします。

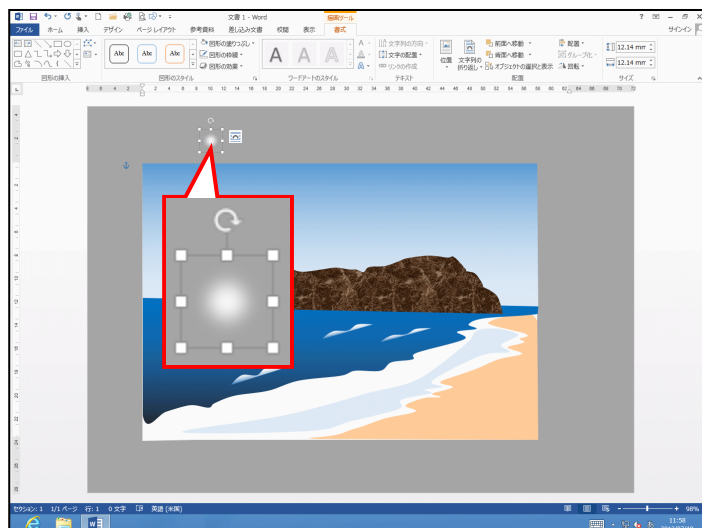
● ページの色の変更の仕方を忘れた方は、P82 ② 背景色の設定を参照してください。

円を一つ描き、塗りつぶしの色を「白、背景 1」に、図形の枠線の色を「線なし」に設定しましょう。



● このあと、ぼかしの設定をしていきますので、少し大きめに作るくらいがちょうどいいかも知れません。

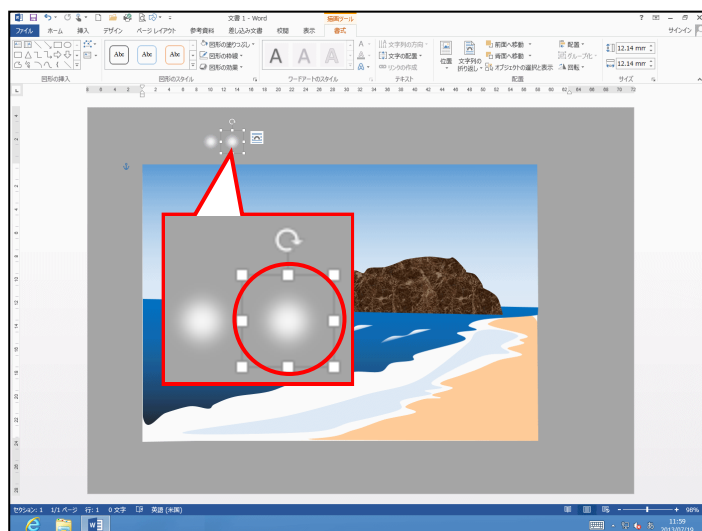
「10 ポイント」のぼかしを設定します。



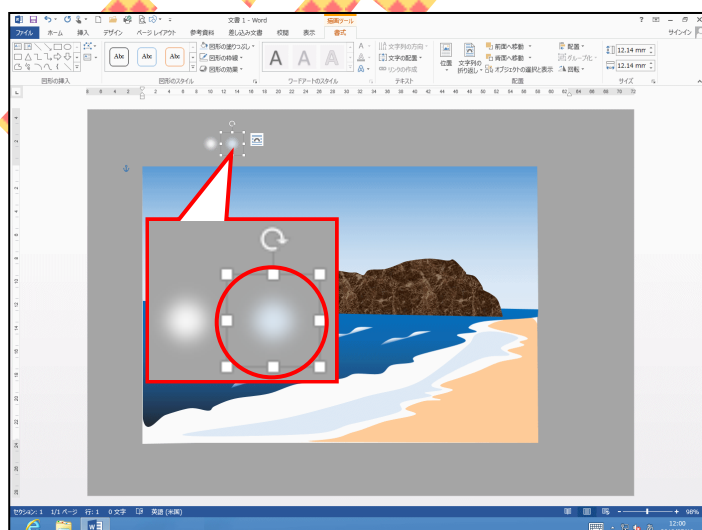
●ぼかしの設定方法を忘れた方は、
P91 ① ぼかしの設定を参照して
ください。

●描いた円が小さい場合、ぼかしを設
定した際、消えたように見えること
があります。描いた円が消えたわけ
ではありませんので、焦らず少し図
形を大きくしてみましょう。

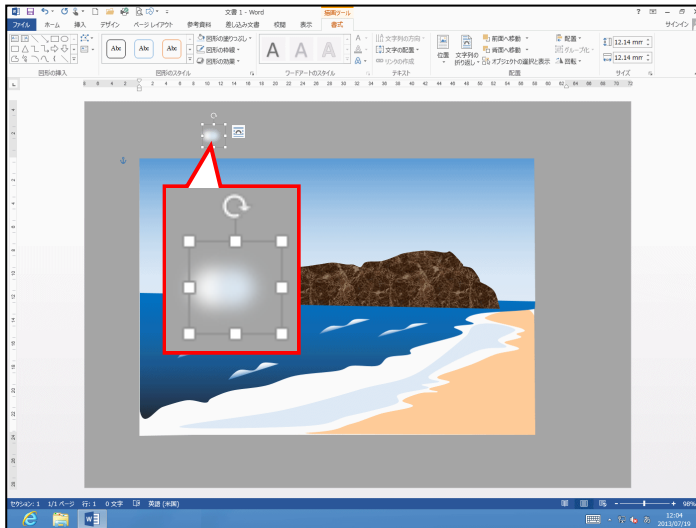
ぼかしを設定した円を右へコピーします。



コピーした円の塗りつぶしの色を「青、アクセント 1、白+基本色 80%」に変えましょう。

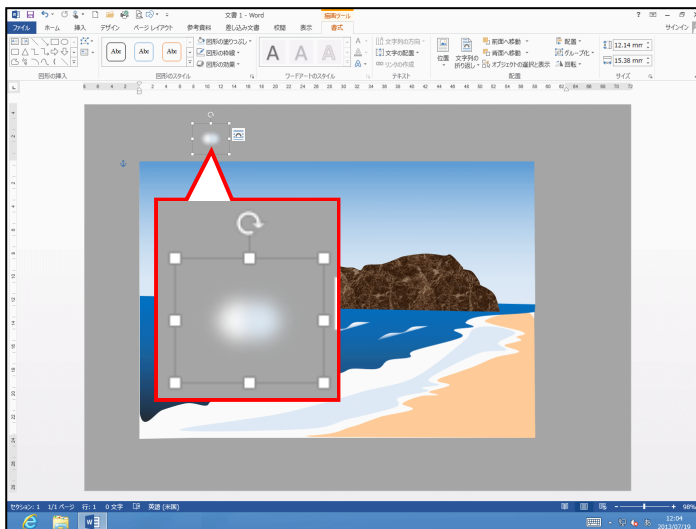


ぼかしを設定した2つの円の隙間が見えないように近づけます。



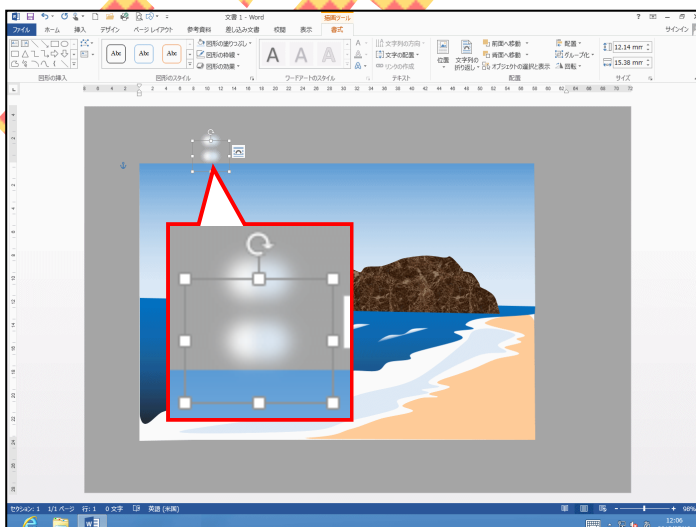
- 図形を選択した状態で、矢印キーの「→」キーか「←」キーを押すと、その方向に少しずつ動きます。

ぼかしを設定した2つの円をグループ化します。



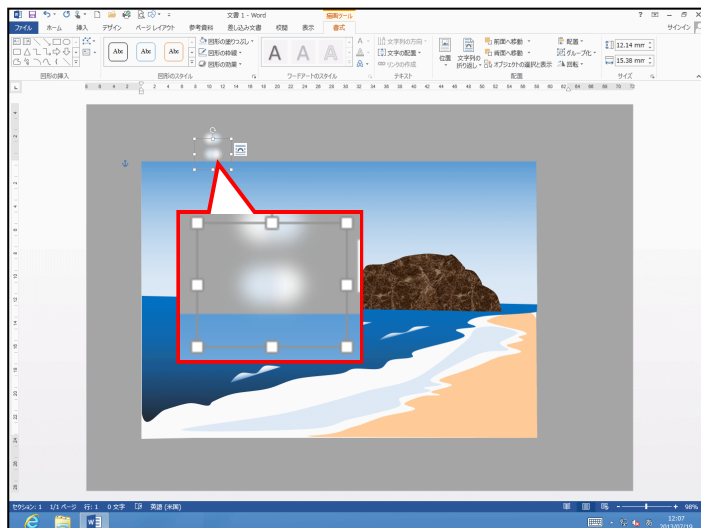
- 図形のグループ化の方法を忘れた方は、P34 ⑫ 図形のグループ化を参照してください。

グループ化した図形を、下へコピーします。



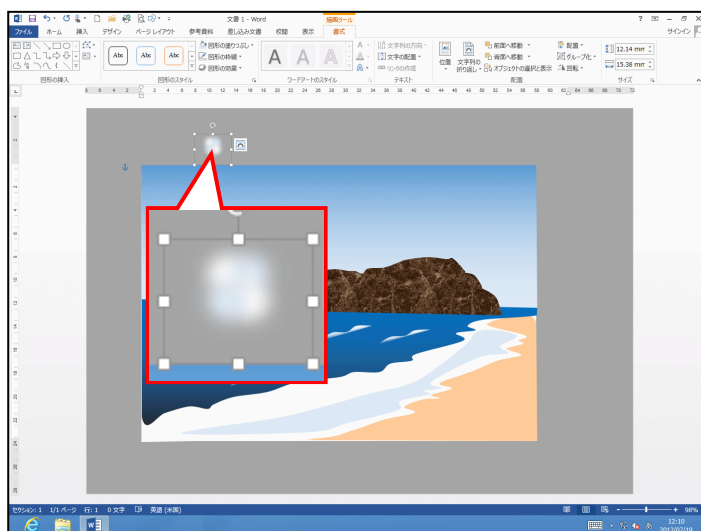
- **注意!** 下にコピーした時に、ぼかしが1つしかコピーされなかった場合は、グループ化ができていません。その場合は、もう一度ぼかしを2つ選択し、グループ化してからコピーを行いましょう。

コピーした図形を左右反転します。



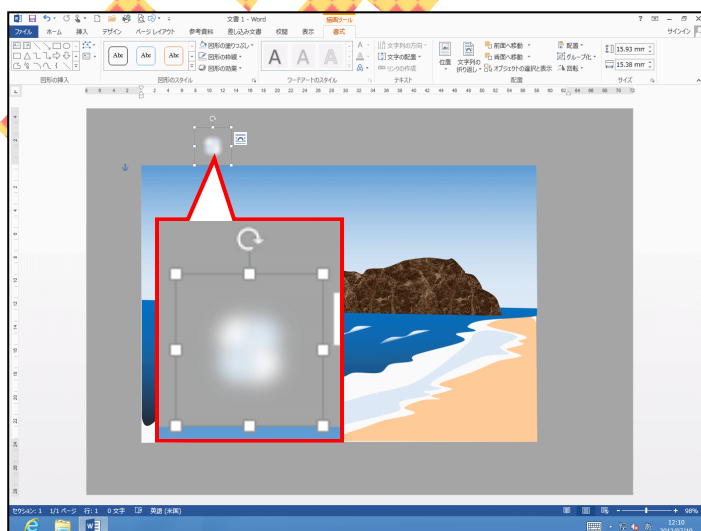
- 図形の回転を忘れた方は、P21 ⑧ 図形の回転を参照してください。

上のぼかしと下のぼかしを近づけます。



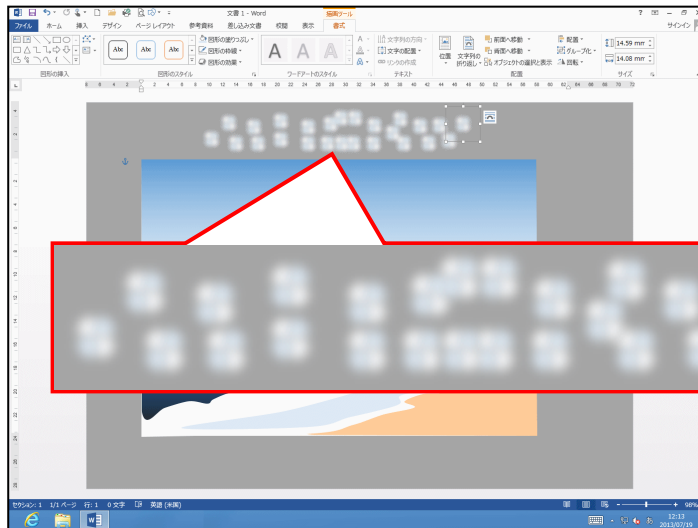
- 図形を左右上下に少しずつ動かしたい時は、図形を選択した状態で、[→]、[←]、[↑]、[↓] キーを押すと図形の移動がスムーズにいきます。

上のぼかしと下のぼかしをグループ化します。



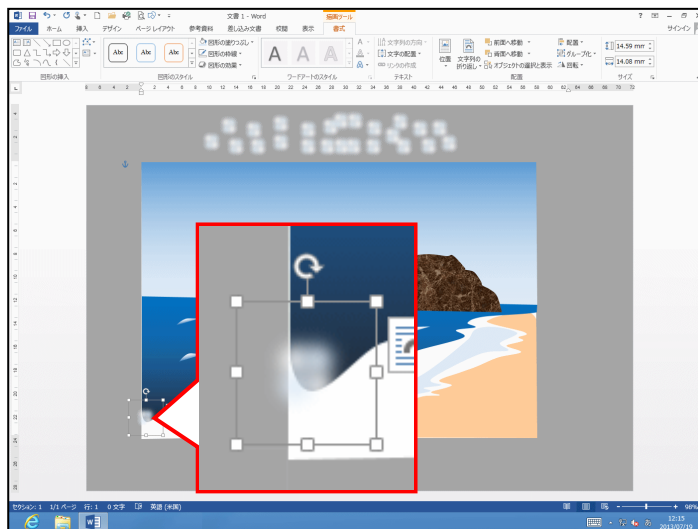
- あまり大きいと、次に並べていくときに不自然になりますので、大きく作られた方は少し小さくしておきましょう。

グループ化した図形をいくつかコピーします。



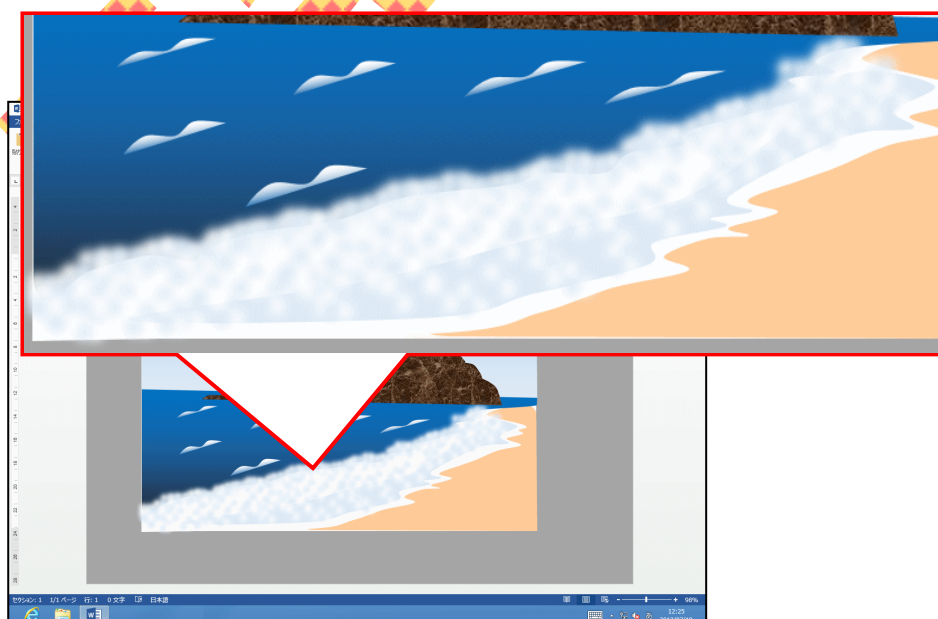
- コピーの数はいくつでも構いません。足りない場合は、その都度増やしてください。

増やしたばかりを、波と海の境に配置していきます。

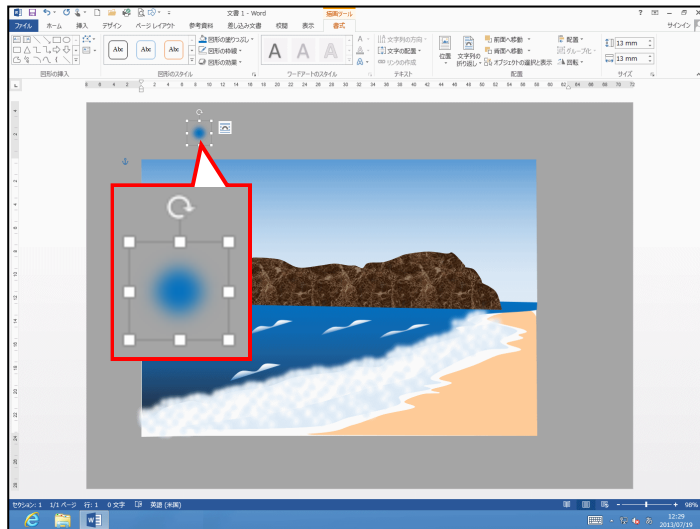


- 境界がくっきりしているので、ばかりを入れます。境界に沿って、角度を調整しましょう。

波の上にもいくつかコピーして並べましょう。

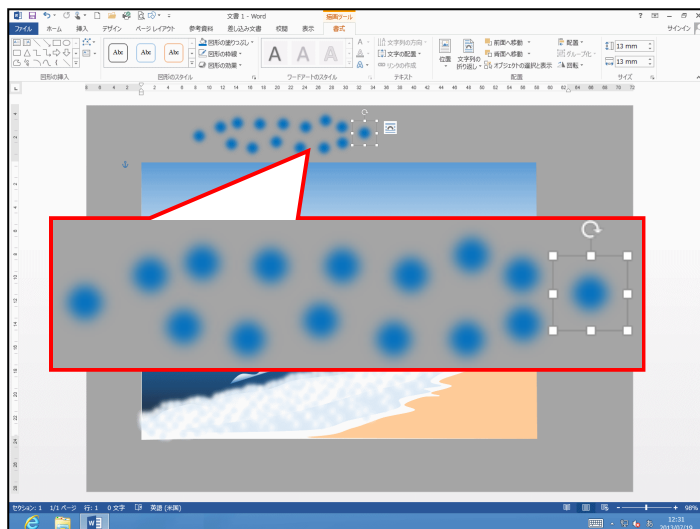


先ほどと同じように円を描き、塗りつぶしの色を「青」に、図形の枠線の色を「線なし」に、「10 ポイント」のぼかしを設定しましょう。



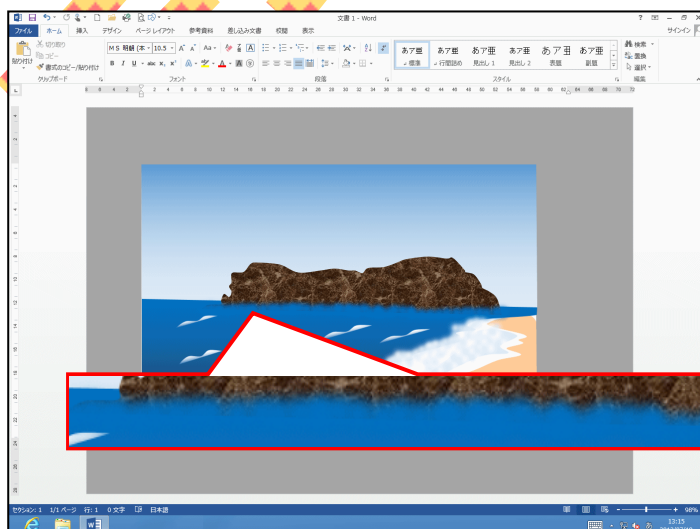
- 岩と、海との境界がくっきりしているので、ぼかしを入れて、自然な感じに仕上げていきます。

作ったぼかしをいくつかコピーします。



- コピーする数は、いくつでも構いません。足りない場合は、その都度増やしてください。

ぼかしを、岩と海との境界に並べていきましょう。



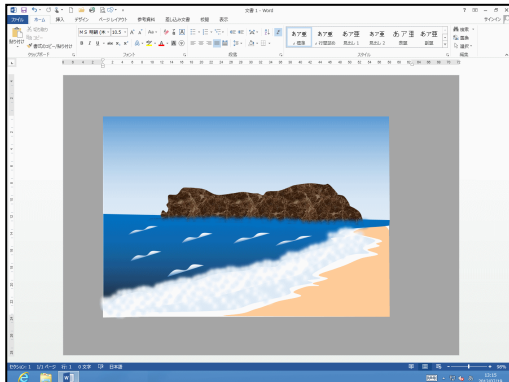
- 隙間が見えてしまうと不自然になってしまうので、なるべく隙間を開けずに並べましょう。

(6) 挿入した写真を削除する

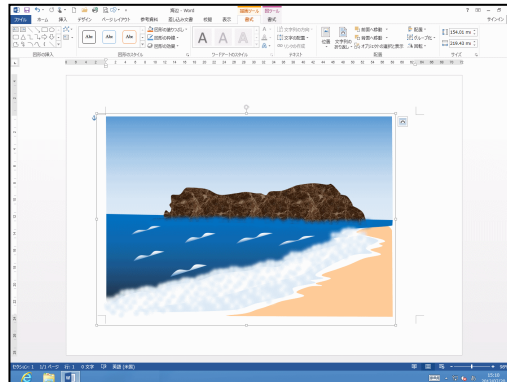
描いた図形をすべてをグループ化して保存する前に、一番初めに挿入した「風景」の画像を削除しましょう。

◆挿入した写真を削除する方法をマスターしましょう。

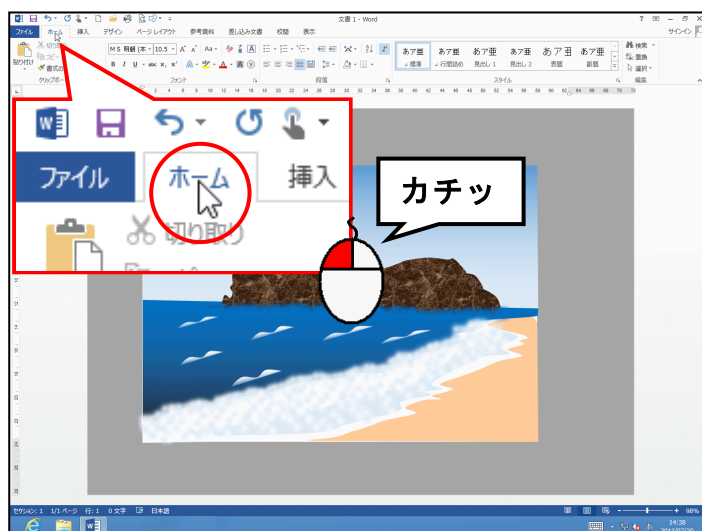
操作前



操作後

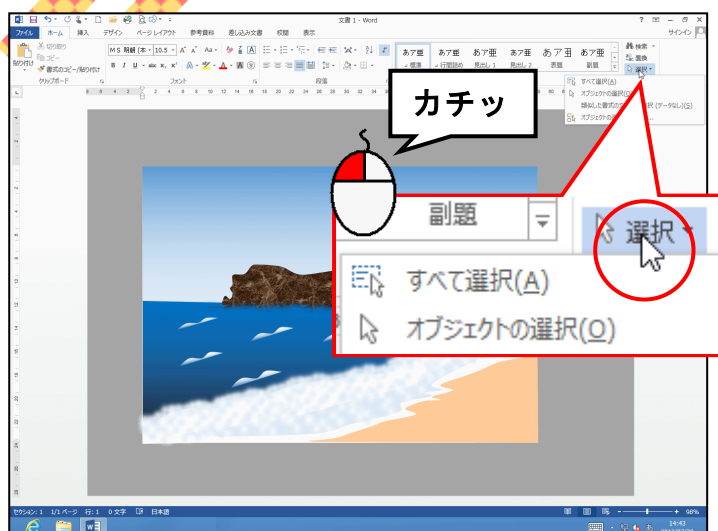


[ホーム] タブにポイントし、クリックします。

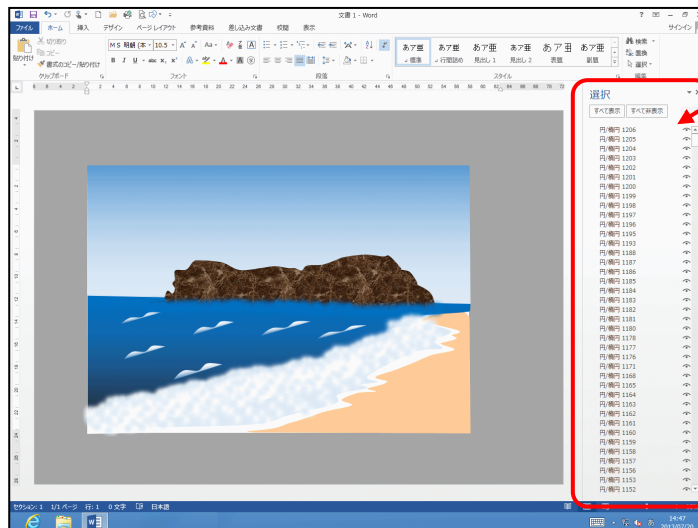
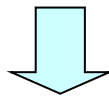
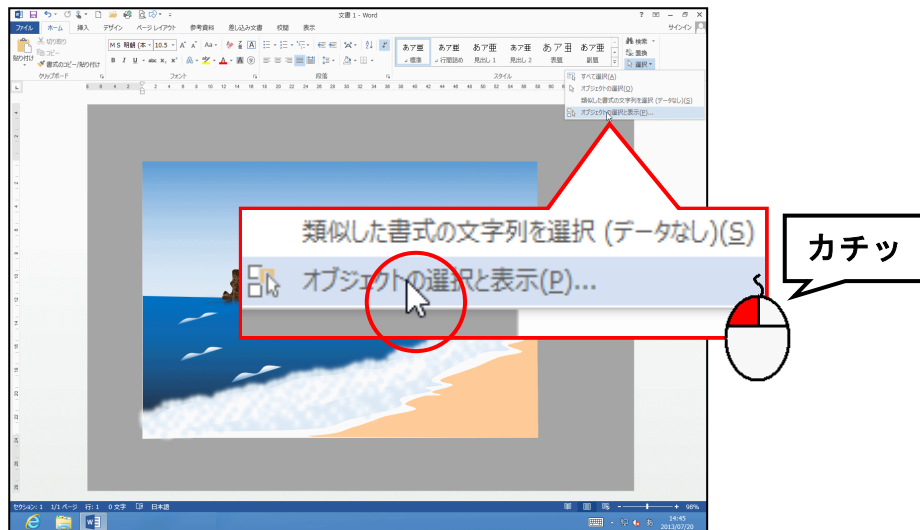


●すでに [ホーム] タブが選択されている方は、この操作は不要です。

[編集] グループにある 選択 [選択] ボタンにポイントし、クリックします。

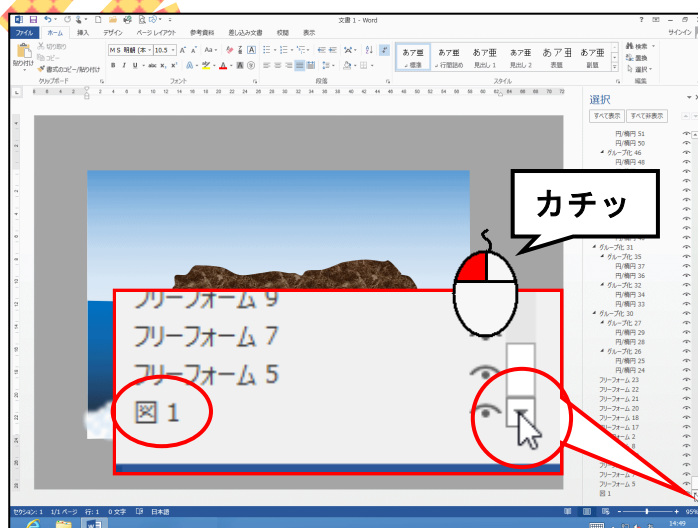


表示された一覧から [オブジェクトの選択と表示(P)...] にポイントし、クリックします。

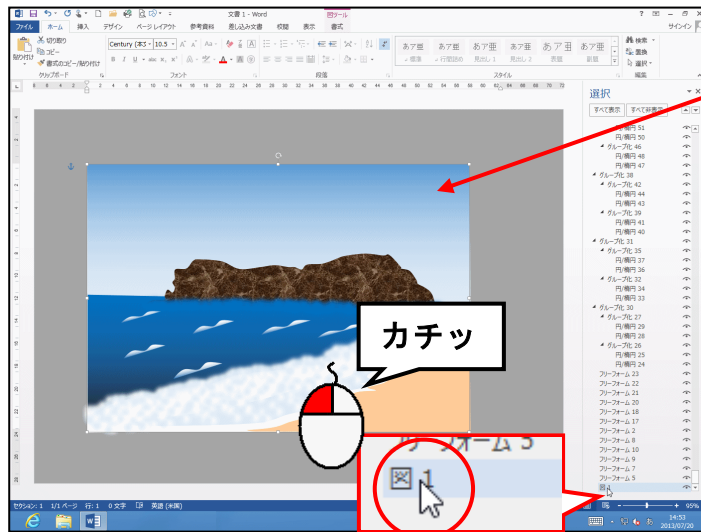


● [オブジェクトの選択と表示(P)...] をクリックすると、[選択] ウィンドウが表示されます。

表示された [選択] ウィンドウのスクロールバーを使って、「図 1」が表示されるまで下にスクロールします。

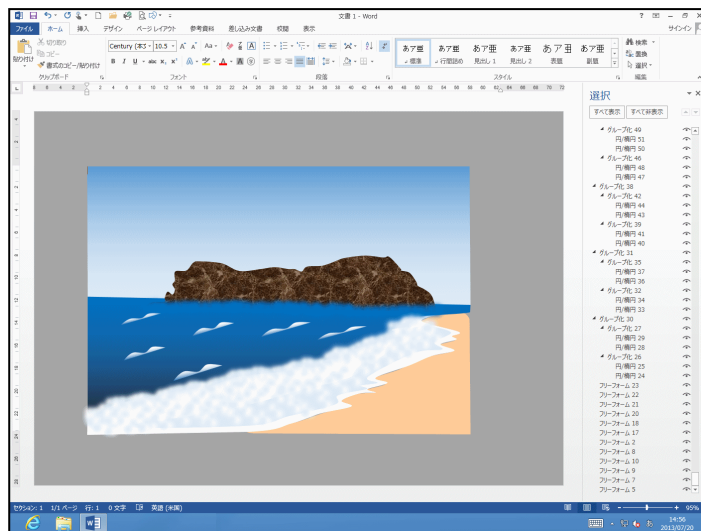


「図1」にポイントし、クリックします。



- 「図1」をクリックすると、文書に挿入した画像が選択されます。

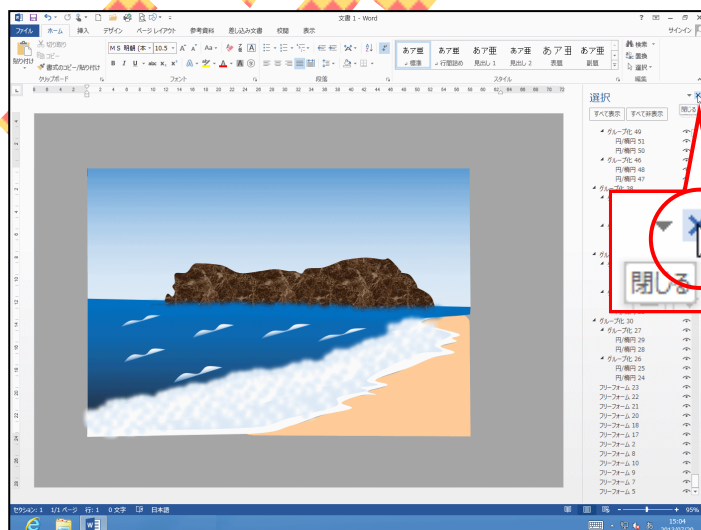
[Delete] キーを押して、「風景」の画像を削除します。

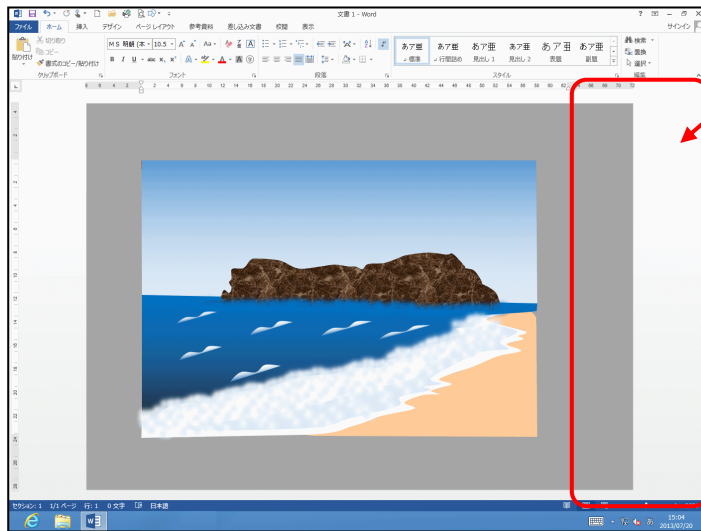
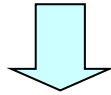


注意!

- 「図1」を選択した際に表示されていた □ (サイズ変更ハンドル) が [Delete] キーを押して消えたことで、「風景」の画像が削除されたことが確認できます。

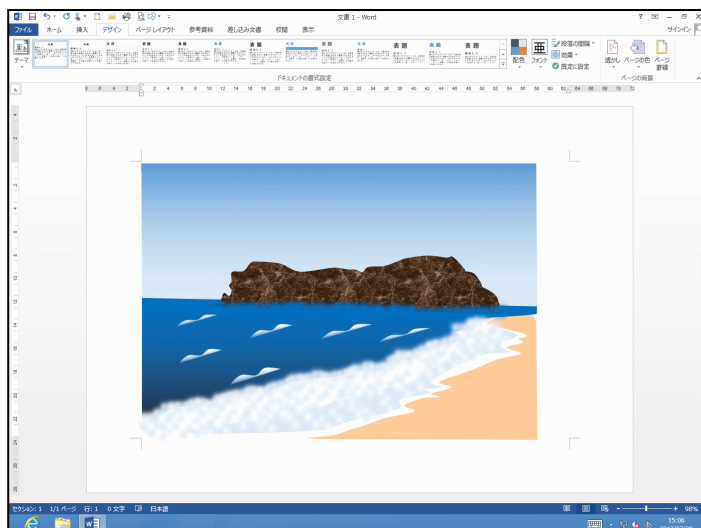
[選択] ウィンドウの右側にある × [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。





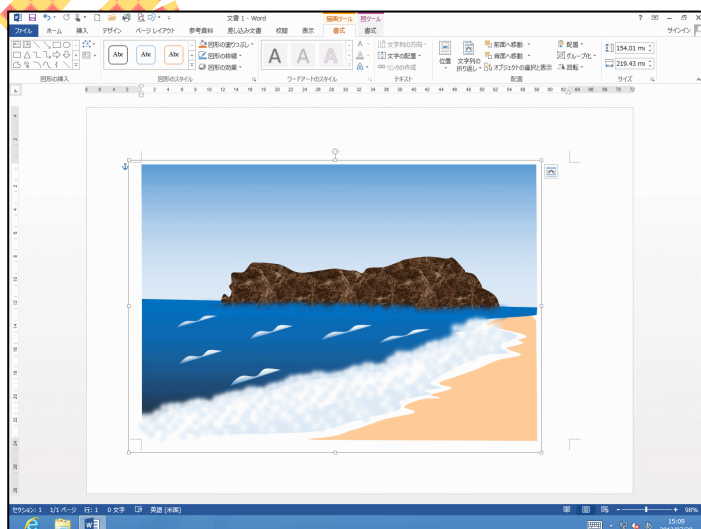
●【選択】ウィンドウが閉じられました。

ページの色を「色なし」に設定しましょう。

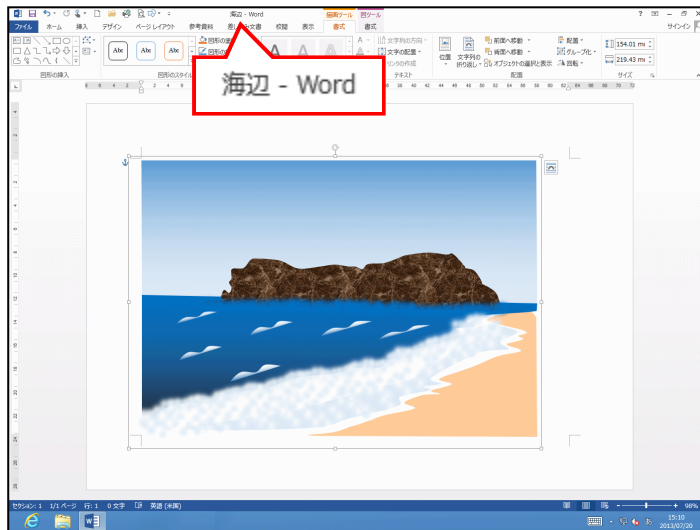


●ページの色の設定方法を忘れた方は、P82 ② 背景色の設定を参照してください。

すべてグループ化しておきましょう。



「海辺」という名前を付けて、リムーバブルディスクに保存しましょう。



●ワードの保存方法を忘れた方は、P42 ① ワードの保存を参照してください。

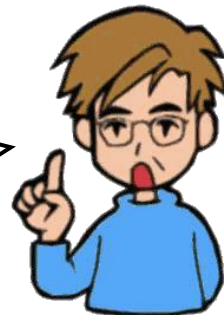
●画像を PNG 形式で保存する方法を忘れた方は、P48 ② 画像を PNG 形式で保存を参照してください。

画像を PNG 形式で、「海辺（画像）」という名前で保存しましょう。

●画像を PNG 形式で保存する方法を忘れた方は、P48 ② 画像を PNG 形式で保存を参照してください。

☆☆ここまでくれば練習問題 5 で理解度を試してください。☆☆

ここからは、ワードでおえかきをより詳しく知っていただくための、内容についての補足説明です。
練習問題の中でも使われていますので、ぜひ活用してください。



●テキスト以外の操作方法、補足説明

●P20 コピーについての補足説明

- [Ctrl] キーを押しながら [D] キーを押しても同じ操作になります。

●P40 図形を描きやすくする方法

●グリッド線の表示

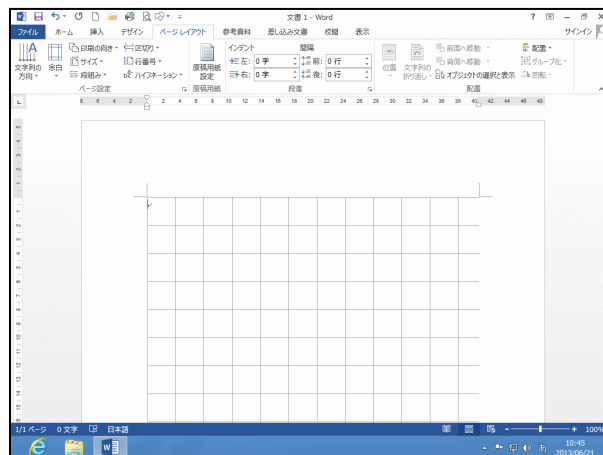
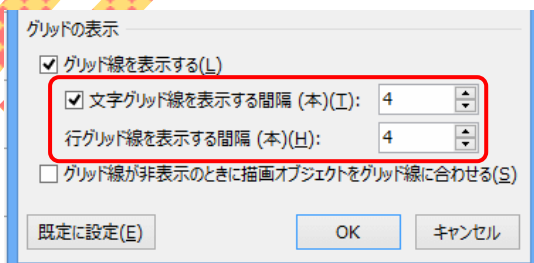
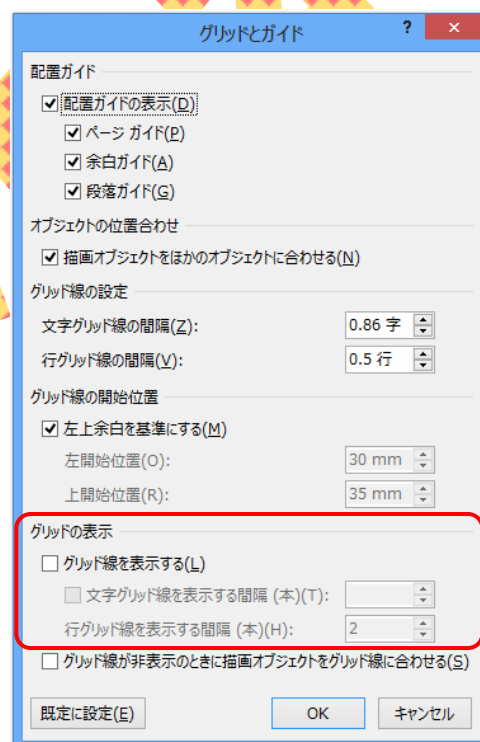
【ページレイアウト】タブの【ページ設定】グループにある【ページ設定】ボタンをクリックして、表示される【ページ設定】ダイアログボックスの下中央にある【グリッド線(W)...】ボタンをクリックします。表示される【グリッドとガイド】ダイアログボックスの「グリッドの表示」の【グリッド線を表示する(L)】にチェックを入れます。【文字グリッド線を表示する間隔(本)(T):】にチェックを入れ、数値を入力し、【OK】ボタンをクリックします。

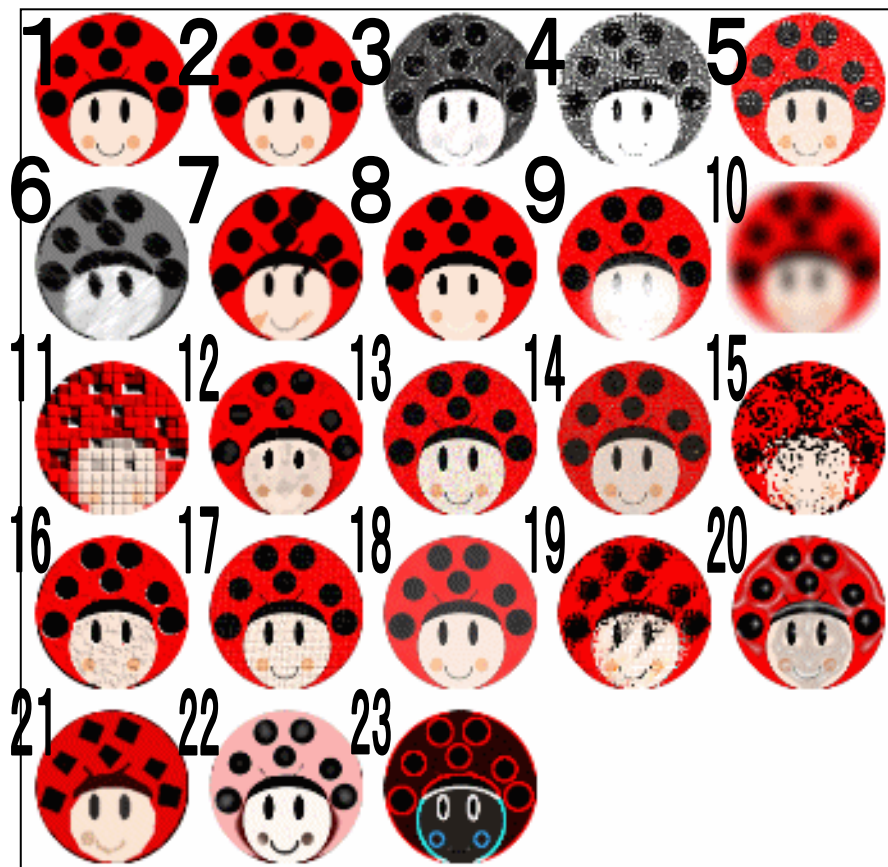
【ページ設定】ダイアログボックスが再度表示されるので、【OK】ボタンをクリックします。

●グリッド線の非表示

【表示】タブの【表示/非表示】グループにある【グリッド線】のチェックを外します。

実際に【文字グリッド線を表示する間隔(本)(T):】を「4」に設定し、【行グリッド線を表示する間隔(本)(H):】を「4」に設定すると、右下のようになります。



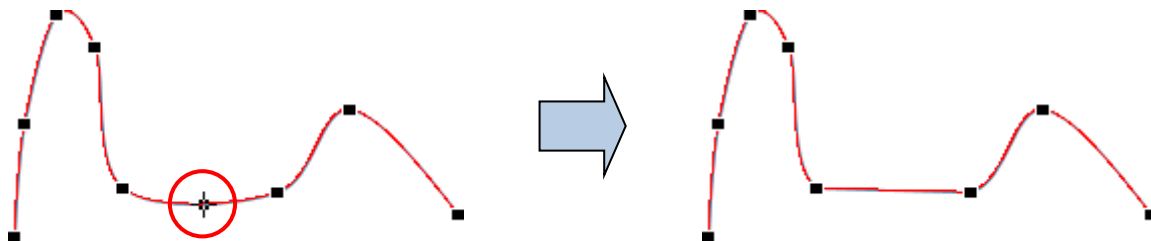


- | | |
|--------------|----------------|
| 1. なし | 13. フィルム粒子 |
| 2. マーカー | 14. モザイク：バブル |
| 3. 鉛筆：モノクロ | 15. ガラス |
| 4. 鉛筆：スケッチ | 16. セメント |
| 5. 線画 | 17. テクスチャライザー |
| 6. チョーク：スケッチ | 18. 十字模様：エッチング |
| 7. ペイント：描線 | 19. パステル：滑らか |
| 8. ペイント：ブラシ | 20. ラップフィルム |
| 9. 光彩：デフューズ | 21. カットアウト |
| 10. ぼかし | 22. 白黒コピー |
| 11. パッチワーク | 23. 光彩：輪郭 |
| 12. 水彩：スポンジ | |

●P142 頂点についての補足説明

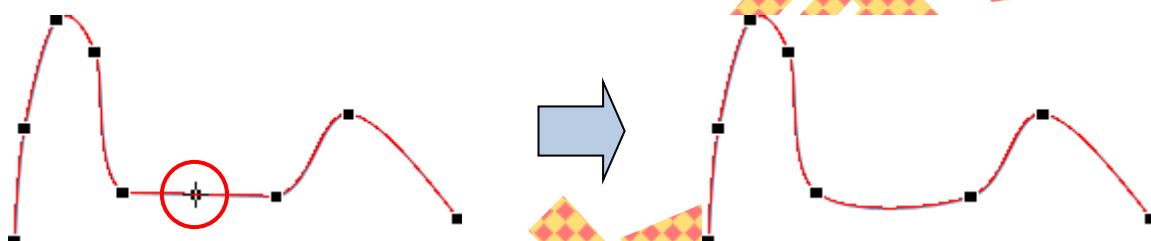
線分を伸ばす

曲線で描いた一部分を直線にしたい時は、頂点と頂点の間の線の上で右クリックし、表示されるショートカットメニューから【線分を伸ばす(S)】をクリックします。



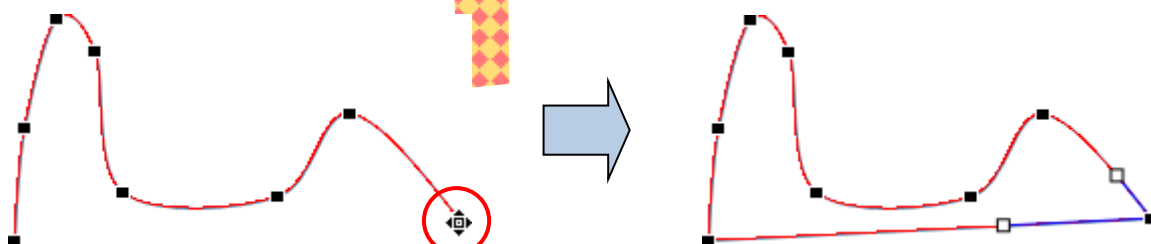
線分を曲げる

逆に直線部分を曲げたい場合は、頂点と頂点の間の線の上で右クリックし、表示されるショートカットメニューから【線分を曲げる(C)】をクリックします。



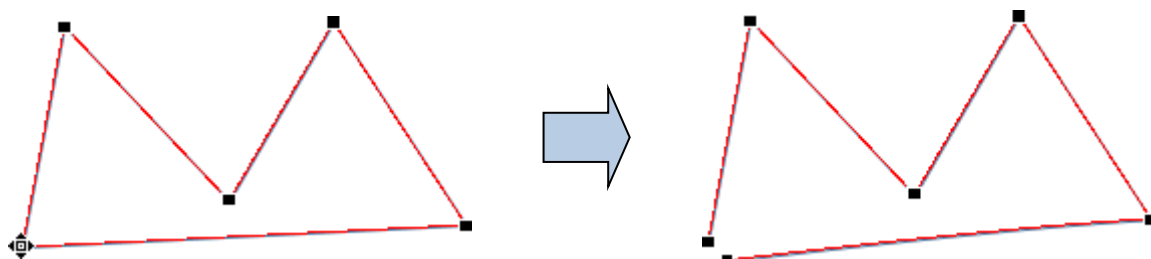
閉じたパス

線で描いたものを図形に変えたい場合に、頂点で右クリックし、【閉じたパス(L)】をクリックすると、線の端と端が直線で結ばれます。




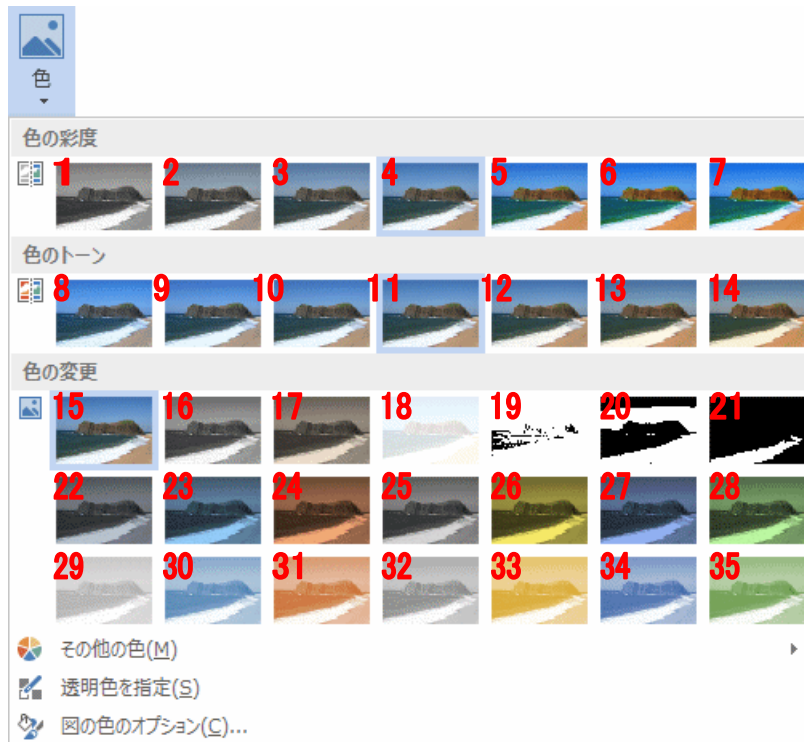
開いたパス

逆に、始点と終点がひっついた状態の図形を右クリックし、【開いたパス(N)】をクリックすると、始点と終点が離れます。



●P166 色調の種類一覧

挿入した図に色の彩度や色のトーン、色の変更を設定する場合、色調を変更したい図を選択し、図ツールの【書式】タブの【調整】グループから  【色】 ボタンをクリックし、表示される種類から選択します。



色の彩度

- | | |
|------------|------------|
| 1. 彩度 0% | 5. 彩度 200% |
| 2. 彩度 33% | 6. 彩度 300% |
| 3. 彩度 66% | 7. 彩度 400% |
| 4. 彩度 100% | |

色のトーン

- | | |
|--------------|---------------|
| 8. 温度 4700K | 12. 温度 7200K |
| 9. 温度 5300K | 13. 温度 8800K |
| 10. 温度 5900K | 14. 温度 11200K |
| 11. 温度 6500K | |


色の変更

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 15. 色変更なし | 26. ゴールド、アクセント 4 (濃) |
| 16. グレースケール | 27. 青、アクセント 5 (濃) |
| 17. セピア | 28. 緑、アクセント 6 (濃) |
| 18. ウォッシュアウト | 29. 25%灰色、背景色 2 淡色 |
| 19. 白黒：25% | 30. 青、アクセント 1 (淡) |
| 20. 白黒：50% | 31. オレンジ、アクセント 2 (淡) |
| 21. 白黒：75% | 32. 50%灰色、アクセント 3 (淡) |
| 22. ブルーグレー、テキストの色 2 濃色 | 33. ゴールド、アクセント 4 (淡) |
| 23. 青、アクセント 1 (濃) | 34. 青、アクセント 5 (淡) |
| 24. オレンジ、アクセント 2 (濃) | 35. 緑、アクセント 6 (淡) |
| 25. 50%灰色、アクセント 3 (濃) | |

●P185 その他の色についての補足説明

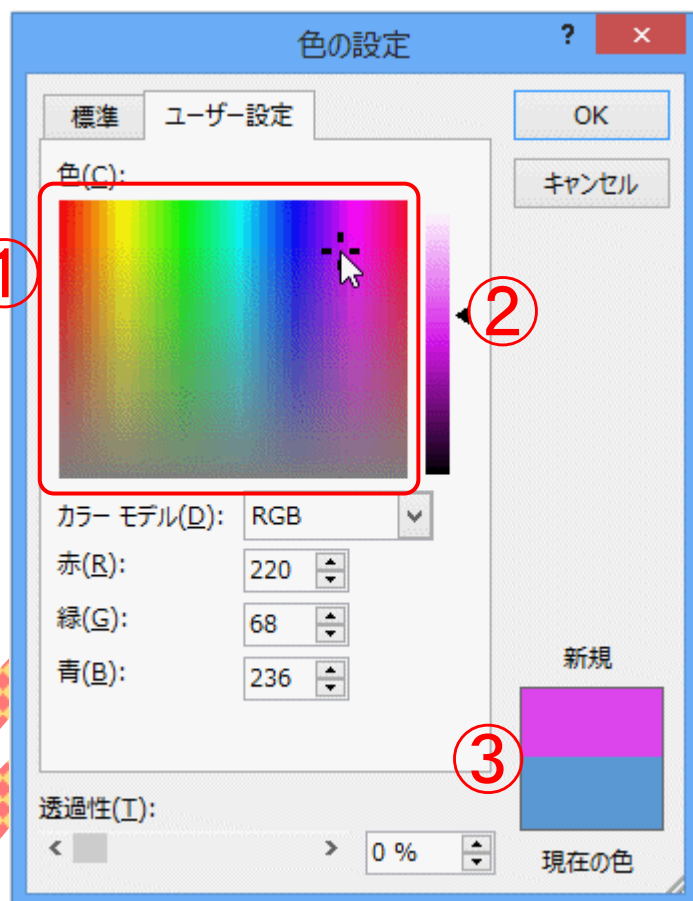
●その他の色の設定方法について

その他の色の設定方法には、本テキスト内の操作方法以外に、[ユーザー設定] タブを使う方法があります。

図形を選択した状態で、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある  図形の塗りつぶし ▶ [図形の塗りつぶし] ボタンから、[その他の色 (M)...] をクリックします。
表示された [色の設定] ダイアログボックスで、[ユーザー設定] タブに切り替えると、下図のような画面になります。

- ①…目的の色をクリックします。
- ②…◀のスライダーを上下にドラッグし、色の濃度を決めます。(上に行くほど薄くなり、下に行くほど濃くなります)
- ③…「現在の色」は、今の図形の色を表しています。「新規」は① ②で選択した新しい色のことです。

[OK] ボタンをクリックすると、図形の色が、③の新規の色に変わります。



●クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する

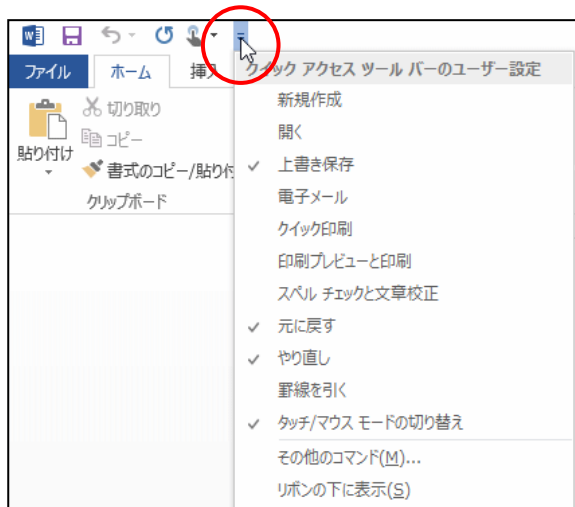
本テキストでは、前提条件として【クイックアクセス】ツールバーは 【新規作成】、 【開く】、 【クイック印刷】、 【印刷プレビューと印刷】 という非常によく使う4つのボタンが追加された状態でした。

ただし、一番最初にワード 2013 を開いた場合、初期状態として 【上書き保存】、 【元に戻す】、 【繰り返し】（ 【やり直し】 になることもあります）の3つしか表示されません。ここでは、【クイックアクセス】ツールバーにそのほかのボタンの追加方法と削除方法について説明します。

■【クイックアクセス】ツールバーにボタンを追加する

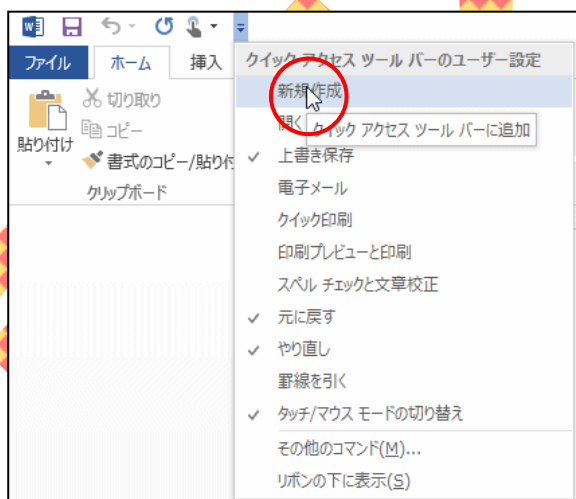
ここでは、【クイックアクセス】ツールバーに 【新規作成】 ボタンを追加してみましょう。

【クイックアクセス】ツールバーの右側にある 【クイックアクセスツールバーのユーザー設定】 ボタンにポイントし、クリックします。



をクリックすると、【クイックアクセス】ツールバーに追加できるボタンの一覧が表示されます。現在表示されているボタンには、名前の左側に ☒ が表示されます。

「新規作成」にポイントし、クリックします。



【クイックアクセス】ツールバーに 【新規作成】 ボタンが追加されました。

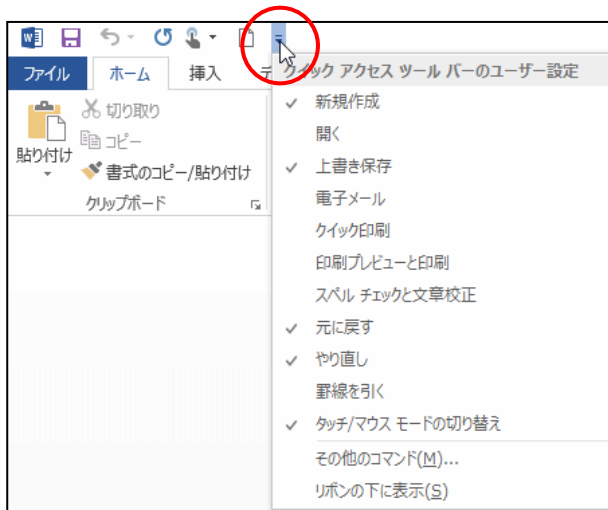


「新規作成」をクリックすると、左のように【クイックアクセス】ツールバー内に 【新規作成】 ボタンが追加されます。

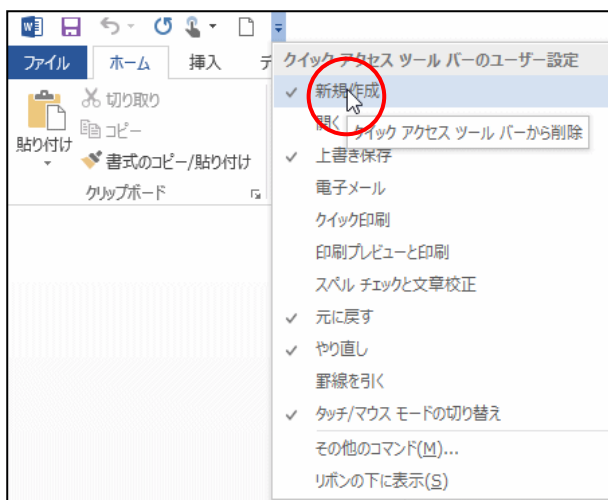
■ [クイックアクセス] ツールバーのボタンを削除する

先ほど追加した □ [新規作成] ボタンを削除してみましょう。

[クイックアクセス] ツールバーの右側にある □ [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、クリックします。



「新規作成」にポイントし、クリックします。



□ [新規作成] ボタンが [クイックアクセス] ツールバーに表示されているため「新規作成」の左側には ✓ が表示されています。

[クイックアクセス] ツールバーから □ [新規作成] ボタンが削除されました。



「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内の □ [新規作成] ボタンが削除されます。

他の [クイックアクセス] ツールバーのボタンも同様の操作で追加と削除することができます。

●リボンの表示オプションの変更

ワードでいろいろと操作をしているうちに、下のようにリボンが非表示になる場合があります。リボンが非表示になると、ボタンも押せなくなってしまうため、文字の書式設定やページ設定など様々な設定を行うときに大変不便です。

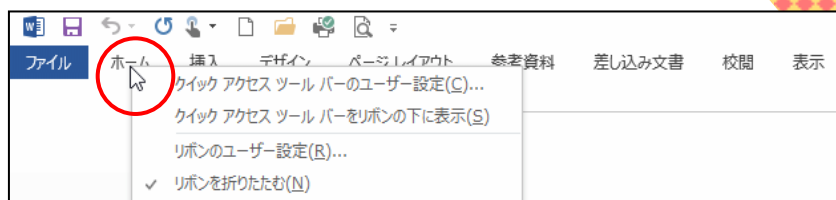
■非表示になったリボン



リボンが表示されないため、
ボタンも表示されません

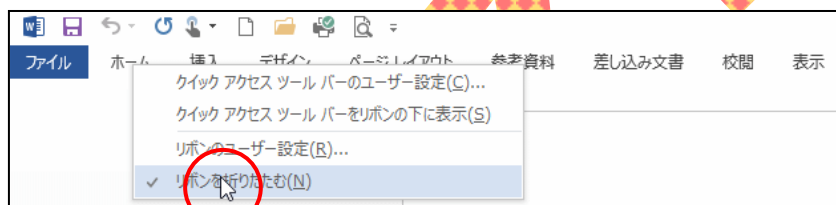
非表示になったリボンを元に戻すには、次のように操作します。

タブにポイントし、右クリックします。

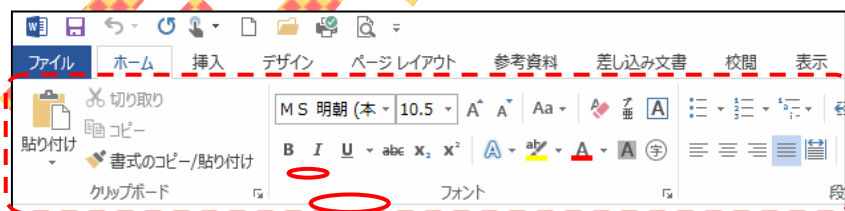


右クリックするタブ
は、どのタブでも構い
ません。

表示された一覧から「リボンを折りたたむ(N)」をクリックします。



リボンが表示されました。

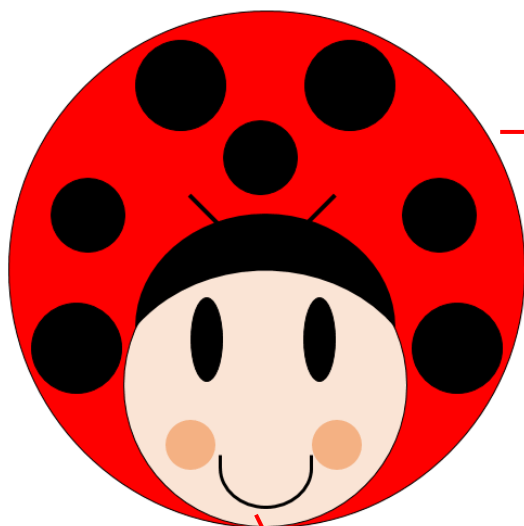


リボンが復元され、ボタンが
表示されます

●テキストの手引き

練習問題や実際にワードを使っていて、テキストで覚えたあの機能は何ページに書いてあったっけ？ と迷われた時のためにテキスト内の成果物と機能についての該当ページを記載しています。

●「テントウムシ」完成版



図形の変形 P28～

図形の挿入 P6～
図形の移動 P9～
図形の削除 P11～
元に戻す P13
図形の塗りつぶし P14～
図形の枠線 P16～
図形のコピー P19～
図形の回転 P21～
図形のサイズ変更 P25～
図形の枠線の太さ P32～
図形のグループ化 P34～
図形の順序 P38～

ワードの保存 P42～
画像を PNG 形式で保存 P48～
コピーについての補足説明 P209
図形を描きやすくする方法 P209

●「テントウムシ」アート効果つき 完成版

テントウムシ

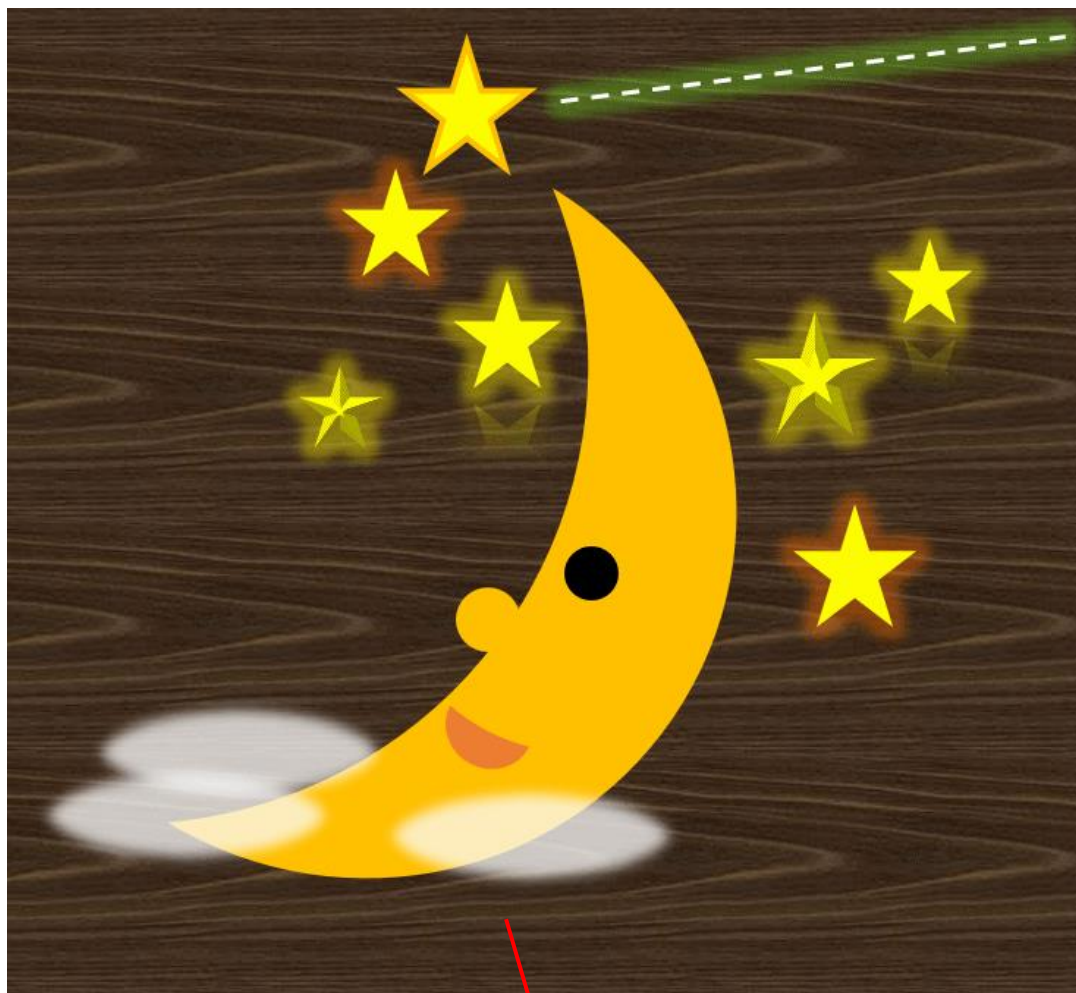


画像の挿入 P58～
画像にアート効果を設定する P63～
ワードアートの挿入 P67～
ワードアートにアート効果を設定する P73～
アート効果一覧 P210

赤ページは本編のページを示しています。

青ページは補足説明のページを示しています。

●「月と雲」完成版



画面の設定 P79～
背景色の設定 P82～
お月さまを描く P84～
ぼかしの設定 P91～
透明度の設定 P93～
図形の効果の設定 P97～
書式のコピー P104～
背景を入れる（テクスチャ） P112～

赤ページは本編のページを示しています。
青ページは補足説明のページを示しています。

●「なすび」完成版

ボタンの登録 **P117～**

なすびの形を変更（頂点を使用） **P124～**

なすびのへたを描く（フリーフォーム） **P127～**

なすびのへたをなめらかに描く

（頂点を中心にスムージングする） **P130～**

なすびのへたをなめらかに描く

（頂点を基準にする） **P134～**

なすびのじくを描く（頂点の追加を使用） **P139～**

頂点についての補足説明 **P211**

なすびを描く（曲線） **P120～**

グラデーションの設定 **P144～**

赤ページは本編のページを示しています。

青ページは補足説明のページを示しています。

●「風景」完成版

写真の挿入 P162～

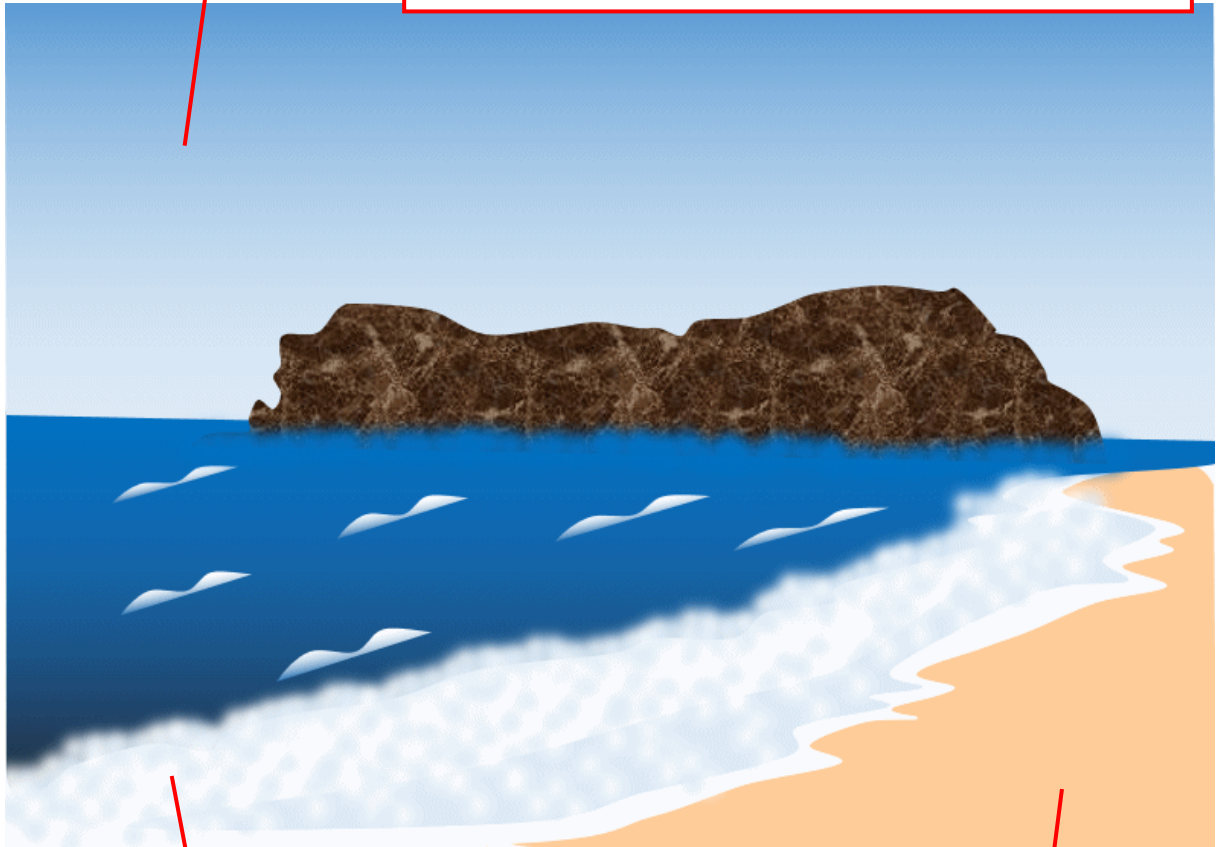
図形の既定値の変更 P169～

曲線部分を直線に変更する（線分を伸ばす） P173～

始点と終点をつなげる（閉じたパス） P182～

ふちどり以外を描く P195～

色調の種類一覧 P212



その他の色の設定 P184～

その他の色についての補足説明 P213

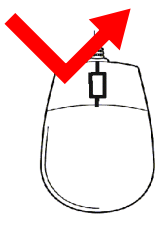

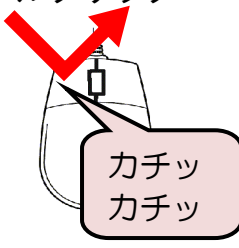

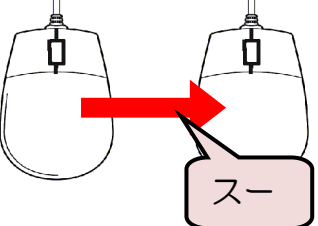
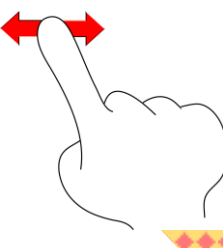
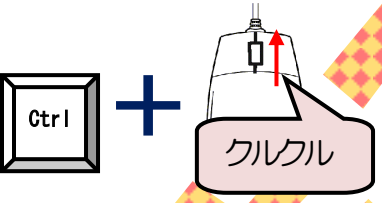
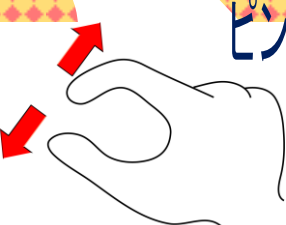

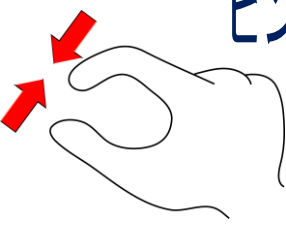
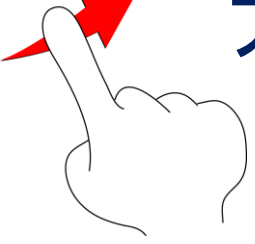
波を描く（ぼかしの利用） P198～

赤ページは本編のページを示しています。

青ページは補足説明のページを示しています。

●タッチパネルの基本操作

■タッチパネルの操作において、マウスに相当する操作との対応表になります。

マウスに相当する操作	タッチパネルの操作	説明
クリック 	 タップ	マウス操作におけるクリックに相当し、画面を指で軽く叩く操作。
ダブルクリック 	 ダブルタップ	画面を指で軽く叩く「タップ」操作を 2 回繰り返す操作。
ドラッグ 	 ドラッグ	タッチしたまま、目的の場所まで指をすべらせる操作。
[Ctrl] キー+ホイール 	 ピンチアウト	画面上の操作対象を広げるように 2 本の指を離していき、画面を拡大させる操作。
[Ctrl] キー+ホイール 	 ピンチイン	画面をつまむようにして 2 本の指を近づけ、画面を縮小させる操作。
フリックに該当するマウス操作がないため、表記していません。	 フリック	画面に触れた指を少しだけスライドさせる操作で、特に画面上を素早く払うように叩く操作。

※上記のタッチパネル操作名は、様々な名称がありますが、本テキストではこの名前で表記しています。

●索引

あ行

アート効果	63
アート効果一覧	210
ウォッシュアウト	166
お月さまに雲を描く	91
お月さまに星を描く	97
お月さまを描く	84

か行

回転ハンドル	23、85、89
画像の挿入	58
画像をPNG形式で保存	48
画面の設定	79
曲線（なすびを描く）	120
曲線部分を直線に変更する	173
グラデーションの設定	144
グラデーションの分岐点を削除	151
グリッド線	209
コピーについての補足説明	209
コントロールポイント	132

さ行

色調の種類一覧	212
始点と終点をつなげる（閉じたパス）	182
写真に沿って風景をふちどりする	173
写真の挿入	162
写真をもとに描きやすくするための準備	169
書式のコピー	104
図形の移動	9
図形の回転	21
図形の既定値の変更	169
図形のグループ化	34
図形の効果の設定	97
図形のコピー	19
図形のサイズ変更	25
図形の削除	11
図形の順序	38
図形の挿入	6
図形の塗りつぶし	14
図形の変形	28
図形の枠線	16
図形の枠線の太さ	32
図形を描きやすくする方法	209
線分を伸ばす	173
線を使ってなすびを描く	120
挿入した写真を削除する	204
その他の色を使う	184、213

た行

頂点についての補足説明	211
頂点を基準にする	134
頂点を中心にスムージングする	130
頂点の追加	139
テクスチャ	112
テントウムシの顔を描く	6
テントウムシの胴体を描く	38
透明度の設定	93
閉じたパス	182

な行

なすびの形を変更（頂点を使用）	124
なすびのじくを描く（頂点の追加）	139
なすびのへたを描く（フリーフォーム）	127
なすびのへたをなめらかに描く（頂点を基準にする）	134
なすびのへたをなめらかに描く（頂点を中心にスムージングする）	130
なすびを描く（曲線）	120

は行


背景を入れる（テクスチャ）	112
背景色の設定	82
PNG形式	48
風景を描く	161
ふちどり以外を描く	195
フリーフォーム	127
ぼかし絵	78
ぼかし絵を描くための準備	79
ぼかしの設定	91
保存（PNG形式）	48
ボタンの登録	117

ま行

元に戻すボタン	13
文字列の折り返し	64

わ行

ワードアートにアート効果を設定する	73
ワードアートの挿入	67
ワードの保存	42



ワードでおえかき

2013 年 8 月 25 日

初版

第 1 刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作権者の権利侵害になります。

連絡先

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。